

立川市第7次障害者計画策定
のためのアンケート調査
結果報告書

令和6年3月

立川市

目 次

調査の概要	1
集計結果	5
① 障害者手帳所持者・難病患者	7
アンケート調査の記入者について	7
I 調査対象者について	8
II 障害の状況などについて	12
III 健康状態や医療について	19
IV 介助・援助の状況について	27
V 福祉サービスの利用について	35
VI 日中活動や就労について	50
VII 相談などについて	74
VIII 情報入手などについて	79
IX 災害時の対策、緊急時の対応などについて	82
X 障害者差別や権利擁護のことについて	94
X I 将来の希望などについて	108
X II 立川市の障害者施策について	113
X III 障害者福祉や生活上の課題に関する意見・要望	117
② 市民	124
I 調査対象者について	124
II 障害のある人とのかかわりについて	126
III 障害のある人が働くことについて	135
IV 福祉のまちづくり、障害福祉施策について	137
V 障害福祉施策への意見・要望	152
③ 市内事業所	154
I 調査対象事業所について	154
II 障害のある人の雇用について	157
III 職場体験や実習の受け入れについて	169
IV 障害のある人への対応について	174
V 障害者差別解消のための意見	186

調査の概要

1 調査の目的

「立川市第7次障害者計画」（計画期間：令和7年度～11年度）の策定に向け、障害者（児）の生活実態やニーズの把握、障害に関する市民・事業者の意識と課題を把握し、計画策定の基礎資料とするために、対象者を分けた3種類のアンケート調査を実施しました。

2 調査の対象者

- ① 障害者手帳所持者・難病患者用は、障害者手帳システムに登録のある手帳所持者等を対象に、身体障害者 400 人、知的障害者 100 人、精神障害者 200 人、難病患者 100 人を抽出してアンケート調査を発送しました。抽出方法は、年齢構成、男女比、手帳等級を比例配分の上、無作為抽出しています。また、免疫機能障害については、プライバシーを配慮して調査対象から除外しました。

区分別構成比と対象者数

総数は令和5年3月末時点

区分	総数	構成比	調査対象者
身体障害	5,103 人	47.6%	400 人
知的障害	1,502 人	14.0%	100 人
精神障害	2,426 人	22.6%	200 人
難病	1,684 人	15.7%	100 人
計	10,715 人	100%	800 人

※重複障害の方はそれぞれカウントしています。

- ②市民用は、立川市に住民票を有する令和5年4月1日現在満18歳以上の者を対象に、男女300人を抽出してアンケート調査を発送しました。抽出方法は、各町の人口規模、年代構成、男女比で比例配分の上、無作為抽出しています。

- ③市内事業所用は、立川市内に事務所・事業所等を置く従業員50人以上の法人を対象に、100社を抽出してアンケート調査を発送しました。抽出方法は、業種、事業所の規模に偏りがないように配分の上、無作為抽出しています。

3 調査期間

令和5年9月22日にアンケート調査を対象者へ郵送し、回答期限を10月23日としました。

4 調査方法

無記名で回答していただき、アンケート調査を発送した際に同封した専用封筒で回答を返送していただきました。なお、①障害者手帳所持者・難病患者を対象としたアンケート調査にはルビをふりました。

5 回収状況

障害者手帳所持者・難病患者 315 人、市民 80 人、市内事業所 36 社の合計 431 件の回答がありました。障害者手帳所持者・難病患者の回収率は 39.4%、市民の回収率は 26.7%、市内事業所の回収率は 36.0%となります。

対象	送付数	回答数（通）	回答率
① 障害者手帳所持者・難病患者	800	315	39.4%
② 市民	300	80	26.7%
③ 市内事業所	100	36	36.0%
合計	1,200	431	35.9%

6 調査項目

調査項目については、次のとおりです。

①障害者手帳所持者・難病患者

区 分	主 な 調 査 項 目
アンケート調査の記入者	アンケート調査の記入者
I 調査対象者について	性別、年齢、住居、家族構成
II 障害の状況などについて	障害種別、障害等級
III 健康状態や医療について	主治医・通院の有無、医療的ケアの内容
IV 介助・援助の状況について	食事、トイレ、入浴、移動、お金の管理、服薬管理
V 福祉サービスの利用について	障害（児）福祉のサービスや地域生活支援事業の利用状況
VI 日中活動や就労について	外出の頻度、外出方法、日中活動、通園・通学の状況、就労の有無、会社や職場に求める配慮、余暇活動内容
VII 相談などについて	支援者の存在、相談機関についての評価
VIII 情報入手などについて	情報入手の方法、コミュニケーション時の困難さ
IX 災害時の対策、緊急時の対応などについて	避難の可否、ヘルプマーク、ヘルプカード、オ・ト・モ・ダ・チ・カード
X 障害者差別や権利擁護のことについて	障害者差別解消法について、市条例について、差別的対応の有無、成年後見制度の活用
X I 将来の希望などについて	将来の暮らし、必要な支援
X II 立川市の障害者施策について	立川市第6次障害者計画の施策についての重要度
X III 障害者福祉や生活上の課題に関する意見・要望	自由記載

②市民

区 分	主 な 調 査 項 目
I 調査対象者について	性別、年齢、職業
II 障害のある人とのかかわりについて	障害のある人とのかかわりの有無、関心、支援活動、差別や偏見の有無、障害者理解
III 障害のある人が働くことについて	職場における障害者雇用の状況、支援の拡充
IV 福祉のまちづくり、障害福祉施策について	障害者差別解消法について、市条例について、障害のある人も暮らしやすいまちづくり、ヘルプマーク、ヘルプカード、オ・ト・モ・ダ・チ・カード、障害福祉に関する言葉の認知度
V 障害福祉施策への意見・要望	自由記載

③市内事業所

区 分	主 な 調 査 項 目
I 調査対象事業所について	業種、従業者数
II 障害のある人の雇用について	雇用実績、雇用時の事業所内の変化、負担、配慮、課題、雇用の機会を増やすための支援の拡充
III 職場体験や実習の受け入れについて	実習や職場体験の有無、支援の拡充
IV 障害のある人への対応について	障害者差別解消法について、市条例について、障害理解の教育、事業所内の環境整備、業務での障害のある人への対応、合理的配慮、市の施策、ヘルプマーク、ヘルプカード、オ・ト・モ・ダ・チ・カード
V 障害者差別解消のための意見	自由記載

7 報告書を見る際の注意事項

- 調査結果（表中）の比率は、その設問の回答数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、構成比の合計は、かならずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答可の設問の人数の合計は、回答数を超えることがあります。
- 複数回答可の設問の構成比は、回答数のうち、その選択項目を選択した方の割合を算出しています。したがって、構成比の合計が100%を超えることがあります。

集計結果

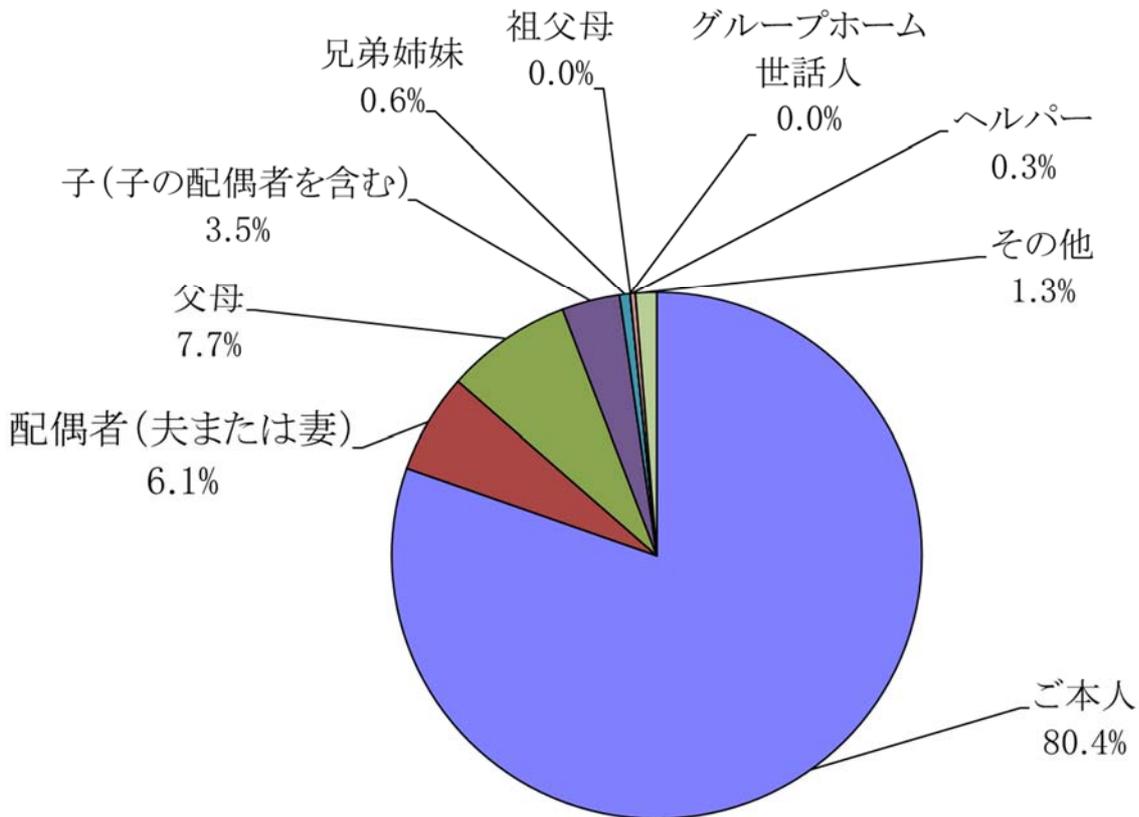
① 障害者手帳所持者・難病患者	7
② 市民	1 2 4
③ 市内事業者	1 5 4

①障害者手帳所持者・難病患者

アンケート調査の記入者について

問1 ご記入される方はどなたですか

【回答数 311人】 *回答数は回答者合計から無回答数を除いた人数となります。



【障害別回答数】

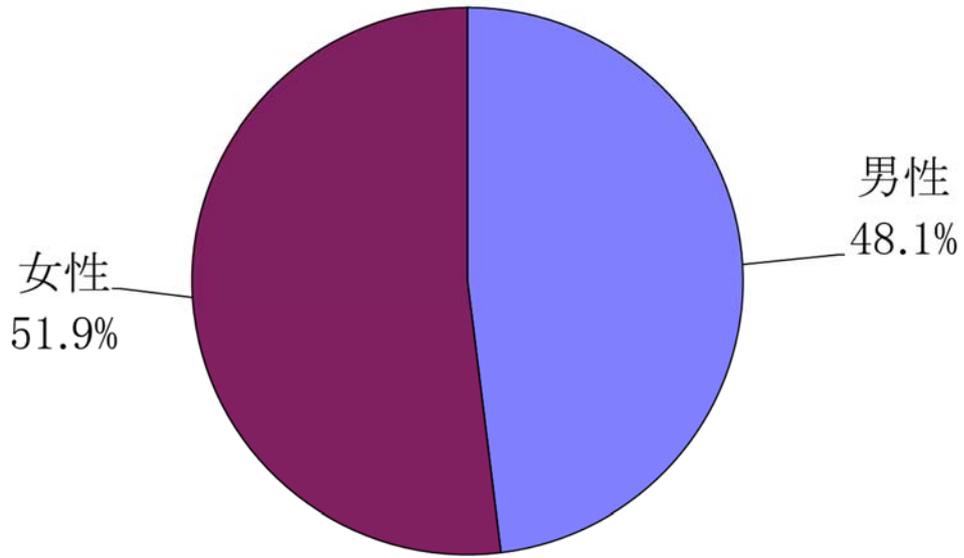
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ご本人	250	80.4%	149	20	58	65
配偶者(夫または妻)	19	6.1%	14	0	2	3
父母	24	7.7%	5	18	8	7
子(子の配偶者を含む)	11	3.5%	10	0	0	0
兄弟姉妹	2	0.6%	1	1	0	1
祖父母	0	0.0%	0	0	0	0
グループホーム世話人	0	0.0%	0	0	0	0
ヘルパー	1	0.3%	0	0	1	1
その他	4	1.3%	2	2	0	0
無回答	4	-	1	0	1	1
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

I 調査対象者について

問 2 あなたの性別をお答えください。

【回答数 310 人】



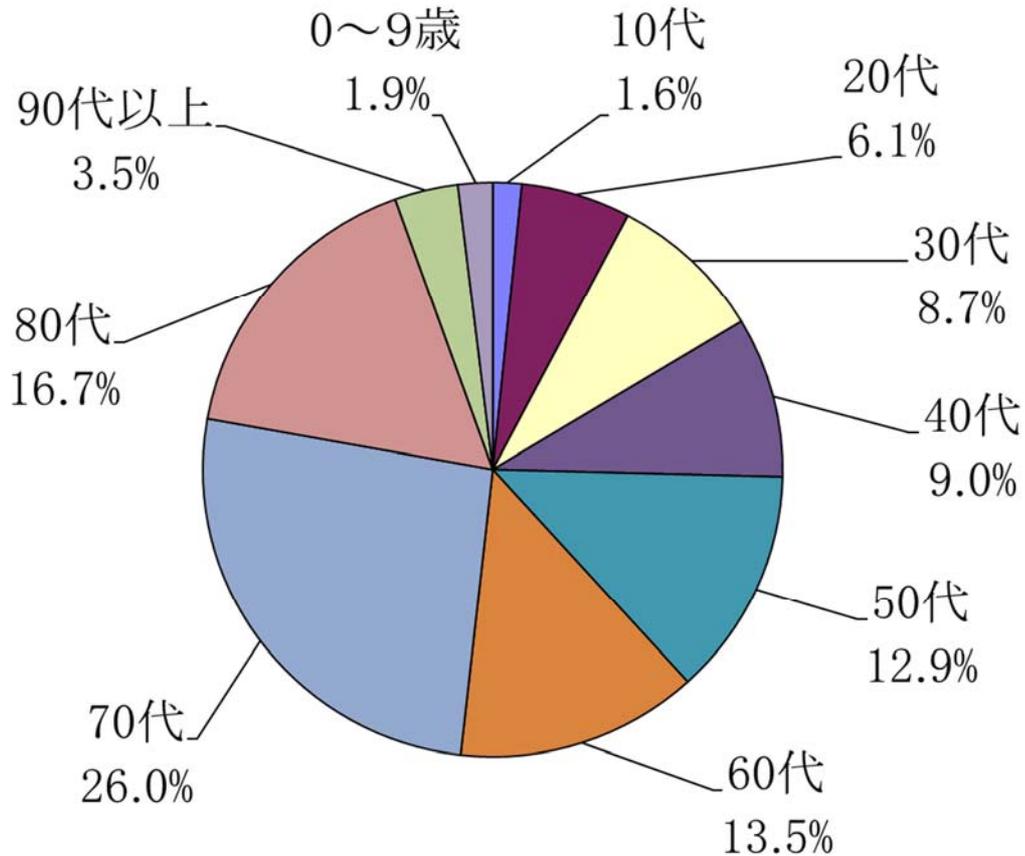
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
男	149	48.1%	94	14	28	29
女	161	51.9%	87	27	40	47
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	5	-	1	0	2	2
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問3 あなたは何歳ですか。(令和5年4月1日現在)

【回答数 311人】



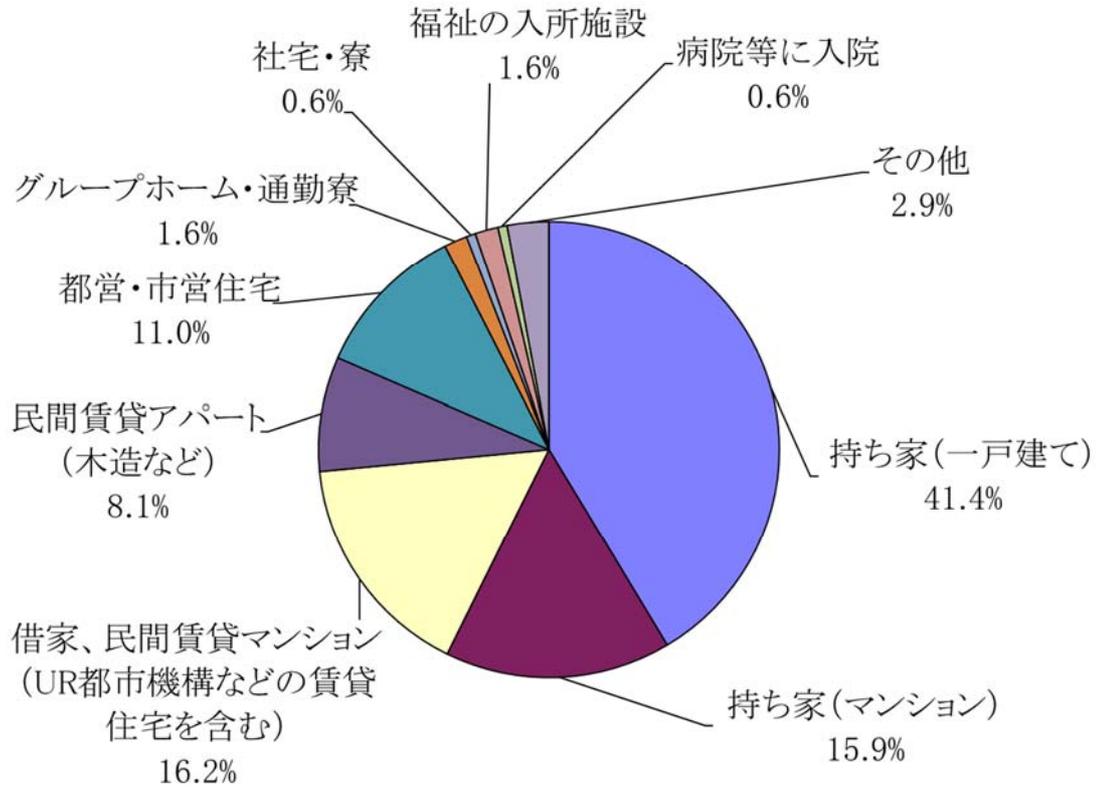
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
0～9歳	6	1.9%	1	3	2	2
10代	5	1.6%	0	2	3	2
20代	19	6.1%	4	13	7	9
30代	27	8.7%	4	7	15	16
40代	28	9.0%	6	5	16	16
50代	40	12.9%	16	4	15	16
60代	42	13.5%	28	1	7	9
70代	81	26.0%	67	3	4	6
80代	52	16.7%	44	2	0	1
90代以上	11	3.5%	11	0	1	1
無回答	4	-	1	1	0	0
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 4 現在のお住まいは、次のどれに当たりますか。

【回答数 309 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
持ち家(一戸建て)	128	41.4%	74	16	25	27
持ち家(マンション)	49	15.9%	31	4	8	11
借家、民間賃貸マンション (UR 都市機構などの賃貸住宅を含む)	50	16.2%	29	4	18	18
民間賃貸アパート (木造など)	25	8.1%	10	5	9	11
都営・市営住宅	34	11.0%	23	5	6	7
グループホーム・通勤寮	5	1.6%	2	3	0	1
社宅・寮	2	0.6%	0	2	0	0
福祉の入所施設	5	1.6%	2	1	2	2
病院等に入院	2	0.6%	2	0	1	0
その他	9	2.9%	8	0	0	0
無回答	6	-	1	1	1	1
合計	315	100.0%	182	41	70	78

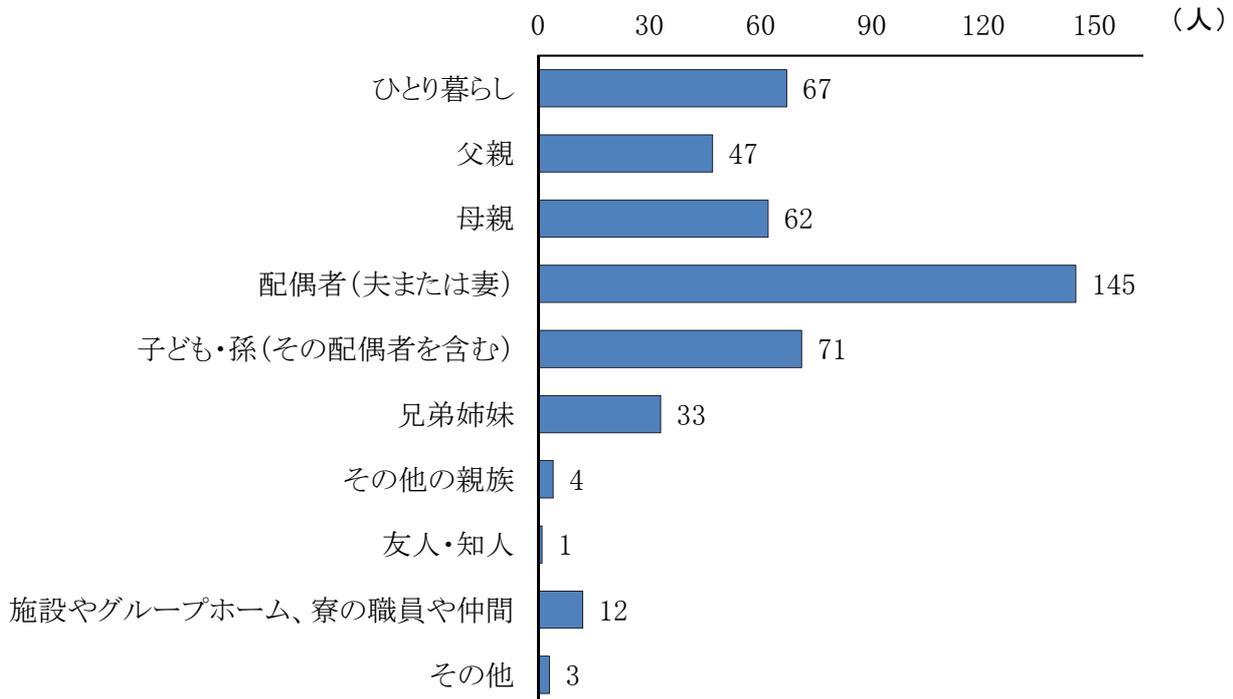
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 老人ホーム。 (男性、90代、身体)
- サービス付き高齢者住宅。 (男性、70代、身体)

問 5 今、あなたと一緒に暮らしているのは、どなたですか。(複数回答可)

【回答数 311 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ひとり暮らし	67	21.5%	45	4	16	18
父親	47	15.1%	6	21	20	22
母親	62	19.9%	12	28	22	25
配偶者(夫または妻)	145	46.6%	98	4	22	26
子ども・孫(その配偶者を含む)	71	22.8%	48	1	12	14
兄弟姉妹	33	10.6%	5	17	14	15
その他の親族	4	12.9%	0	0	3	3
友人・知人	1	0.3%	0	0	1	1
施設やグループホーム、寮の職員や仲間	12	3.9%	7	4	2	3
その他	3	1.0%	1	1	2	2
無回答	4	-	1	0	0	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

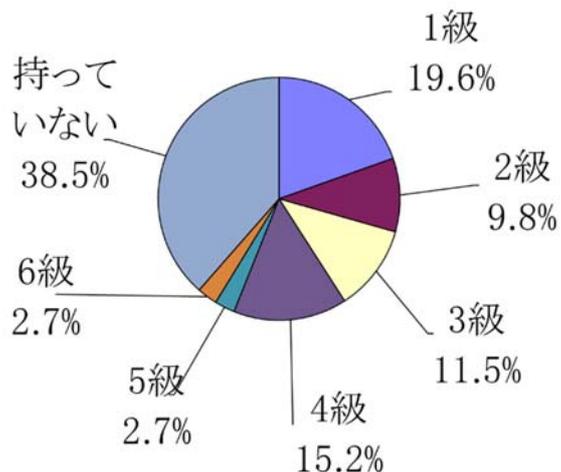
【その他回答の主な内容】

- 祖母。 (女性、30代、精神)

Ⅱ 障害の状況などについて

問 6 あなたは身体障害者手帳を持っていますか。その等級は、どれですか。

【回答数 296 人】

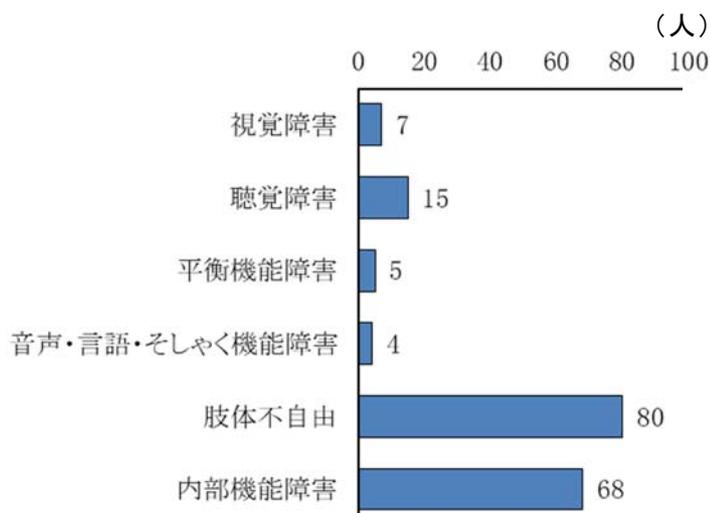


選択項目	人数	構成比
1 級	58	19.6%
2 級	29	9.8%
3 級	34	11.5%
4 級	45	15.2%
5 級	8	2.7%
6 級	8	2.7%
持っていない	114	38.5%
無回答	19	-
合計	315	100.0%

問 6-1 身体障害者手帳をお持ちの方(問6で1～6と答えた方)におききます。

次のうち、障害はどれですか。(複数回答可)

【回答数 164 人】

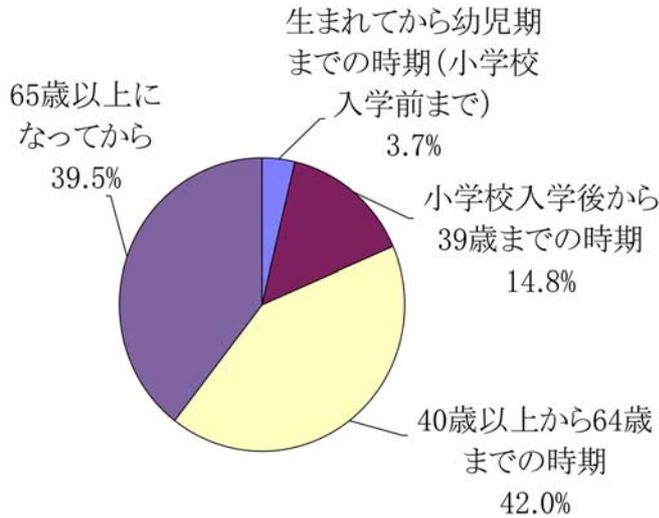


選択項目	人数	構成比
視覚障害	7	4.3%
聴覚障害	15	9.1%
平衡機能障害	5	3.0%
音声・言語・そしゃく機能障害	4	2.4%
肢体不自由	80	48.8%
内部機能障害	68	41.5%
無回答	18	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

**問 6-2 身体障害者手帳をお持ちの方(問6で1~6と答えた方)におききします。
身体障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。**

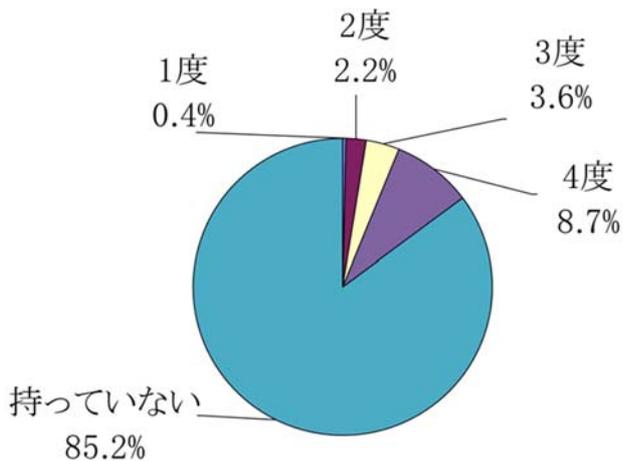
【回答数 162 人】



選択項目	人数	構成比
生まれてから幼児期までの時期(小学校入学前まで)	6	3.7%
小学校入学後から39歳までの時期	24	14.8%
40歳以上から64歳までの時期	68	42.0%
65歳以上になってから	64	39.5%
無回答	20	-
合計	182	100.0%

問 7 あなたは愛の手帳(療育手帳)を持っていますか。その程度は、どれですか。

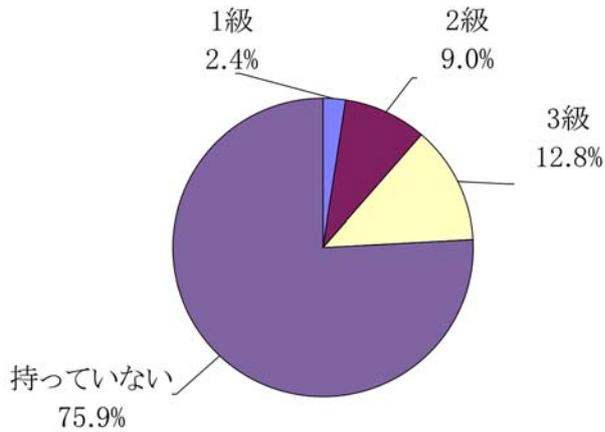
【回答数 277 人】



選択項目	人数	構成比
1度	1	0.4%
2度	6	2.2%
3度	10	3.6%
4度	24	8.7%
持っていない	236	85.2%
無回答	38	-
合計	315	100.0%

問 8 あなたは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。その等級は、どれですか。

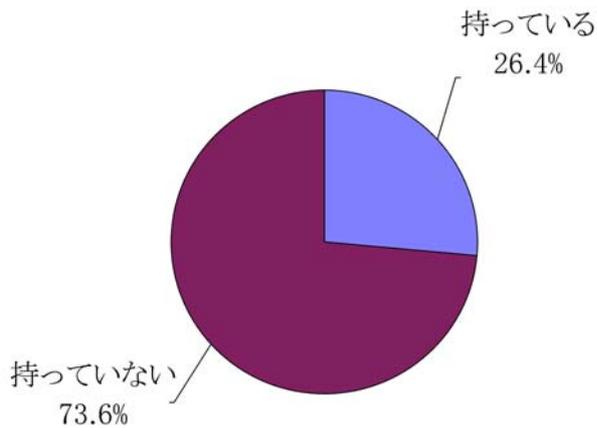
【回答数 290 人】



選択項目	人数	構成比
1 級	7	2.4%
2 級	26	9.0%
3 級	37	12.8%
持っていない	220	75.9%
無回答	25	-
合計	315	100.0%

問 9 あなたは自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証を持っていますか。

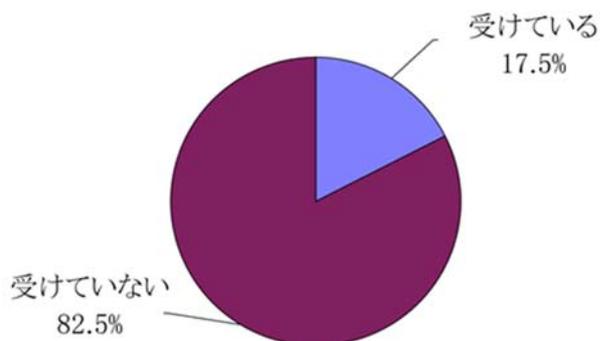
【回答数 295 人】



選択項目	人数	構成比
持っている	78	26.4%
持っていない	217	73.6%
無回答	20	-
合計	315	100.0%

問 10 あなたは難病(指定難病)の認定を受けていますか。

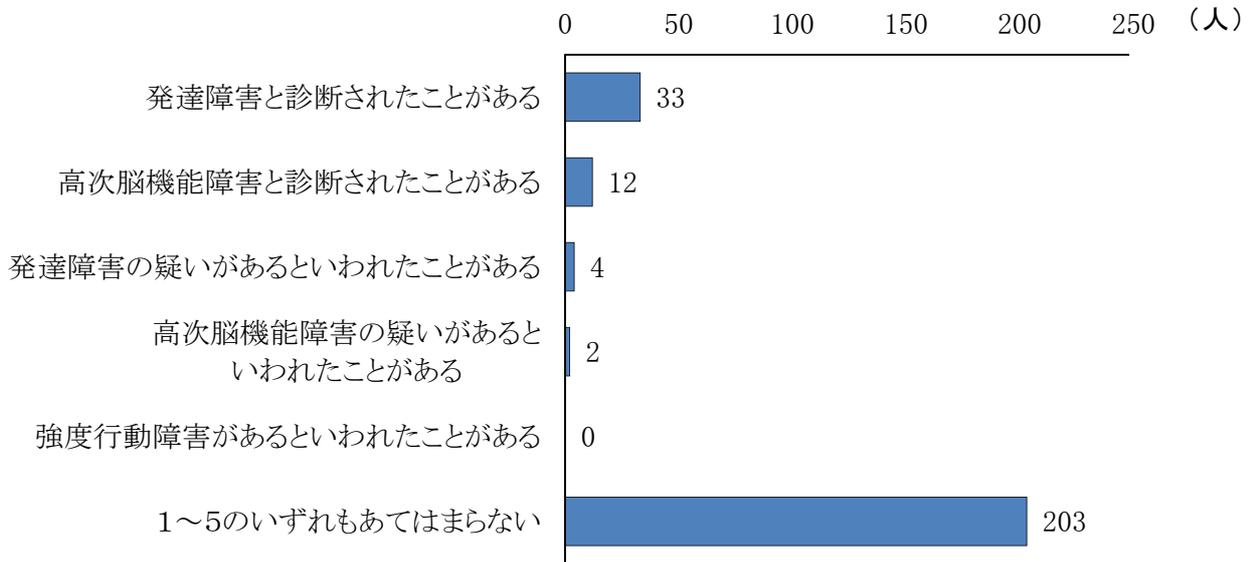
【回答数 297 人】



選択項目	人数	構成比
受けている	52	17.5%
受けていない	245	82.5%
無回答	18	-
合計	315	100.0%

問 11 あなたは次のような診断等をされたことがありますか。(複数回答可)

【回答数 251 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
発達障害と診断されたことがある	33	13.1%	2	15	20	21
高次脳機能障害と診断されたことがある	12	4.8%	7	1	6	5
発達障害の疑いがあるといわれたことがある	4	1.6%	1	1	2	2
高次脳機能障害の疑いがあるといわれたことがある	2	0.8%	2	0	0	0
強度行動障害があるといわれたことがある	0	0.0%	0	0	0	0
1～5のいずれもあてはまらない	203	80.9%	130	15	27	31
無回答	64	-	41	10	18	21

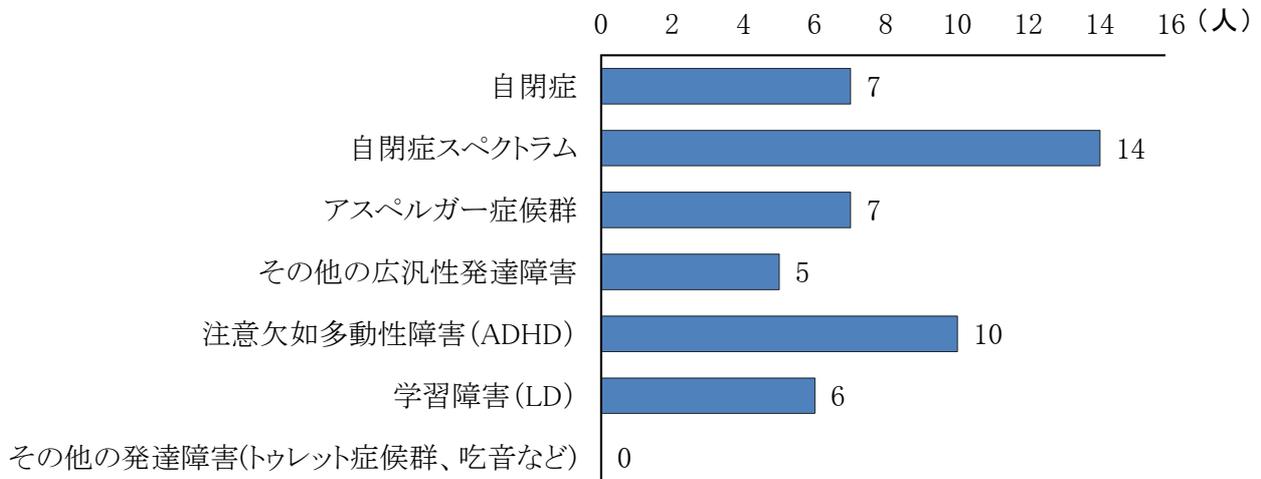
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 11-1 発達障害と診断されたことがある方におききます。

診断されたのは次のどれですか。（複数回答可）

【回答数 33人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
自閉症	7	21.2%	1	7	1	3
自閉症スペクトラム	14	42.4%	1	4	10	9
アスペルガー症候群	7	21.2%	0	1	6	6
その他の広汎性発達障害	5	15.2%	1	2	4	3
注意欠如多動性障害 (ADHD)	10	30.3%	1	3	7	7
学習障害 (LD)	6	18.2%	1	4	2	3
その他の発達障害 (トゥレット症候群、吃音など)	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	-	0	0	0	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

問 11-2 高次脳機能障害と診断されたことがある方におききます。

差し支えなければ、診断された「障害の種類（記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害など）」をご記入ください。

【自由記入の主な回答】

- 覚えていません。左側への注意がおろそかになると言われたような。
(男性、50代、身体)
- 言葉が出ない。
(男性、80代、身体)
- 注意、遂行機能、社会的行動。
(女性、40代、精神)

【参考】 重複障害について

1) 身体障害と知的障害の重複障害者数

		愛の手帳				
		1 度	2 度	3 度	4 度	計
身体障害者手帳	1 級	1	0	0	0	1
	2 級	0	1	1	0	2
	3 級	0	0	2	0	2
	4 級	0	0	0	6	6
	5 級	0	0	0	0	0
	6 級	0	0	0	0	0
	計	1	1	3	6	11

2) 身体障害と精神障害の重複障害者数

		精神障害者保健福祉手帳			
		1 級	2 級	3 級	計
身体障害者手帳	1 級	2	0	0	2
	2 級	0	3	0	3
	3 級	0	0	2	2
	4 級	0	1	0	1
	5 級	0	0	0	0
	6 級	0	0	0	0
	計	2	4	2	8

3) 知的障害と精神障害の重複障害者数

		精神障害者保健福祉手帳			
		1 級	2 級	3 級	計
愛の手帳	1 度	0	0	0	0
	2 度	0	0	0	0
	3 度	0	0	0	0
	4 度	0	3	0	3
	合計	0	3	0	3

4) 難病と身体障害の重複障害者数

	身体障害者手帳						
	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
特定医療費(指定難病)受給者証	6	5	3	1	0	0	15

5) 難病と知的障害の重複障害者数

	愛の手帳				
	1 度	2 度	3 度	4 度	計
特定医療費(指定難病)受給者証	1	0	1	0	2

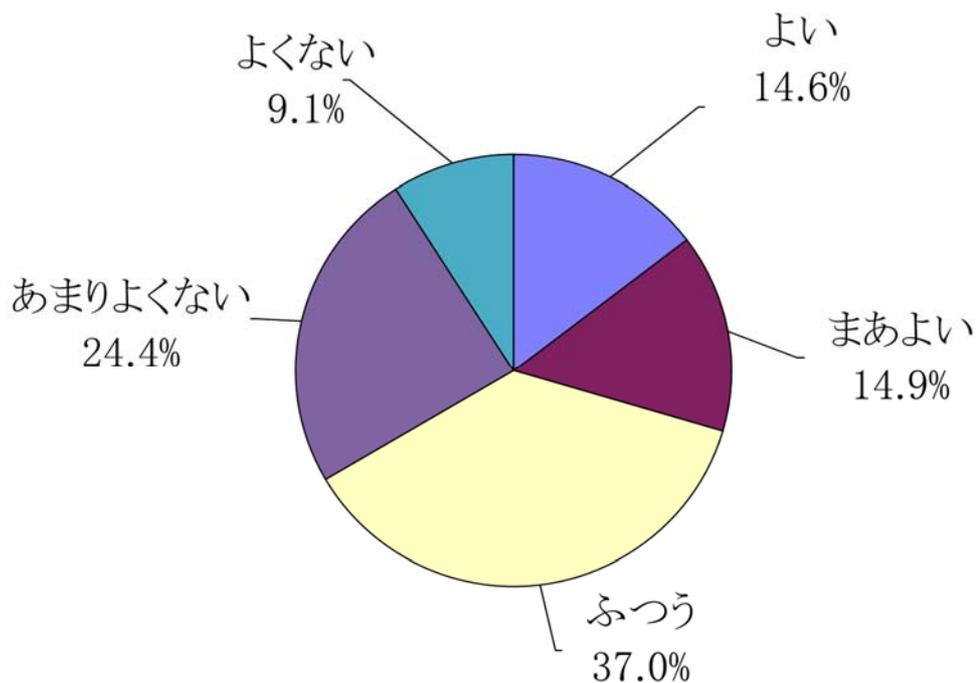
6) 難病と精神障害の重複障害者数

	精神障害者保健福祉手帳			
	1 級	2 級	3 級	計
特定医療費(指定難病)受給者証	0	0	1	1

Ⅲ 健康状態や医療について

問 12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

【回答数 308 人】



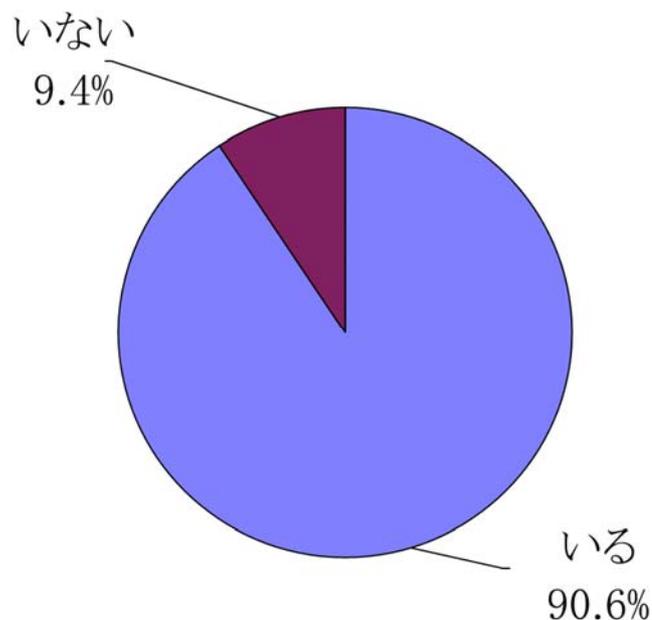
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
よい	45	14.6%	19	18	11	10
まあよい	46	14.9%	26	3	8	8
ふつう	114	37.0%	74	10	20	22
あまりよくない	75	24.4%	43	7	19	26
よくない	28	9.1%	15	1	11	10
無回答	7	-	5	2	1	2
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 13-1 健康相談や治療をしてくれる身近な医師(かかりつけ医)はいますか。

【回答数 310 人】



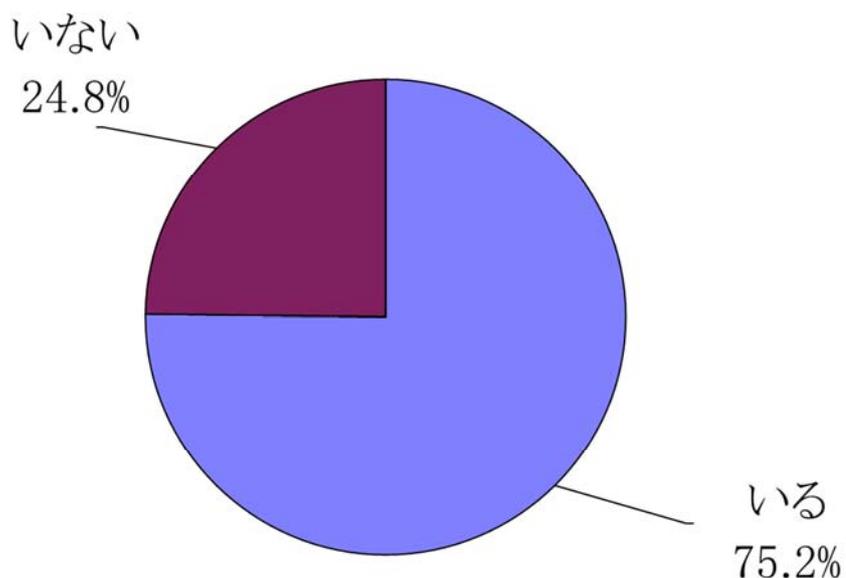
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
いる	281	90.6%	166	34	63	71
いない	29	9.4%	12	7	7	7
無回答	5	-	4	0	0	0
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 13-2 健康相談や治療をしてくれる身近な歯科医(かかりつけ歯科医)はいますか。

【回答数 290 人】



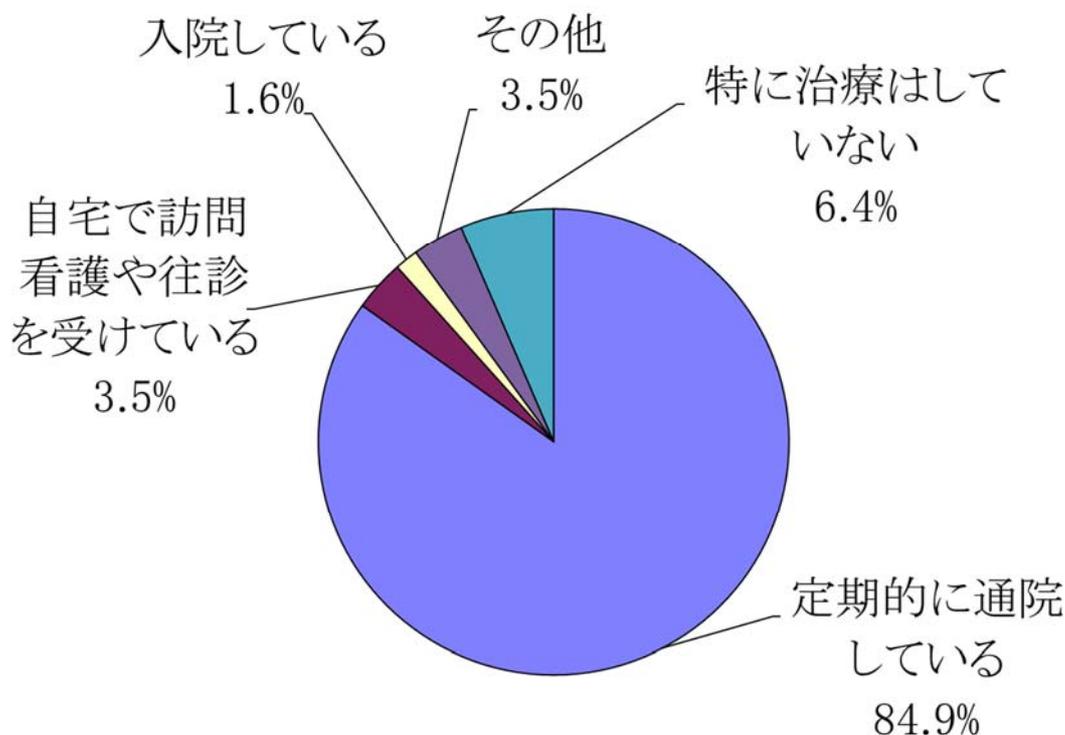
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
いる	218	75.2%	125	30	50	54
いない	72	24.8%	41	6	16	18
無回答	25	-	16	5	4	6
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 14 現在、医師の治療を受けていますか。

【回答数 311 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
定期的に通院している	264	84.9%	147	32	60	69
自宅で訪問看護や往診を受けている	11	3.5%	9	0	3	3
入院している	5	1.6%	4	0	1	0
その他	11	3.5%	8	1	2	2
特に治療はしていない	20	6.4%	13	8	3	3
無回答	4	-	1	0	1	1
合計	315	100.0%	182	41	70	78

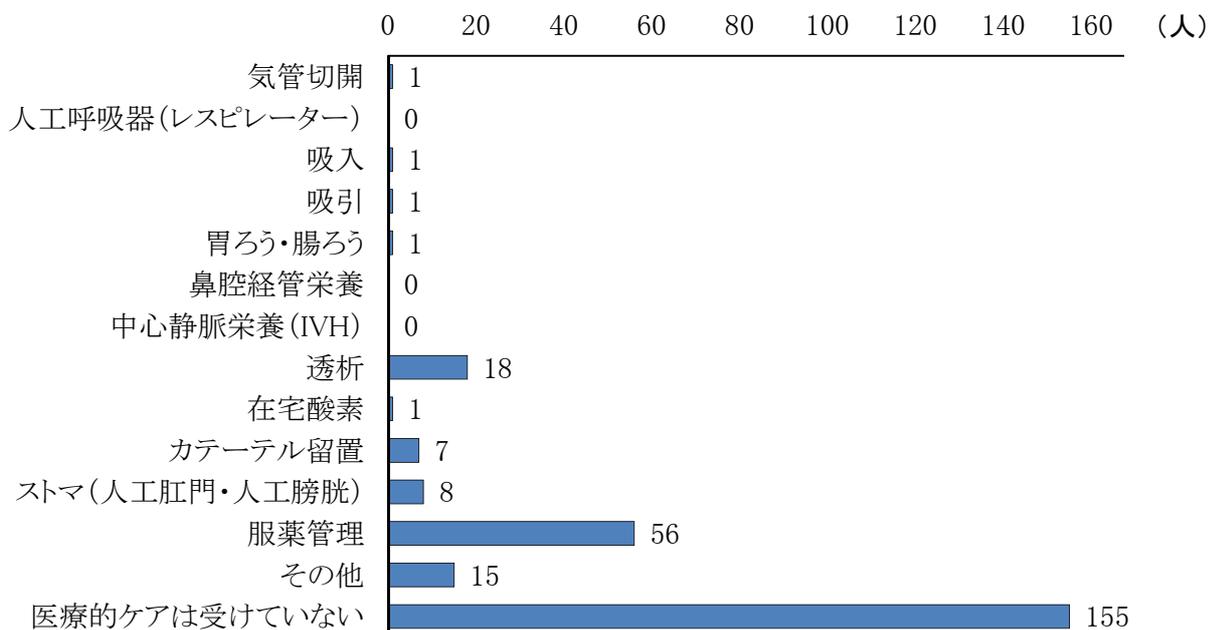
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 有料老人ホーム内で治療を受けている。 (男性、90代、身体)
- 年に1度、手帳の更新などで手続きに書類が必要な時。 (女性、40代、精神)

問 15 あなたは、現在、次のような医療的ケアを受けていますか。(複数回答可)

【回答数 254 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
気管切開	1	0.4%	1	0	0	0
人工呼吸器(レスピレーター)	0	0.0%	0	0	0	0
吸入	1	0.4%	0	0	1	1
吸引	1	0.4%	1	0	0	0
胃ろう・腸ろう	1	0.4%	1	0	0	0
鼻腔経管栄養	0	0.0%	0	0	0	0
中心静脈栄養 (IVH)	0	0.0%	0	0	0	0
透析	18	7.1%	18	0	0	1
在宅酸素	1	0.4%	1	0	0	0
カテーテル留置	7	2.8%	7	1	0	1
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	8	3.1%	8	0	0	0
服薬管理	56	22.0%	33	6	13	14
その他	15	5.9%	11	0	1	1
医療的ケアは受けていない	155	61.0%	70	22	45	47
無回答	61	-	38	12	11	15

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

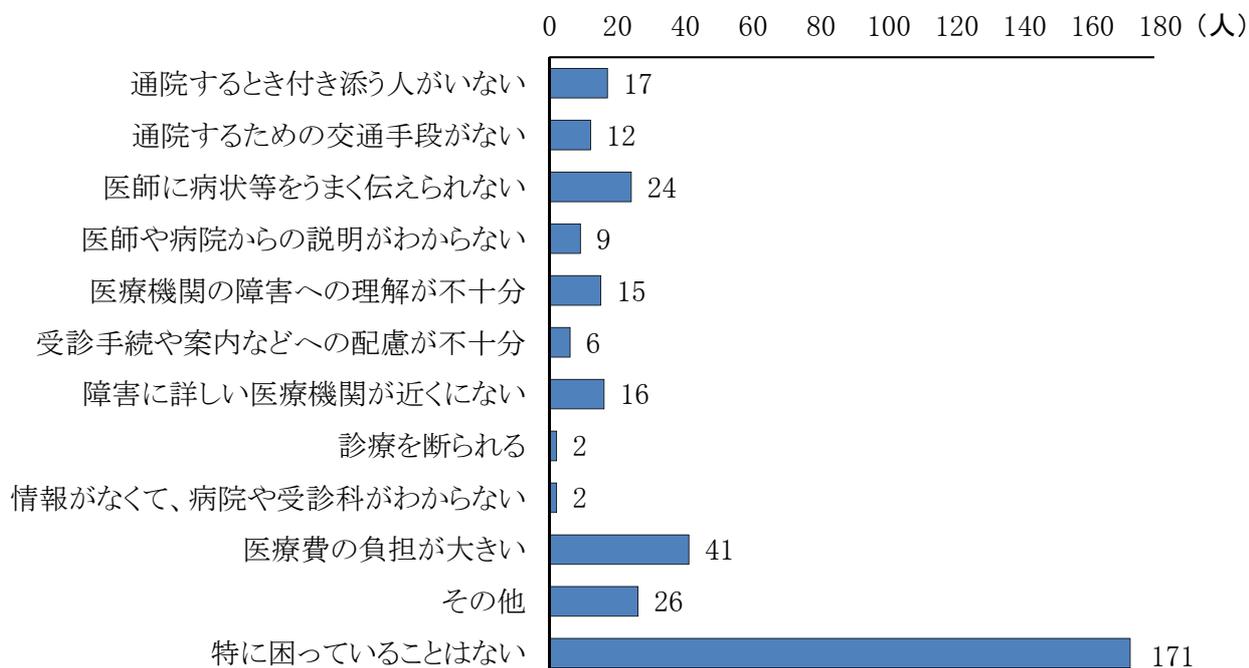
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- ペースメーカー。 (男性、90代、身体)
- CPAP。 (男性、40代、精神)
- ICD。 (男性、70代、身体)
- 点滴。 (女性、50代、難病)
- 年2回レントゲン。骨密度の検査。 (女性、70代、身体)

問 16 あなたは医療について、困っていることがありますか。(複数回答可)

【回答数 283 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
通院するとき付き添う人がいない	17	6.0%	12	1	4	4
通院するための交通手段がない	12	4.2%	6	0	5	5
医師に病状等をうまく伝えられない	24	8.5%	11	5	7	10
医師や病院からの説明がわからない	9	3.2%	5	2	1	4
医療機関の障害への理解が不十分	15	5.3%	6	5	8	7
受診手続や案内などへの配慮が不十分	6	2.1%	2	0	2	2
障害に詳しい医療機関が近くにない	16	5.7%	10	3	4	4
診療を断られる	2	0.7%	1	0	1	1
情報がなくて、病院や受診科がわからない	2	0.7%	2	0	0	0
医療費の負担が大きい	41	14.5%	20	3	13	12
その他	26	9.2%	10	5	11	12
特に関っていることはない	171	60.4%	105	20	29	35
無回答	32	-	22	6	7	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

【通院について】

- 土曜日が通院日（月一）だったのが土曜日にも働かないと収入が足りない。そのため通院が困難になっている。 (男性、40代、精神)
- 体調が悪く、通院が大変な時がある。 (男性、80代、身体)
- 歩行困難な為、通院が大変。 (男性、90代、身体)
- 腰が悪くてタクシーを使っている。 (女性、40代、精神)

【医療機関について】

- 通っている心療内科の主治医がすぐ変わる。 (女性、30代、精神)
- 土曜日に精神科訪問看護をしてくれるところが少ないこと。選択肢が少ない。 (女性、30代、精神)
- 転院を勧められているが見つからない。 (男性、10代、知的)

【治療について】

- 効果のない、逆効果の薬を渡される。 (男性、20代、知的)

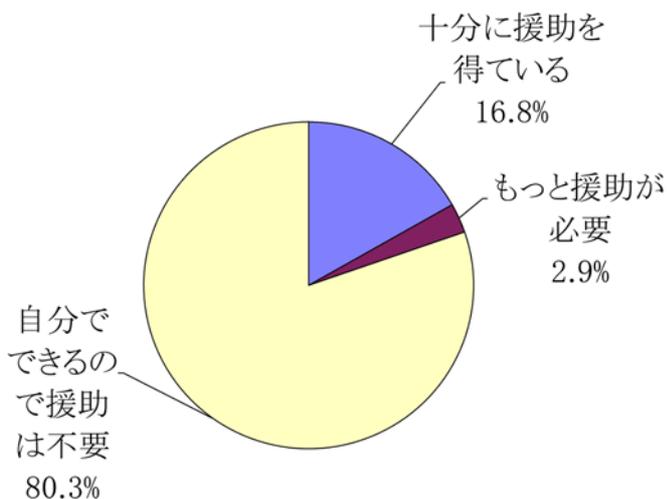
【その他】

- アスベストの手帳が欲しい。 (男性、70代、身体)
- 自費にて付き添いヘルパー。 (男性、70代、身体)

IV 介助・援助の状況について

問 17-1 介助・援助の状況(食事)

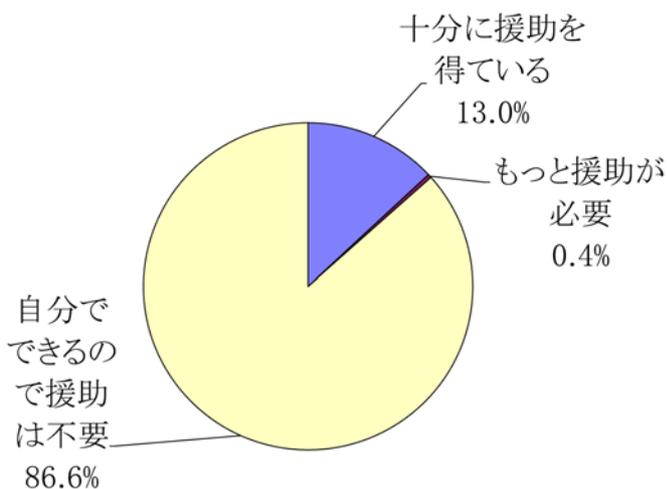
【回答数 274 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	46	16.8%
もっと援助が必要	8	2.9%
自分のできるので援助は不要	220	80.3%
無回答	41	-
合計	315	100.0%

問 17-2 介助・援助の状況(トイレ)

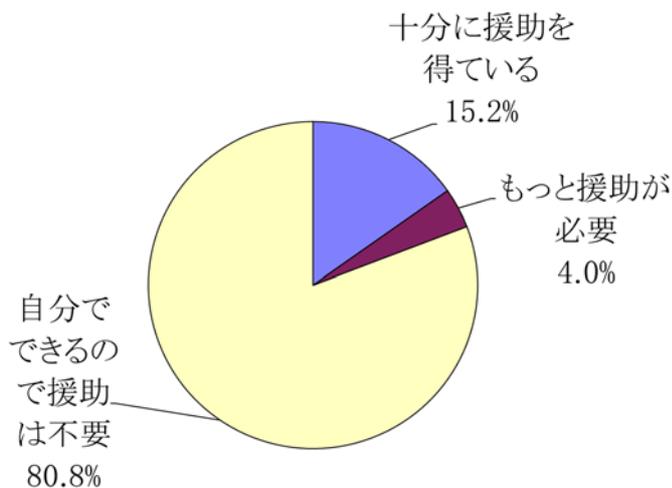
【回答数 276 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	36	13.0%
もっと援助が必要	1	0.4%
自分のできるので援助は不要	239	86.6%
無回答	39	-
合計	315	100.0%

問 17-3 介助・援助の状況(入浴)

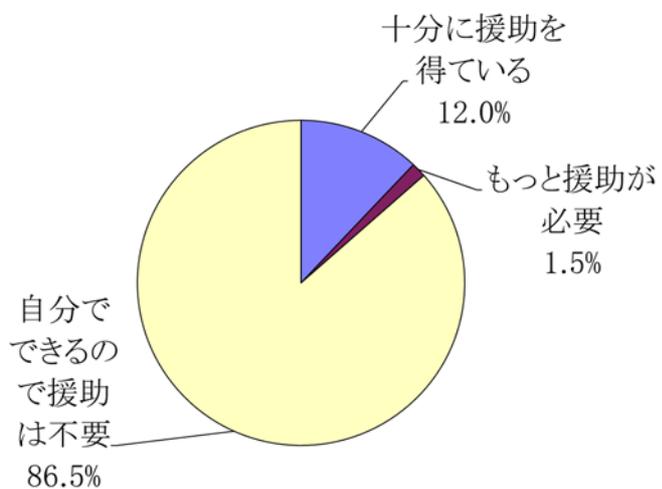
【回答数 276 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	42	15.2%
もっと援助が必要	11	4.0%
自分のできるので援助は不要	223	80.8%
無回答	39	-
合計	315	100.0%

問 17-4 介助・援助の状況(衣服の着脱)

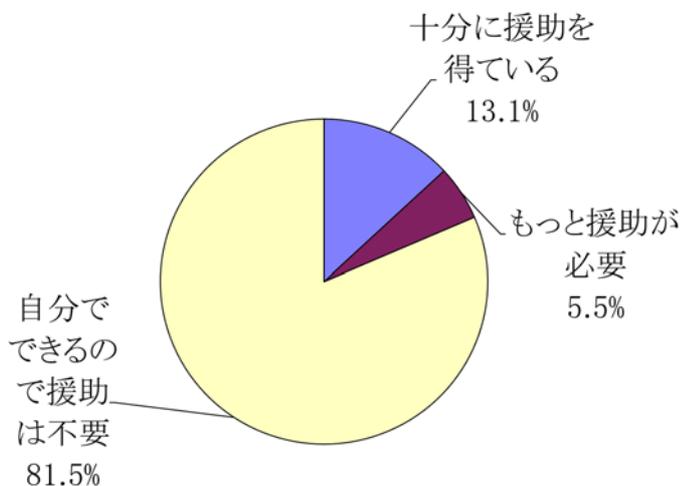
【回答数 274 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	33	12.0%
もっと援助が必要	4	1.5%
自分のできるので援助は不要	237	86.5%
無回答	41	-
合計	315	100.0%

問 17-5 介助・援助の状況(身だしなみを整える)

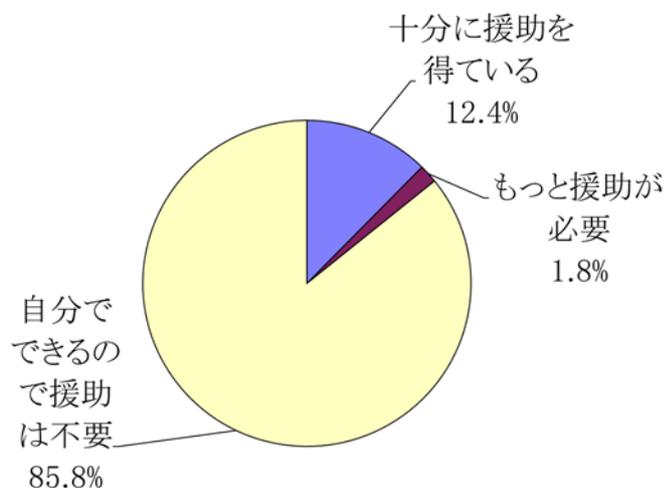
【回答数 275 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	36	13.1%
もっと援助が必要	15	5.5%
自分のできるので援助は不要	224	81.5%
無回答	40	-
合計	315	100.0%

問 17-6 介助・援助の状況(家の中の移動)

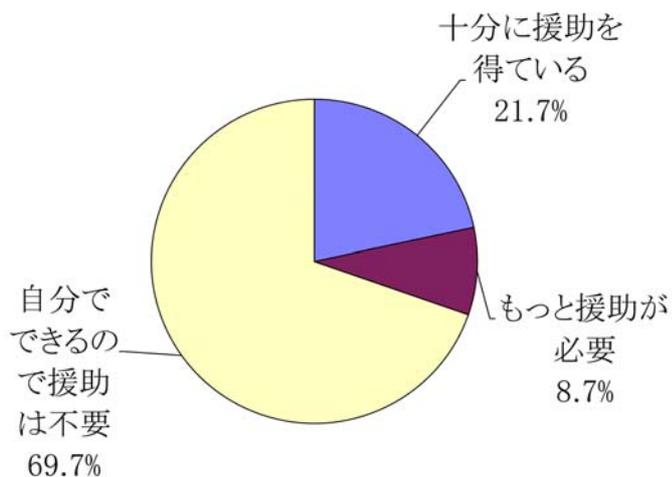
【回答数 275 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	34	12.4%
もっと援助が必要	5	1.8%
自分のできるので援助は不要	236	85.8%
無回答	40	-
合計	315	100.0%

問 17-7 介助・援助の状況(外出)

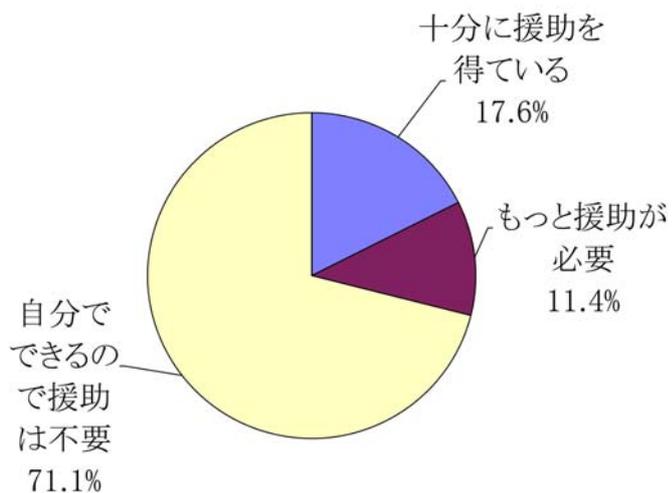
【回答数 277 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	60	21.7%
もっと援助が必要	24	8.7%
自分のできるので援助は不要	193	69.7%
無回答	38	-
合計	315	100.0%

問 17-8 介助・援助の状況(人とのコミュニケーション)

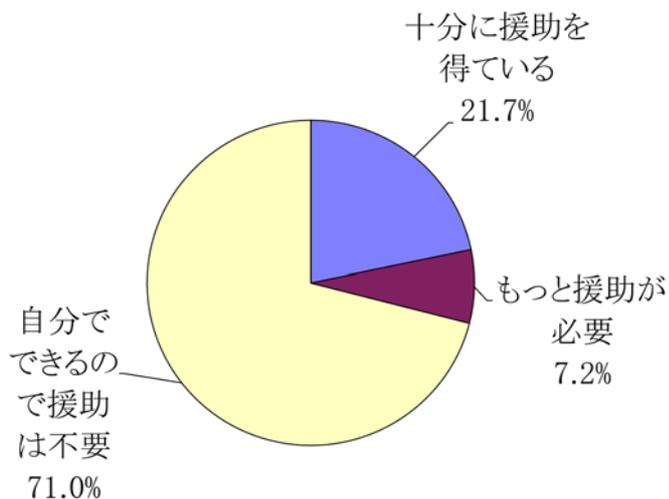
【回答数 273 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	48	17.6%
もっと援助が必要	31	11.4%
自分のできるので援助は不要	194	71.1%
無回答	42	-
合計	315	100.0%

問 17-9 介助・援助の状況(お金の管理)

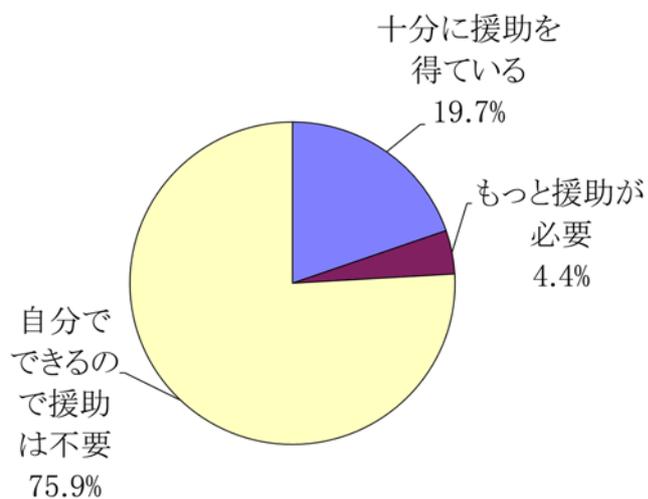
【回答数 276 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	60	21.7%
もっと援助が必要	20	7.2%
自分でできるので援助は不要	196	71.0%
無回答	39	-
合計	315	100.0%

問 17-10 介助・援助の状況(服薬の管理)

【回答数 274 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	54	19.7%
もっと援助が必要	12	4.4%
自分でできるので援助は不要	208	75.9%
無回答	41	-
合計	315	100.0%

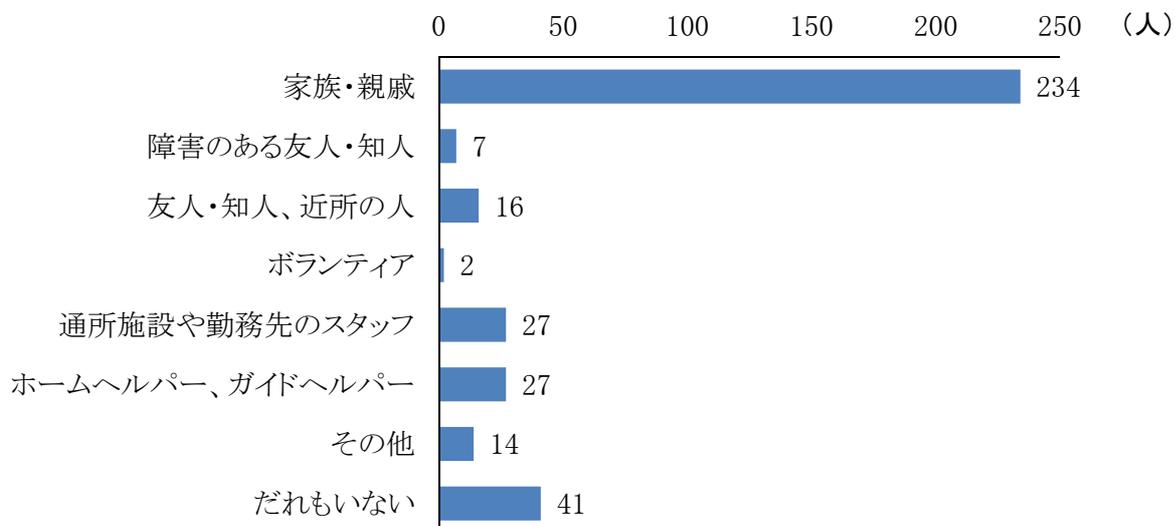
問 17-11 その他、援助が不足していることについて

【自由記入の主な回答】

- アトピー等、綺麗事では終わらせない。皮膚炎、非定型への東京から郊外（立川市）への理解等。
(男性、20代、知的・精神)
- 足が痛いので買い物ができない。(妻が歩行出来ない為) 電動車イスなど補助してもらいたい。
(男性、90代、身体)
- 難聴があるが補聴器補助の対象ではないので、コミュニケーションが難しく、将来の認知症リスクが心配。家族とも話が出来ないことが増えた。日本の福祉は素晴らしく安心できるが時々、新興国以下の基準がある。
(女性、40代、身体・精神)
- 家庭内で理解されない事が多くツライ。
(女性、40代、精神)
- 食費。
(男性、50代、精神)
- 膝関節痛、脊椎管狭窄症の為、歩行が辛いのでタクシー費用が（支給されているが）足りない。2～3倍欲しい。
(男性、80代、身体)
- 生活費。
(男性、40代、精神)
- 主人の介護をしている為、買い物に思うように出られない、運動不足。
(女性、60代、身体)
- 医療機関以外での生活困り事の相談相手。
(男性、60代、身体)
- 不安定な雇用なので就労情報がほしい。
(女性、30代、精神)
- 家の中の片づけ、掃除、草取り。
(女性、70代、身体)
- 屋内の清掃。物が散乱している。
(男性、50代、精神)
- 生活費が足りない。実家を頼れないため。
(女性、30代、精神)
- 居場所、コミュニティへの参加。
(女性、30代、精神)
- ヘルパーさんに頼めない家事を手伝ってほしい。エアコンのフィルター清掃とか。
(女性、70代、精神)
- 同居している家族がいると、その家族がいない時間の援助を受けること(居宅)が難しい。
(女性、40代、精神)

問 18 日常生活で介助や援助が必要なとき、支援してくれる方はだれですか。（複数回答可）

【回答数 301 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族・親戚	234	77.7%	130	32	51	57
障害のある友人・知人	7	2.3%	3	1	3	4
友人・知人、近所の人	16	5.3%	8	2	6	5
ボランティア	2	0.7%	2	0	0	0
通所施設や勤務先のスタッフ	27	9.0%	6	9	13	15
ホームヘルパー、ガイドヘルパー	27	9.0%	18	2	5	6
その他	14	4.7%	7	2	5	5
だれもない	41	13.6%	23	6	10	11
無回答	14	-	13	2	3	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

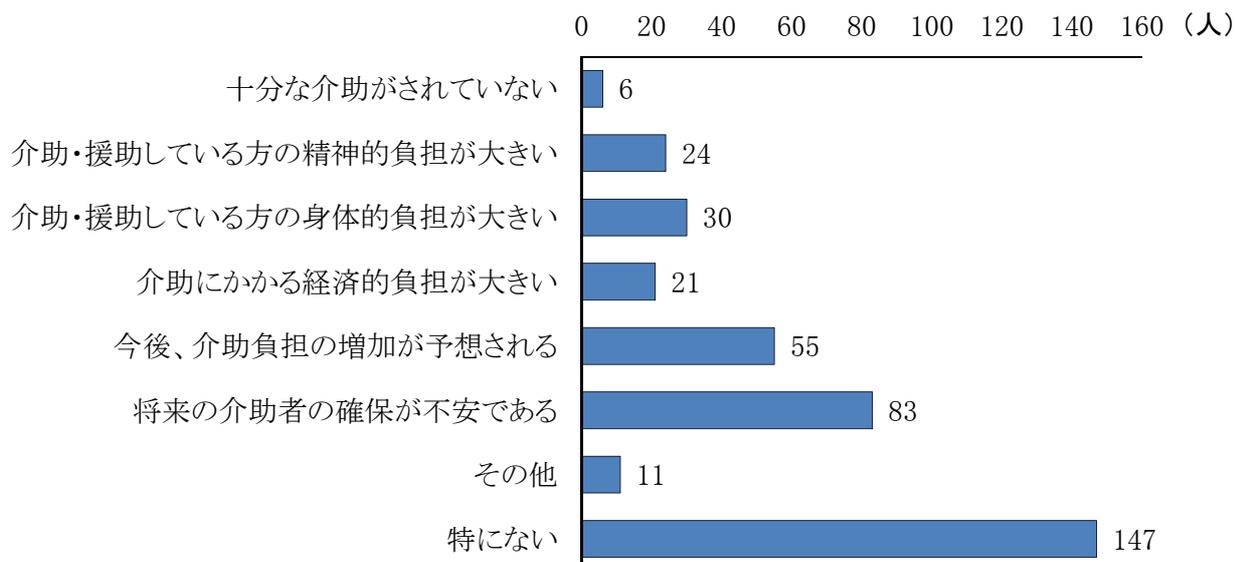
* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- グループホームの世話人。 (女性、40代、知的)
- 訪問看護。 (男性、40代、精神)
- 訪問スタッフ、ケアマネジャー。 (女性、70代、身体)
- 施設職員。 (女性、60代、知的)
- 社会福祉協議会。 (男性、70代、身体)
- 相談支援事業所の方。 (女性、40代、精神)

問 19 あなたの介助にかかわる主な問題点は何ですか。(〇は3つまで)

【回答数 284 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
十分な介助がされていない	6	2.1%	4	1	2	2
介助・援助している方の精神的負担が大きい	24	8.5%	11	6	7	7
介助・援助している方の身体的負担が大きい	30	10.6%	21	4	4	2
介助にかかる経済的負担が大きい	21	7.4%	10	3	8	8
今後、介助負担の増加が予想される	55	19.4%	35	5	10	13
将来の介助者の確保が不安である	83	29.2%	42	14	24	28
その他	11	3.9%	4	2	4	4
特にない	147	51.8%	82	18	26	31
無回答	31	-	26	4	7	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

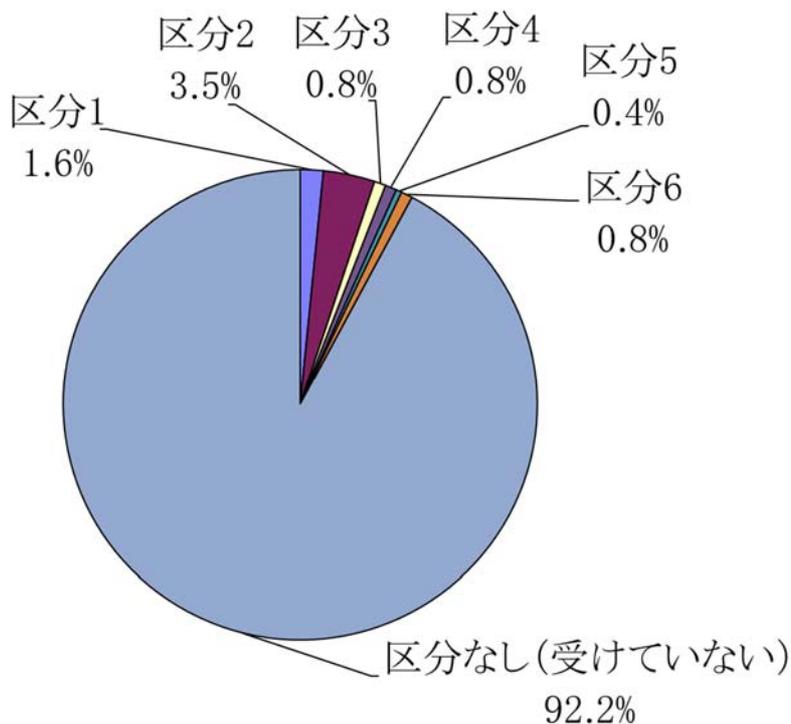
【その他回答の主な内容】

- パニック発作等、突然気分を害することがあるため、1人で充分でも出先で突然介助が必要になることがあるのが怖い。 (女性、30代、知的)
- お金。 (女性、30代、精神)
- 援助してもらえないまでの負担が大きい。 (女性、30代、精神)

V 福祉サービスの利用について

問 20 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。受けている場合、区分はどれですか。

【回答数 256 人】

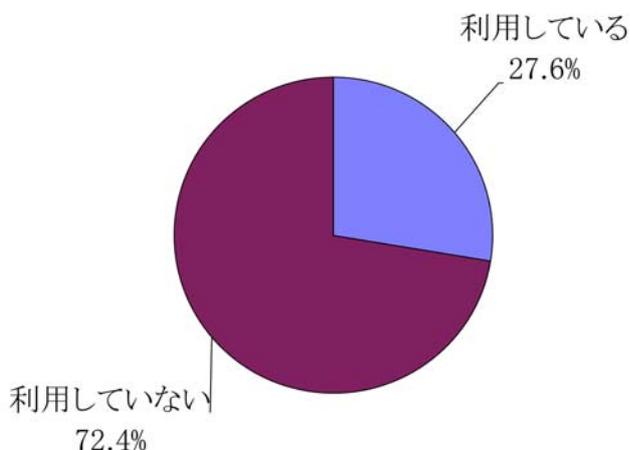


【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
区分1	4	1.6%	1	1	0	0
区分2	9	3.5%	3	2	3	4
区分3	2	0.8%	1	0	1	1
区分4	2	0.8%	2	0	0	0
区分5	1	0.4%	0	1	0	0
区分6	2	0.8%	1	2	0	0
区分なし	236	92.2%	130	27	53	59
無回答	59	-	44	8	13	14
合計	315	100.0%	182	41	70	78

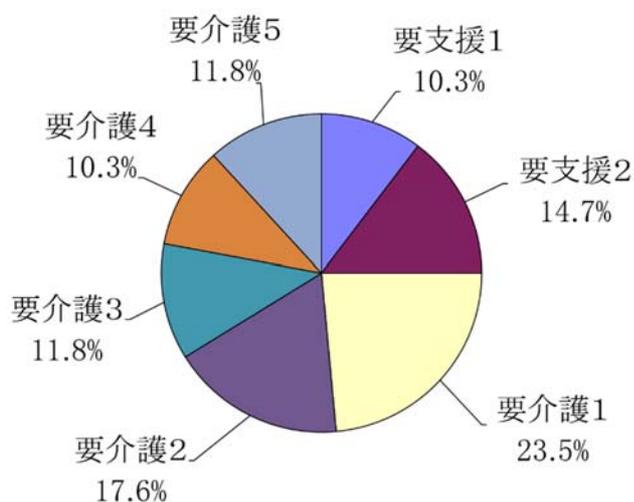
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 21 40 歳以上の方におききます。
あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。
 【回答数 250 人】



選択項目	人数	構成比
利用している	69	27.6%
利用していない	181	72.4%
無回答	65	-
合計	315	100.0%

問 21-1 問 21 で「1 利用している」と答えた方におききます。
該当する要介護度はどれですか。
 【回答数 68 人】



選択項目	人数	構成比
要支援1	7	10.3%
要支援2	10	14.7%
要介護1	16	23.5%
要介護2	12	17.6%
要介護3	8	11.8%
要介護4	7	10.3%
要介護5	8	11.8%
無回答	1	-
合計	69	100.0%

問 22 あなたは次のサービスを利用していますか。それぞれについて、現在利用しているかどうか、利用していない場合はその理由はどれですか。

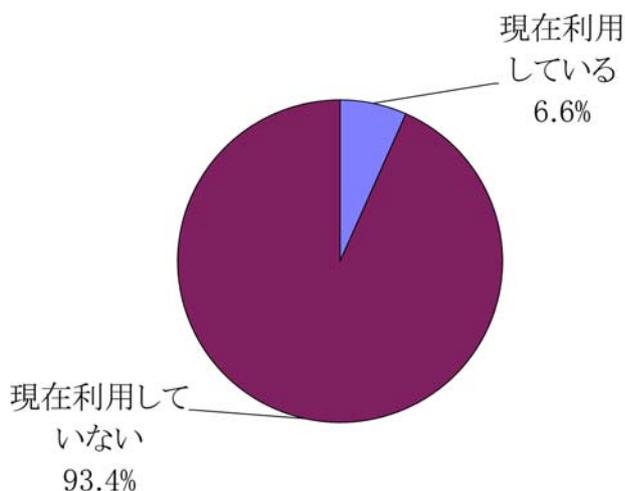
① 【ホームヘルプなどのサービス】

ホームヘルパーなどが、自宅での介助(入浴や家事等)や、外出の際の支援を行うサービスを利用していますか。

※居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援といった訪問系サービスが該当します。

※移動支援(ガイドヘルパー)は除きます。

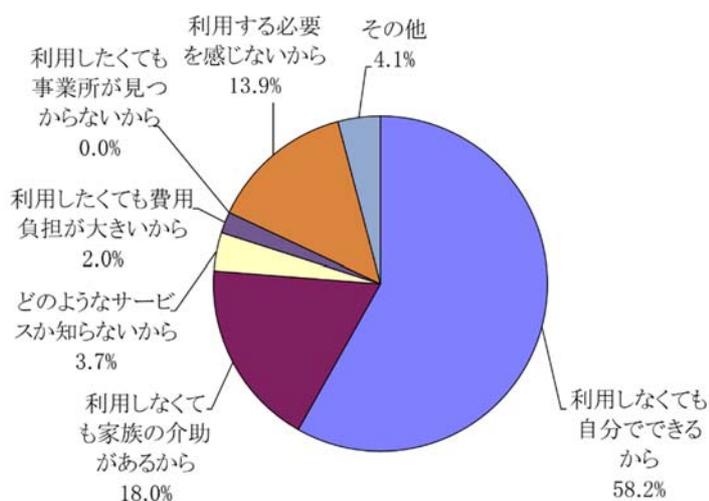
【回答数 301 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	20	6.6%
現在利用していない	281	93.4%
無回答	14	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 244 人】



選択項目	人数	構成比
利用しなくても自分のできるから	142	58.2%
利用しなくても家族の介助があるから	44	18.0%
どのようなサービスか知らないから	9	3.7%
利用したくても費用負担が大きいから	5	2.0%
利用したくても事業所が見つからないから	0	0.0%
利用する必要を感じないから	34	13.9%
その他	10	4.1%
無回答	37	-
合計	281	100.0%

【その他回答の主な内容】

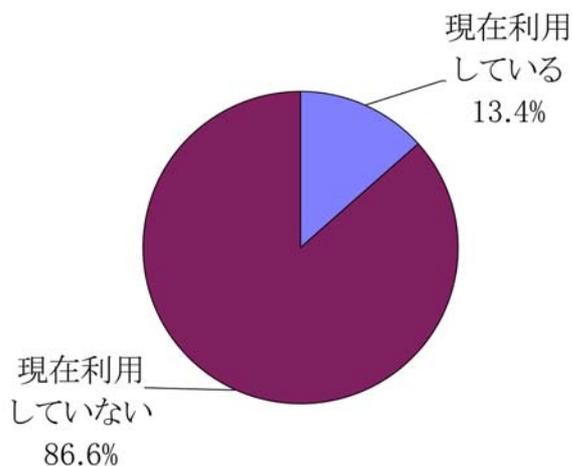
- 老人ホームに入所している。 (女性、90代、身体)
- まだ大丈夫だと思っている。 (女性、70代、身体・知的)
- 対象が個人だとかえって家族が困る（食事、外出など）。 (女性、40代、身体・精神)
- 入院している為。 (男性、50代、身体・精神) (女性、80代、身体)
- 掃除をお願いしたいが、自分の環境では受けるほどではないと言われている。 (男性、40代、精神)
- 福祉施設に入所。 (女性、60代、精神)
- 現在不要、今後必要になるかも。 (男性、70代、身体)

②【日中通所するサービス】

昼間、施設に通うサービスを利用していますか。

※生活介護、就労移行支援、就労継続支援(A型、B型)、自立訓練(機能訓練、生活訓練)といった日中活動系サービスが該当します。

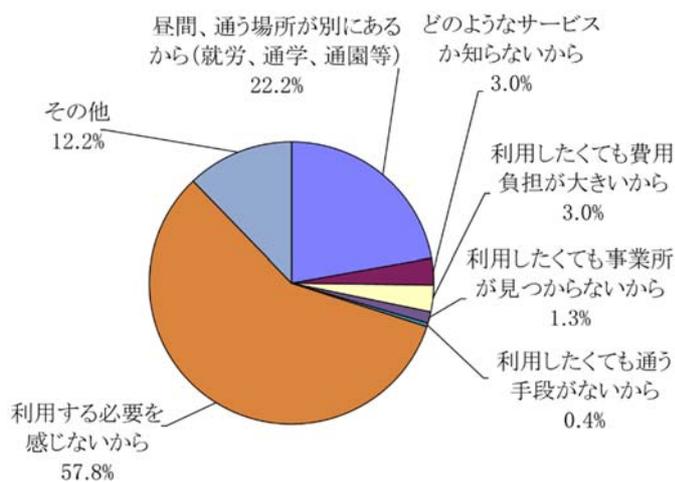
【回答数 298 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	40	13.4%
現在利用していない	258	86.6%
無回答	17	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 230 人】



選択項目	人数	構成比
昼間、通う場所が別にあるから(就労、通学、通園等)	51	22.2%
どのようなサービスか知らないから	7	3.0%
利用したくても費用負担が大きいから	7	3.0%
利用したくても事業所が見つからないから	3	1.3%
利用したくても通う手段がないから	1	0.4%
利用する必要を感じないから	133	57.8%
その他	28	12.2%
無回答	28	-
合計	258	100.0%

【その他回答の主な内容】

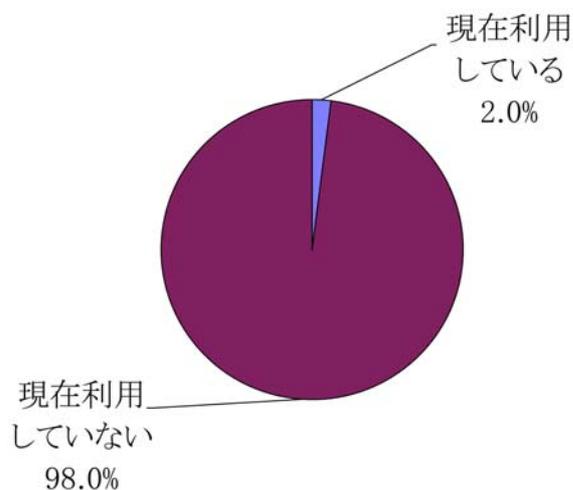
- 遠いので。 (男性、60代、身体)
- 老人ホームにいる。 (女性、90代、身体)
- 入院前まではデイサービスを週2回利用していた。 (男性、70代、難病)
- 利用したくても身体的、精神的に疲れてしまうから。 (男性、30代、精神)
- バイアスを無視して話を進めるから。 (男性、20代、知的)
- デイサービスに行っている。 (女性、80代、身体)
- 利用したくても妻を1人に出来ない(妻はすい臓がん手術後、治療中。大腿骨骨折、インプラント挿入後リハビリ中の為)。 (男性、90代、身体)
- 友達が良く顔を出してくれるから。 (女性、70代、身体・知的)
- 体力がない。 (女性、40代、身体・精神) ほか2名
- 入院している為。 (女性、80代、身体)
- そういう状況ではない(身体が動かない)。 (男性、70代、身体・難病)
- 自宅に居るため。 (女性、50代、知的・精神)
- 利用したいものは移動の為のタクシー代。 (男性、80代、身体)
- 今のところ、家族による介護が十分なので今後は考えていきたい。 (女性、60代、身体)
- 利用したいと思うが、現在2才児を育児中の為、難しい。 (女性、30代、精神・難病)
- コミュニケーションを苦手とし、行く事が不可能です。 (男性、20代、知的・精神)
- 現在不要、今後必要になるかも。 (男性、70代、身体)
- 施設入所中。 (男性、70代、身体)
- 内耳が悪いので外出先でめまいがするため。 (男性、70代、身体)
- 体調の回復。 (男性、50代、身体)
- 自宅から出たり、人と関わったりすることの心理的負荷が高いため(利用しようとした時があったが上手くいかなかった)。 (女性、40代、精神)

③【生活の場(寝泊りする場)のサービス】

グループホームを利用していますか。

※共同生活援助(グループホーム)が該当します。

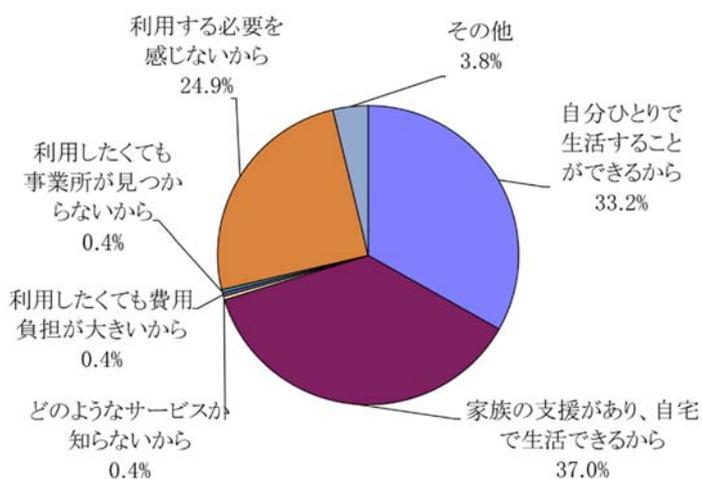
【回答数 299 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	6	2.0%
現在利用していない	293	98.0%
無回答	16	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 265 人】



選択項目	人数	構成比
自分ひとりで生活することができるから	88	33.2%
家族の支援があり、自宅で生活できるから	98	37.0%
どのようなサービスかわからないから	1	0.4%
利用したくても費用負担が大きいから	1	0.4%
利用したくても事業所が見つからないから	1	0.4%
利用する必要を感じないから	66	24.9%
その他	10	3.8%
無回答	28	-
合計	293	100.0%

【その他回答の主な内容】

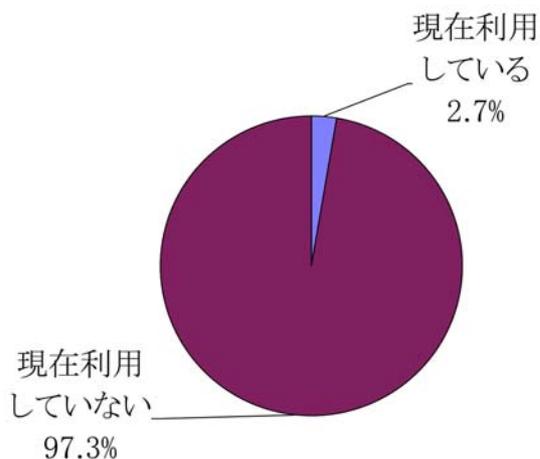
- 老人ホームにいる。 (女性、90代、身体)
- 現在、入院中ですがそれまでは自宅で過ごしていた。 (男性、70代、難病)
- 同調や強要への従いが必須な為。 (男性、20代、知的)
- 人と生活を共有することが苦手なため。 (男性、30代、精神)
- 入院している為。 (男性、50代、身体・精神) (女性、80代、身体)
- 入居した後、音や人への過敏性から不安が強くなり、退居した為。 (女性、30代、精神)
- 不安が強い為 (先の)。 (男性、20代、知的・精神)
- 施設入所中。 (男性、70代、身体)
- 現在ヘルパーで大部分がカバー出来ている。 (男性、70代、身体)

④【生活の場(寝泊りする場)のサービス】

短期入所(ショートステイ)を利用していますか。

※障害のある人が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護等を利用するサービスです。

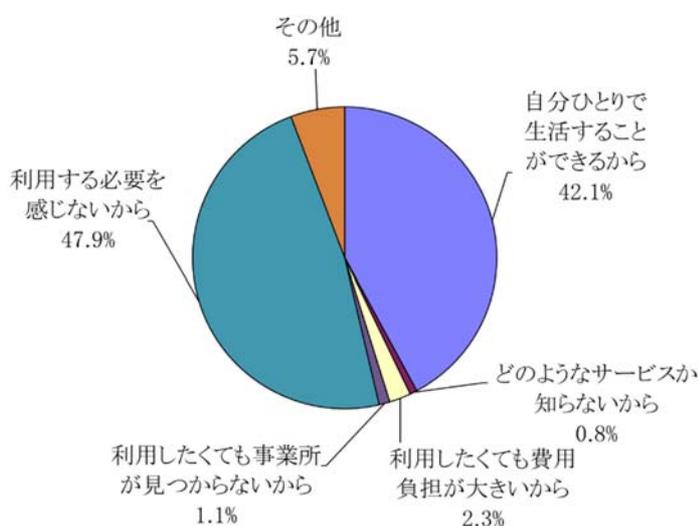
【回答数 298 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	8	2.7%
現在利用していない	290	97.3%
無回答	17	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 261 人】



選択項目	人数	構成比
自分ひとりで生活することができるから	110	42.1%
どのようなサービスか知らないから	2	0.8%
利用したくても費用負担が大きいから	6	2.3%
利用したくても事業所が見つからないから	3	1.1%
利用する必要を感じないから	125	47.9%
その他	15	5.7%
無回答	29	-
合計	290	100.0%

【その他回答の主な内容】

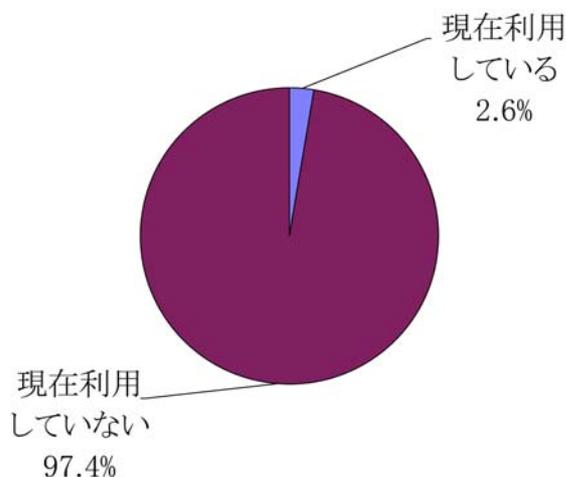
- 老人ホームにいる。 (女性、90代、身体)
- 以前、初めて3泊4日のショートステイを利用した事がある。 (男性、70代、難病)
- コロナがあったので利用してみようと思っているところです。 (女性、20代、知的)
- 母親と同居している、サポートしてもらっている。 (男性、50代、知的)
- 入院している為。 (女性、80代、身体)
- グループホームを利用している。 (女性、40代、知的)
- 家族や親類で協力してなんとかしている。 (男性、10代、精神) (女性、50代、知的)
- 家族が支援している。年齢が若く対象の施設が見つからない。 (女性、0代、知的)
- 現在は不要、今後は分からない。 (男性、70代、身体)
- 施設入所中。 (男性、70代、身体)
- 入所先でめまいが出ると困るため。 (男性、70代、身体)

⑤【地域生活支援事業】

移動支援(ガイドヘルパー)を利用していますか。

※外出、余暇活動等社会参加の際、円滑な移動を支援するため、ヘルパーが付き添うサービスです。

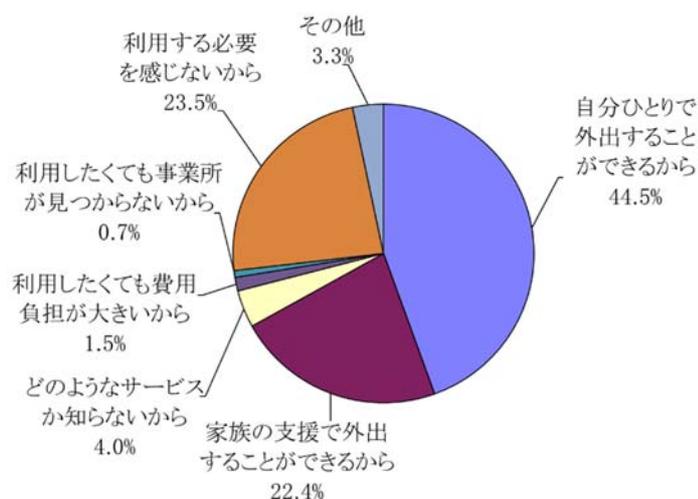
【回答数 303 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	8	2.6%
現在利用していない	295	97.4%
無回答	12	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 272 人】



選択項目	人数	構成比
自分ひとりで外出することができるから	121	44.5%
家族の支援で外出することができるから	61	22.4%
どのようなサービスか知らないから	11	4.0%
利用したくても費用負担が大きいから	4	1.5%
利用したくても事業所が見つからないから	2	0.7%
利用する必要を感じないから	64	23.5%
その他	9	3.3%
無回答	23	-
合計	295	100.0%

【その他回答の主な内容】

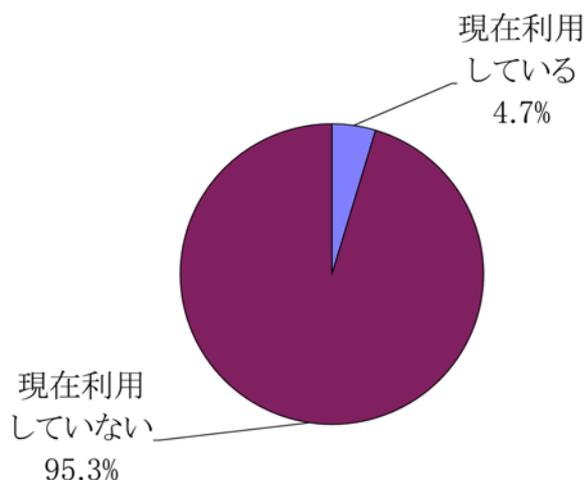
- 老人ホームにいる。 (女性、90代、身体)
- 体力がある時を見計れない。 (女性、40代、精神)
- 移動手段がない。 (男性、80代、難病)
- 施設入所中(特養)利用できるのでしょうか。 (男性、70代、身体)
- 入院中。 (男性、70代、難病)ほか2名

⑥【地域生活支援事業】

地域活動支援センターを利用していますか。

※創作的な活動や生産活動の機会の提供、その他日常生活の援助をします。

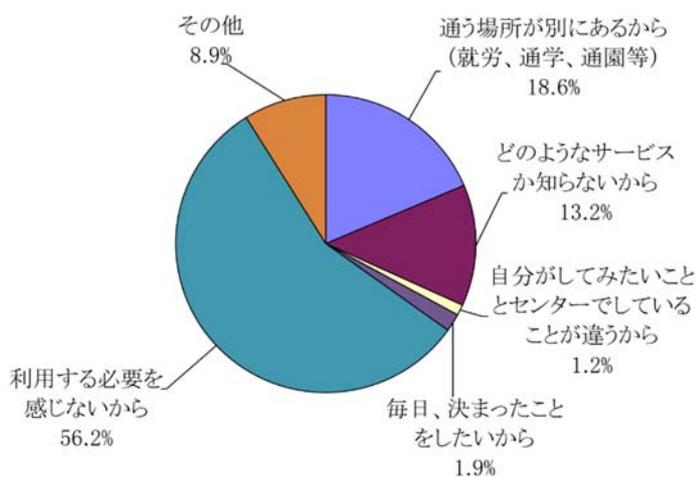
【回答数 301 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	14	4.7%
現在利用していない	287	95.3%
無回答	14	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 258 人】



選択項目	人数	構成比
通う場所が別にあるから (就労、通学、通園等)	48	18.6%
どのようなサービスか知らないから	34	13.2%
自分がしてみたいこととセンターでしていることが違うから	3	1.2%
毎日、決まったことをしたいから	5	1.9%
利用する必要を感じないから	145	56.2%
その他	23	8.9%
無回答	29	-
合計	287	100.0%

【その他回答の主な内容】

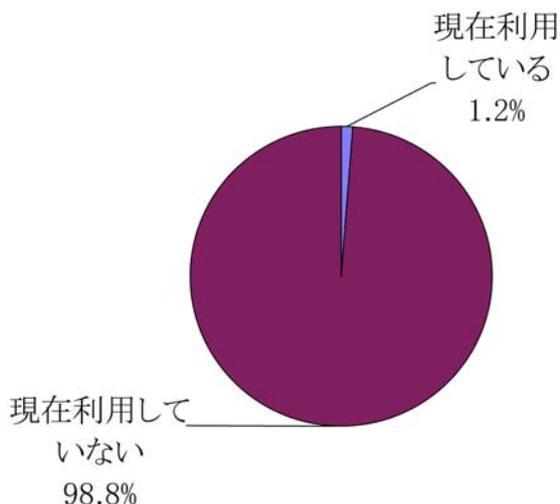
- 老人ホームにいる。 (女性、90代、身体)
- 入院している。 (男性、70代、難病) ほか2名
- 疲れてしまうから。 (男性、30代、精神)
- 日本語がわからない。 (男性、50代、知的)
- 不祥事があるから。 (男性、20代、知的)
- 夫の世話をしているから。 (女性、80代、身体)
- 行動出来ない。 (男性、90代、身体)
- 何でも自由にしたいから。 (男性、70代、身体・精神)
- 利用する必要がない、利用できる状態ではない。 (男性、70代、身体)
- 計画相談を利用中。 (女性、30代、精神)
- 病院1ヶ月1回。 (女性、60代、身体)
- 以前利用していたが、現在2才児を育児中の為、利用する事が難しい為。 (女性、30代、精神)
- 施設入所中。 (男性、20代、知的・精神)
- 他者による刺激(音など)が強いと、自分の状況が悪化してしまうため。 (女性、40代、精神)

⑦【児童福祉法のサービス】

児童発達支援を利用していますか。

※未就学の児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行います。

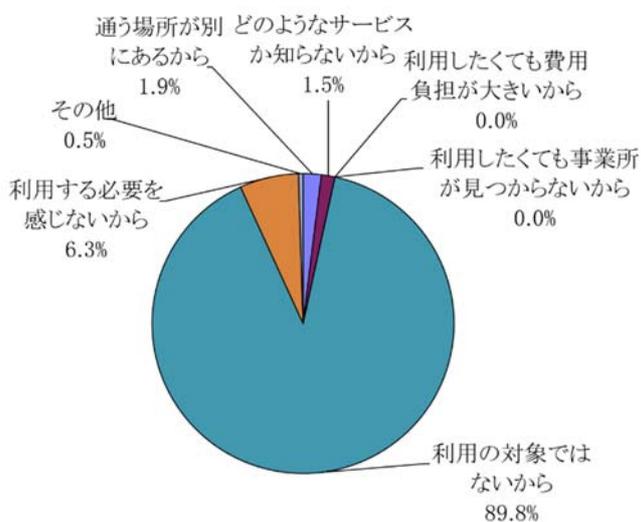
【回答数 244 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	3	1.2%
現在利用していない	241	98.8%
無回答	71	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 206 人】



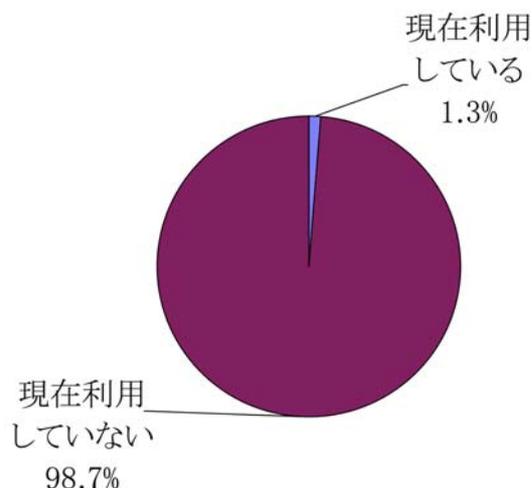
選択項目	人数	構成比
通う場所が別にあるから	4	1.9%
どのようなサービスか知らないから	3	1.5%
利用したくても費用負担が大きいから	0	0.0%
利用したくても事業所が見つからないから	0	0.0%
利用の対象ではないから	185	89.8%
利用する必要を感じないから	13	6.3%
その他	1	0.5%
無回答	35	-
合計	241	100.0%

⑧【児童福祉法のサービス】

放課後等デイサービスを利用していますか。

※学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供するなどして、障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行います。

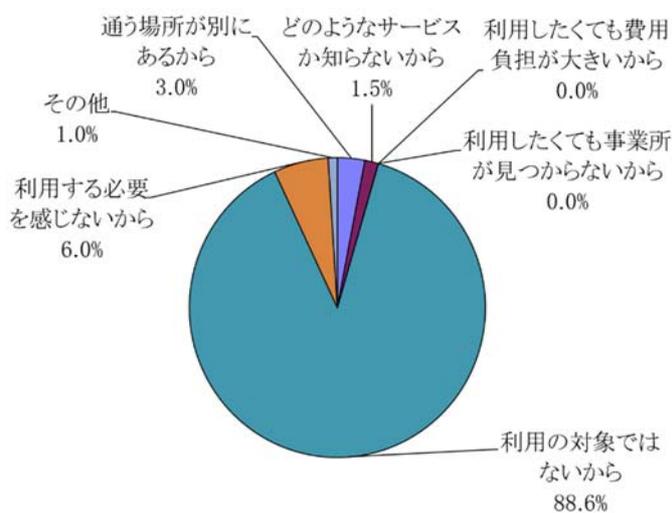
【回答数 239 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	3	1.3%
現在利用していない	236	98.7%
無回答	76	-
合計	315	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 201 人】



選択項目	人数	構成比
通う場所が別にあるから	6	3.0%
どのようなサービスか知らないから	3	1.5%
利用したくても費用負担が大きいから	0	0.0%
利用したくても事業所が見つからないから	0	0.0%
利用したくても事業所が見つからないから	0	0.0%
利用の対象ではないから	178	88.6%
利用する必要を感じないから	12	6.0%
その他	2	1.0%
無回答	35	-
合計	236	100.0%

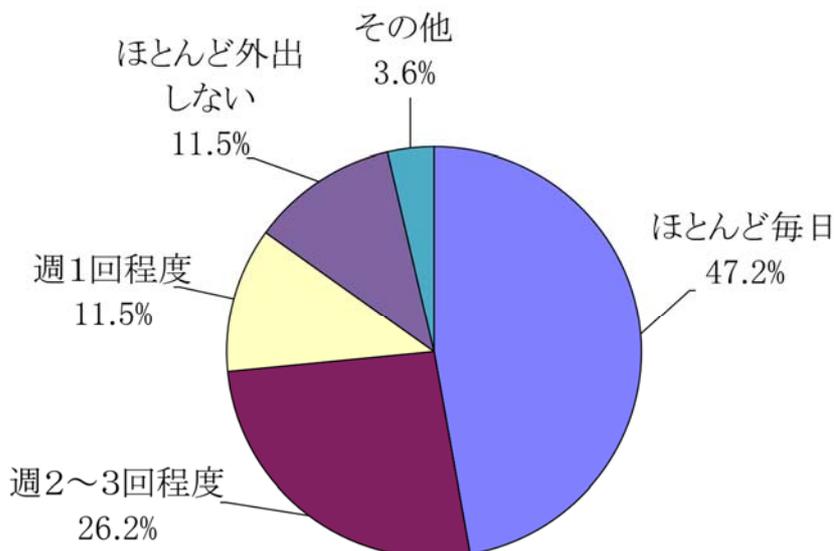
【その他回答の主な内容】

- 子が発達障害を持ち、見学にも行ったが、大きな部屋で様々な障害を持つ子達が居るのみであり、将来の自立に繋がる指導がされているとは思えなかった。親も障害があるものの家庭で話し相手になる方が安定するようになった。足元見過ぎ。(女性、40代、精神)

VI 日中活動や就労について

問 23 あなたの外出回数はどれくらいですか。

【回答数 305 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ほとんど毎日	144	47.2%	69	28	29	35
週2～3回程度	80	26.2%	51	6	19	20
週1回程度	35	11.5%	25	3	6	6
ほとんど外出しない	35	11.5%	23	2	10	11
その他	11	3.6%	7	1	3	3
無回答	10	-	7	1	3	3
合計	315	100.0%	182	41	70	78

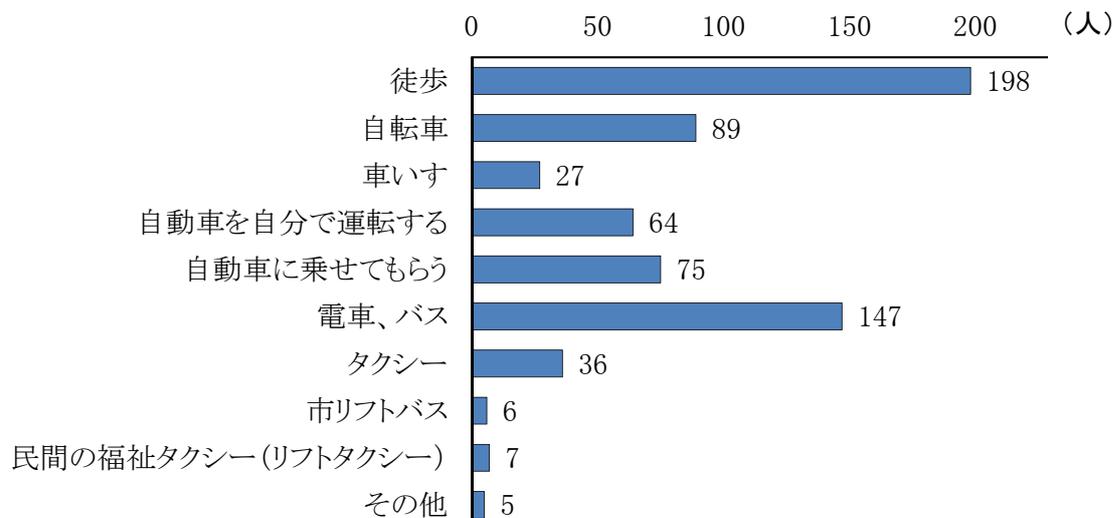
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 雨が降っていると外に出ない。 (女性、70代、身体)
- 1ヶ月位に1回だけ病院で。 (女性、60代、身体)
- 通院の時、外出。 (女性、60代、身体)
- 子供の通園の為、短時間なら可能。 (女性、30代、精神)
- 月に1回あるかないかという程度。 (女性、40代、精神)

問 24 あなたの主な外出方法はどれですか。○は3つまで。(複数回答可)

【回答数 306 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
徒歩	198	64.7%	99	28	52	56
自転車	89	29.1%	40	15	25	27
車いす	27	8.8%	24	1	0	1
自動車を自分で運転する	64	20.9%	35	2	10	9
自動車に乗せてもらう	75	24.5%	42	14	15	17
電車、バス	147	48.0%	78	16	39	45
タクシー	36	11.8%	24	1	6	8
市リフトバス	6	2.0%	4	0	1	1
民間の福祉タクシー(リフトタクシー)	7	2.3%	6	0	0	0
その他	5	1.6%	3	1	0	0
無回答	9	-	7	1	3	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

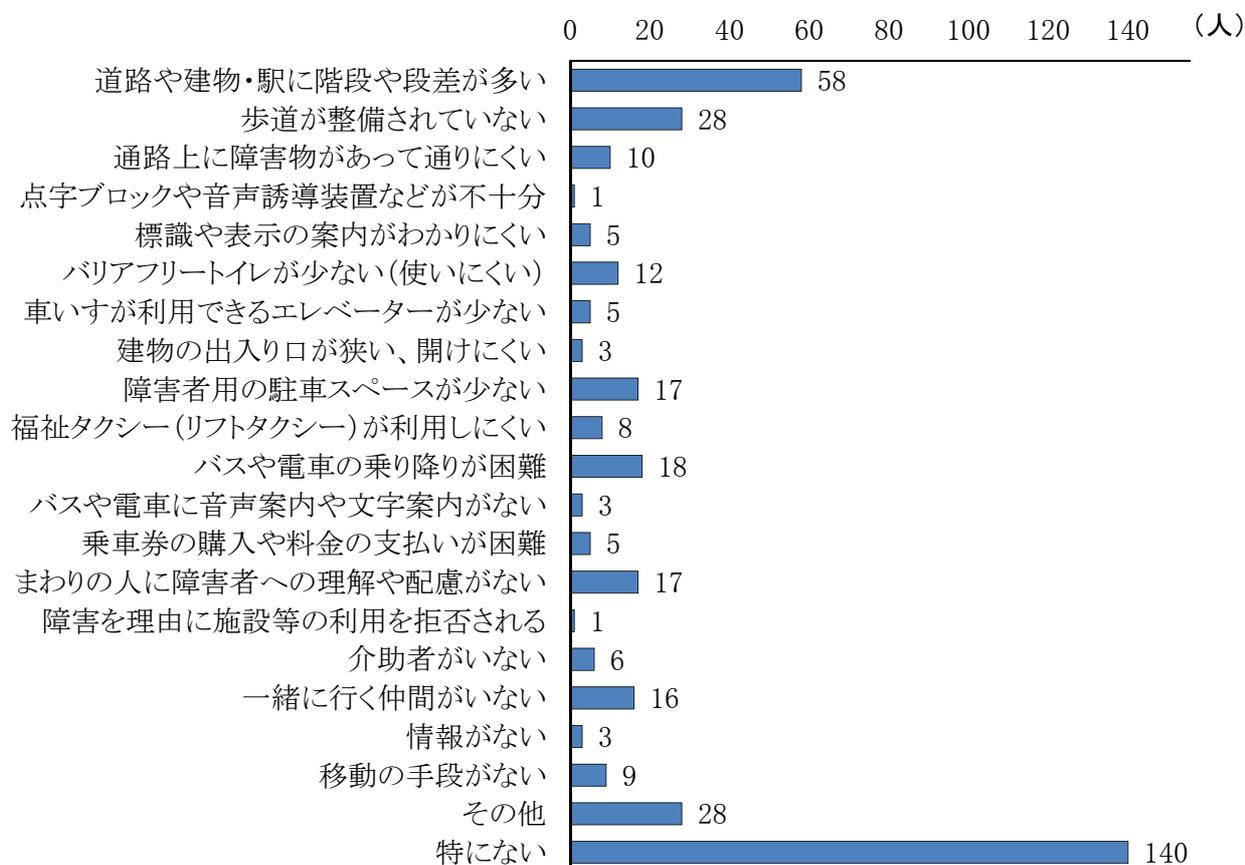
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 電動車椅子。 (男性、90代、身体)
- ベビーカー。 (女性、0代、知的)
- 歩行器を使って。 (男性、90代、身体)

問 25 外出(通勤・通学・社会参加を含む)の際、特に困っていることはどれですか。○は3つまで。
(複数回答可)

【回答数 275 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
道路や建物・駅に階段や段差が多い	58	21.1%	45	3	3	4
歩道が整備されていない	28	10.2%	21	1	3	4
通路上に障害物があって通りにくい	10	3.6%	3	0	3	3
点字ブロックや音声誘導装置などが不十分	1	0.4%	1	0	0	0
標識や表示の案内がわかりにくい	5	1.8%	2	1	3	2
バリアフリートイレが少ない(使いにくい)	12	4.4%	9	2	1	1
車いすが利用できるエレベーターが少ない	5	1.8%	5	0	0	0
建物の出入り口が狭い、開けにくい	3	1.1%	2	0	0	0
障害者用の駐車スペースが少ない	17	6.2%	16	2	1	1
福祉タクシー(リフトタクシー)が利用しにくい	8	2.9%	8	0	1	1
バスや電車の乗り降りが困難	18	6.5%	14	1	1	2
バスや電車に音声案内や文字案内がない	3	1.1%	1	0	2	1
乗車券の購入や料金の支払いが困難	5	1.8%	3	1	2	2

まわりの人に障害者への理解や配慮がない	17	6.2%	8	4	6	7
障害を理由に施設等の利用を拒否される	1	0.4%	0	0	0	0
介助者がいない	6	2.2%	2	1	3	3
一緒に行く仲間がいない	16	5.8%	9	1	6	6
情報がない	3	1.1%	2	0	1	1
移動の手段がない	9	3.3%	4	0	3	3
その他	28	10.2%	12	3	10	10
特になし	140	50.9%	69	22	33	40
無回答	40	-	28	6	8	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

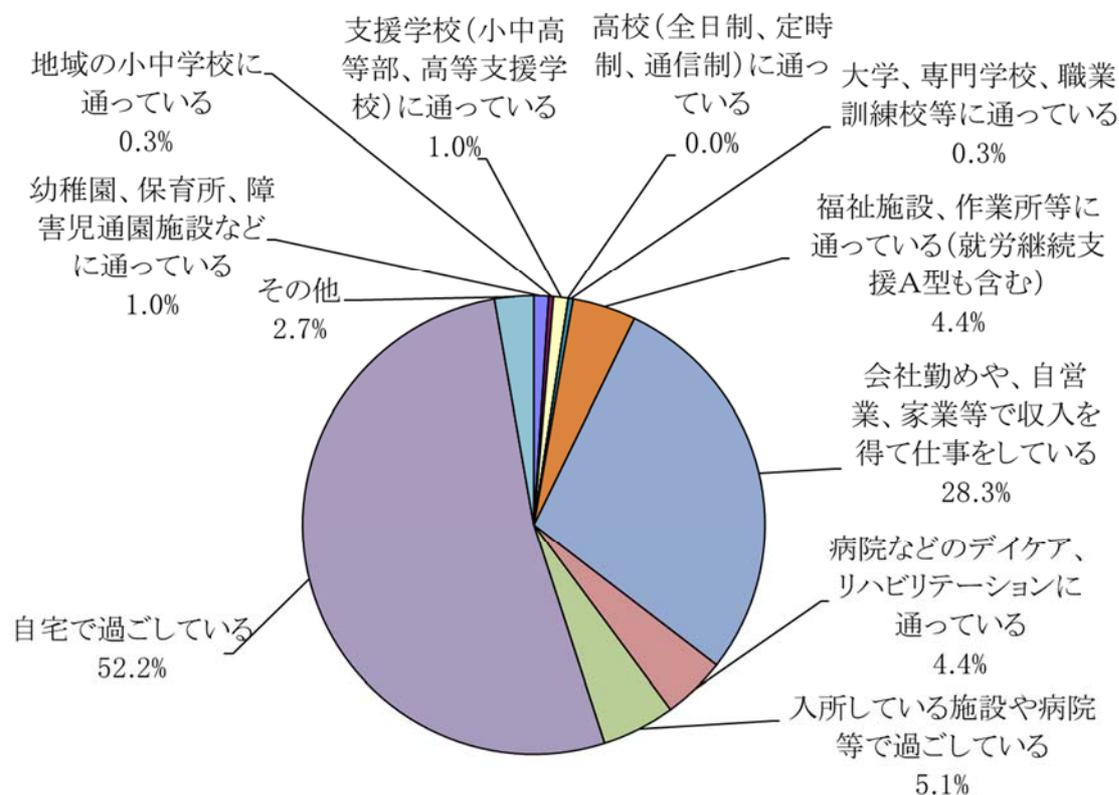
【その他回答の主な内容】

- エレベーターが古くて車イスがギリギリのエレベーターがある。 (男性、70代、難病)
- 都内と多摩での運賃格差が大きい。多摩に都営交通がないのが問題。うちわ、扇子など視覚を刺激されることがあってキツイ。 (男性、40代、精神)
- 自転車に乗っている時、車がそばを走るので危険。道の幅が狭い。自転車用の道の整備をして欲しい。 (女性、70代、難病)
- 公共の乗り物の優先席に学生や若い人がほとんど席を埋めていて譲ってもらえない。※頻繁にアナウンスを入れて欲しい。 (女性、60代、難病)
- ADHD等への干渉の無い場が少なくなった。 (男性、20代、知的)
- 人混みが怖いこと。 (男性、30代、精神)
- 足が痛い。 (男性、90代、身体)
- 狭い道に車、後ろからの車の音が聞こえない。 (男性、70代、身体)
- 体力がなく、労作後増悪するため、自家用車を使いたい、外出支援は公共交通機関に限られる為。 (女性、40代、身体・精神)
- 体調が悪く外出そのものが難しいことがある。 (男性、40代、知的・精神)
- 費用がかかる。 (男性、80代、身体)
- ミライロIDを提示し断られた。 (男性、10代、精神)
- バスの本数が少ない。 (女性、70代、身体)
- 通勤が遠い。 (男性、60代、身体)
- 電車やバスが遅れるとイライラしてしまう。 (女性、20代、知的)
- 薬の為、車が運転できない。 (女性、30代、精神)
- 車がない。 (男性、40代、精神)
- 雨の日、建物の入口から奥まで濡れていて、松葉杖が滑りとても怖く歩けなかった。道路も滑る所もあり、調べて欲しい。 (女性、80代、難病)
- 確認動作が多い為、時間がとてもかかるから。 (女性、30代、精神)
- ICカードの割引がないので障害者と目立つこと。 (女性、30代、精神)
- ヘルパーさんのシフトがあり、又、自由な時間に外出が困難。 (男性、70代、身体)

- 駅や歩道が暗い。 (男性、40代、身体)
- 歩道があっても段差やアップダウンが多く、又、傾斜がきついため車いすでの移動が難しい。 (男性、60代、身体・難病)
- 行きと帰りの道が覚えられない。初めて行く場所の下見が必要。音・人混みが苦手。 (女性、40代、精神)

問 26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

【回答数 293 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	3	1.0%	0	3	0	0
地域の小中学校に通っている	1	0.3%	0	1	0	0
支援学校(小中高等部、高等支援学校)に通っている	3	1.0%	1	2	1	0
高校(全日制、定時制、通信制)に通っている	0	0.0%	0	0	0	0
大学、専門学校、職業訓練校等に通っている	1	0.3%	0	1	0	0
福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	13	4.4%	4	6	5	6
会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている	83	28.3%	36	11	20	24
病院などのデイケア、リハビリテーションに通っている	13	4.4%	12	2	1	2
入所している施設や病院等で過ごしている	15	5.1%	10	1	2	2
自宅で過ごしている	153	52.2%	99	10	35	39
その他	8	2.7%	6	0	1	1
無回答	22	-	14	4	5	4
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

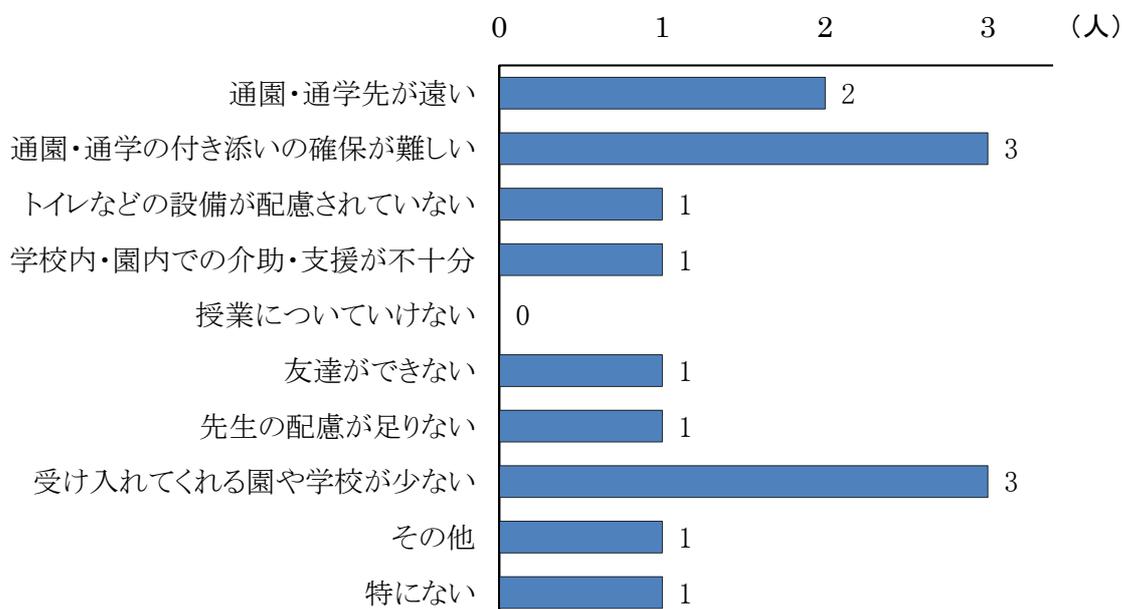
【その他回答の主な内容】

- 病院に治療。 (女性、50代、身体)
- 自宅で寝たきり。 (男性、70代、身体・難病)
- 日常の家事。 (女性、70代、身体)
- 週に2~3回、障害者スポーツセンターに通っている。 (女性、70代、身体)
- デイサービスへ行っている。 (女性、70代、身体)

問 27 問 26 で、1～5と答えた方におききます。

通園・通学において特に困っていることはありますか。（複数回答可）

【回答数 7人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
通園・通学先が遠い	2	28.6%	0	2	0	0
通園・通学の付き添いの確保が難しい	3	42.9%	1	3	0	0
トイレなどの設備が配慮されていない	1	14.3%	0	1	0	0
学校内・園内での介助・支援が不十分	1	14.3%	0	1	0	0
授業についていけない	0	0.0%	0	0	0	0
友達ができない	1	14.3%	0	1	0	0
先生の配慮が足りない	1	14.3%	1	1	0	0
受け入れてくれる園や学校が少ない	3	42.9%	1	3	0	0
その他	1	14.3%	0	1	0	0
特になし	1	14.3%	0	1	0	0
無回答	1	-	0	0	1	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

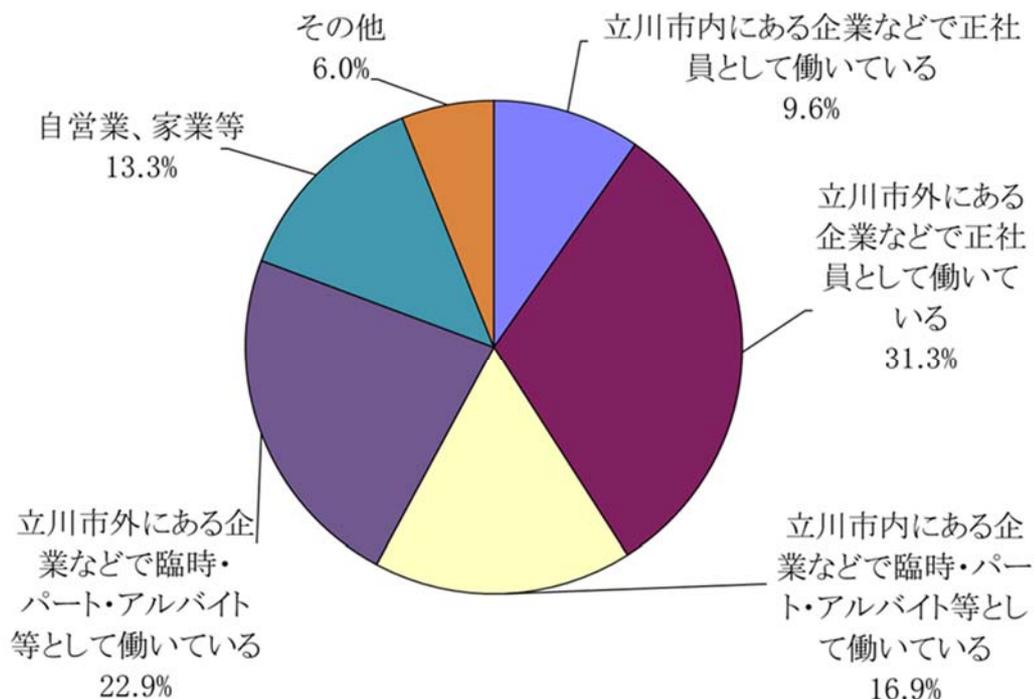
【その他回答の主な内容】

- 預り時間が短い為、母は退職せざるをえなかった。（男性、50代、知的）

問28 問26で「7. 会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」と答えた方におききます。

どのような勤務形態で働いていますか。

【回答数 83人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
立川市内にある企業などで正社員として働いている	8	9.6%	3	0	2	2
立川市外にある企業などで正社員として働いている	26	31.3%	9	4	6	8
立川市内にある企業などで臨時・パート・アルバイト等として働いている	14	16.9%	7	2	4	5
立川市外にある企業などで臨時・パート・アルバイト等として働いている	19	22.9%	8	5	6	7
自営業、家業等	11	13.3%	6	0	1	1
その他	5	6.0%	3	0	1	1
無回答	0	-	0	0	0	0
合計	83	100.0%	36	11	20	24

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

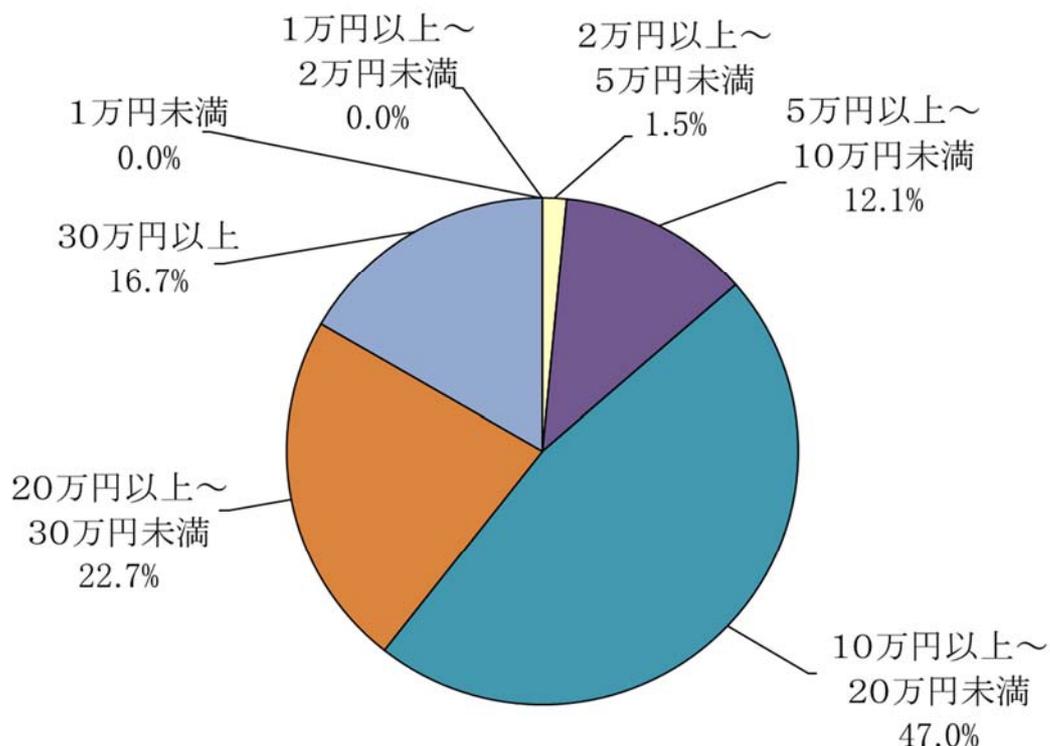
【その他回答の主な内容】

- 会社経営。 (男性、50代、難病)
- 立川市外にある企業などで障がい者雇用（契約職員＝継続雇用）として働いている。 (女性、40代、身体)
- 休職中。 (女性、30代、身体)
- 市外企業の役員。 (男性、60代、身体・難病)

問 28-1 問 28 で、1～4と答えた方におききます。

働いて得る月収(賃金)はどれくらいですか。差し支えない範囲でお答えください。

【回答数 66 人】



【障害別回答数】

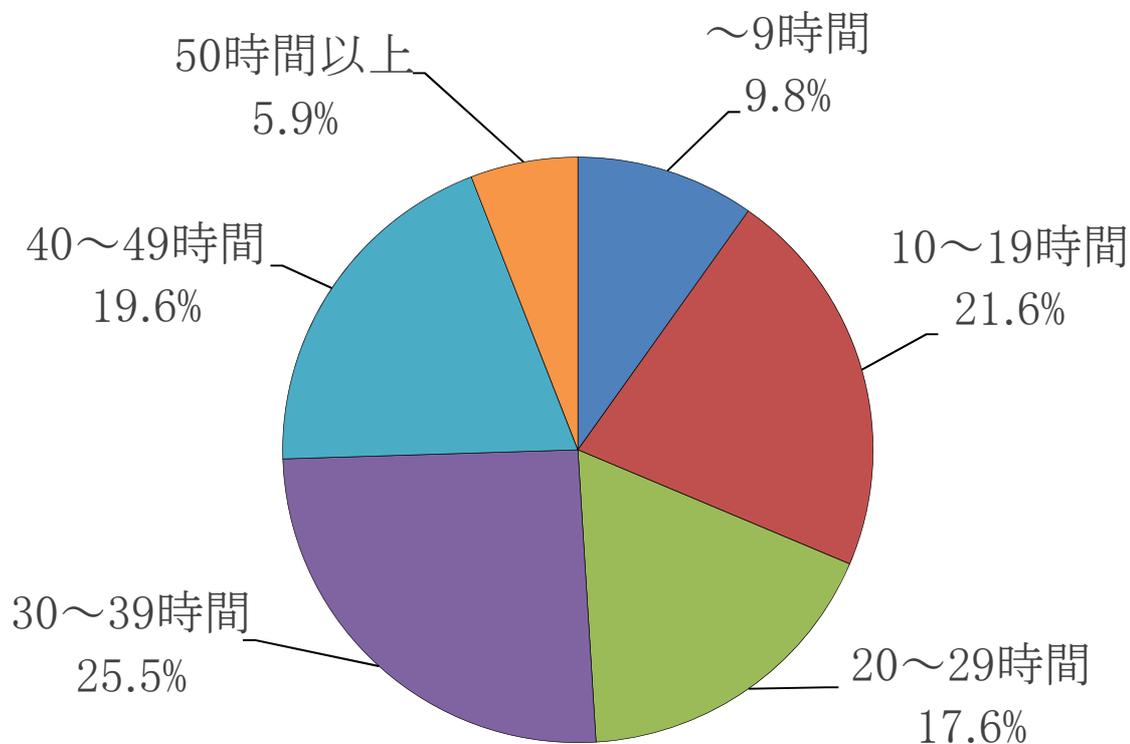
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
1万円未満	0	0.0%	0	0	0	0
1万円以上～2万円未満	0	0.0%	0	0	0	0
2万円以上～5万円未満	1	1.5%	1	1	0	0
5万円以上～10万円未満	8	12.1%	4	3	2	3
10万円以上～20万円未満	31	47.0%	11	7	9	11
20万円以上～30万円未満	15	22.7%	7	0	3	4
30万円以上	11	16.7%	4	0	3	3
無回答	1	-	0	0	1	1
合計	67	100.0%	27	11	18	22

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 28-2 問 28 で、1～4と答えた方におききします。

あなたは週何時間雇用されていますか。

【回答数 51 人】



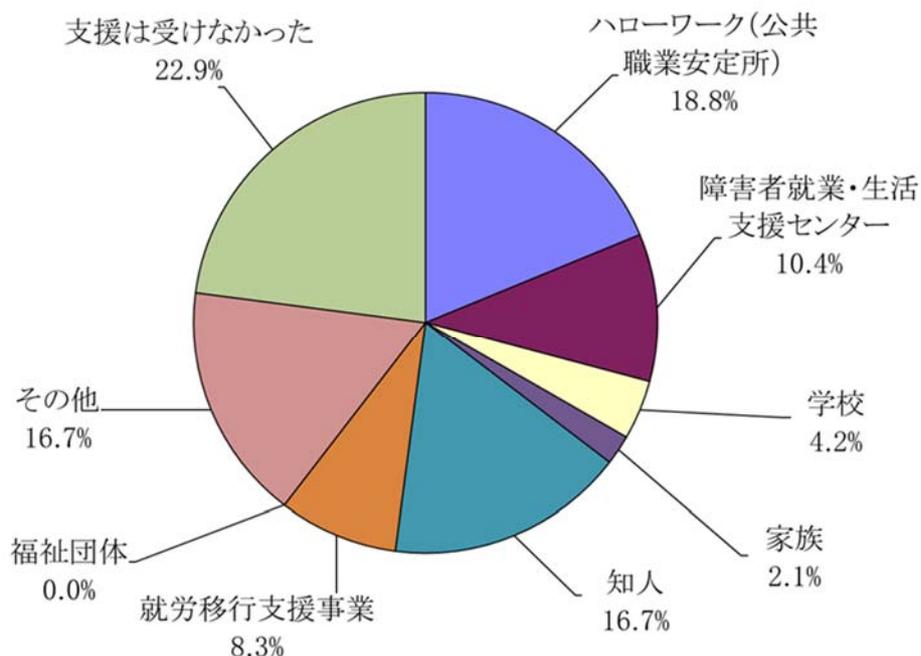
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
～9 時間	5	9.8%	3	2	0	2
10～19 時間	11	21.6%	7	1	1	3
20～29 時間	9	17.6%	5	0	3	4
30～39 時間	13	25.5%	7	4	3	2
40～49 時間	10	19.6%	9	0	0	3
50 時間以上	3	5.9%	1	0	0	2
無回答	11	-	9	2	0	2
合計	67	100.0%	41	9	7	18

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 28-3 問 28 で、1～4と答えた方におききます。
あなたは今の仕事をどちらを通じて見つけましたか。

【回答数 48 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ハローワーク(公共職業安定所)	9	18.8%	4	2	2	3
障害者就業・生活支援センター	5	10.4%	2	1	3	3
学校	2	4.2%	0	0	1	1
家族	1	2.1%	0	0	0	0
知人	8	16.7%	4	1	3	3
就労移行支援事業	4	8.3%	1	1	2	3
福祉団体	0	0.0%	0	0	0	0
その他	8	16.7%	3	0	3	4
支援は受けなかった	11	22.9%	7	0	2	2
無回答	19	-	6	6	2	3
合計	67	100.0%	27	11	18	22

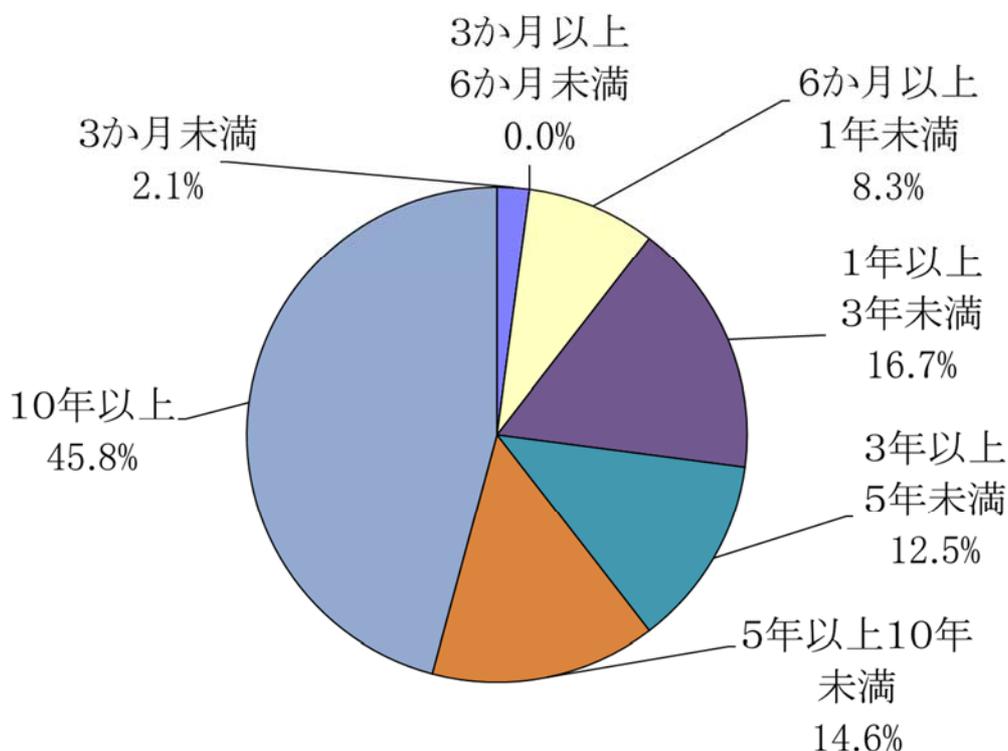
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 新聞広告。 (女性、60代、難病)
- 親から継いだ。 (男性、60代、身体・難病)
- 派遣。 (女性、30代、精神)
- 求人誌。 (女性、30代、難病) (女性、50代、難病)
- 若年性認知症センター。 (男性、60代、身体・精神・難病)
- 障害者雇用バンク (求人サービス)。 (女性、30代、身体)

問 28-4 問 28 で、1～4と答えた方におききします。
現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。

【回答数 48 人】



【障害別回答数】

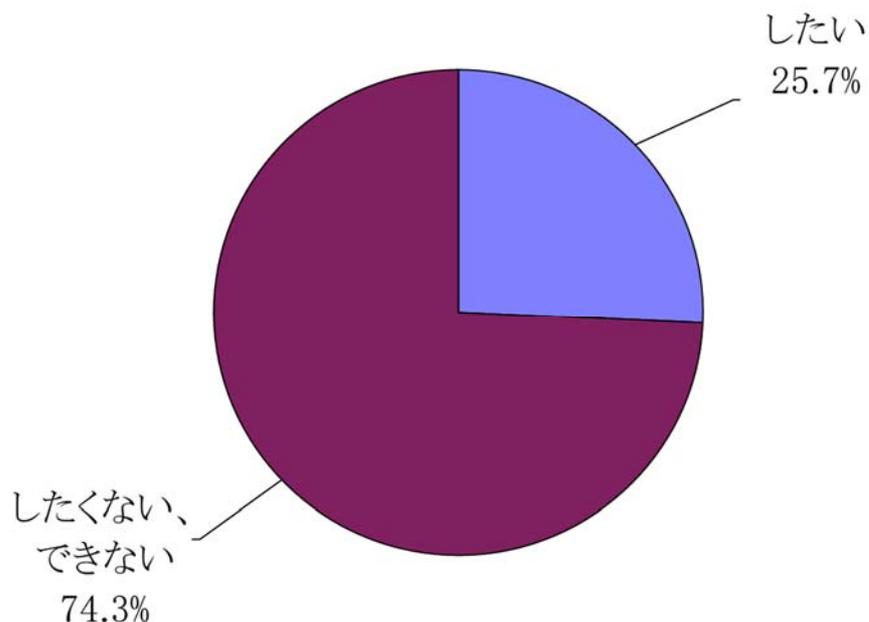
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
3か月未満	1	2.1%	0	0	1	1
3か月以上6か月未満	0	0.0%	0	0	0	0
6か月以上1年未満	4	8.3%	1	1	2	2
1年以上3年未満	8	16.7%	3	1	3	4
3年以上5年未満	6	12.5%	0	1	5	6
5年以上10年未満	7	14.6%	3	0	4	4
10年以上	22	45.8%	13	2	2	3
無回答	19	-	7	6	1	2
合計	67	100.0%	27	11	18	22

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 29, 30 は、18 歳以上で現在一般就労(会社勤めや自営業など)をしていない方におききます。

問 29 あなたは今後、一般就労をしたいと思いませんか。

【回答数 140 人】



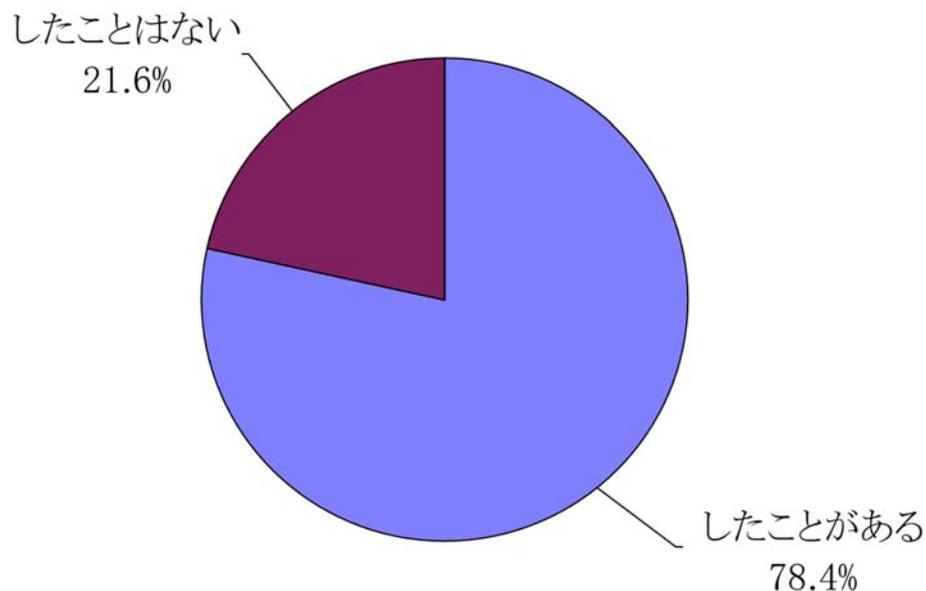
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
したい	36	25.7%	14	5	20	20
したくない、できない	104	74.3%	65	7	20	24
無回答	175	-	103	29	30	34
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 30 今までに一般就労をしたことはありますか。

【回答数 153 人】



【障害別回答数】

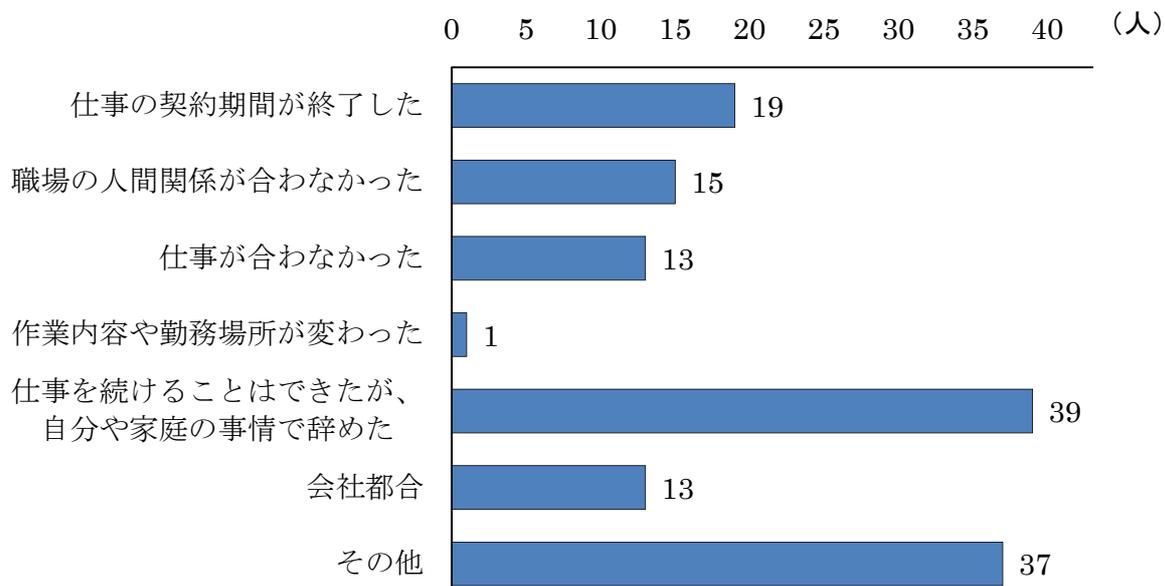
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
したことがある	120	78.4%	72	10	35	36
したことはない	33	21.6%	19	10	8	10
無回答	162	-	91	21	27	32
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 30-1 問 30 で「1. したことがある」と答えた方におききします。

仕事を辞められた主な理由は何ですか。(複数回答可)

【回答数 112 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
仕事の契約期間が終了した	19	17.0%	12	0	6	7
職場の人間関係が合わなかった	15	13.4%	3	5	11	10
仕事が合わなかった	13	11.6%	2	3	9	9
作業内容や勤務場所が変わった	1	0.9%	0	0	0	0
仕事を続けることはできたが、自分や家庭の事情で辞めた	39	34.8%	21	1	9	10
会社都合	13	11.6%	8	4	4	3
その他	37	33.0%	24	3	10	10
無回答	8	-	8	0	1	1

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

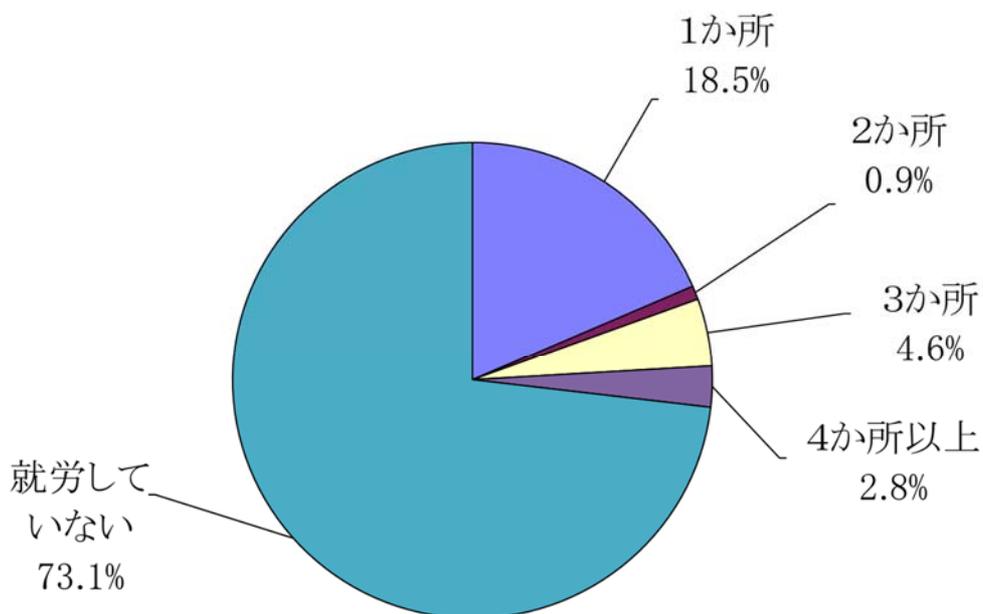
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 入院、治療の為。 (女性、40代、難病)
- 病気の為。 (男性、80代、身体) ほか5名
- 引っ越しで辞めた。 (男性、50代、知的)
- 定年退職。 (男性、80代、身体) ほか3名
- コロナの影響。 (男性、60代、身体) ほか2名
- 体調の悪化、体力の低下。 (男性、70代、難病) ほか4名
- 精神的理由。 (女性、20代、精神) ほか2名
- ノルマが達成出来なかった為。 (女性、40代、知的)
- ガンになって足を切断した。 (女性、70代、身体)

問 30-2 問 30 で「1. したことがある」と答えた方におききします。
 令和2年4月1日から令和5年6月30日までの間に何か所で就労しましたか。

【回答数 108 人】



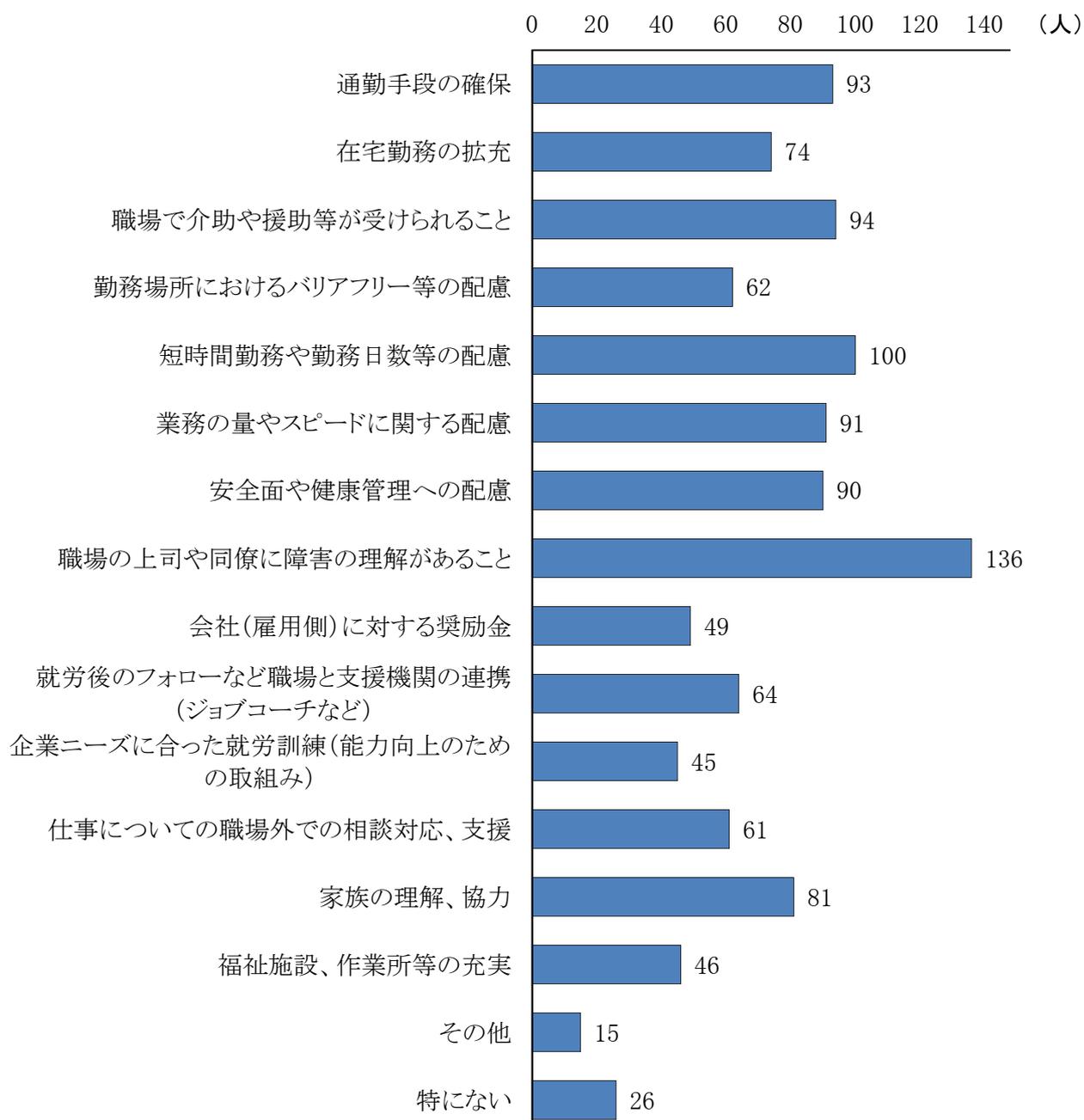
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
1か所	20	18.5%	10	2	6	8
2か所	1	0.9%	1	0	0	0
3か所	5	4.6%	2	1	3	2
4か所以上	3	2.8%	0	0	1	1
就労していない	79	73.1%	48	7	22	22
無回答	12	-	11	0	3	3
合計	120	100.0%	72	10	35	36

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 31 障害のある人が働くために、重要と思われることはどれですか。(複数回答可)

【回答数 238 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
通勤手段の確保	93	39.1%	48	9	20	23
在宅勤務の拡充	74	31.1%	35	1	23	24
職場で介助や援助等が受けられること	94	39.5%	42	14	26	29
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	62	26.1%	44	0	7	8
短時間勤務や勤務日数等の配慮	100	42.0%	44	7	34	37
業務の量やスピードに関する配慮	91	38.2%	36	12	33	34
安全面や健康管理への配慮	90	37.8%	47	14	19	21
職場の上司や同僚に障害の理解があること	136	57.1%	58	17	42	44
会社(雇用側)に対する奨励金	49	20.6%	27	5	11	12
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携(ジョブコーチなど)	64	26.9%	19	9	24	29
企業ニーズに合った就労訓練(能力向上のための取組み)	45	18.9%	25	7	12	11
仕事についての職場外での相談対応、支援	61	25.6%	25	11	21	24
家族の理解、協力	81	34.0%	36	6	26	28
福祉施設、作業所等の充実	46	19.3%	24	9	11	12
その他	15	6.3%	5	4	6	6
特になし	26	10.9%	17	3	6	7
無回答	77	-	59	11	4	6

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

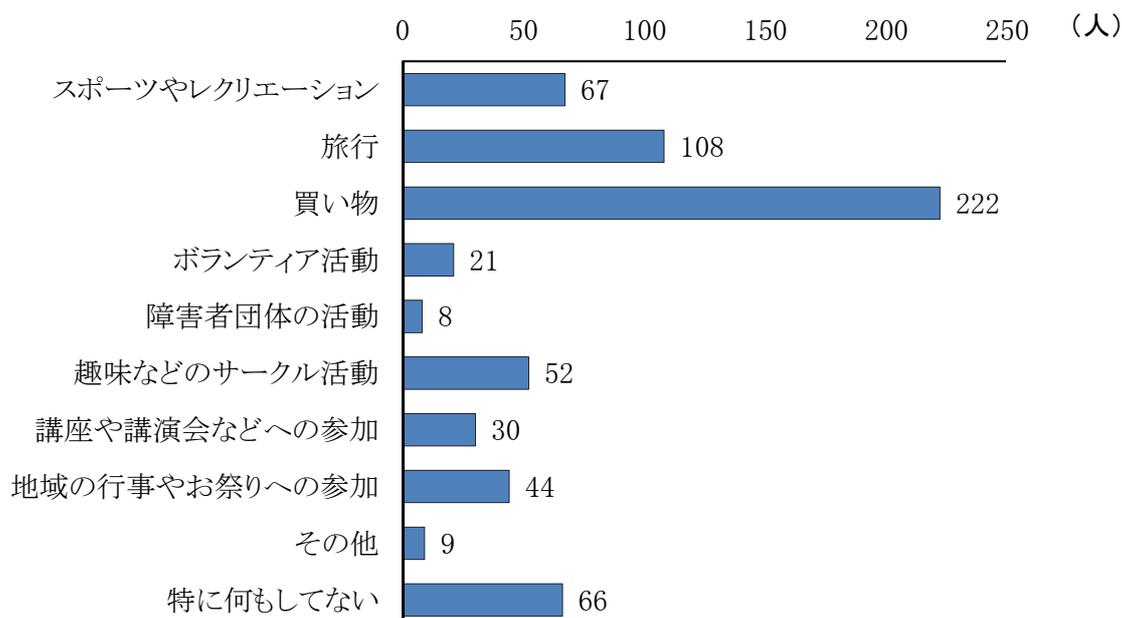
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 非定型への理解と継続。(男性、20代、知的)
- 障害の種類によって異なる。(男性、70代、身体)
- 仕事がしたいと思っても受け入れ先もなく、介助者も必要になるので、社会参加が難しい。障害者に対し優しい市ではない。他市では働く場所が多い。(女性、40代、身体・知的)
- 正社員への雇用。(女性、50代、精神・難病)
- 指導者、上司、同僚など障害者と働く方への面談やフォロー。特性や症状に合わせたオフィス作り、環境への配慮、特性にマッチした業務の切り出し。正社員登用を増やしていく(雇用の安定)。(女性、30代、精神)
- バリアフリーのトイレ。(女性、60代、身体)
- 障害のある人の家族への配慮。(女性、30代、難病)
- 家で出来る簡単な作業。(男性、20代、知的・精神)
- 仕事との両立のための私生活についての相談場所。(女性、30代、精神)
- 当事者の自己理解と、会社で求められることの理解とスキルの習得。(女性、40代、精神)

問 32 あなたは、この1年くらいの間に、次のような活動をしましたか。（複数回答可）

【回答数 302 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
スポーツやレクリエーション	67	22.2%	31	6	19	21
旅行	108	35.8%	55	12	21	25
買い物	222	73.5%	116	30	52	56
ボランティア活動	21	7.0%	12	2	6	5
障害者団体の活動	8	2.6%	4	1	4	4
趣味などのサークル活動	52	17.2%	23	2	17	15
講座や講演会などへの参加	30	9.9%	15	0	6	7
地域の行事やお祭りへの参加	44	14.6%	23	5	7	8
その他	9	3.0%	3	1	4	4
特に何もしてない	66	21.9%	46	5	15	19
無回答	13	-	8	4	1	1

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

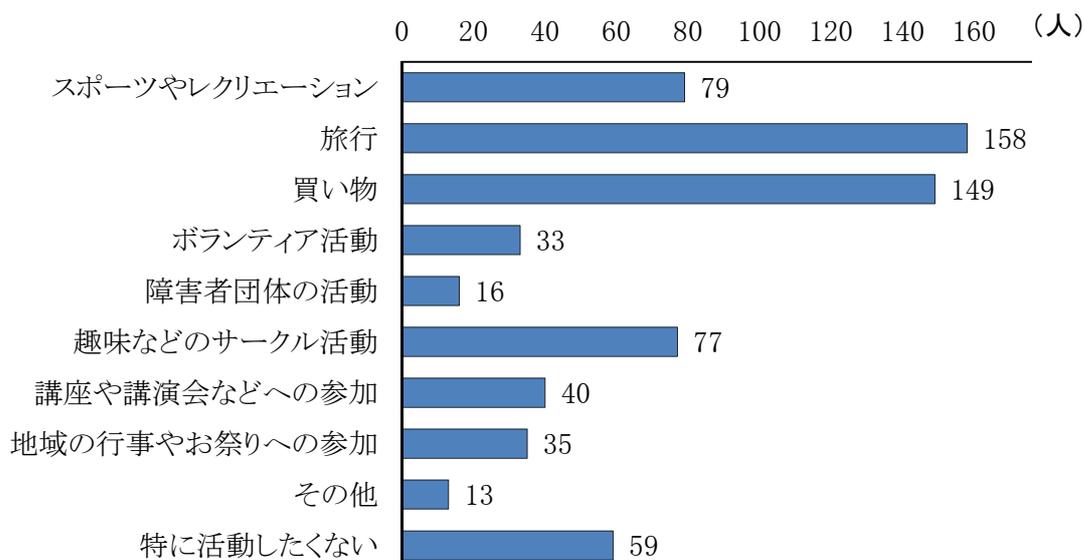
* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- デイサービス。 (女性、70代、精神)
- 展示会などの見学。 (女性、70代、身体)
- コンサート、ライブ。 (男性、10代、精神) (女性、70代、身体)
- 釣り。 (男性、60代、精神・難病)
- 転職活動。 (女性、30代、精神)

問 33 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。(複数回答可)

【回答数 286 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
スポーツやレクリエーション	79	27.6%	37	10	21	24
旅行	158	55.2%	80	19	42	45
買い物	149	52.1%	68	22	39	43
ボランティア活動	33	11.5%	17	2	12	10
障害者団体の活動	16	5.6%	9	4	5	6
趣味などのサークル活動	77	26.9%	38	6	25	24
講座や講演会などへの参加	40	14.0%	26	1	6	8
地域の行事やお祭りへの参加	35	12.2%	16	6	9	12
その他	13	4.5%	8	1	3	3
特に活動したくない	59	20.6%	41	6	11	16
無回答	29	-	19	4	4	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

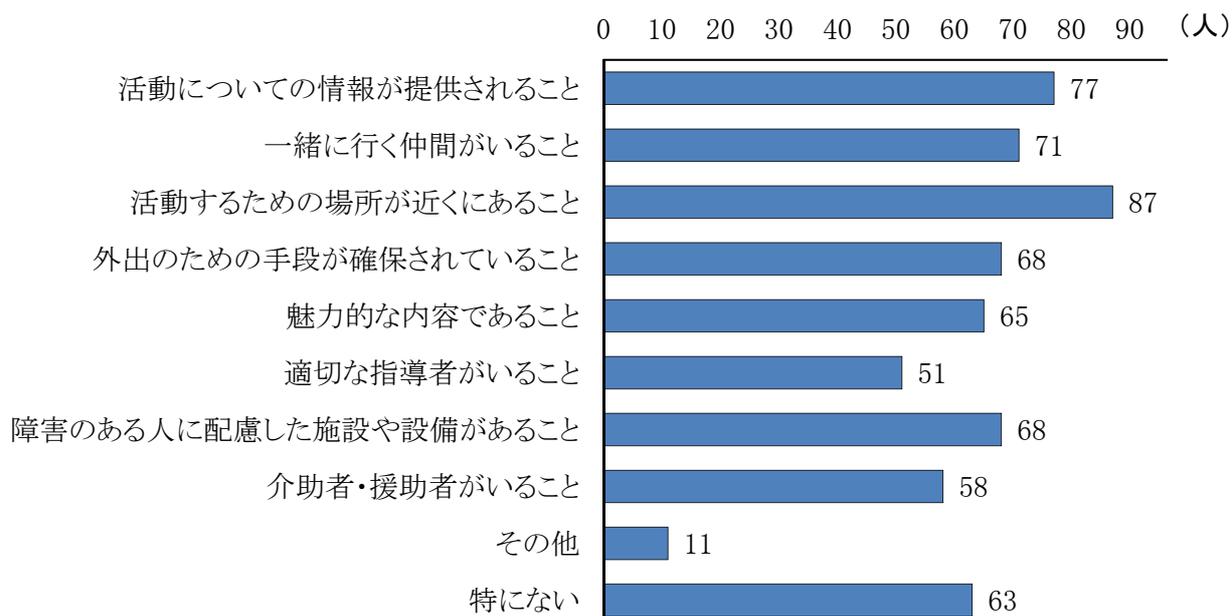
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 自宅に帰りたい。(男性、70代、身体)
- 活動できない。(男性、70代、身体・難病) (男性、70代、身体)
- 動物のボランティア活動。(女性、40代、身体)
- コンサート、ライブ、観劇。(男性、10代、精神) (女性、70代、身体)
- 野球観戦、釣り。(男性、60代、精神・難病)
- 少額でも自分に出来る事での賃金の獲得。(女性、30代、精神)
- 障害者に対する理解促進。(女性、30代、精神)

問 34 問 33 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

【回答数 271 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
活動についての情報が提供されること	77	28.4%	44	8	20	22
一緒に行く仲間がいること	71	26.2%	31	14	21	25
活動するための場所が近くにあること	87	32.1%	46	7	23	26
外出のための手段が確保されていること	68	25.1%	42	5	12	15
魅力的な内容であること	65	24.0%	31	7	21	23
適切な指導者がいること	51	18.8%	26	9	16	16
障害のある人に配慮した施設や設備があること	68	25.1%	39	12	16	17
介助者・援助者がいること	58	21.4%	36	10	8	10
その他	11	4.1%	4	1	7	7
特にない	63	23.2%	39	10	10	11
無回答	44	-	31	5	6	8

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

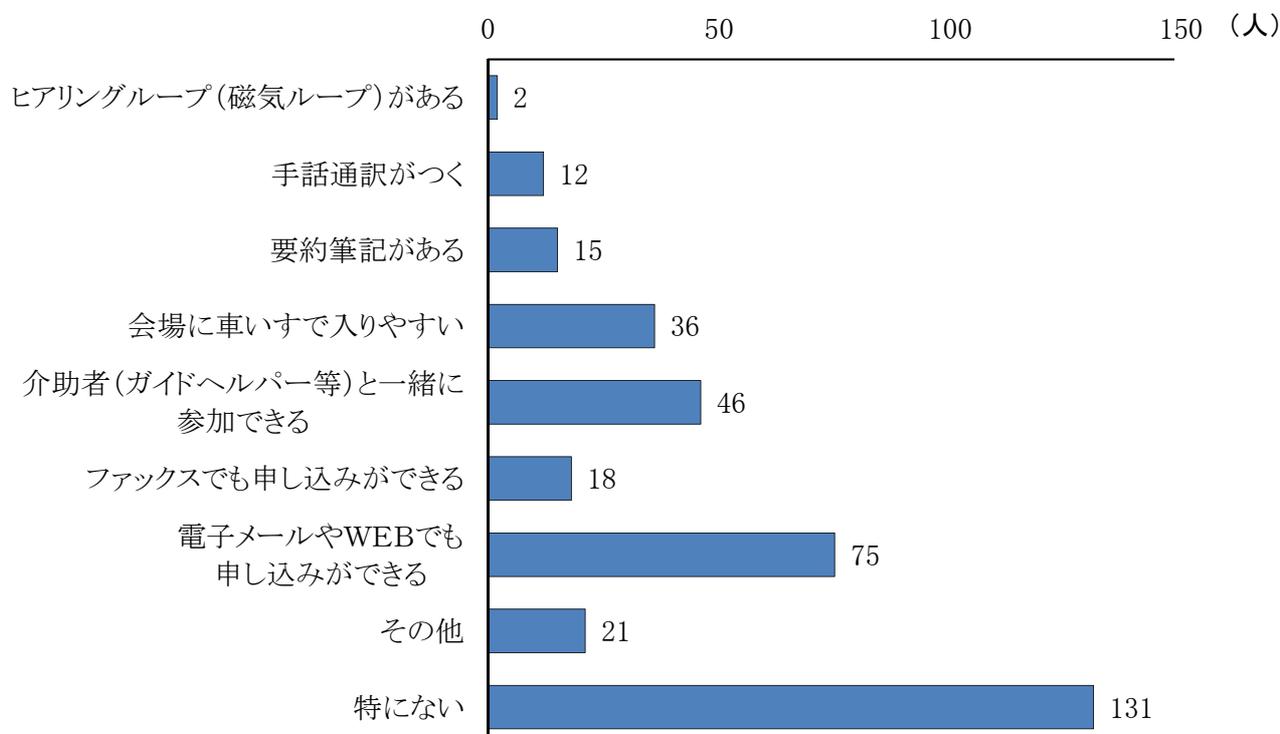
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 訪問していただき、家事のヘルプ。(女性、60代、身体)
- 障害者の賃金が増えること。(女性、30代、精神)
- 市民の理解。(女性、30代、精神)
- 同行支援制度の見直し。(女性、40代、精神)

問 35 あなたが市の開催する講座等に参加しようとするとき、どのような配慮があると参加しやすいですか。(複数回答可)

【回答数 270 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ヒアリングループ(磁気ループ)がある	2	0.7%	2	0	1	1
手話通訳がつく	12	4.4%	6	0	4	4
要約筆記がある	15	5.6%	6	1	6	5
会場に車いすで入りやすい	36	13.3%	28	1	1	2
介助者(ガイドヘルパー等)と一緒に参加できる	46	17.0%	30	8	8	10
ファックスでも申し込みができる	18	6.7%	15	1	2	2
電子メールやWEBでも申し込みができる	75	27.8%	31	5	28	28
その他	21	7.8%	7	4	7	7
特にない	131	48.5%	76	20	24	31
無回答	45	-	32	6	7	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

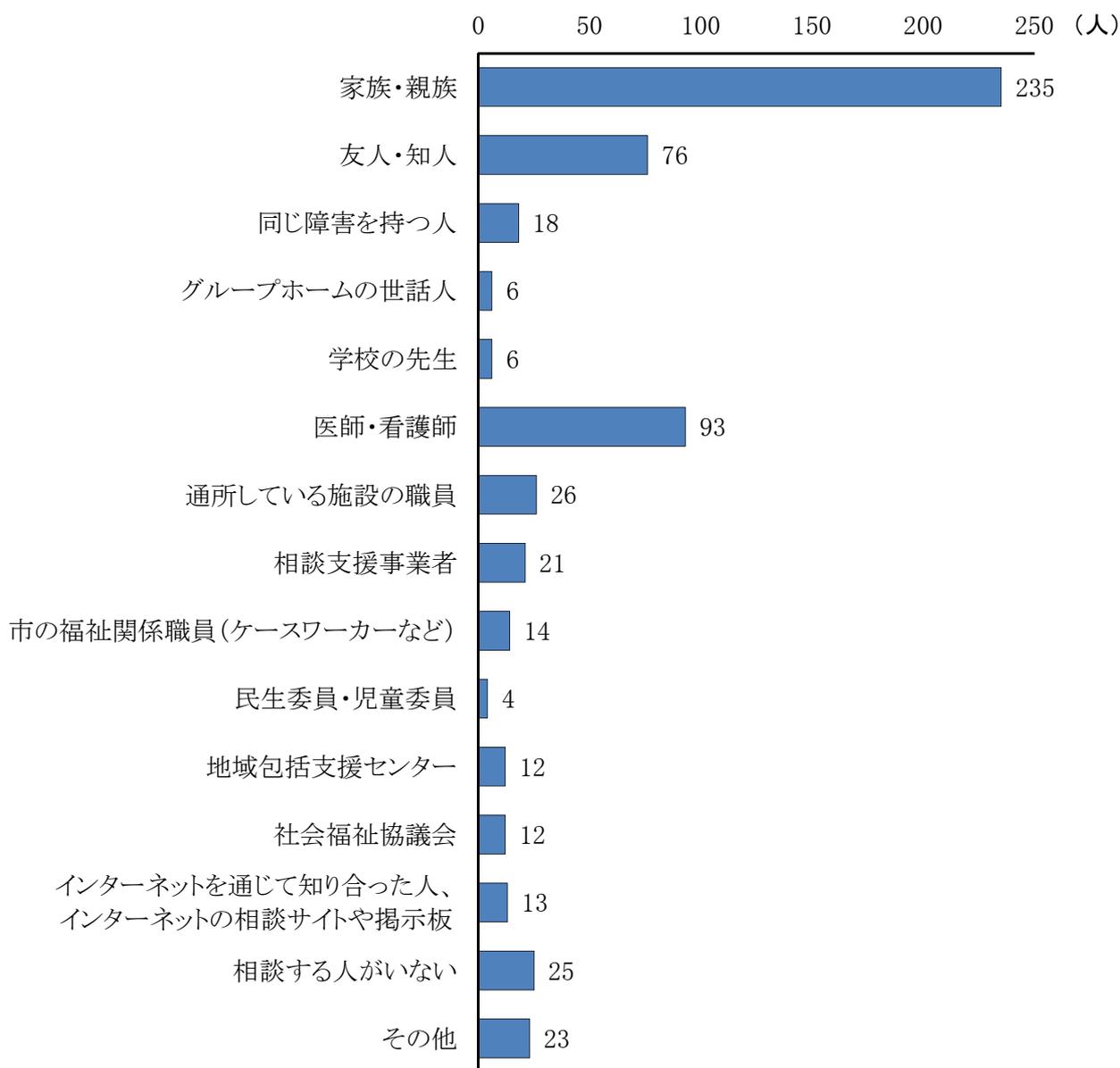
【その他回答の主な内容】

- オンラインによる参加。 (男性、30代、精神) (男性、60、身体)
- 適切な指導者がいる事。周囲の理解。 (女性、50代)
- 知的障害者にも理解しやすい内容。 (女性、40代、知的)
- 要約筆記の画面が2~3つあり、すぐに消えてしまわないように見せておく時間の配慮が欲しい。
できればPDF化して終了後に配布してくれると助かります。 (女性、40代、精神)
- 金額が発生した時、出来るだけ少額である事。 (女性、30代、精神)

Ⅶ 相談などについて

問 36 あなたが、困ったり不安を感じたときに、日常的に相談している人はだれですか。(複数回答可)

【回答数 305 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族・親族	235	77.0%	140	30	44	50
友人・知人	76	24.9%	42	10	14	16
同じ障害を持つ人	18	5.9%	9	1	7	8
グループホームの世話人	6	2.0%	4	4	0	1
学校の先生	6	2.0%	0	3	2	1
医師・看護師	93	30.5%	48	5	31	35
通所している施設の職員	26	8.5%	10	7	10	9
相談支援事業者	21	6.9%	8	8	7	8
市の福祉関係職員(ケースワーカーなど)	14	4.6%	8	4	3	4
民生委員・児童委員	4	1.3%	3	1	1	1
地域包括支援センター	12	3.9%	8	1	1	1
社会福祉協議会	12	3.9%	8	1	2	2
インターネットを通じて知り合った人、 インターネットの相談サイトや掲示板	13	4.3%	5	0	7	7
相談する人がいない	25	8.2%	15	2	8	8
その他	23	7.5%	10	3	7	7
無回答	10	-	5	2	4	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

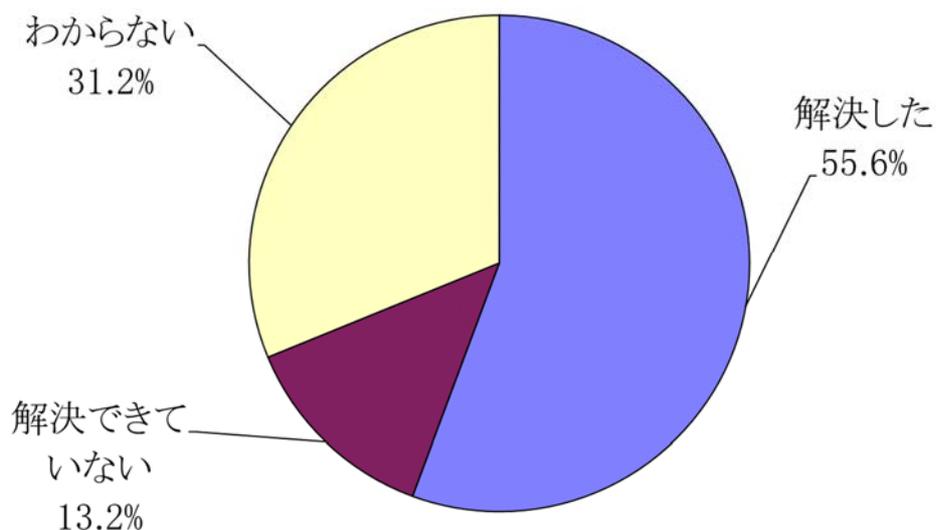
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- ヘルパー。 (男性、80代、身体) (男性、70代、身体)
- 補聴器店。 (女性、50代、身体)
- 会社の上司。 (男性、30代、精神) (女性、50代、精神)
- ジョブコーチ。 (女性、50代、精神)
- リハビリの先生。 (女性、30代、難病)
- 訪問看護。 (男性、40代、精神)
- 会社の精神保健福祉士 (PSW)。 (女性、30代、精神)

問 37 問 36 で回答した相談先に相談することで、困ったことは解決しましたか。

【回答数 266 人】



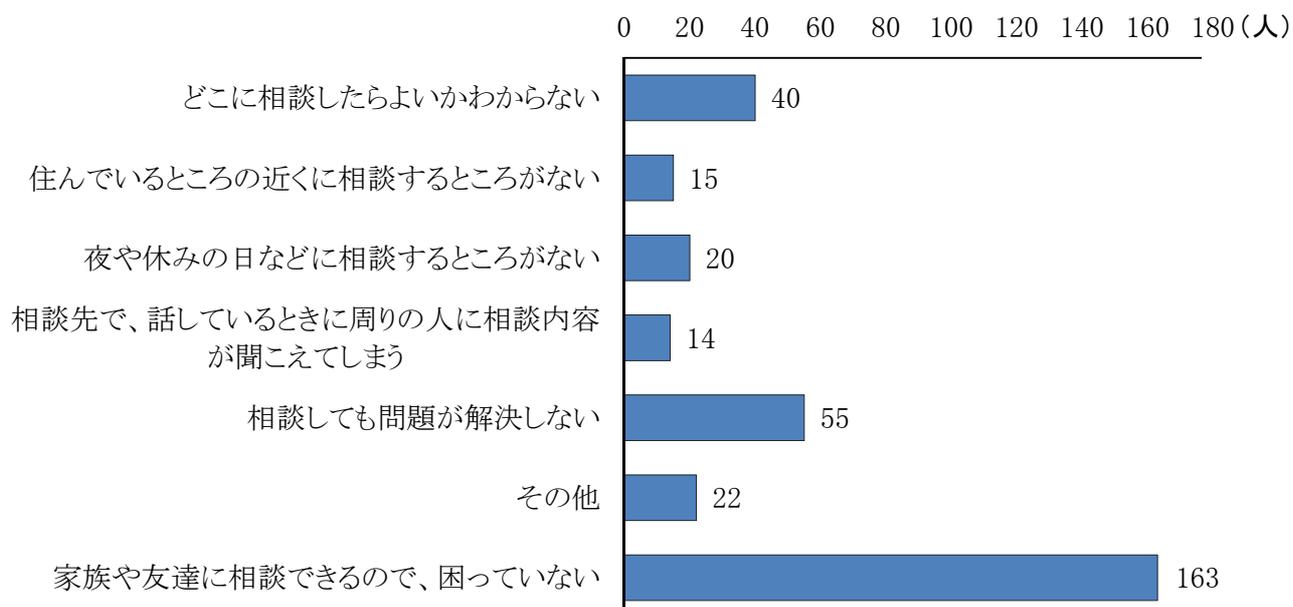
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
解決した	148	55.6%	85	17	25	30
解決できていない	35	13.2%	23	6	9	10
わからない	83	31.2%	41	11	25	28
無回答	49	-	33	7	11	10
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 38 あなたが相談するときに、困っていることはありますか。(複数回答可)

【回答数 272 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
どこに相談したらよいかわからない	40	14.7%	18	5	15	14
住んでいるところの近くに相談するところがない	15	5.5%	7	2	6	6
夜や休みの日などに相談するところがない	20	7.4%	7	3	11	11
相談先で、話しているときに周りの人に相談内容が聞こえてしまう	14	5.1%	8	1	6	6
相談しても問題が解決しない	55	20.2%	23	8	23	23
その他	22	8.1%	12	2	6	6
家族や友達に相談できるので、困っていない	163	59.9%	100	18	28	34
無回答	43	-	28	10	5	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

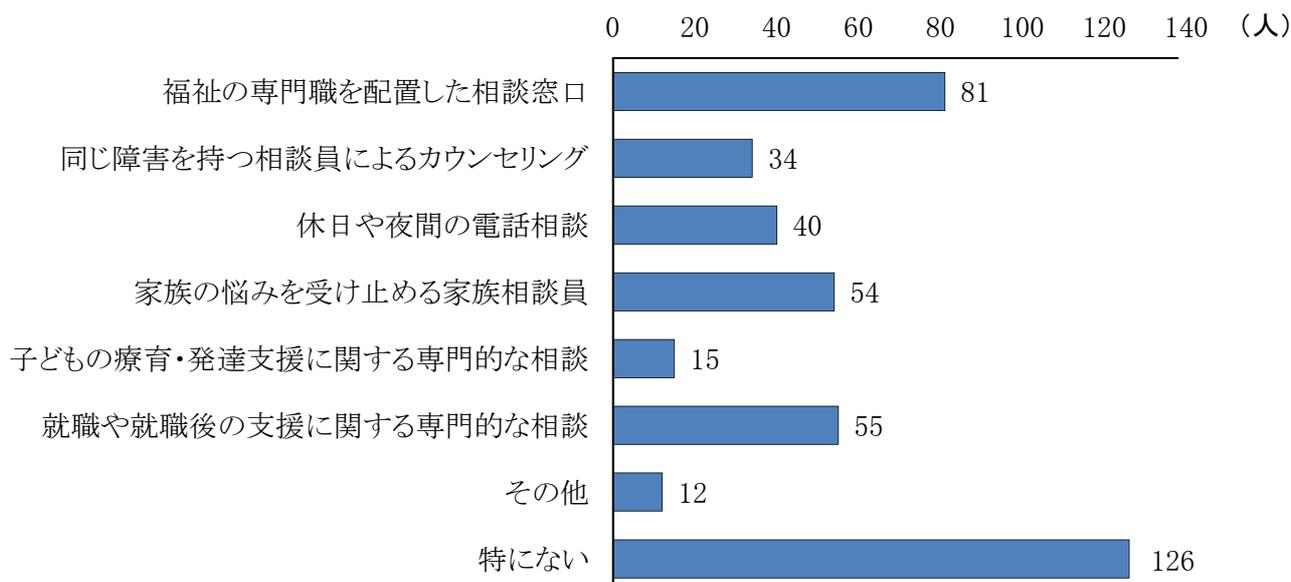
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 相談内容によっては話を止められる。(男性、20代、知的)
- 周囲に人がいない個室でないとうまく話せない。(男性、30代、精神)
- 自分の思いや障害をうまく言語化出来ない。(女性、50代、精神)
- 物事による。(男性、60代、精神)
- 金銭発生する相談はしたくない。(女性、40代、身体)
- 健常者が考えるより、不安は大きい。(女性、60代、身体)
- 病院の電話が混み合っていてすぐに相談出来ない事。(女性、30代、難病)
- 感音性難聴でコミュニケーションが取りづらい。(男性、70代、身体)

問 39 相談支援体制について、どのようなことの充実を望みますか。(複数回答可)

【回答数 270 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
福祉の専門職を配置した相談窓口	81	30.0%	43	13	21	22
同じ障害を持つ相談員によるカウンセリング	34	12.6%	15	3	12	13
休日や夜間の電話相談	40	14.8%	22	3	14	15
家族の悩みを受け止める家族相談員	54	20.0%	24	8	17	16
子どもの療育・発達支援に関する専門的な相談	15	5.6%	5	5	5	5
就職や就職後の支援に関する専門的な相談	55	20.4%	14	13	26	29
その他	12	4.4%	3	1	6	5
特にない	126	46.7%	81	17	19	24
無回答	45	-	34	4	7	8

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

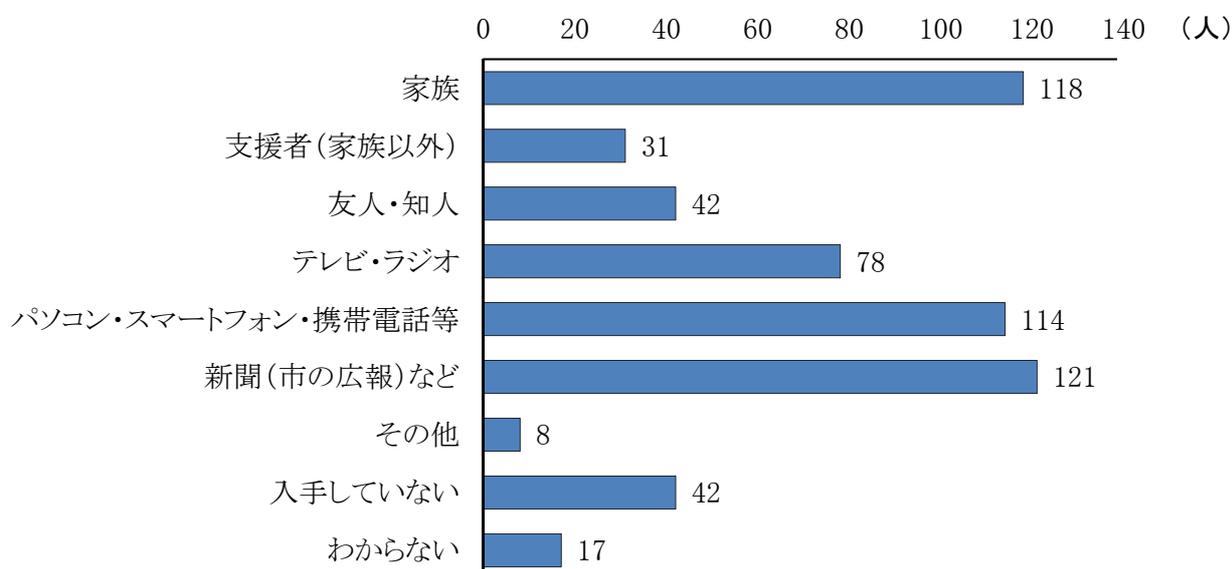
【その他回答の主な内容】

- Z 世代を経由した理解。 (男性、20 代、知的)
- 保険適用による心理カウンセラーとの面談の場。 (男性、30 代、精神)
- ラインなど SNS を活用した相談。 (男性、10 代、精神)
- 親なき後の障害を持つ子供の生活支援。 (男性、60 代、身体)
- メール等で相談できる体制。 (男性、70 代、身体)
- プライバシーの確保。 (女性、30 代、精神)
- あちこちに回されない。 (女性、60 代、身体)
- 障害の状況(高次脳)に関して専門的な職員の配置。 (女性、40 代、精神)

Ⅷ 情報入手などについて

問 40 あなたは、毎日の生活や障害福祉サービスなどについて、どのようにして情報を得ていますか。(複数回答可)

【回答数 297 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族	118	39.7%	65	18	25	32
支援者(家族以外)	31	10.4%	10	8	11	12
友人・知人	42	14.1%	21	5	10	12
テレビ・ラジオ	78	26.3%	53	5	14	16
パソコン・スマートフォン・携帯電話等	114	38.4%	53	9	38	38
新聞(市の広報)など	121	40.7%	85	2	22	23
その他	8	2.7%	3	1	4	4
入手していない	42	14.1%	25	7	10	9
わからない	17	5.7%	7	8	3	4
無回答	18	-	11	4	3	4

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

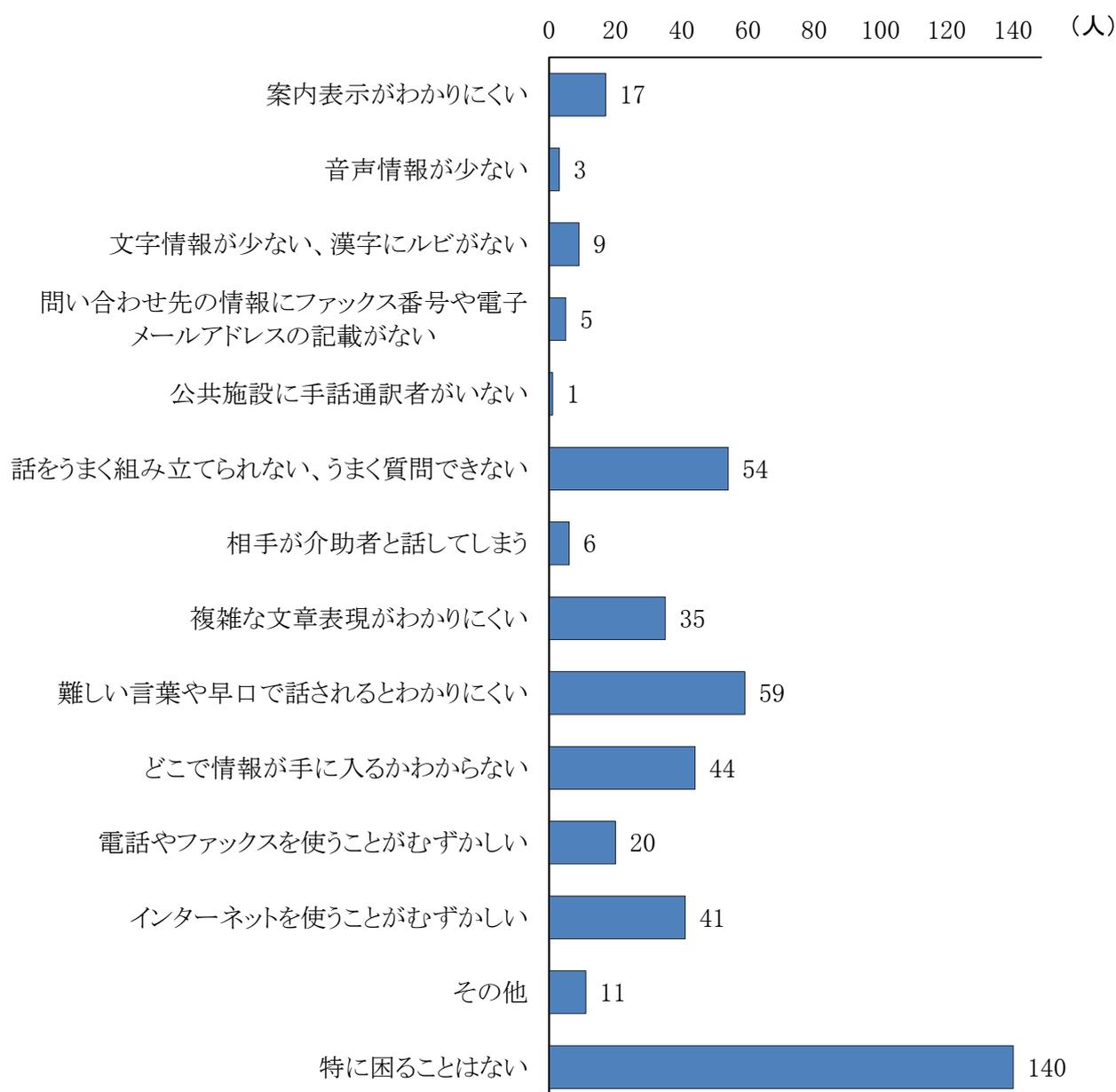
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- ジョブコーチ。 (女性、50代、精神)
- 主治医。 (女性、30代、精神)
- ケアマネジャー。 (男性、70代、身体)

問 41 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとる上で困っていることはありますか。
(複数回答可)

【回答数 276 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
案内表示がわかりにくい	17	6.2%	10	1	6	5
音声情報が少ない	3	1.1%	2	0	1	1
文字情報が少ない、漢字にルビがない	9	3.3%	6	1	2	1
問い合わせ先の情報にファックス番号や電子メールアドレスの記載がない	5	1.8%	1	0	2	1
公共施設に手話通訳者がいない	1	0.4%	1	0	0	0
話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	54	19.6%	22	12	24	26
相手が介助者と話してしまう	6	2.2%	3	1	3	3
複雑な文章表現がわかりにくい	35	12.7%	20	10	9	10
難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	59	21.4%	27	12	19	20
どこで情報が手に入るかわからない	44	15.9%	17	6	16	18
電話やファックスを使うことがむずかしい	20	7.2%	16	4	3	6
インターネットを使うことがむずかしい	41	14.9%	27	4	4	7
その他	11	4.0%	4	4	3	3
特に困ることはない	140	50.7%	91	13	20	24
無回答	39	-	29	7	3	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

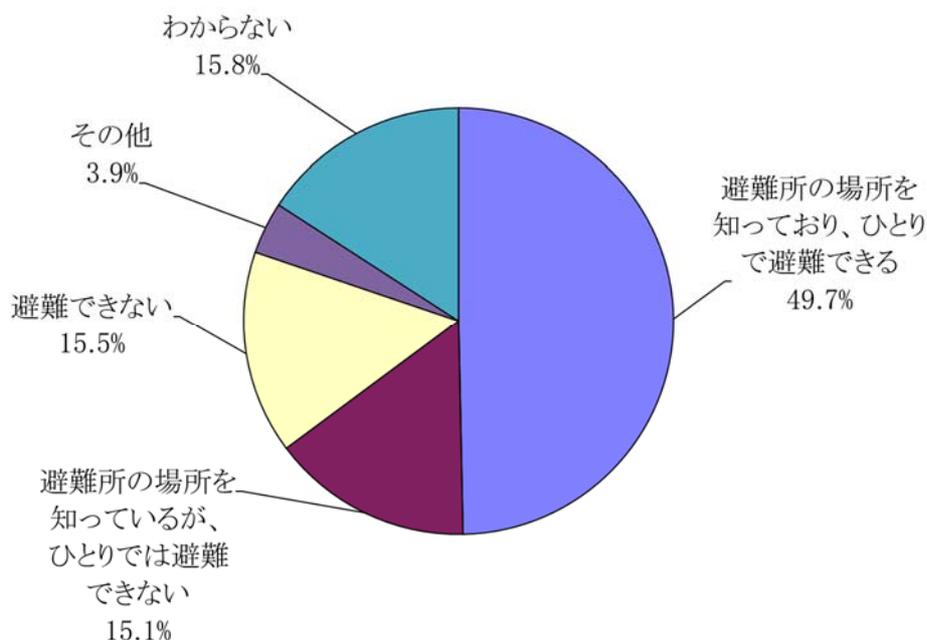
【その他回答の主な内容】

- 企業体質に最適化され過ぎているので、当事者一部への情報共有が消される。
(男性、20代、知的)
- 情報を得ようとするスマホを使うのを控えろと言われる。
(女性、40代、身体・精神)
- 一体、自分がどうして悩んでいるのかが分からない。
(女性、50代、精神)
- 知的だとまず、言葉の理解が出来ない。
(男性、50代、知的)
- 主人を介護してるので、動きが取れない。
(女性、60代、身体)
- 6才でコミュニケーションはまだ難しいので、困っていることが何なのかも分かりません。
(女性、0代、知的)
- 市から流す、災害情報システム？（毎日、小学生の下校時刻に見守りのお願いを流している）何を放送されているか全く聞こえない。市役所に行ってお願いしたが「仕方ない」とか災害が起きないと問題視されないのか。
(女性、80代、難病)
- よく会話が噛み合わない、誤解される。
(女性、30代、精神)

Ⅸ 災害時の対策、緊急時の対応などについて

問 42 あなたは、火事や地震などの災害時にひとりで避難所に避難できますか。

【回答者数 304 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
避難所の場所を知っており、ひとりで避難できる	151	49.7%	89	12	32	33
避難所の場所を知っているが、ひとりでは避難できない	46	15.1%	27	6	9	13
避難できない	47	15.5%	30	12	4	5
その他	12	3.9%	6	0	7	6
わからない	48	15.8%	23	10	16	19
無回答	11	-	7	1	2	2
合計	315	100.0%	182	41	70	78

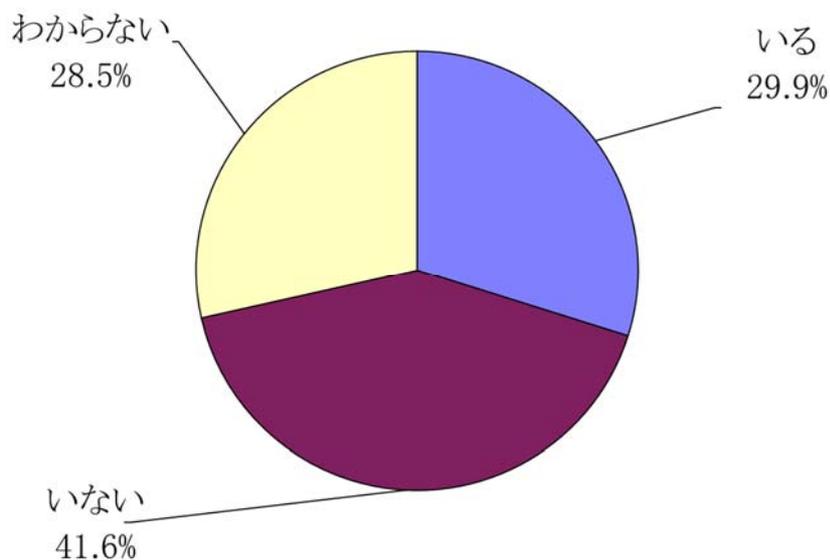
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 避難所の場所を知らない。 (男性、30代、精神) (女性、30代、精神)
- 避難場所を指定されてないし、自分で何とでもなる。 (男性、50代、身体)
- 1人で避難は出来るが、避難所を良く把握していない。 (男性、40代、精神)
- 娘も全介護、車イスなのでいざという時、どうしようか家族で考え中。 (女性、50代、精神)
- 避難所が遠い。 (男性、70代、精神)
- 車イスで外に出るために昇降機を利用するため、電気が止まると外に出ることができない。 (男性、60代、身体)

問 43 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

【回答数 298 人】



【障害別回答数】

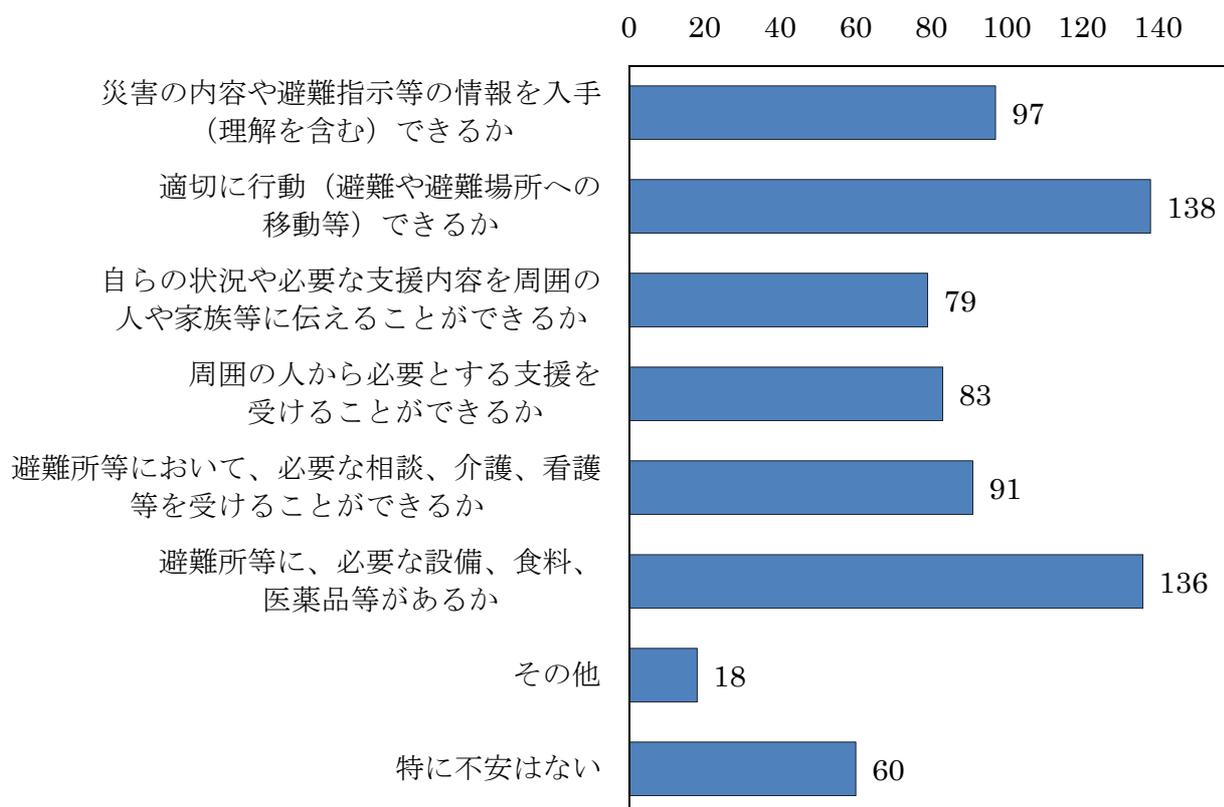
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
いる	89	29.9%	51	10	15	16
いない	124	41.6%	67	18	34	37
わからない	85	28.5%	52	11	18	22
無回答	17	-	12	2	3	3
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、左の表の回答数と障害別の合計が異なります。

問 44 あなたが、災害時に不安を感じることは、どれですか。(複数回答可)

【回答者数 290 人】

(人)



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
災害の内容や避難指示等の情報を入手(理解を含む)できるか	97	31.4%	46	15	23	28
適切に行動(避難や避難場所への移動等)できるか	138	44.7%	83	19	25	30
自らの状況や必要な支援内容を周囲の人や家族等に伝えることができるか	79	25.6%	37	17	16	22
周囲の人から必要とする支援を受けることができるか	83	26.9%	45	13	21	26
避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか	91	29.4%	52	12	25	27
避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか	136	44.0%	70	12	37	43
その他	18	5.8%	8	3	7	6
特に不安はない	60	19.4%	36	10	12	15
無回答	25	-	17	3	4	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

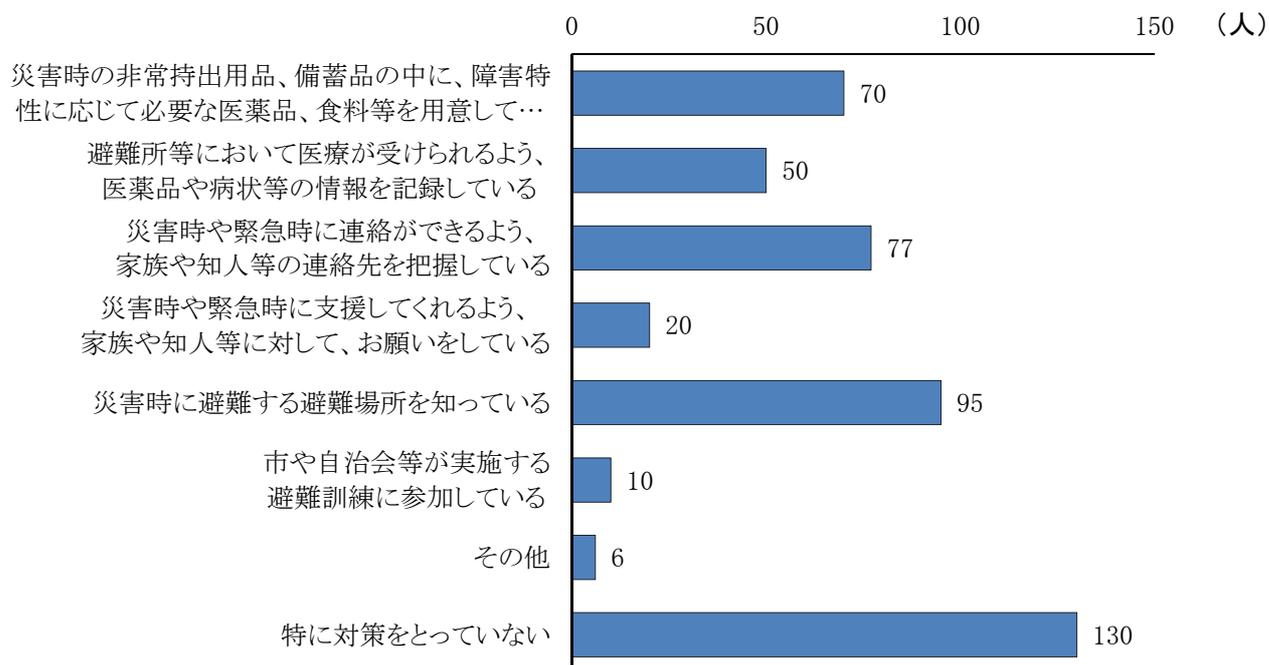
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 情報を遮断する場を求める。 (男性、20代、知的)
- 災害に遭っていないので不安です。 (女性、80代、身体)
- アレルギー対応食の不足、ペット同行の避難によるアレルギー悪化。 (女性、40代、身体・精神)
- 見た目では分からない障害なので周囲の人に障害者と分かってもらえないので不安。
(女性、40代、身体・知的)
- 外出時に災害が発生した時。 (男性、80代、身体)
- 安心できる区切られたスペースが得られるか (情緒の安定の為)。 (男性、10代、精神)
- 透析を受けられるか。 (男性、60代、身体)
- 避難所の環境での体調悪化、処方薬が入手できるか (毎日服用している薬)。
(女性、30代、精神)
- 見た目には分かりにくい持病の為、説明が難しい。 (女性、30代、難病)
- 大声で話す人がいると心臓がバクバクする。パニック。 (女性、60代、精神)
- ネコがいるのでそれに関するもろもろ。 (女性、30代、精神)
- 人の声や音に対応できない。パニックになってしまい自分の状況が悪化してしまう。
(女性、40代、精神)

問 45 あなたは、災害に備えて、特別な対策をとっていますか。(複数回答可)

【回答数 287 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
災害時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している	70	24.4%	48	6	14	14
避難所等において医療が受けられるよう、医薬品や病状等の情報を記録している	50	17.4%	27	1	12	14
災害時や緊急時に連絡ができるよう、家族や知人等の連絡先を把握している	77	26.8%	43	9	18	17
災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対して、お願いをしている	20	7.0%	12	3	3	3
災害時に避難する避難場所を知っている	95	33.1%	54	5	24	22
市や自治会等が実施する避難訓練に参加している	10	3.5%	6	0	1	1
その他	6	2.1%	5	0	2	2
特に対策をとっていない	130	45.3%	68	20	29	38
無回答	28	-	20	3	5	5

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- ペット同行避難が増え、動物体毛アレルギーを避けるため、避難しないようにしている。トランスジェンダーが女性スペースに侵入することが怖いので逃げない。(女性、40代、身体・精神)

問 46 今まで、地震などの災害時にあなたが困ったことはどのようなことですか。

【自由記入の主な回答】

【避難について】

- 電車が停まって一時的に学校の体育館へ避難した。 (男性、40代、精神)
- 立川市以外の場所で勤務していた際、交通機関が止まり帰宅に時間がかかった。 (女性、50代、身体)
- 足、腰が悪くなりテキパキ動けない事です。 (女性、70代、身体)
- 自分で行動出来ない。 (男性、90代、身体)
- 杖で階をスムーズに降りられない。(3階に住んでいるので階段を降りられない)。 (女性、70代、身体)
- 一人でいる時に何かあったら対応できない。 (女性、40代、身体・知的)
- 避難所には行けない。奇声があったり奇行をするため、どうしても行けません。 (男性、50代、知的)
- 対人コミュニケーションの問題で、日頃から周囲と交流していなかった為に、職場(商業施設)で震災が起きた際に、声を掛け合ったり食料品が用意されている場所へ集まるなど、人と情報共有したり集団行動から孤立してしまう事がありました。同僚から声をかけてもらい、避難行動に同行することが出来ました。 (女性、30代、精神)
- この地域では、防災無線(スピーカー)が、まるで聞こえない。東北地震の時、困った。巡回する広報車で知ること位でした。 (女性、70代、身体)

【必要な設備、物について】

- 断水や計画停電。 (女性、30代、精神)
- 計画停電は面倒だった。 (男性、50代、身体)
- 計画停電で寒い思いをしたことがあった。 (男性、50代、精神)
- ガス、水道、電気、トイレが使えなくなった。食料品が手に入らなかった。 (女性、70代、身体)
- エレベーターの使用不可。コンビニの食料品売り切れ。 (男性、70代、身体)
- 電気が止まった。 (女性、70代、身体・知的)
- トイレ。 (男性、80代、身体)
- 電池を買いに行ったが、売り切れていて何軒もまわった。 (女性、60代、精神)
- 停電。携帯電話(ガラケー)のときだったので、インターネットで市の災害ページが全部は開けなかった。 (男性、60代、難病)
- 薬の不足。 (女性、30代、精神)
- 電池を買いに行ったが、売り切れていて何軒もまわった。 (女性、60代、精神)
- 食事での栄養がバランスよく取れない。 (女性、30代、精神)

【情報や連絡について】

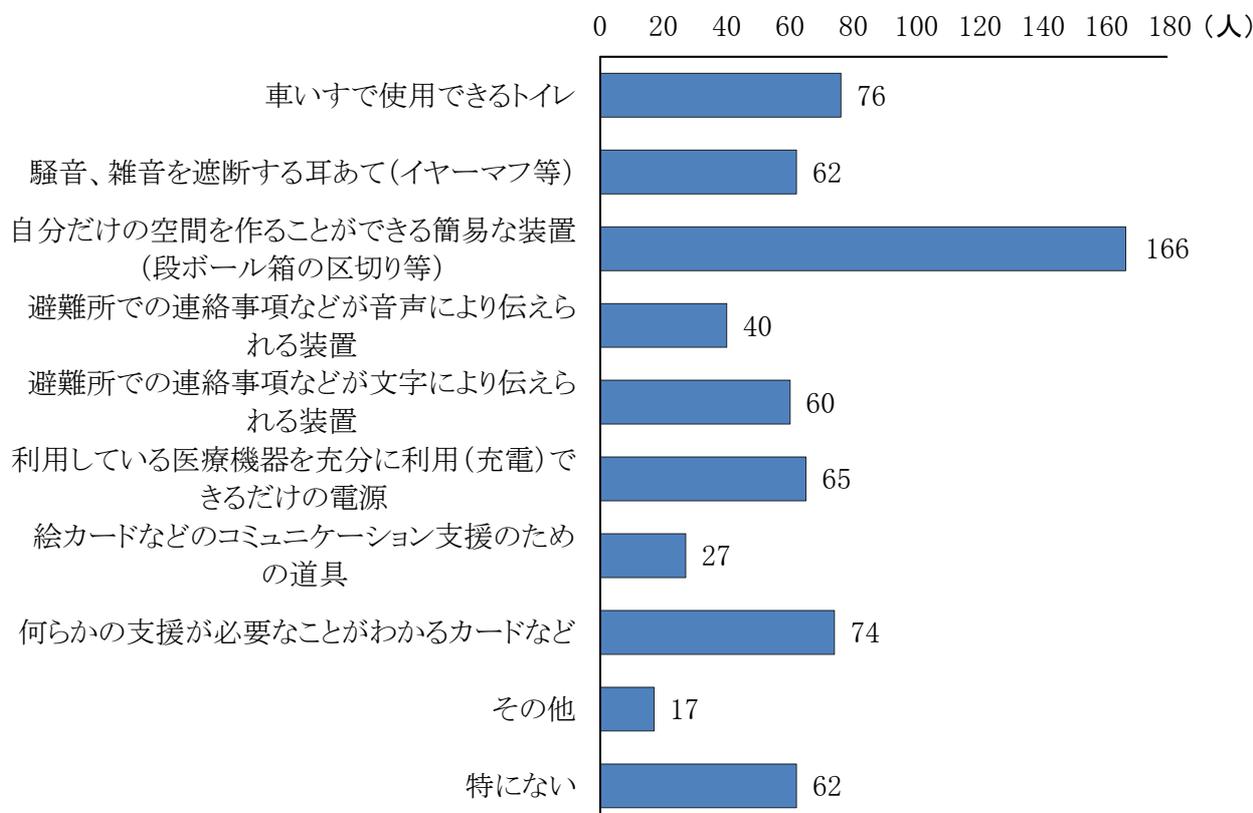
- スマホが使用できなくなり家族と連絡がなかなかとれなくなったこと。災害時の通信関係のトラブルは、何とかならないか常を感じる。 (女性、40代、身体)
- 携帯電話が繋がらなくなる。交通、乗り物がストップされ自宅に帰れなくなる。 (女性、70代、身体)
- どのように対応し家族との連絡を即、取れるか心配である。 (男性、60代、難病)
- 感音性難聴なので、サイレンや防災マイク放送等が分からない。 (男性、70代、身体)
- 災害情報システム、放送される内容が分かるようにして欲しい。設置場所を増やして欲しい。全国一斉の災害訓練で放送されると市報に載っても全然聞こえない！市では災害に力を入れている様に市報などからわかるが実際にはどこに力を入れているのか???市民に聞いて欲しい。(アンケートか何か)随分前からお願いしている事です。 (女性、80代、難病)

【その他】

- 家の被害。 (男性、70代、身体)
- 声が出ない(手術によって咽頭を摘出しているのだ)。(男性、80代、身体)
- 今まで大きな災害にあっていない。(男性、70代、身体)
- 介助されて生活が成り立っているので、介助者が買い物等で離れている時に、災害にあったら身動き取れない。近所の方も助けてくださるが、SOS発信が本人は出来ないであろうことが不安である。(女性、90代、身体)
- こわい、どうしていいかわからない。(女性、20代、知的・精神)
- 幸いにもこの年齢になるまで、大事に至る災害にあった事がないので分かりませんが、あらゆる事が困ると思います。避難場所に行った時などです。(これが一番心配!!)普段、家だと何でもない事がきっと出来ない事が多いと思います。(女性、70代、身体)
- 不安になって動けない。(女性、20代、精神)
- 障害を負って日が浅いため、大きな災害にあったことはないが、外出時に交通機関が動かなくなる事。(男性、60代、身体・難病)
- 不安が強くなり、部屋から出られなくなった。(女性、40代、精神)

**問 47 避難場所があれば、役に立つ、障害特性に配慮していると思われる物品はありますか。
（食料など、長く保存できないものは除いて、お答えください）（複数回答可）**

【回答数 278 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
車いすで使用できるトイレ	76	27.3%	46	4	15	16
騒音、雑音を遮断する耳あて(イヤーマフ等)	62	22.3%	21	9	26	28
自分だけの空間を作ることができる簡易な装置(段ボール箱の区切り等)	166	59.7%	92	19	45	49
避難所での連絡事項などが音声により伝えられる装置	40	14.4%	23	5	6	8
避難所での連絡事項などが文字により伝えられる装置	60	21.6%	29	4	19	21
利用している医療機器を十分に利用(充電)できるだけの電源	65	23.4%	38	2	16	18
絵カードなどのコミュニケーション支援のための道具	27	9.7%	8	8	8	9
何らかの支援が必要なことがわかるカードなど	74	26.6%	37	8	23	27
その他	17	6.1%	9	4	5	5
特にない	62	22.3%	35	12	8	12
無回答	37	-	25	4	8	8

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

【医療や衛生】

- 医師（精神科）の常駐。 (女性、50代、精神)
- 補聴器用の電池が入手しやすい事。 (女性、80代、身体)

【トイレや入浴】

- オムツ交換が出来る個室ベッド。 (女性、20代、身体・知的・難病)

【情報保障】

- 理解が容易に出来る掲示板等。 (女性、40代、知的)

【環境】

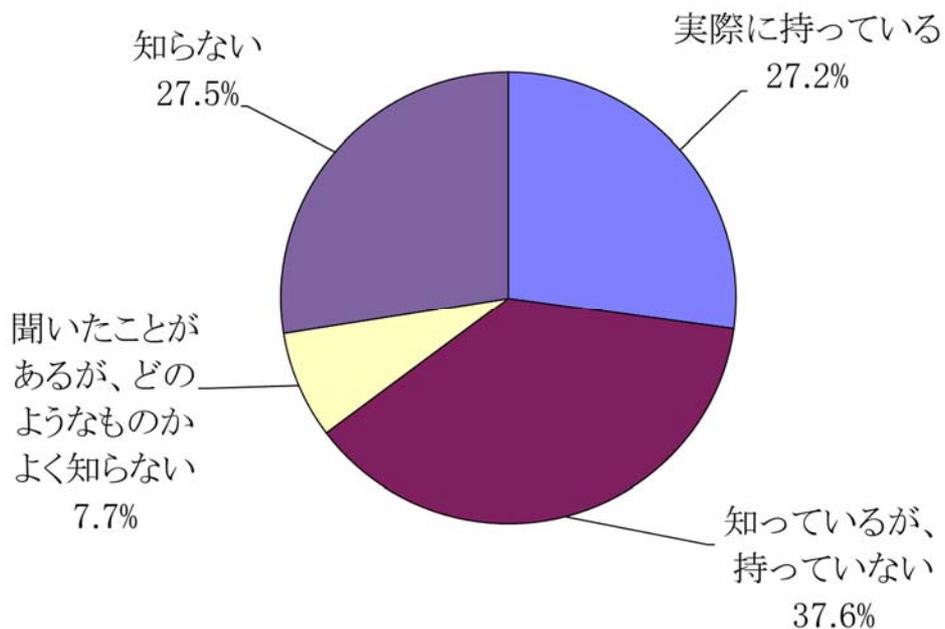
- ベッドが必要。 (男性、90代、身体)
- 暴風雨でも体育館入口などに設置されてるペットゲージを中に持ち込む人は本当に出ないのか？
止める人はいるのか？ (女性、40代、身体・精神)
- 障害者スペースがあれば、少しは気が楽です。 (男性、50代、知的)
- 床で寝る事が出来ないので、ダンボールベッド、手すり。 (女性、60代、身体)
- ネコと過ごせる環境。 (女性、30代、精神)
- セクハラをする人がいないスペース。 (女性、30代、精神)
- 自動車で避難できる。 (男性、50代、精神)

【その他】

- こういった物品があることなど情報を知らなかった。 (女性、40代、身体)
- 普段あまり考えたことがない。幸い今迄になかった。 (男性、80代、身体)
- 場所の内容がわからないのでわからない。 (女性、70代、身体)
- わからない。 (女性、80代、難病)

問 48 立川市で、「ヘルプマーク」(義足や人工関節、内部障害、難病、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマーク)を配布していることを知っていますか。

【回答者数 298 人】



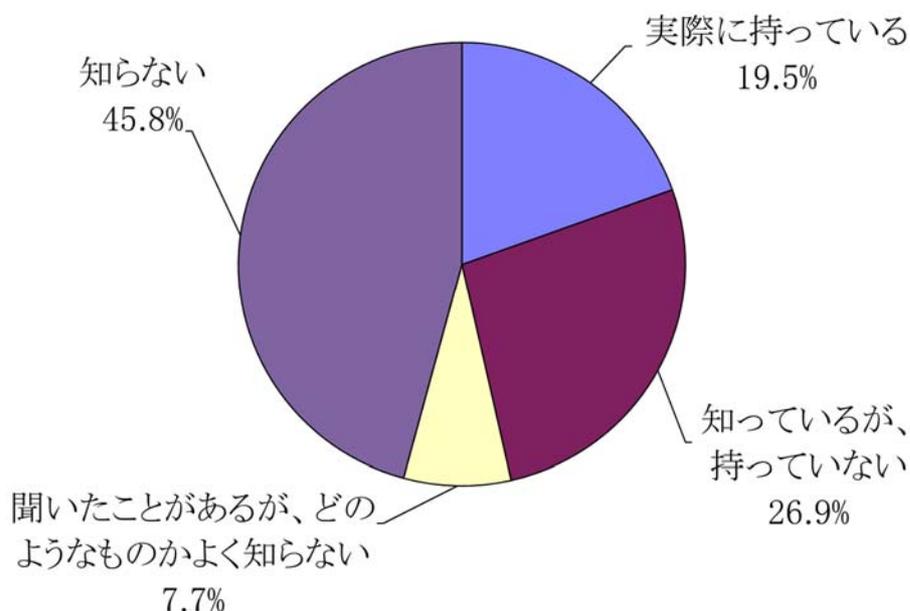
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
実際に持っている	81	27.2%	47	15	16	17
知っているが、持っていない	112	37.6%	60	11	32	34
聞いたことがあるが、どのようなものかよく知らない	23	7.7%	11	5	6	6
知らない	82	27.5%	54	7	15	20
無回答	17	-	10	3	1	1
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 49 立川市で、「ヘルプカード」(障害や疾病のある方が普段から身につけておき、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲の人に説明し支援をお願いするカード)を配布していることを知っていますか。

【回答者数 297 人】



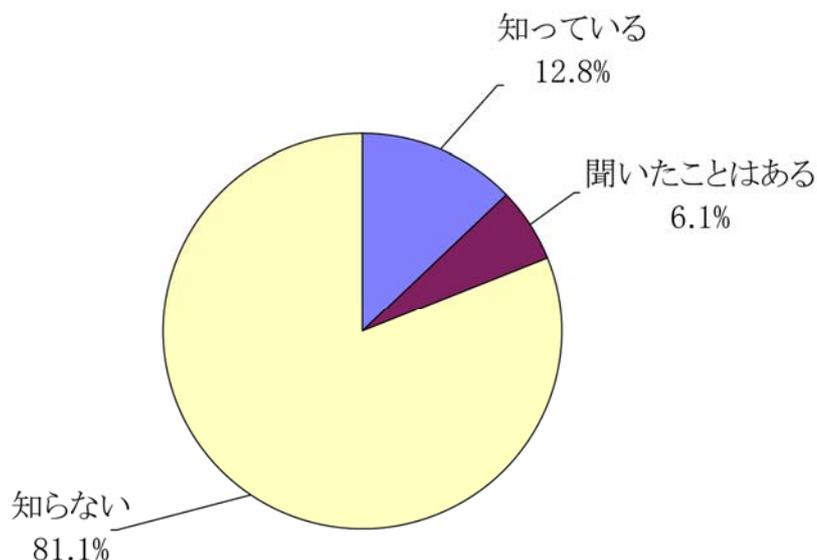
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
実際に持っている	58	19.5%	31	9	15	15
知っているが、持っていない	80	26.9%	45	10	20	22
聞いたことがあるが、どのようなものかよく知らない	23	7.7%	12	4	5	6
知らない	136	45.8%	83	17	27	33
無回答	18	-	11	1	3	2
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 50 立川市で、「オ・ト・モ・ダ・チ・カード」(ヘルプカードをつけている方が困っている時に、支援に協力をしていただける方が身につけるストラップ)を配布していることを知っていますか。

【回答者数 296 人】



【障害別回答数】

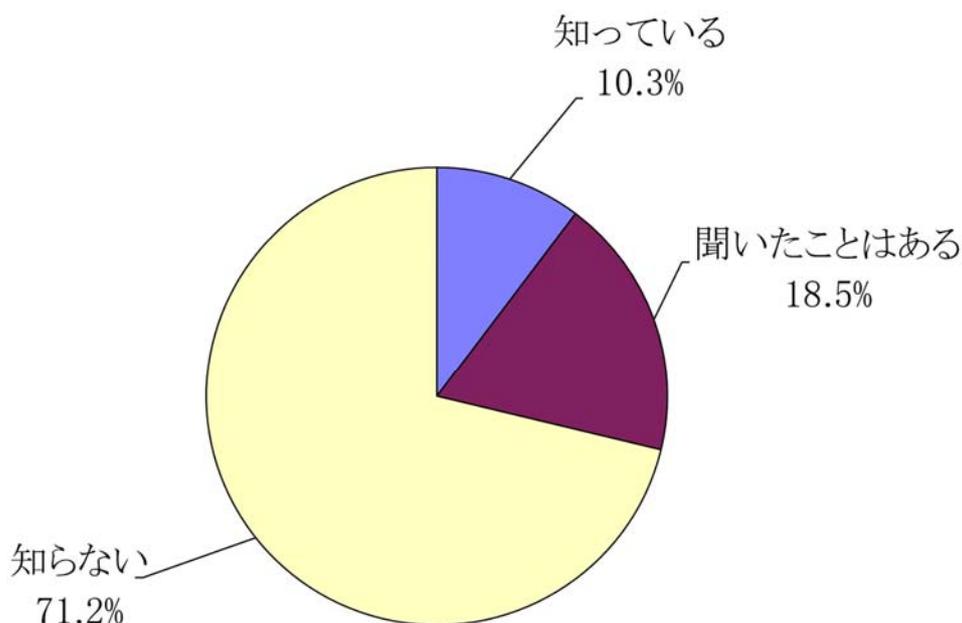
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	38	12.8%	20	8	12	13
聞いたことはある	18	6.1%	11	2	5	4
知らない	240	81.1%	139	30	49	58
無回答	19	-	12	1	4	3
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

X 障害者差別や権利擁護のことについて

問 51 平成28年4月から障害者差別解消法が施行されています。あなたは、この法律のことを知っていますか。

【回答数 292 人】



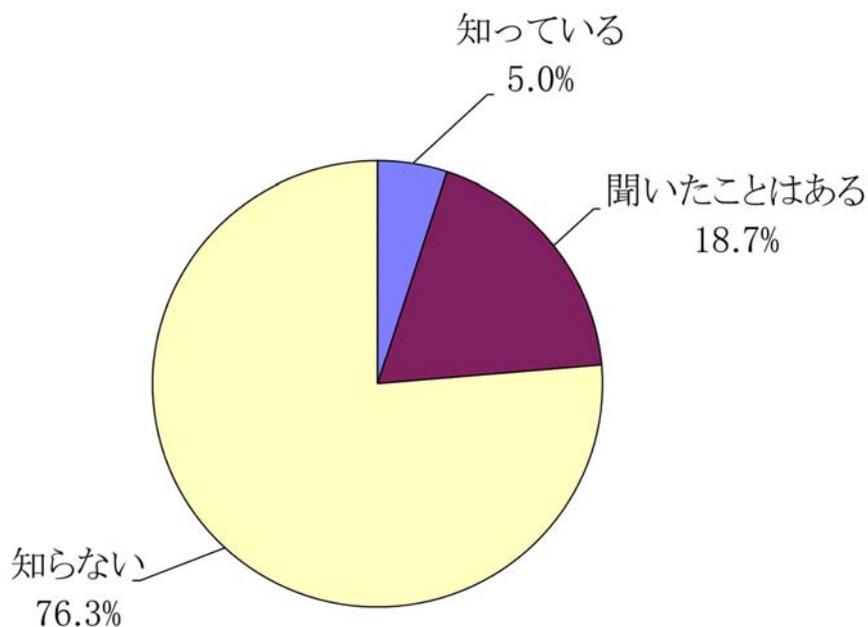
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	30	10.3%	19	2	9	9
聞いたことはある	54	18.5%	30	11	16	15
知らない	208	71.2%	118	26	40	50
無回答	23	-	15	2	5	4
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 52 平成30年4月から障害や障害のある人への理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちをつくるために、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

【回答数 300 人】



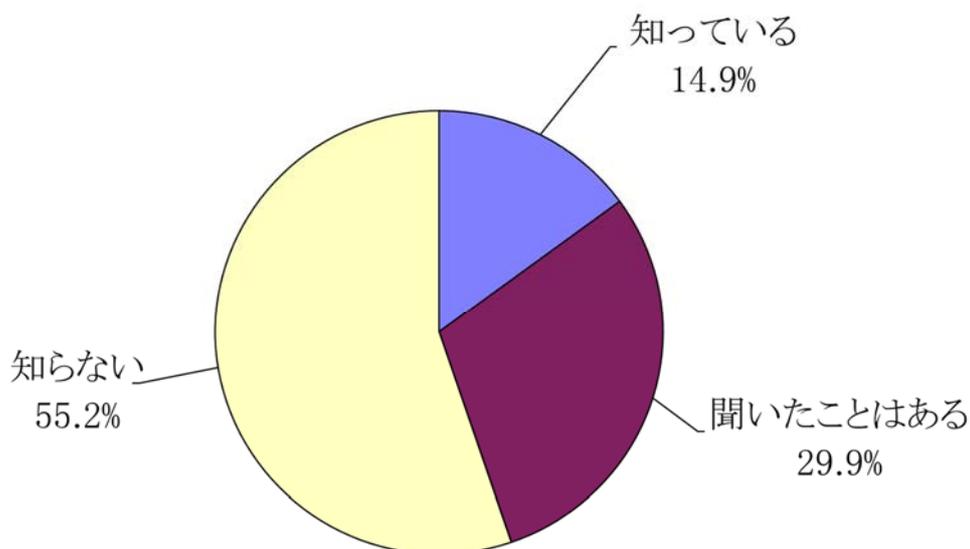
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	15	5.0%	10	0	4	4
聞いたことはある	56	18.7%	32	10	11	11
知らない	229	76.3%	129	28	52	61
無回答	15	-	11	3	3	2
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 52-1 問 52 で「1. 知っている」「2. 聞いたことはある」と答えた方におききます。令和4年12月に事業者による合理的配慮を義務付ける等の条例改正がありました(令和5年4月1日施行)。この条例改正のことを知っていますか。

【回答数 67人】



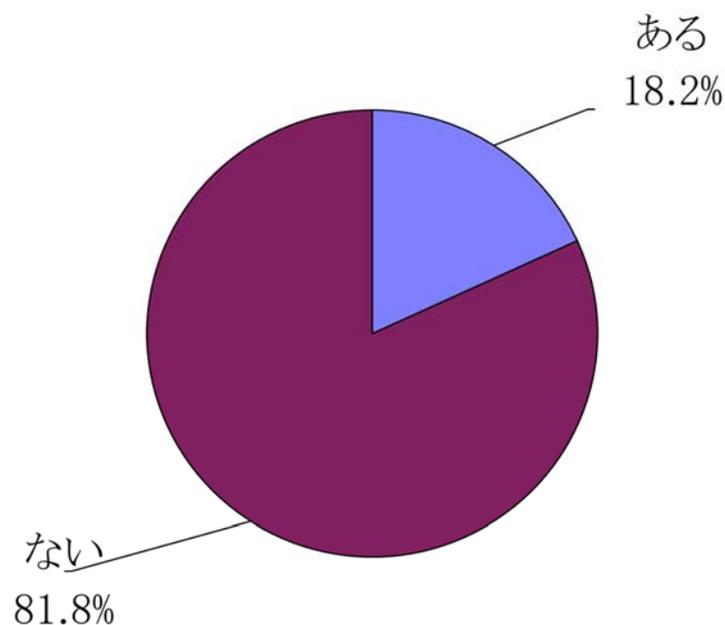
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	10	14.9%	5	1	3	3
聞いたことはある	20	29.9%	11	5	5	5
知らない	37	55.2%	24	4	5	5
無回答	4	-	2	0	2	2
合計	71	100.0%	42	10	15	15

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 53 あなたは、この1年間で差別をされた(他の人とは違う扱いをされた)と感じたことがありますか。

【回答者数 286 人】



【障害別回答数】

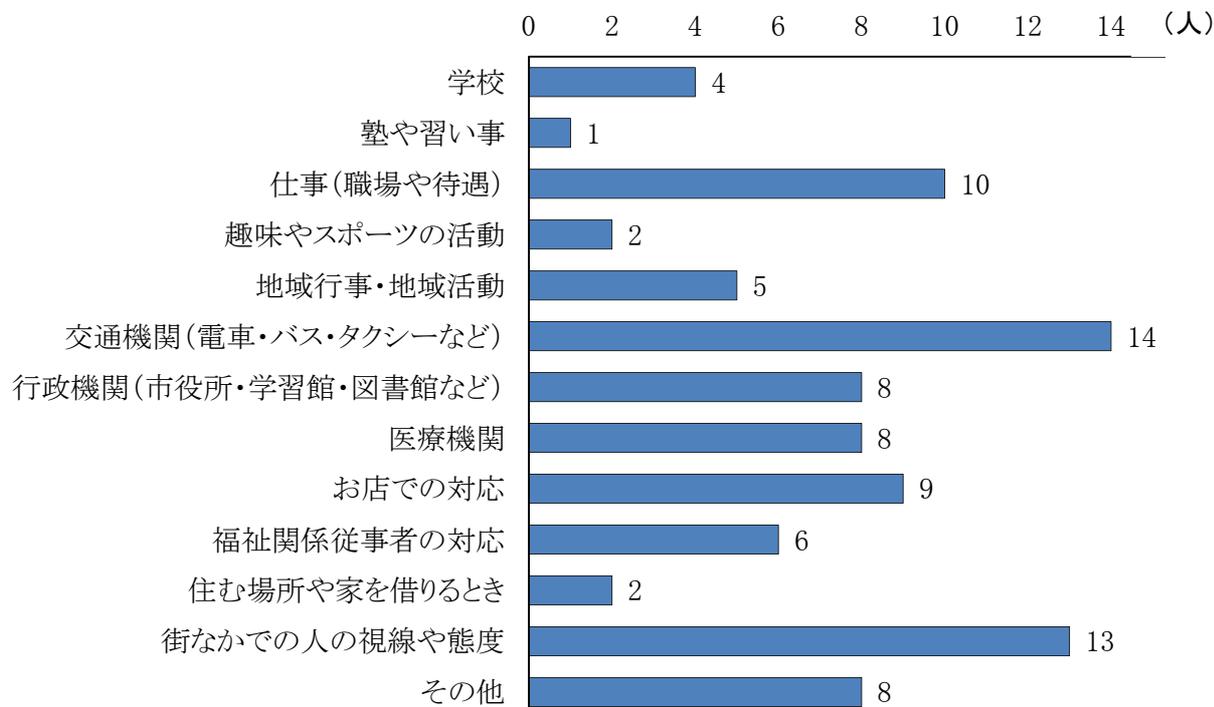
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ある	52	18.2%	24	13	17	18
ない	234	81.8%	137	23	47	55
無回答	29	-	21	5	6	5
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 53-1 問 53 で「1. ある」と答えた方におききします。

あなたが差別をされた(他の人とは違う扱いをされた)と感じたのはどんな場所や場面でしたか。
(複数回答可)

【回答数 51 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
学校	4	7.8%	1	1	1	1
塾や習い事	1	2.0%	0	0	0	0
仕事(職場や待遇)	10	19.6%	3	5	4	5
趣味やスポーツの活動	2	3.9%	1	1	0	0
地域行事・地域活動	5	9.8%	2	1	0	0
交通機関(電車・バス・タクシーなど)	14	27.5%	8	1	4	4
行政機関(市役所・学習館・図書館など)	8	15.7%	4	3	2	2
医療機関	8	15.7%	1	1	5	5
お店での対応	9	17.6%	4	1	4	4
福祉関係従事者の対応	6	11.8%	2	2	2	2
住む場所や家を借りるとき	2	3.9%	0	0	1	1
街なかでの人の視線や態度	13	25.5%	2	6	5	6
その他	8	15.7%	3	1	3	3
無回答	1	-	1	1	0	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 保育園。 (女性、30代、精神)
- 保険加入。 (女性、40代、身体)
- 家族から。 (女性、30代、精神)
- 婚活。 (女性、30代、精神)

問 53-2 問 53 で「1. ある」と答えた方におききます。あなたが差別をされた(他の人とは違う扱いをされた)と感じたのはどんなことでしたか。差し支えない範囲でご記入ください。

【自由記入の主な回答】

【地域】

- 息子の通う保育園で、お母さん、この意味わかるかな？など変に気をつかわれたりタメ口で話される。 (女性、30代、精神)
- 街中：黙っていても（Z世代等に）、ルッキズムや行動パターン厳しい。面接：合理的（非定型）は全く配慮されることは無かった。社内外別人として対応はするのが無難（平成初期から変わらない）定型が優遇されるのは”普通”だがその逆は無かった。 (男性、20代、知的)
- 自分の周囲の人の視線や態度、仕草から感じた。 (男性、30代、精神)
- 行政機関の駐車場において、障害車両を停める所に置いたら注意された。歩行困難車両の提示に気が付いていないことからなのですが差別だなと感じた。車イスステッカーは、公で正式なものではないのでつけていません。逆に警視庁の発行の駐車禁止等除外標章を置いてあります。世の中の認識が間違っています。 (女性、50代、身体)
- 交通機関、店舗での買い物をする際は、対人緊張や恐怖の感覚が強く、店内や電車内で人のいない場所に移動したり、避ける行動を取ってしまうため、周囲から見て挙動不審な様子に見えてしまうのか、万引き対策の時の声かけを受けたり、商品を手にとって移動している間、店員の方が近くについて様子を見ていることが多い。はっきりと差別とは感じませんが、症状の為の不自然な行動になってしまうので、不審に思われているような対応が辛いと思いました。 (女性、30代、精神)
- スーパーの駐車場にて、知的障害がある娘と買い物に行った時、身体にも障害があり、また飛び出しの恐れもある為、障害者用スペースに車を駐車させたところ、ベビーカーに乗っている娘を見て「なんのマークもつけていないのに障害者用に停めるなよ」とご老人の男性に突っかかられました。しかしその後、娘の様子を見て障害があると気づかれると、そこからは何も言わずに去って行かれました。パッと見はなんの障害もなさそうに見える元気な子だからだと思います。 (女性、0代、知的)

【交通】

- 交通機関の優先席が学生や若い方、又、子連れ家族全員が席を占めていて仕方なくその席の前に立つと<ヘルプマーク>のカードを見て、露骨にため息をつかれた。 (女性、60代、精神・難病)

- タクシー乗車の際に体調や歩行の具合が良くない為利用しているのに、行先が近い時に嫌な顔、態度をされた。 (女性、50代、身体)
- 高齢者なのに座席を譲ってもらえない。 (男性、80代、身体)
- ミライロ ID をバスで提示したところ「それではダメ」と言う運転手がいた。(拒否されたのはその人だけ) 周りからやり取りをジロジロ見られ恥ずかしくなりその後、使えなくなった為、障害者割引が使えていない。 (男性、10代、精神)
- 通勤していますが、時間帯を考えてシルバーシートに行きますが、先に若者や女性が座っていても席を譲ってくれません。30分以上、立っているのは少し辛いです。空いている電車に乗る様にしても、譲る方は少ないです。 (女性、70代、身体)
- 態度が悪かった。(バス) (女性、50代、身体・精神)

【就労】

- 作業所であなは出来るからわかるでしょう、他の利用者と対応が違う。病気扱いをされた。我慢しなさいと言われた。夏場事務所に閉じ込められた。2時間程度反省しろ。 (女性、40代、知的)
- 例えば美容院で接客態度が悪いとか、職場で冷遇されているとかです。 (女性、50代、精神)
- 健常者の新人が「私は前の職場で障害者によくしてもらったのでみなさん(障害者)とうまくやっていけると思います」と言った。障害者の私がもし「私は前の職場で健常者によくしてもらったのでみなさん(健常者)とうまくやっていけると思います」と言ったら意味が分からないし、通じない。けれど健常者は障害者をカテゴライズして扱うので、無意識にひとまとめにしてくる乱暴さがある。 (女性、30代、精神)

【医療・福祉】

- 特質上仕方ないのかも知れないが、先天的障害というだけで、健常者の入れる保険と大分違い(加入できない)があることに驚いた。 (女性、40代、身体)
- 3月から4月に病院に3週間入院しました。自由に体を動かすことも出来ないのに、ナースコールが唯一命綱のはずのものを高い所にボタンをかけられ、1度ならず2度も連絡の取れない状態でした。面会のたびに水を欲しがるので水を与えて下さい、と言うと「あなただけではない。」一喝、呆れました。嫌がらせとしか思えない。冷蔵庫から水のペットボトルが溢れるほど出てきました。 (男性、70代、身体・難病)
- まずは、近所の小児科ですら嫌な顔をされます。せめて病院くらいは近所の病院を受診出来れば助かるのですが…。何も悪いことをしていないのに、まるで犯罪者のように。人目につかない様、生きている事が辛いです。 (男性、50代、知的)
- 精神の病気があり、今年ガンになり入院や手術をした時、医者や病院受付などの対応が明らかに変わった。 (女性、40代、精神)
- オムツの支給について、事業者から決められたオムツの中から選んで、配達してもらっていますが、そうでない人もいます。薬局で好きなメーカーを選んで、配達してもらっている人もいますと聞きました。事業者では、決められたオムツしかなく、メーカーによりL、M、Sサイズでも微妙にサイズが違うので、他メーカーを使用したくても選べない状況です。薬局から配達してもらっている人

達は、自分に合うサイズを試し、それ（好きなメーカー）を使用出来ています。なぜこのような違いがあるのでしょうか。これこそ差別だと思います。 （女性、20代、身体・知的・難病）

【教育】

- 市立学校（義務教育中）が管理する大人から区別された。人とは違う色の帽子を被らせられたり、集団スポーツに半ば強制的に参加させられた。 （男性、50代、身体）
- 選択できる内容が限られている。委員会、楽器演奏など。 （男性、10代、知的）

【その他】

- 放置された。 （男性、70代、身体）
- 情報を得るためのスマホを使わないように言われた事。 （女性、40代、身体・精神）
- 体が不自由なことを知りながら暴力をふるわれた。 （男性、50代、身体）
- 美容院でとても長く待たされた。髪がボサボサのままお金を取られた。他の人から距離を置かれる席にされた。適当なカットをされた。予約しているのに、後回しにされた。 （女性、30代、精神）

問 54 あなたが体験した「気づかひや思いやりを感じる対応」についてお聞かせください。

【自由記入の主な回答】

【地域】

- 車イスでタクシーを利用して床屋さんに行った際、タクシーを降りて道路を車イスを押して移動していたが、ほんちょっとの段差で車イスがうまく動かなくなって焦った時に、近くにいた大学生？若い人が「お手伝いしましょう」と声をかけて下さって本当に嬉しく感動した。世の中にはこんなに優しい心の人がいると涙が出そうだった。（男性、70代、難病）
- 必要以上の気づかひはいりませんが、些細な場面で声掛けをしていただいたことで、不安が解消されたことがありました。（私は病気で視力が低下し見えづらかったり歩きづらかったりします）（女性、50代、身体）
- 車を止めてまで傘を貸して下さった方が居ました。（男性、90代、身体）
- ガンで足の肉を切除して杖を使っている時に、一般歩行者の方に何度も助けてもらったり譲ってもらったりで、慣れない歩行をしているので、こちらが遠慮しても、譲って頂けます。（女性、40代、精神）
- エレベーターの優先。（男性、70代、身体）
- スーパーにて、娘のかんしゃくやパニックがちょうどお会計の際に始まった時、レジさんが気をきかせてくれ袋詰めをして下さったこと。保育園にて、先生は私（介助者）の話を否定せず聞いてくれること。運動会などのイベント事も娘（本人）が参加出来るように考えて進めて下さること。（女性、0代、知的）
- 足を骨折し車イスで外出（やむをえずだったが遠出）した際、かなりの坂道を年老いたものが車イスを押し登っていた時、下りてきた中年の外国人（中国？）が、サッと押ししてくれたこと。どんなにか有り難かったことか。こう言う優しい心ある人も世の中にはいるのだとつくづく感じた。（女性、80代、難病）
- 電車でヘルプマークをつけて立っていると、席を譲って頂いたこと。分からないことがあり質問すると、とても丁寧に親切に説明して頂いたこと。障がいやカミングアウトしても、変わらぬ態度で接してくれる方々（そうではない人もいます）。（女性、30代、精神）
- 子供が通園している保育園は、子供の事だけでなく親の私の事も気遣って下さり、登園が難しい時や事前に準備が必要な時に良く声をかけてくれます。本当にありがたいです。（女性、30代、精神）
- 車イスで段差が登れない時に手伝ってくれる人が多い。エレベーターでボタンの長押しをしてくれる。出掛けた時には何かしら助けてもらうことが多く、さりげなく手助けしていただきいつも感謝です。（女性、70代、身体）

【交通】

- 電車での移動が得意ではないので、ヘルプマークをつけていたところ家族が持っているのと理解があり席を譲って下さった。（女性、30代、精神）
- 足が悪いため、時々バスの中で手伝って下さる方が居た時、安心できます。ありがたいと思います、杖ついているので。（女性、70代、精神）

- 電車でヘルプマークを見てすぐに立ってくれて座れました。 (女性、70代、身体・知的)
- 電車、バスで席を譲ってもらったこと。 (男性、70代、身体) ほか5名
- バスに乗る時に、知らない女性が手を貸してくれた。 (女性、70代、身体)

【就労】

- 職場で障害の特性を理解し、困ったことがあった時それに応じてすぐに対応してくれた事。障害の有無関係なしに評価をしてくれる。障害を見るのではなく、私自身を見て評価してくれたこと。 (女性、50代、精神)
- 職場の上司が色々な情報を教えてくださる事。ジョブコーチが悩み相談にのってくれる事。 (女性、50代、精神)
- 会社内で人が集まる休憩室で食事を摂る事が出来ず、上司が倉庫内に囲いや机等を設置して下さり、小さなスペースで休憩できるように配慮して下さったことで、安心して食事を摂ったり小休止をとる事が出来ました。作業所でのレクリエーションでスタッフの方が他の利用者さんとのやり取りを見守りながら、困った際にはフォローをして間に入って下さる事です。 (女性、30代、精神)
- 職場では、私の体調に合った業務を配置していただき、評価もしていただけます。 (女性、30代、精神)

【医療・福祉】

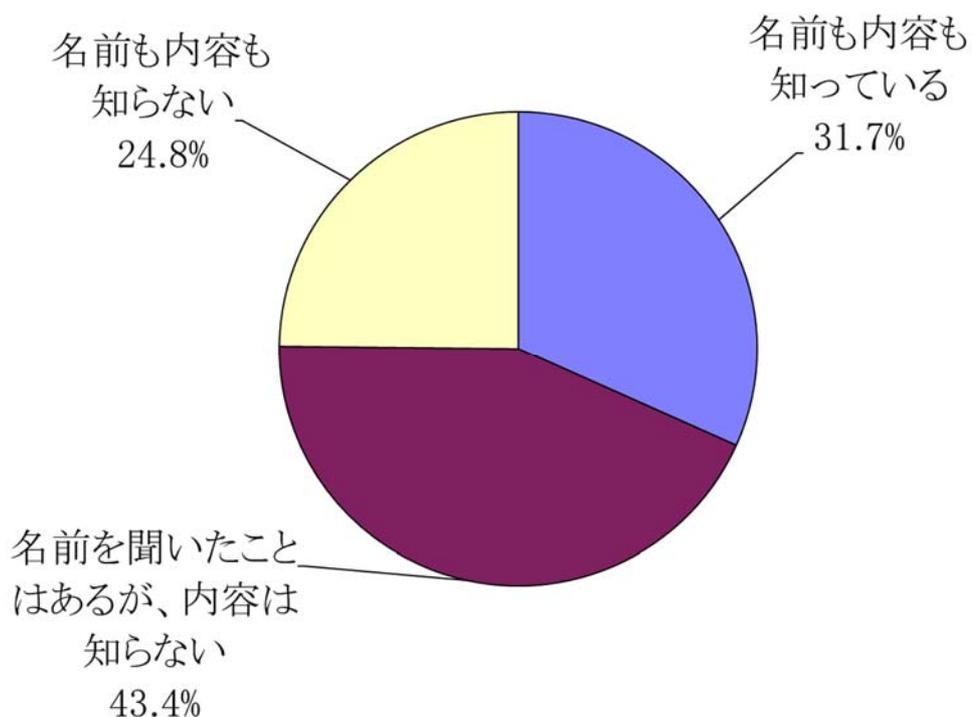
- 市役所の投票所に行った時、目が見えづらいと言ったら、係の人が付き添って受付まで連れて行ってくれ助かりました。 (男性、60代、身体・難病)
- 市役所で感じの良い人がいた。自分の奥さんも障害があると話してくれた。 (女性、50代、身体・精神)
- 病院に行った時、予約日のことが分からず、ヘルプカード(自分の状況を書いたもの)を見せて、メモ紙で対応の仕方を書いてくれたり、受付の人もゆっくり話してくれた。市役所の人が色ペンで補足してくれた。 (女性、40代、精神)

【その他】

- 私の苦手とする音を出さないように心掛けてくれたこと。 (男性、30代、精神)
- 片目がずれて前が良く見えなくなった時、病院に行くのに親戚の叔母さんや兄が車を出してくれた。 (女性、30代、難病)
- 困っている人に声をかける。 (女性、10代、精神)
- 気を使っていたら、逆に肩身が狭いと言うか…。良い方もいらっしゃれば色々な人がいます。人間だもの。 (男性、50代、知的)

問 55 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【回答数 290 人】



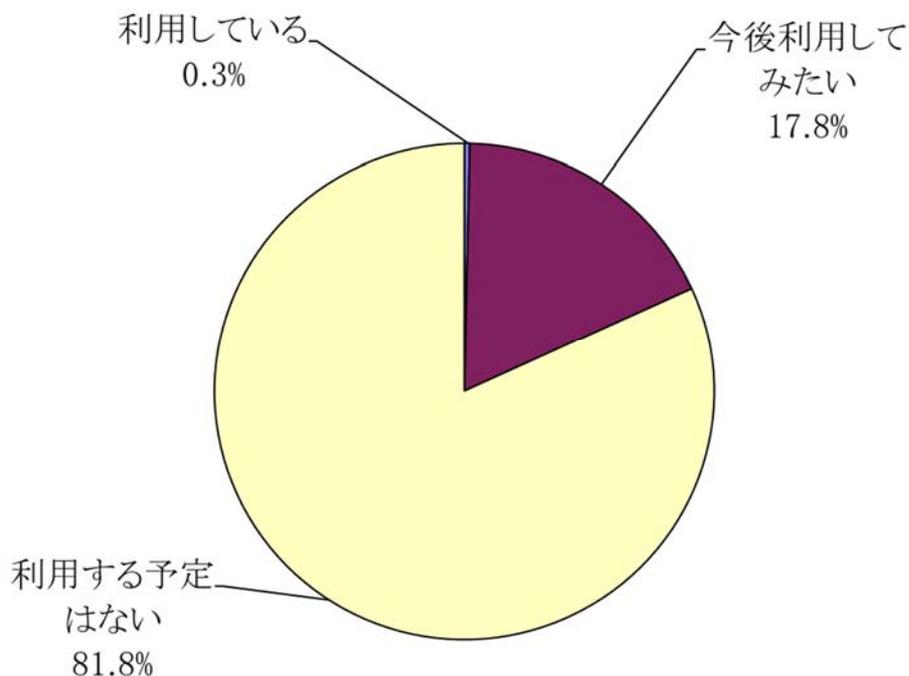
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
名前も内容も知っている	92	31.7%	61	1	17	18
名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	126	43.4%	68	17	32	35
名前も内容も知らない	72	24.8%	35	19	15	20
無回答	25	-	18	4	6	5
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 56 あなたは、将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。

【回答数 286 人】



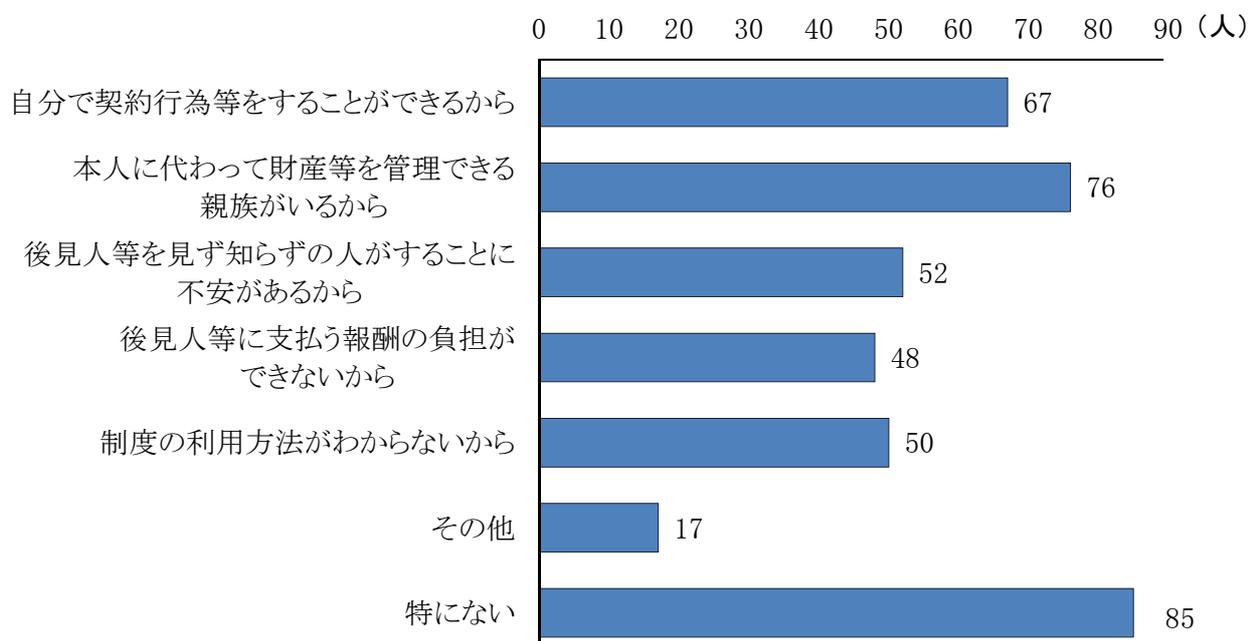
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
利用している	1	0.3%	0	0	1	1
今後利用してみたい	51	17.8%	25	14	13	13
利用する予定はない	234	81.8%	137	20	51	60
無回答	29	-	20	7	4	3
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

**問 57 成年後見制度の利用にあたり不安に感じること、または利用しない理由はどれですか。
(複数回答可)**

【回答数 277 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
自分で契約行為等を行うことができるから	67	24.2%	35	2	13	14
本人に代わって財産等を管理できる親族がいるから	76	27.4%	45	10	14	20
後見人等を見ず知らずの人がすることに不安があるから	52	18.8%	23	8	16	19
後見人等に支払う報酬の負担ができないから	48	17.3%	20	6	19	22
制度の利用方法がわからないから	50	18.1%	19	9	16	17
その他	17	6.1%	9	3	7	7
特にない	85	30.7%	51	11	14	17
無回答	38	-	30	6	5	4

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

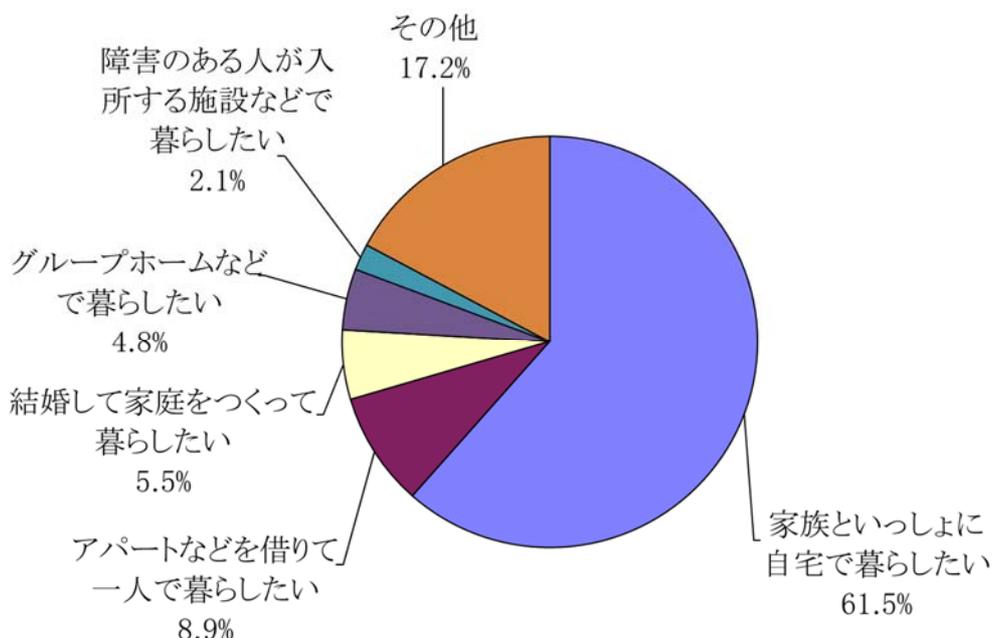
【その他回答の主な内容】

- 病院から一生出られない人につくイメージ。 (男性、40代、精神)
- 制度がすぐ変わるから。 (男性、20代、知的)
- 財産等がないから。 (女性、70代、身体・知的) (男性、40代、精神)
- 先のことはわからないから。 (女性、40代、精神)
- 個人情報の漏えいのおそれ。 (男性、60代、精神)
- 判断は自分で出来る。 (男性、50代、身体)
- 必要がない。 (男性、70代、身体・難病)
- 利用するかわからない。 (男性、20代、精神)
- 利用時に相談できる所があると思うから。 (女性、30代、精神)
- 変更できない、不信。 (女性、60代、精神)
- 自分の意思を尊重してほしいから。 (女性、30代、精神)

XI 将来の希望などについて

問 58 あなたは、今後、どのような暮らしをしたいと思いますか。

【回答数 291 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族といっしょに自宅で暮らしたい	179	61.5%	109	16	28	36
アパートなどを借りて一人で暮らしたい	26	8.9%	7	5	14	13
結婚して家庭をつくって暮らしたい	16	5.5%	4	3	8	9
グループホームなどで暮らしたい	14	4.8%	8	7	1	1
障害のある人が入所する施設などで暮らしたい	6	2.1%	4	0	2	2
その他	50	17.2%	31	6	12	12
無回答	24	-	19	4	5	5
合計	315	100.0%	182	41	70	78

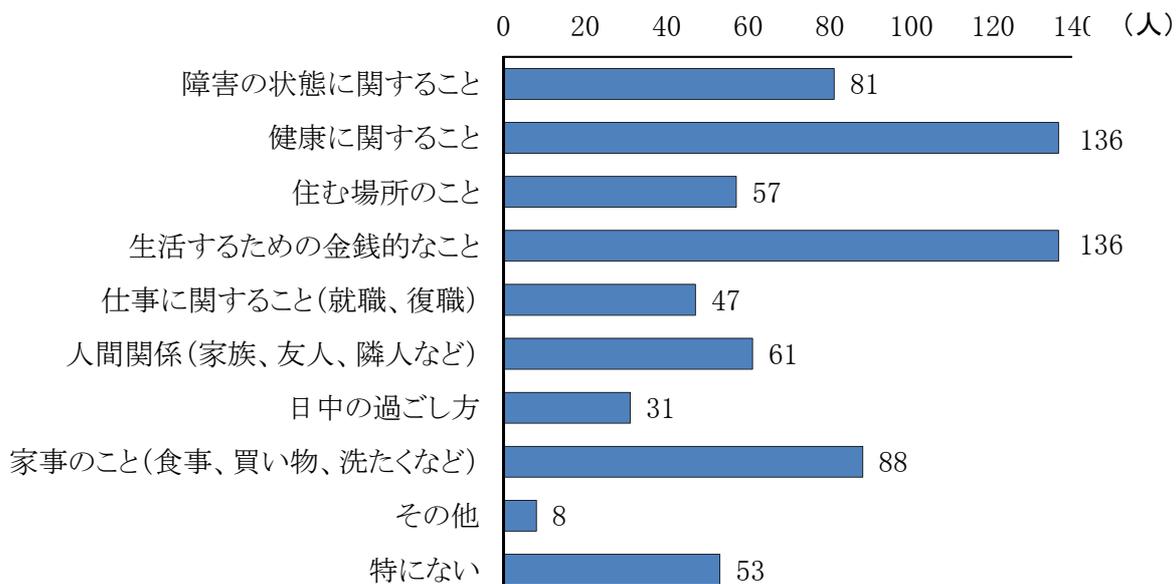
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 今のままで満足。 (女性、60代、精神) ほか8名
- 研究、探求、著作。 (男性、70代、身体)
- 認知症にならない様に健康面に気を付け、最後まで1人で生活出来る自分でありたいです。 (女性、60代、身体)
- まだ分からない。 (男性、80代、身体) ほか3名
- 同性のパートナーといっしょに暮らしたい。 (女性、30代、精神)

問 59 問 58 のような暮らしをするには、どのようなことが心配ですか。(複数回答可)

【回答数 296 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
障害の状態に関すること	81	27.4%	43	9	27	29
健康に関すること	136	45.9%	66	8	36	40
住む場所のこと	57	19.3%	26	11	19	19
生活するための金銭的なこと	136	45.9%	64	13	48	52
仕事に関すること(就職、復職)	47	15.9%	6	10	22	24
人間関係(家族、友人、隣人など)	61	20.6%	21	8	33	35
日中の過ごし方	31	10.5%	18	5	8	10
家事のこと(食事、買い物、洗たくなど)	88	29.7%	48	10	25	28
その他	8	2.7%	3	2	3	3
特にない	53	17.9%	34	9	8	10
無回答	19	-	14	3	0	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

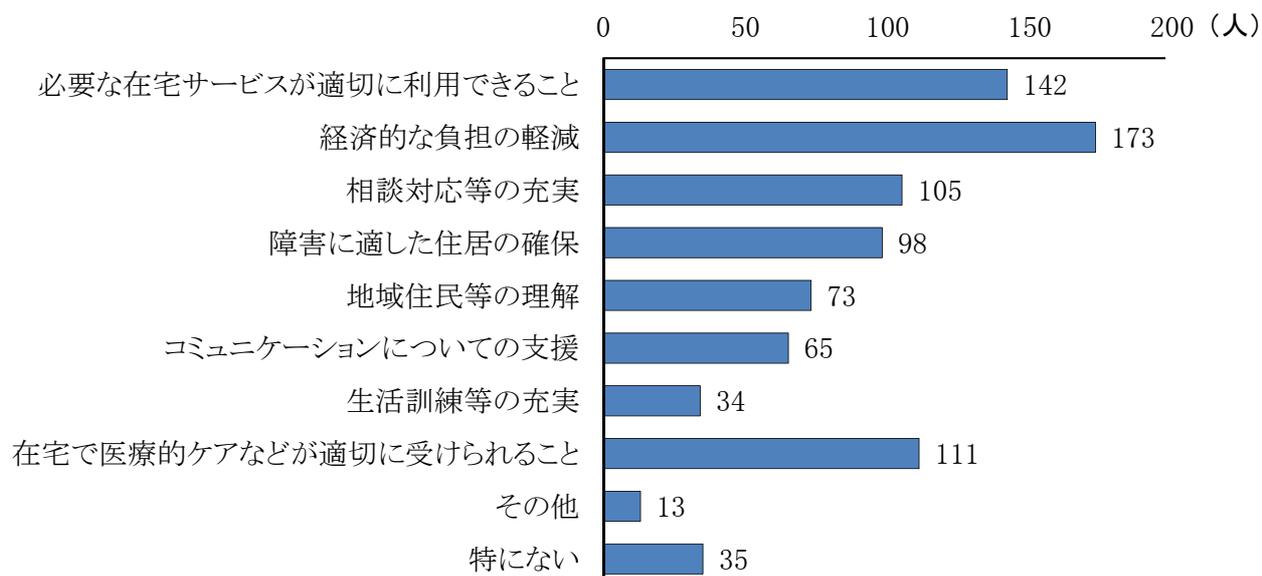
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 仕事＝金銭の問題、週 6 で働くと家事の時間が少なくなる。(男性、40 代、精神)
- 今後も継続して仕事出来るか。(男性、60 代、身体・精神)
- 障害に関わらず 1 人で生きていくのに不安だ。(女性、40 代、身体)
- 過酷な介護職の方の対応。(男性、50 代、知的)
- 食品スーパー、病院、バス停近くに。(男性、80 代、難病)
- 子育てが出来るかどうか。(女性、30 代、精神)

問 60 障害のある人が地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(複数回答可)

【回答数 283 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
必要な在宅サービスが適切に利用できること	142	50.2%	93	12	25	27
経済的な負担の軽減	173	61.1%	90	18	48	52
相談対応等の充実	105	37.1%	51	10	29	32
障害に適した住居の確保	98	34.6%	58	12	26	27
地域住民等の理解	73	25.8%	33	14	15	16
コミュニケーションについての支援	65	23.0%	27	13	23	26
生活訓練等の充実	34	12.0%	18	7	8	9
在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	111	39.2%	71	4	21	24
その他	13	4.6%	4	4	4	4
特にない	35	12.4%	22	9	5	7
無回答	32	-	21	5	4	4

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

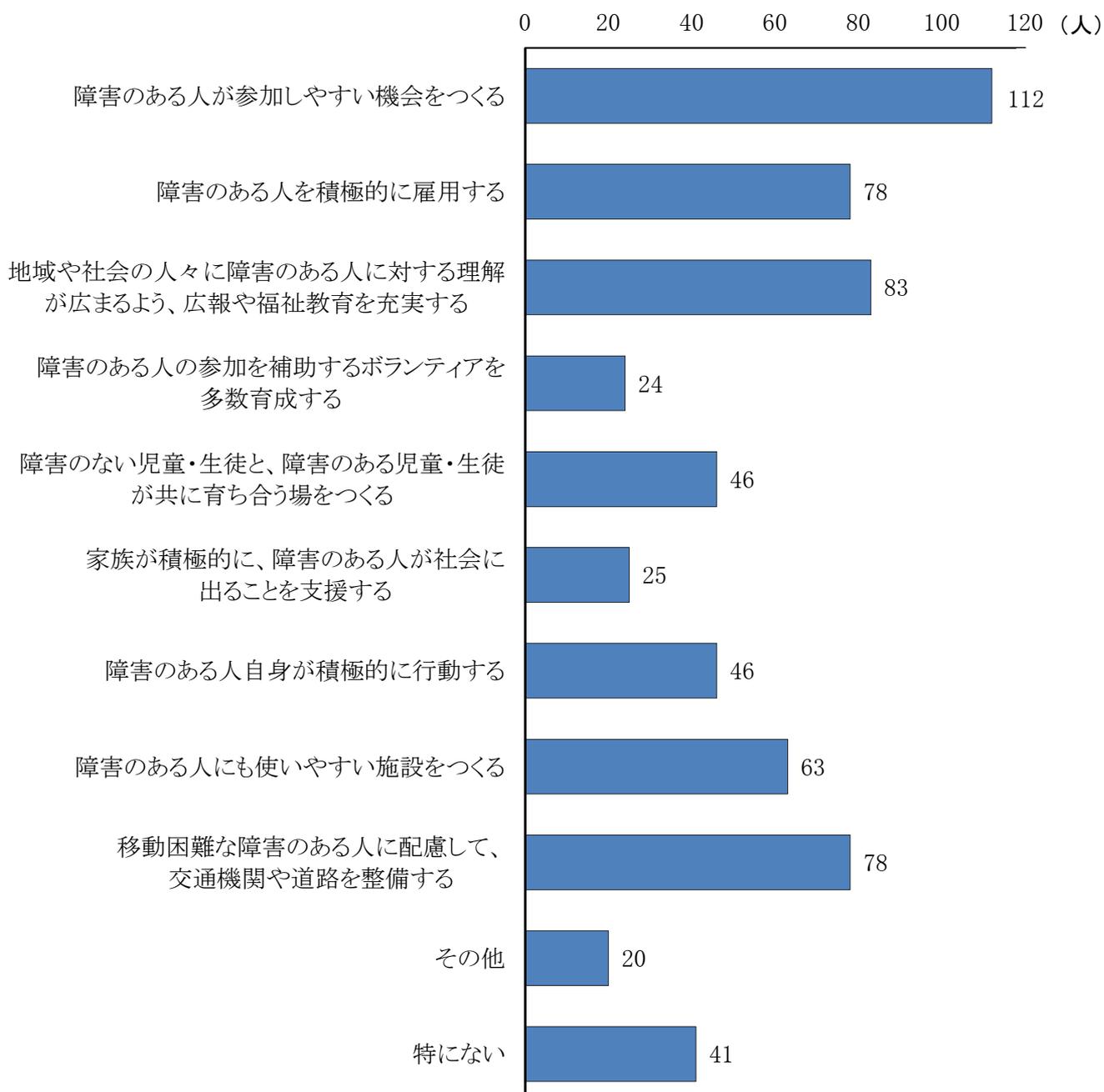
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 同行支援制度の見直し。 (女性、40代、精神)
- 人間だけでなく動物と暮らす障害者の理解、安心安全なサポートを望む。 (女性、40代、精神)
- いつか、母が子を見られない日は来ます。親子で入所できる老人ホーム、グループホームを同じ法人や敷地内で経営してくれる施設があったら嬉しいです。 (男性、50代、知的)
- 移動手段の支援。 (女性、30代、精神)
- 交通手段、スーパー、病院、役所等、廻る小型バス。 (男性、80代、難病)
- 差別解消法の普及・広報。 (女性、30代、精神)

**問 61 障害のある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、特に大切なことは
どれですか。(〇は3つまで)**

【回答数 286 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
障害のある人が参加しやすい機会をつくる	112	39.2%	63	13	24	30
障害のある人を積極的に雇用する	78	27.3%	35	10	25	26
地域や社会の人々に障害のある人に対する理解が広まるよう、広報や福祉教育を充実する	83	29.0%	41	11	21	19
障害のある人の参加を補助するボランティアを多数育成する	24	8.4%	13	2	5	5
障害のない児童・生徒と、障害のある児童・生徒が共に育ち合う場をつくる	46	16.1%	21	6	13	13
家族が積極的に、障害のある人が社会に出ることを支援する	25	8.7%	9	2	10	11
障害のある人自身が積極的に行動する	46	16.1%	23	1	15	17
障害のある人にも使いやすい施設をつくる	63	22.0%	40	8	10	14
移動困難な障害のある人に配慮して、交通機関や道路を整備する	78	27.3%	54	7	13	13
その他	20	7.0%	11	1	7	7
特になし	41	14.3%	28	12	5	7
無回答	29	-	20	5	3	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

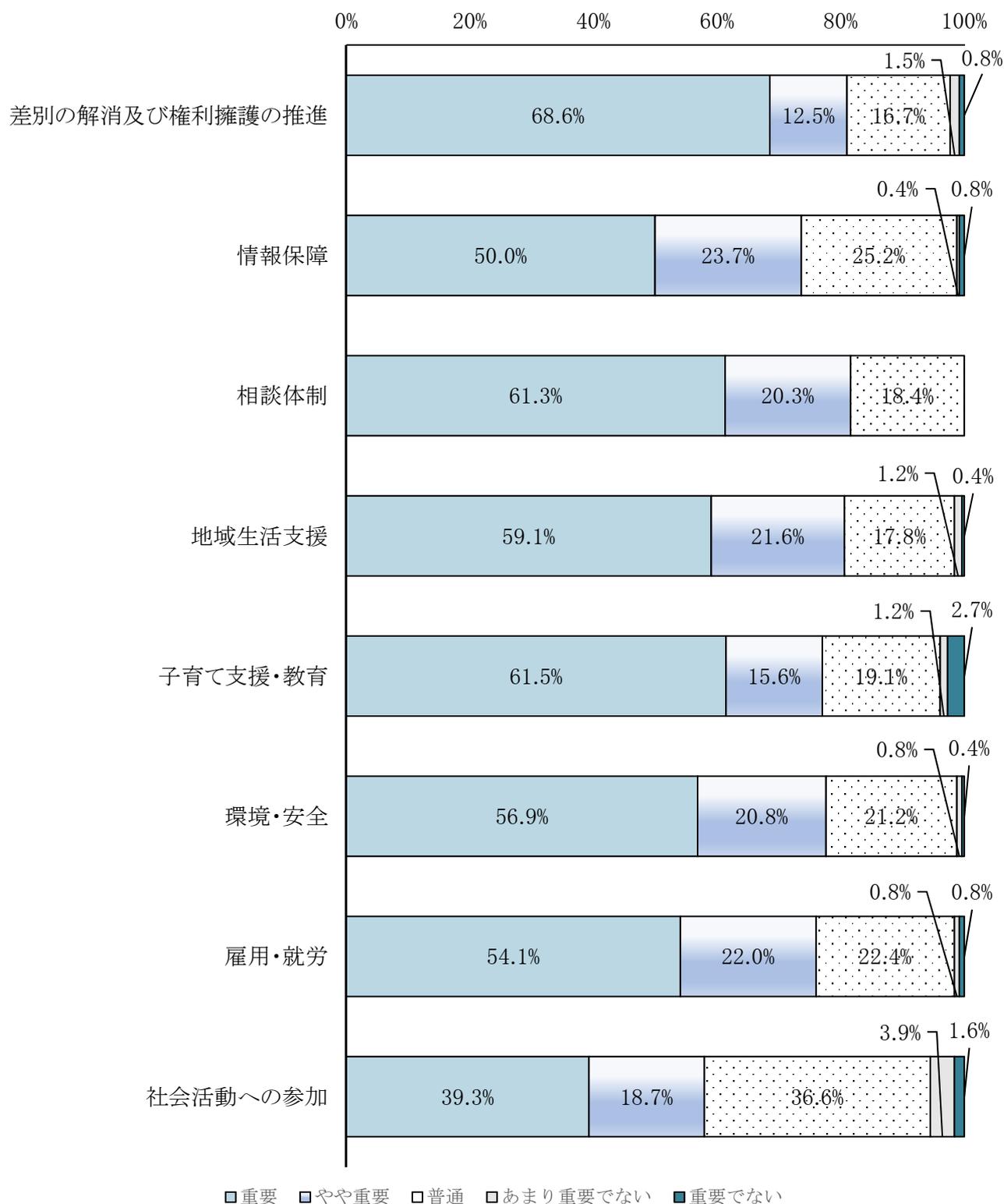
* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 障害の有る無いと考えている事が壁を作る原因。5番目の項目の様な世の中なら初めから障害だと考える人はいないのでは？ (男性、50代、身体)
- お金の補助。 (女性、30代、精神)
- 社会全体が障害のある人に対しての理解をすること。 (女性、30代、精神)
- 本人の意志を尊重し、無理に積極的な参加を促すことはしなくて良い。 (男性、80代、身体)
- 障害と言わず「定型」と「非定型」として理解されるところからがスタート (NPO ニュアンス抜きで言う)。 (男性、20代、知的)
- 障害者も健常者も差別のない平和な暮らしをする。 (男性、60代、精神)
- 社会に出ようとする人自身が声をあげる。 (男性、50代、身体)
- ごちゃまぜのインクルーシブ教育を押しつけない。 (女性、40代、身体・精神)
- バスに乗る時、手すりを付けてほしい (市役所前のバスで段差があって降りる時怖い)。 (女性、70代、身体)
- 乗合タクシー、巡回バス、タクシーの割引券。 (男性、80代、難病)
- 市民の理解・社会モデルの普及。 (女性、30代、精神)
- 分離教育をやめること。特別支援教育は不要。 (女性、60代、身体)

ⅩⅡ 立川市の障害者施策について

問 62 下記にある立川市第6次障害者計画の1～8の施策とその取組内容を参考にお答えください。各施策についてどれくらい重要だと思いますか。



1 差別の解消及び権利擁護の推進

【回答数 264 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	181	68.6%	100	23	44	50
やや重要	33	12.5%	17	3	7	8
普通	44	16.7%	24	6	11	12
あまり重要でない	4	1.5%	2	0	2	2
重要でない	2	0.8%	2	0	0	0
無回答	51	-	37	9	6	6
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

2 情報保障

【回答数 262 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	131	50.0%	71	13	35	41
やや重要	62	23.7%	31	6	17	19
普通	66	25.2%	41	11	12	12
あまり重要でない	1	0.4%	0	1	0	0
重要でない	2	0.8%	0	0	1	1
無回答	53	-	39	10	5	5
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

3 相談体制

【回答数 261 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	160	61.3%	80	18	48	52
やや重要	53	20.3%	27	6	9	13
普通	48	18.4%	34	7	8	8
あまり重要でない	0	0.0%	0	0	0	0
重要でない	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	54	-	41	10	5	5
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

4 地域生活支援

【回答数 259 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	153	59.1%	81	18	43	48
やや重要	56	21.6%	33	4	11	13
普通	46	17.8%	26	6	9	10
あまり重要でない	3	1.2%	1	1	1	1
重要でない	1	0.4%	1	0	0	0
無回答	56	-	40	12	6	6
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

5 子育て支援・教育

【回答数 257 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	158	61.5%	81	19	43	49
やや重要	40	15.6%	23	4	9	10
普通	49	19.1%	32	7	7	8
あまり重要でない	3	1.2%	1	0	2	2
重要でない	7	2.7%	4	0	0	0
無回答	58	-	41	11	9	9
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

6 環境・安全

【回答数 260 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	148	56.9%	84	16	40	47
やや重要	54	20.8%	29	5	11	12
普通	55	21.2%	30	8	12	12
あまり重要でない	2	0.8%	0	1	1	1
重要でない	1	0.4%	0	0	0	0
無回答	55	-	39	11	6	6
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

7 雇用・就労

【回答数 255 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	138	54.1%	64	18	47	50
やや重要	56	22.0%	32	5	10	13
普通	57	22.4%	40	6	5	6
あまり重要でない	2	0.8%	1	0	0	0
重要でない	2	0.8%	2	0	0	0
無回答	60	-	43	12	8	9
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

8 社会活動への参加

【回答数 257 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	101	39.3%	53	11	28	33
やや重要	48	18.7%	27	5	11	13
普通	94	36.6%	52	11	21	21
あまり重要でない	10	3.9%	6	1	2	2
重要でない	4	1.6%	1	2	0	0
無回答	58	-	43	11	8	9
合計	315	100.0%	182	41	70	78

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

ⅩⅢ 障害者福祉や生活上の課題に関する意見・要望

【相談窓口・手続きについて】

- 心のこもったケアを求む。市役所の窓口対応も淡々として切なくなる。生活面では、もっと障害者がカミングアウトしても働きやすい職場が沢山あるといいなと思う。いつも隠して働いているから。よろしくお願いします。（女性、40代、精神）
- 特に困っている事ではないが以前、障害者手帳の交付を受けた時、受付の職場から「元気そう」と言われてまだ、障害に対する理解が低いと思いました。（精神3級）見た目は「元気そう」に見えても本人は、服薬や通院で治療中であり、時には病気の症状に苦しむ事があるので、無神経に「元気そう」と言うのはどうかと思います。障害のある人は、身体、精神とも病気と闘い向き合っているという事を、市はもとより社会全体で認知する必要があると思います。（女性、50代、精神）
- 障害者手帳や自立支援の申請をインターネットを通じて（市役所に行かないで）行えるようにしてほしい。（男性、50代、精神）
- 休日の相談窓口があるとありがたい。（女性、20代、精神）
- これからの生活について相談できる窓口が知りたい。災害時のときどうすれば良いか相談したいので。（男性、50代、精神）
- 障害者はコミュニケーションが難しいことが多いので、その対応と親身になって相談しやすい環境を作り、人材を確保してほしい。（男性、70代、身体）
- 定期的な土日祝日の窓口開庁を希望します。（男性、40代、身体）
- 障害者手帳を持っているが、親一人子一人の家庭で近所付き合いも少なく、生活相談や支援・親が亡くなった後の子供の地域での生活（一人暮らし）の心配。の相談をどこにしたらいいのか？相談窓口に行くのもおっくうで、問題を抱えたまま解決するすべがない。⇒市役所の専門職の方が積極的に障害の持つ家庭の訪問をお願いします。（男性、60代、身体）

【情報提供について】

- 先日、救急で病院で精神科がないのでこれ以上は診断ができないとされ、立川市に来てまだ、1年しか経ってないので探したりないのだと思いますが、休日で精神科のかかれる病院のことを知りたいです。またはそうした病院、クリニックの情報があると市内の病院にかかりやすいです。（女性、30代、精神）
- トイレ掃除が特に出来なくて（部屋の掃除も）頼める所が欲しいけど、情報がなく困ってる。（女性、40代、精神）
- 私は内部機能障害（心臓）で障害者1級の認定を受けています。日常生活で外出中に機能不全が起こった時、どうになってしまうのか不安です。家族が一緒であればまだ、いいのですが一人での外出時には特に不安が大きいです。不安を少しでも軽くしていただくようなヒント、アイデア、サポートを障害者に情報提供をしていただけるとありがたいです。（男性、70代、身体）
- 立川市のホームページに掲載されている情報を、もう少し見やすくしていただきたいです。福祉関係のページで、難病受給者証の申請に必要なものが、ひと目で分かると大変有り難いと思いました（ページを見付けられなかったのも）。（女性、30代、難病）

【施設利用について】

- 発達障害の子の親の相談所を増やして欲しい。専門の聞かせてもらう場所は開催されていますが、もっと親からの相談を聞いていく時間が欲しい。 (女性、70代、難病)
- 学校卒業後に通える、生活介護施設やグループホームなどを増やして欲しい。現状、生活介護施設はいっぱいで、週5(1つの事業所に)通えず、2ヶ所に行ったりしています。 (女性、20代、身体・知的)
- 立川市内のショートステイや作業所を増やして欲しいです。障害のある方の為の健康診断(39歳以下の健康検査のような)を実施して欲しいです。 (女性、30代、精神)
- 近隣の公共施設が利用しにくい(西砂、一番町付近)。高齢者でもなく、子どもでもない人も利用できる場を検討してほしい。特に、西砂図書館は大人が座るスペースがない。出入口のところの高齢者が長時間新聞を読んでいます。建物のロビーでいいので読書スペースを作っただけだと、少しは家から出られる場になるのではと思っています。ご検討をお願いできれば幸いです。出張所でも、書類提出だけでいいので受け取ってもらえると助かります。 (女性、40代、精神)

【教育・育児について】

- 「立川市、障害がある人もない人も共にくらす」と、言っているが、立川市は他市に比べて障害者に優しくない。学童→6年生まで入所できると言いながら途中で場所を変えられた。(障害者に対し配慮がない)学校→卒業アルバムに普通級はクラス写真あるが、特別級にはクラス写真はなかった。教育の場でも差別を受けている。 (女性、40代、身体・知的)
- 立川市の未就学障害児(または疑いの子)の通園が保障されていません。市内幼稚園の多くは、発達の遅れがある子を受け入れず、今まで受け入れていた数少ない園も希望者が集中して負担が増し、断らざるを得ない状況です。保育園を勧められますが、ただでさえ保育現場は人手不足、負担超過で疲弊しています。ドリーム学園も満杯です。幼少期から適切な支援を受けて、毎日の集団生活を送ることはとても重要で、この時期次第でグレーの子たちはその後、社会適応出来るかどうかが決まってきます。どうか幼稚園での受け入れに本気で取り組んで下さい!このままでは、立川市の幼児療育は崩壊し、市外にやむなく転出する家庭が増加します(実際すでに多数あります)。 (男性、10代、精神)
- 保育園を決める際、複数の保育園に門前払いされた事はずっと忘れられません。前例がないなどを理由にせず、全ての保育園で障害者を受け入れて下さる様、市から指導やサポート(助成金も含め)をお願いします。(娘は結局、家から車で20分かけて市が運営している保育園に通っています。)来年度は小学1年生になりますが、放課後等デイサービスがなかなか決まらず、母親は仕事を辞めないといけなくなるかもしれません。放課後等デイサービスの充実をお願いしたいです。ですがその反面、しっかり預けたいと思える放課後等デイサービスでなければ、こちらも心配です。その部分でも市からの細かなチェックやサポートを望みます。児童相談支援での、愛の手帳の申請の際、生活面や運動面、などの項目の遅れも顕著であるにも関わらず「知的、言葉の数値で決めていきます」との事で、軽度になったがあまりにも現実また、医者判断とかけ離れていました。(医者の診断書だと知能指数34で軽度ではありませんでした。)毎回この児童相談所での判定には、憤りを覚えますし、本来一番分かって頂きたい所で突き放された様な気持ちになります。総合的な納得出来る数値を出す仕組みに変わってほしいと思います。 (女性、0代、知的)

【障害者理解・啓発について】

- もっと一般の人々が精神障害者がいかに色々な事に困り果てているのかを理解して頂きたいです。そのためには、小さい頃からの教育がとてとても必要だと思っています。
(女性、50代、精神)
- 私の姪がダウン症でバギーを持っているが、タクシーやバス会社から断られたり、嫌な気持ちを持ってしまい、小学2年生の子をベビーカーで病院や療育に通っているのを見ると、もっと何か良い方法がないのかと思ってます。タクシー券を使えるタクシー会社ももっと理解してほしい。
(女性、30代、難病)
- 市民、当事者の障がいに対する理解不足、差別についての理解不足が大きいと思います。私はたまたま知る機会がありましたが、差別の種類がとてたくさんあり、差別を受けていることに気づいていない現実があります。日本ではあたり前すぎて、する方も差別だと自覚していないことが多いと思います。そのため、根強い偏見があると思います。障がい者権利条約をもっと広く市民にお伝えした方が良いと思います。私はその条約を知ることによって多くを学ぶことができました。当事者だけでなく、市民全員が知っているといいはずで。差別・偏見をする方もされる方も自覚があれば、少しずつ、社会が変わっていくのではないのでしょうか。社会モデルの浸透が進めば、幸せになれる方が増えるのではないのでしょうか。
(女性、30代、精神)

【就労について】

- 他市の障害福祉課は親切でした。失敗させないための就労までの流れが遠い。人生終わる。
(男性、40代、精神)
- 立川市内にもっと働ける職場を増やしてほしい。
(女性、30代、知的)
- 正社員にはなれず将来に不安が募ります。
(女性、50代、精神)
- 収入は年金のみ、恥ずかしながら40:70問題をかかえ、物価高で生活が苦しい。車椅子、膀胱、直腸障害者が利用できるトイレがある場でのアルバイト紹介があると良い。現金(〇〇手当)での支給があると良い。期待します。
(男性、70代、身体)
- 障害者の多くはその障害やそれに関する事で、普通に働くことが出来ず、それに伴い収入がない為に、普通の衣食住をする事が難しく、国や市に頼らざるを得ない結果、国や市のお金(他の人の税金)を使う事になってしまうのではないのでしょうか。すると不公平感もあり、障害者に対する風当たりも強くなると思います。障害者が無理せず最低限の衣食住を送れる収入があれば、不公平感もなく障害者への理解も進みやすいと思います。障害者への生活支援や働く為、続ける為の支援が重要なのではないかと思います。
(女性、30代、精神)
- コミュニケーションをとる事が苦手なので、自宅で出来る簡単な軽作業(内職)が出来るようにして頂きたいです。
(男性、20代、知的・精神)

【年金について】

- 年金受給もできない、働けるけど調子が安定しない「中途半端」な障がい者(自分)がとも困ります。お金の支援、周りの理解をもっと深めて欲しいです。
(女性、30代、精神)
- 働きたくないが年金額は少ない。割り引き品ばかりの購入に嫌気がさす。
(男性、60代、身体)

【障害者福祉・制度について】

- 両足に人工骨頭が入っているのですが、右足の方が先に手術した為、だいぶ悪くなっている
ので入れなおさなければならないのですが、等級が変わらないのが又、等級見直しがありと
ても納得がいかない。 (女性、70代、身体)
- 心身障害者手当の受給において、精神障害者も対象に入れていただきたいです。悩み事など
様々なことを相談できる福祉施設の拡充を希望します。 (男性、30代、精神)
- ヘルプカードについて。現在、たくさんの方がヘルプカードを持っていて本当に困っている
人、どんなことに困っているのかがわからない。誰にでも渡し過ぎだと思ふ。困っている内
容によって色を変えるなどの工夫があってもいいと思ふ。電車に乗ってもヘルプマークをつ
けているだけでは席は譲ってもらえない。どんな障害なのかわからないから。杖を持ってい
たら譲ってもらえる。こういうわかりやすさが必要だと思ふ。ヘルプカードは意味がない。
(女性、70代、難病)
- 私は循環器内科に1~3ヶ月に1回診療を受けていますが、その医師は多くの年配の方が自身
の担当のことよりも皆さんは足腰の病を抱えていると言っている、と聞きます。過去の病
歴から手術が出来ないので、外出にはタクシーを使うこととなります。現在タクシー券を頂
いていてありがたい事ですが、増額を期待しています。実は家内も歩行器を利用して、
外出にはタクシーを必要としていますので、尚更です。 (男性、80代、身体)
- ヘルプマークはどこでもらえますか？ (女性、50代、精神)
- 精神障害者3級です。双極性障害、休職中。休職中かつ、子育て中です。私も妻も給料では
なく手当金で生活しているので金銭面が心配です。障害者を含む世帯への子育て支援がある
と助かる。(一般以外に) 障害+子育てはキツイです。薬の為、車が運転できない。(自転車
も怖い) バスは半額で乗れるが子連れは使いづらい。モノレールに障害者割引欲しいです。
予算つかないかな…鉄道とか割引あるんです。 (女性、30代、精神)
- 娘が全介護の障害者ですが、年に2回オムツの支給をしてもらっています。最近、オムツの
価格が値上がりして業者に頼むよりも、ネットで買う方が安く購入できます。オムツの上
限金額があるので、安く購入できた方が枚数も多く使用できるし、業者に頼むと箱買いし
かできないので不便なのです。もう何年も前から福祉課に言っているのですが「条例がないから
無理です」といつも言われています。この時代、オムツをネットで買って(購入した後、精
算する)とかネットで買える方法を取って欲しいです。考えてみて下さい。よろしくお願
いします。 (女性、50代、精神)

【その他施策全般】

- 障がい者施策、ありがたく援助を受けています。様々な困っている状況に対応して頂いて
いることに感謝しています。更なる充実、少しずつでも広がっていったら尚、素晴らしいと思
います。 (女性、50代、身体)
- 立川市の現在の支援はとても助かっています。このまま進んでほしいです。有難うございま
す。 (女性、70代、身体・難病)
- いつもお世話になりありがとうございます。おかげさまで、安心して過ごしております。
(女性、60代、精神)
- 施策は諸々あるが対象が身体障害に偏りがちで、精神・発達がつまはじきにされいていると
強く感じる。精神・発達は外見で分からないので支援する側や行政も見分け等大変な一面も

あるのかもしれないが、支援に公平性を持たせて欲しいと思う。（男性、30代、知的）

- 毒親の元に生まれた発達障害が同性のパートナーと暮らしていけるような市にしてほしい。（女性、30代、精神）
- この先、10年後20年後、高齢の障害者が増えていきます。それに対応する、介助・介護者、施設が足りているのか？（女性、50代、身体）

【地域生活・地域環境について】

- 道路の整備とバリアフリーの拡大をお願いします。（男性、60代、身体）
- 私は足が悪いのですが、自転車には乗れます。例えば、駅周辺へ行くとき、駐輪場から駅までの歩行が困難です。できれば駅下の駐輪場に障害者用のスペースを作っていただくか、駐輪禁止除外ステッカーのようなものを作っていただいて、駅周辺の施設の近くに駐輪できるようにしていただきたい。（男性、60代、身体・難病）
- 本当に支援の必要な人に直接話を聞いて下さい。道路の水たまり、未舗装路の解消。畑前の歩道や雨上がりの時とか酷い状態。歩道に土がたまって歩きにくくなっている所の土の撤去とか。障害あるなし関係なく、おざなりにされていると感じる事が多々あります。（男性、50代、身体）
- 家族の負担が大きい。歩道に段差が多い。（男性、90代、身体）
- 点字ブロックを至る歩道に敷き詰めてあるのですか。杖をついている人にはとてもキケン。どうしてそこに気がつかなかったのですか？盲目の人の為と言っても、そんなにいません。健常者で杖を使用している人のみ、圧倒的に多いのです。とても歩きにくいです。いつもキケンと隣り合わせ。ぜひ、ブロックを減らして下さい。ぜひ、お願いします。（女性、身体）
- 立川市へ引越しして8年、このよう通知が来たのは初めて！私が住む町内には、年寄りを見守る相談員はいない！！年寄りをバカ！！にするなど言いたい！！（男性、70代、身体）
- 先日の新聞記事で白杖の方が自転車事故にあい、気の毒な事になってましたし、言いたい事は自転車の乗る人のマナーの悪い事。もっともっと弱者優先の考えを持ってほしいです。他人事ながらテレビニュースなど見るたびに、腹が立ってしまいます。（女性、70代、身体）
- 住み良い街づくりを。車道歩道も広く、三輪自転車でも楽に通れる道に。病院、食品スーパー、銀行、郵便局等に行ける手段を行って欲しい。（男性、80代、難病）
- この様なアンケートを企画して下さいありがとうございます。結果をもとにより暮らし易い立川市になりますように！私は「くるりんバス（錦ルート）」の短縮コースを取りやめて欲しいと、何年も前より機会がある毎に申し上げてきましたが改善されず、困って居ます。高齢者が多く、一番駅に（立川駅、西国立駅）遠い錦町5丁目辺りを通らないので、仕方なくタクシーを利用しています。どうか御検討、宜しく願い申し上げます。（女性、80代、身体）
- 最初は小さな災害でも大きな災害になる事がある。（一つの例として）そのような時、その地域周辺に情報システムで放送し、知らせて欲しい。障害者は、すぐには危険は避けられない、逃げられない。放送機器の設置を増やして欲しい。聞こえるようにして欲しい。是非是非お願いします。早急に！（女性、80代、難病）
- 夫（1級障害）が、ガソリン券を交付されていますが、砂川地域のスタンドがありません。大変です。（女性、70代、身体）

- さまざまな事をプロ(医療関係者含む)に相談してもうまく伝わらないし、言葉を尽くしても埋められない、解ってもらえない温度差がある。このアンケート、質問の回答例が曖昧なのと、問 62 の 1~8 の質問が略しすぎて解りません。かと言って、説明文が付いても私の現在の脳のキャパオーバーです。今回のアンケートで自分の頭の状態(集中力の無さ/理解力の無さ)がわかりました。すぐにでも仕事に復職出来ると思っていたので思い知らされました。嫌味ではなく感謝です。選挙カーや大声で話す人がいるとパニックになる。立川駅南口のタクシー乗り場は歩道と車道の高低差(段差)が少ないのに、タクシー降車場、バス(くるりんバス)乗場のあたりは段差があり、タクシーから降りた老婦人が段差を超えられず四苦八苦していました。(女性、60代、精神)
- 人と車いすに優しい歩道の構造にして欲しい。建物の入り口から車道まで全体的に傾斜をつけているケースが大部分で、足腰の悪い人や車いすの人には危険でもあります。車いすが通れる幅の平らな部分を設けてその先に傾斜をつける構造にして欲しい。横断歩道の車道と歩道の境目の段差をなくして欲しい。介護者無しの車いすでは歩道に上がれないケースがあります。指定投票所が遠い(市内の別の町内の投票所が 200m の距離のところにあるのに、指定投票所までは片道 800m~900m の距離があります)。マイナンバーカードを利用し、どこの投票所でも投票できるシステムの構築を希望します。(男性、70代、身体)
- 折りたたみ式の電動車椅子を乗せてくれないタクシー会社があります。乗せてくれるタクシー会社もあります。折りたたみ式の車椅子は重いので運転手さんが大変だと思いますが、乗せてくれるタクシー会社を増やして欲しいです。手間代をとってもよいので安心して乗せてもらえるようになると助かります。歩道と車道の段差を改善してもらえると助かります。特に横断歩道から歩道に移る時の危険な場所が多いです。体の不自由な人も不具合が無い人も安心して住める立川市として欲しい。(女性、70代、身体)

【医療について】

- 長期入院中、約 30 年近く。毎日退院したいと訴えてきます。81 才になる私。どうしたらいいか迷います。因縁者は 1 人もいません。(男性、50代、身体・精神)
- 精神障害において障害以外の通院が多いため、時短で働いていると医療費で生活費がかさみただ生きるだけの生活になってしまい、よくうつ状態の時により死にたくなってしまう。金銭面の援助は負担になるため難しいとは思いますが、何か医療費の補助等があれば幸いです。立川市役所の方にはいつも親身に接して頂き、本当に感謝しています。ありがとうございます。(女性、30代、精神)

【親の高齢化、親亡き後について】

- 問 60 でも記載させていただきましたが…。将来を考えると、いくら母である私が仕事を辞めて家庭に入って子供をみても(看護師として働いていましたが、あきらめざるを得ずでした)、いつか子供をみられなくなる日が来てしまいます。私が老人ホーム、子供がグループホームに入所となるのかとは思いますが、同じ社会福祉法人様や、同じ敷地内などで過ごせる施設を作ってくださいれば本当に、心が安らぐのになあと、1 つの意見として聞いていただければ幸いです。どうか、よろしくお願い申し上げます。(男性、50代、知的)

【生活について】

- 父親が 76 才となり自動車運転免許の返上の時期が迫って来ていて、娘（知的障害者）の通院に車を使用出来なくなる為、困っています。（女性、30 代、知的）
- 障害者なのになかなか都営団地が当たらない。（女性、60 代、身体）
- 妻が要介護で外出、家事がままなりません。老身にむちうって私が主に介護しております。子供が買い物等、週に 1・2 回してくれています。家内が飲料等すぐ欲しい時等、痛い足を引きずって買い物に行っています。子供が居ない時等、大変困ります。1 人で買い物に行けるシニアカー等、借りれると大助かりですが？少ない国民年金では購入出来ません。（男性、90 代、身体）
- 税金、国保年金は国のことなので市に対しては特にはない。とにかく毎月決まった収入があるわけではないので、金銭の心配しかない。（男性、40 代、精神）
- 私は手がシビレていて、何回も転んで入院していたり、薬のせいでフラつきも有ります。今は手が痛くてもお皿を洗ったりしています。よくお皿を割ります。手もシビレているので字が汚くてごめんなさい。段々、字も書けなくなるのかと思うと心配です。（女性、70 代、身体・知的）
- 介助者の気の抜ける時間の保障。（女性、90 代、身体）
- 生活保護費が全く足りない。（男性、40 代、精神）
- 健康保険や年金が払えない。お金の管理が出来ない。（男性、20 代、身体・知的・精神）
- 主人も障害者で体力的、金銭的にも大変です。今は幸いにも身体は動きますが、週 2 回の外出には、生活用品の買い物に追われています。（女性、60 代、身体）
- 障害をもって辛い日々、健康な人を見ると羨ましい。いつ病気が治るのだろう。誰も私の気持ちをわかってくれない、辛い、淋しい。（女性、50 代、身体・難病）
- 私は難聴ですが、普通に話せます。もっと、手話が広がるといいなと思っています。パニック症があり、色々と不安です。1 人で通院できる安心できる場所が欲しいです。（女性、50 代、精神）
- 障害者に対する配慮は大事ですが、多々の理由で障害になるのは分かりますが。そうならない為のケア・アドバイスも必要なのではないでしょうか？私個人の思いですが、障害児があまりにも多い事にびっくりしています。それはどうしてなのか？と考えると多々理由はあるのですが、自分の子供がほしいのであれば、親の生活習慣が大切だと思います。（女性、70 代、身体）

【アンケートについて】

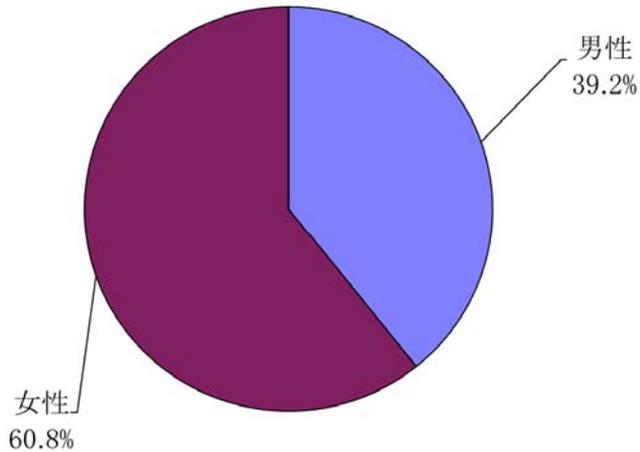
- 今回のアンケートについて、立川市の障害者に対する積極的な支援の姿勢が見られ、感動しています。（男性、90 代、身体）
- 知的障害者です。（母代筆） 質問が難しく本人の意向？ではないところもあります。途中からは特に難しいので無回答になっています。すいません。（女性、20 代、知的）
- 設問を障害者、年齢により分けてください。該当する設問がわかりにくい。（男性、80 代、身体）
- 設問が多過ぎてかつ、専門用語多く高齢者には苦痛です。（男性、80 代、身体）
- 今回、色々な質問事項が有りましたが、私は高齢者の為、質問に当てはまらない内容が多かったため、その質問には回答はしませんでした。（女性、70 代、身体）

②市民

I 調査対象者について

問 1 あなたの性別をお答えください。

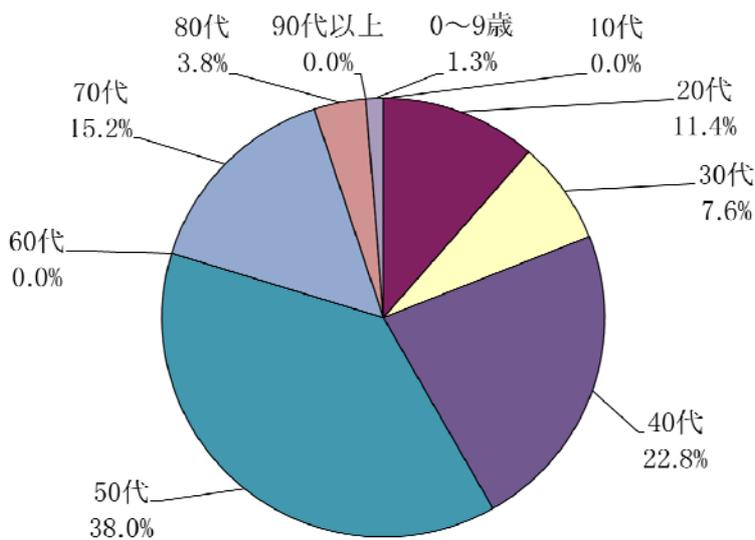
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
男性	31	39.2%
女性	48	60.8%
その他	0	0.0%
無回答	1	—
合計	80	100%

問 2 あなたの年齢をお答えください。(令和 5 年 4 月 1 日現在)

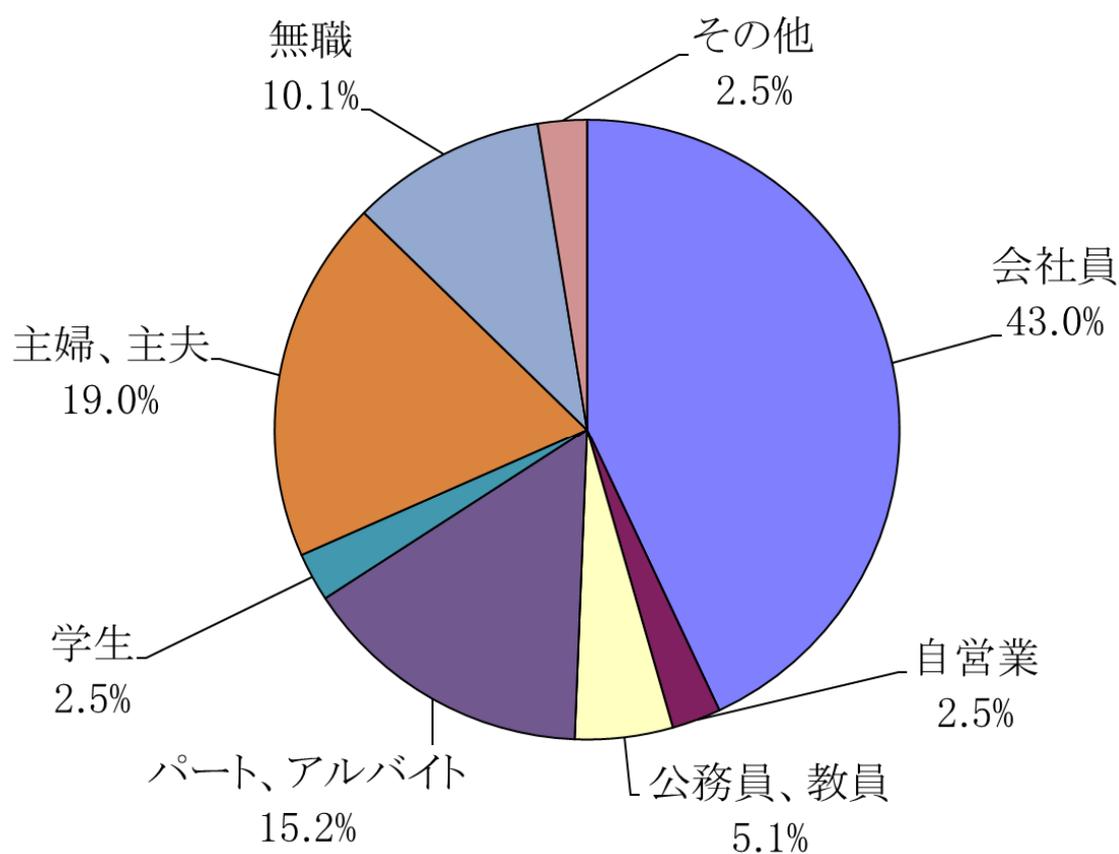
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
0~9歳	1	1.3%
10代	0	0.0%
20代	9	11.4%
30代	6	7.6%
40代	18	22.8%
50代	30	38.0%
60代	0	0.0%
70代	12	15.2%
80代	3	3.8%
90代以上	0	0.0%
無回答	1	—
合計	80	100%

問3 あなたの職業は、次のどれに該当しますか。

【回答数 79人】



選択項目	人数	構成比
会社員	34	43.0%
自営業	2	2.5%
公務員、教員	4	5.1%
パート、アルバイト	12	15.2%
学生	2	2.5%
主婦、主夫	15	19.0%
無職	8	10.1%
その他	2	2.5%
無回答	1	—
合計	80	100%

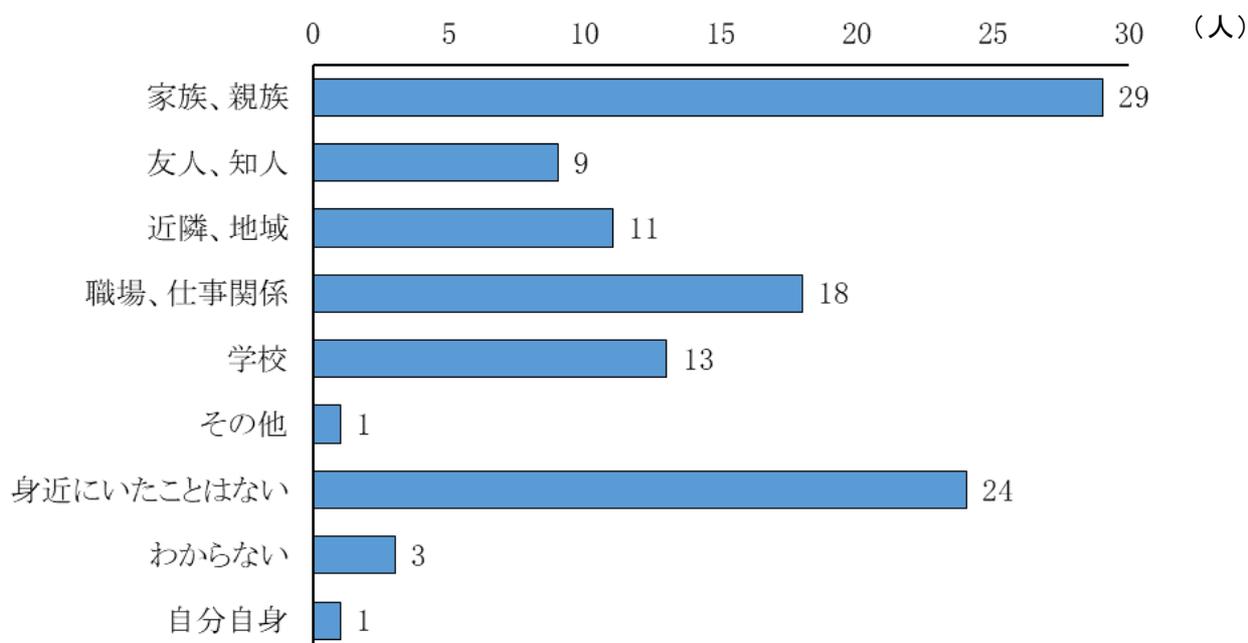
【その他回答の主な内容】

- 派遣社員。 (女性、40代、その他)
- 作業療法士。 (男性、50代、その他)

Ⅱ 障害のある人とのかかわりについて

問 4 あなたの身近に障害のある人はいますか、またはこれまでいたことはありますか。(複数回答可)

【回答数 79 人】

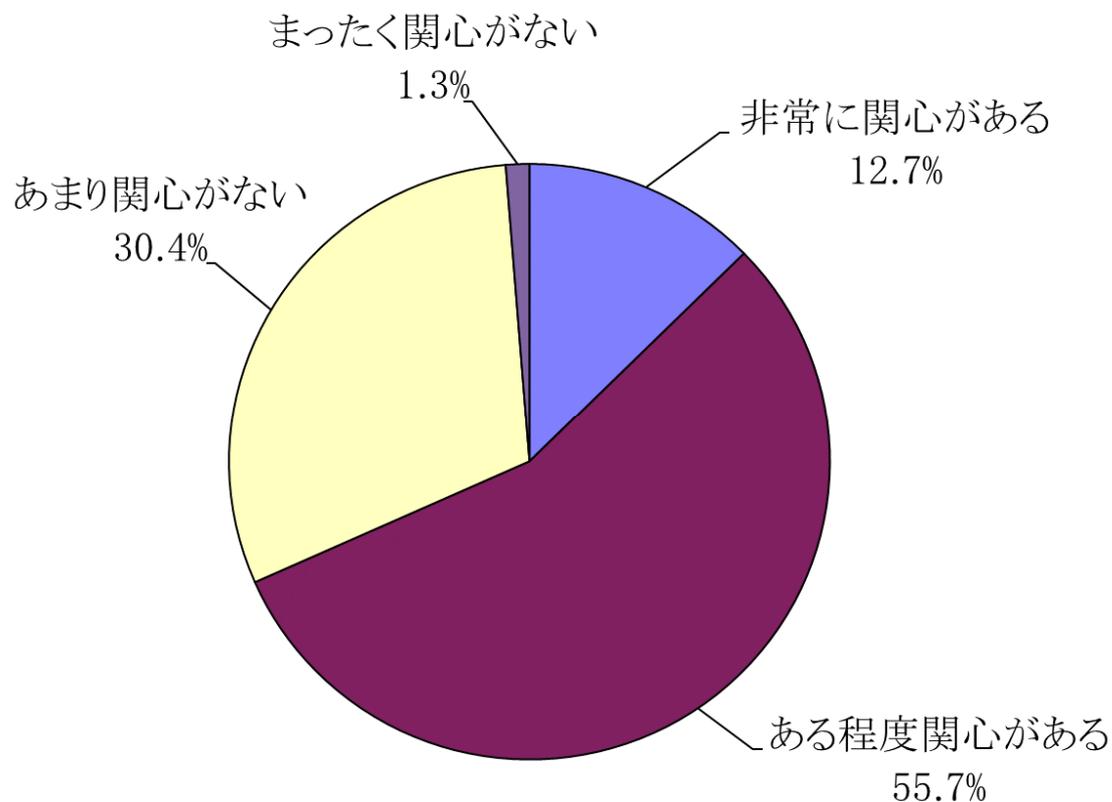


選択項目	人数	構成比
家族、親族	29	36.7%
友人、知人	9	11.4%
近隣、地域	11	13.9%
職場、仕事関係	18	22.8%
学校	13	16.5%
その他	1	1.3%
身近にいたことはない	24	30.4%
わからない	3	3.8%
自分自身	1	1.3%
無回答	1	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数／回答数

問 5 あなたは、障害のある人について関心がありますか。

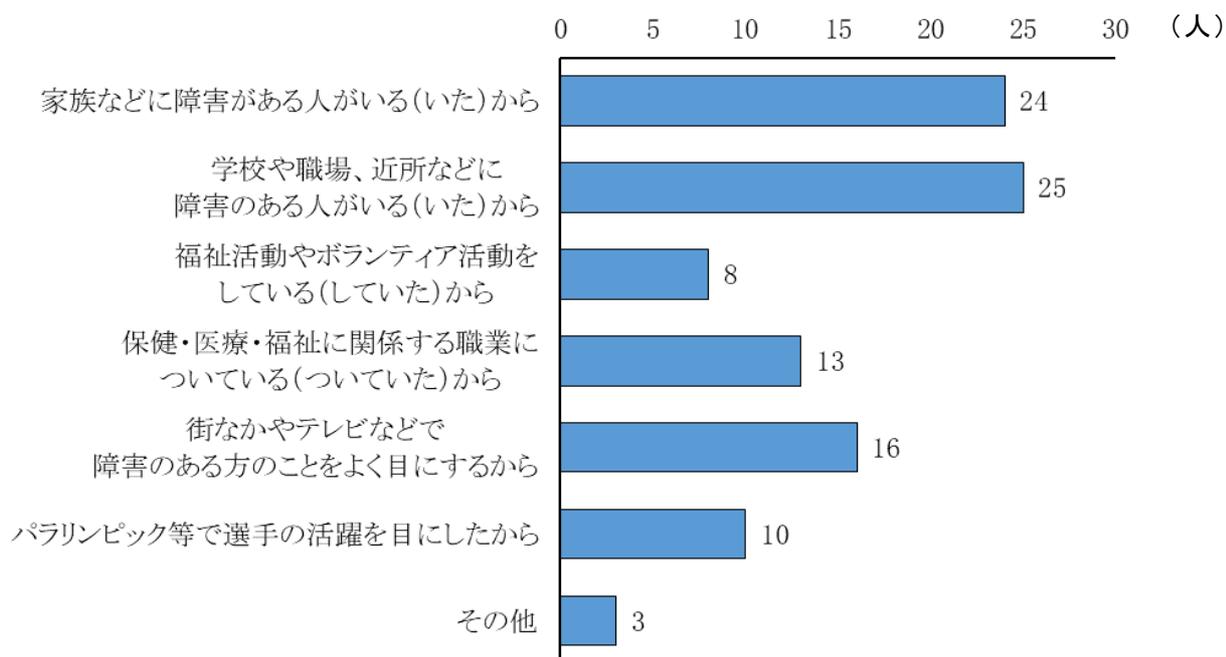
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
非常に関心がある	10	12.7%
ある程度関心がある	44	55.7%
あまり関心がない	24	30.4%
まったく関心がない	1	1.3%
無回答	1	—
合計	80	100%

問 5-1 問5で「1. 非常に興味がある」「2. ある程度興味がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から、関心をお持ちですか。(複数回答可)

【回答数 53人】



選択項目	人数	構成比
家族などに障害がある人がいる(いた)から	24	45.3%
学校や職場、近所などに障害のある人がいる(いた)から	25	47.2%
福祉活動やボランティア活動をしている(していた)から	8	15.1%
保健・医療・福祉に関係する職業についている(ついていた)から	13	24.5%
街なかやテレビなどで障害のある方のことをよく目にするから	16	30.2%
パラリンピック等で選手の活躍を目にしたから	10	18.9%
その他	3	5.7%
無回答	1	—

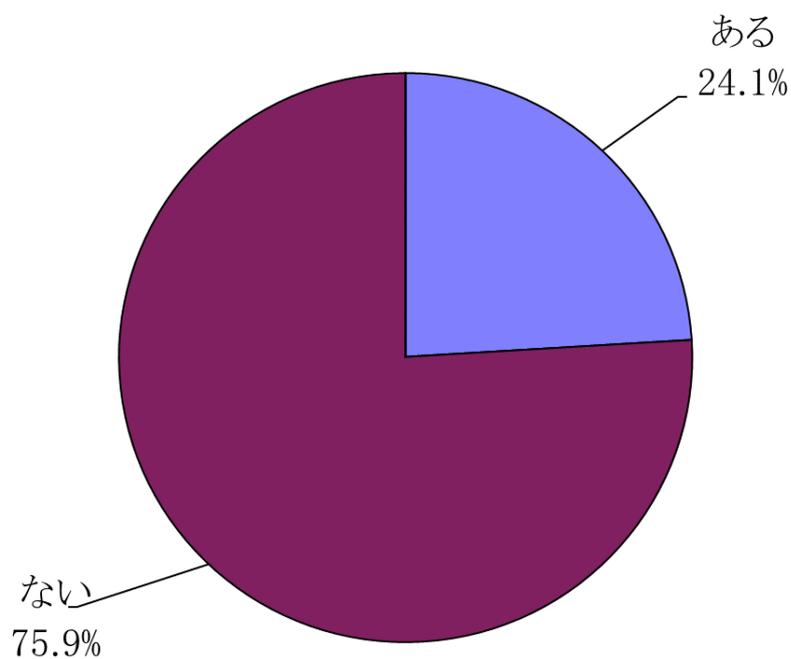
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 自分ないし家族のこれからの人生にも通常のリスクあると考える為。
(男性、50代、会社員)
- 娘が③の件で、若い頃。
(女性、80代、無職)
- 大学の教職課程で学んだから。個人的に障害を持った方と接する機会があり、興味を持ったから。
(女性、20代、会社員)

問 6 あなたはこれまで、障害のある人を支援する活動に参加したことはありますか。

【回答数 79 人】

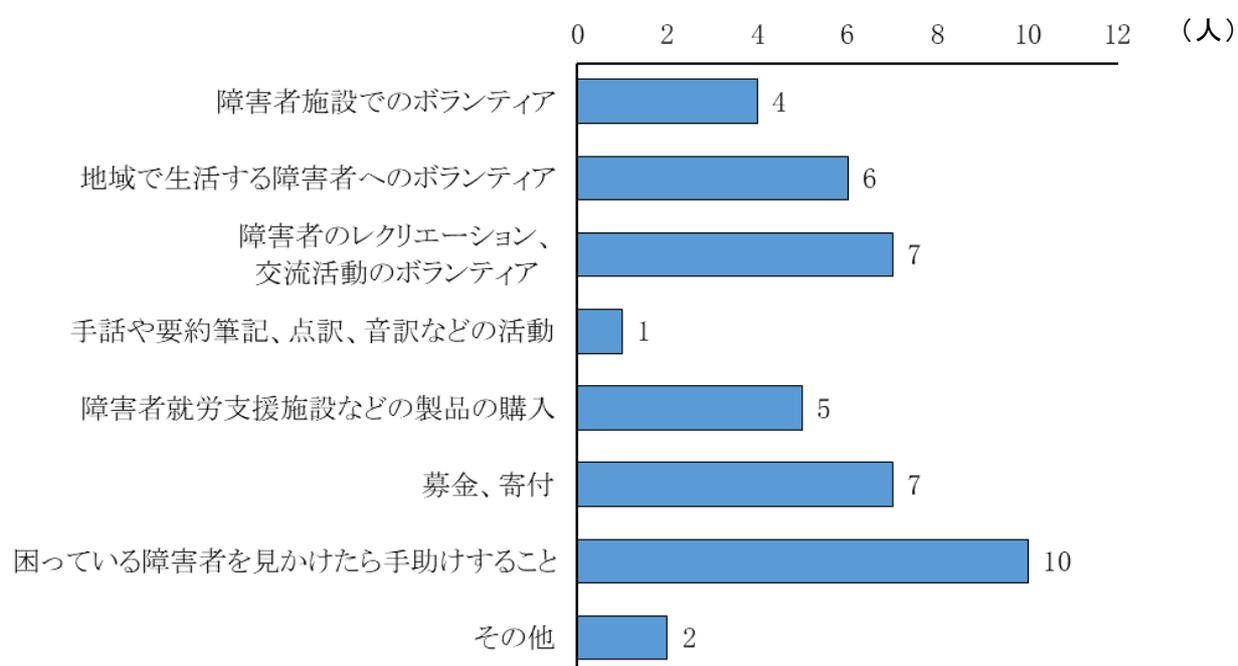


選択項目	人数	構成比
ある	19	24.1%
ない	60	75.9%
わからない	0	0.0%
無回答	1	—
合計	80	100%

問 6-1 問6で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

どのような活動に参加しましたか。(複数回答可)

【回答数 19人】



選択項目	人数	構成比
障害者施設でのボランティア	4	21.1%
地域で生活する障害者へのボランティア	6	31.6%
障害者のレクリエーション、交流活動のボランティア	7	36.8%
手話や要約筆記、点訳、音訳などの活動	1	5.3%
障害者就労支援施設などの製品の購入	5	26.3%
募金、寄付	7	36.8%
困っている障害者を見かけたら手助けすること	10	52.6%
その他	2	10.5%
無回答	0	—

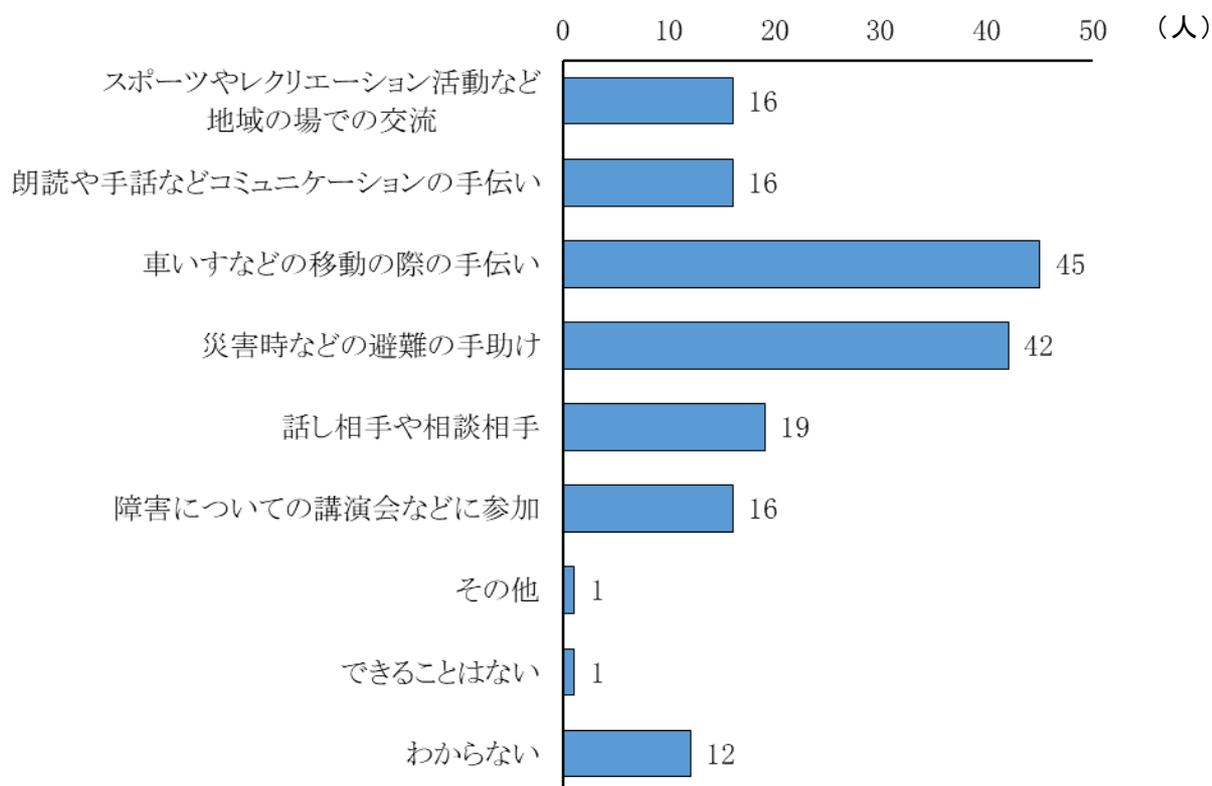
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 訪問看護ステーションでの支援。(男性、50代、その他)
- 有償ボランティアとしてアルバイトをしていた。(女性、40代、会社員)

問 7 あなたは障害のある人と同じ地域で共に生活していくために、どのようなことができると思いますか。(複数回答可)

【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
スポーツやレクリエーション活動など地域の場での交流	16	20.3%
朗読や手話などコミュニケーションの手伝い	16	20.3%
車いすなどの移動の際の手伝い	45	57.0%
災害時などの避難の手助け	42	53.2%
話し相手や相談相手	19	24.1%
障害についての講演会などに参加	16	20.3%
その他	1	1.3%
できることはない	1	1.3%
わからない	12	15.2%
無回答	1	—

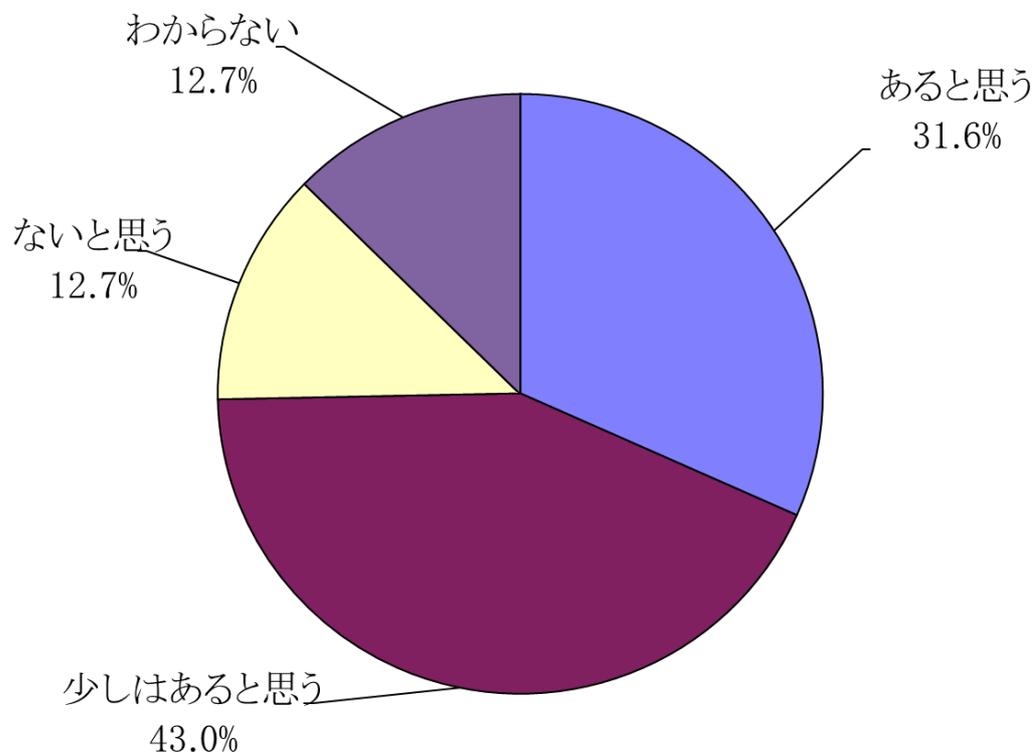
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 障害を持っている方の障害（症状）や生活について知る。本とかYouTubeとか。
(女性、20代、会社員)

問 8 あなたは、地域社会の中で、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

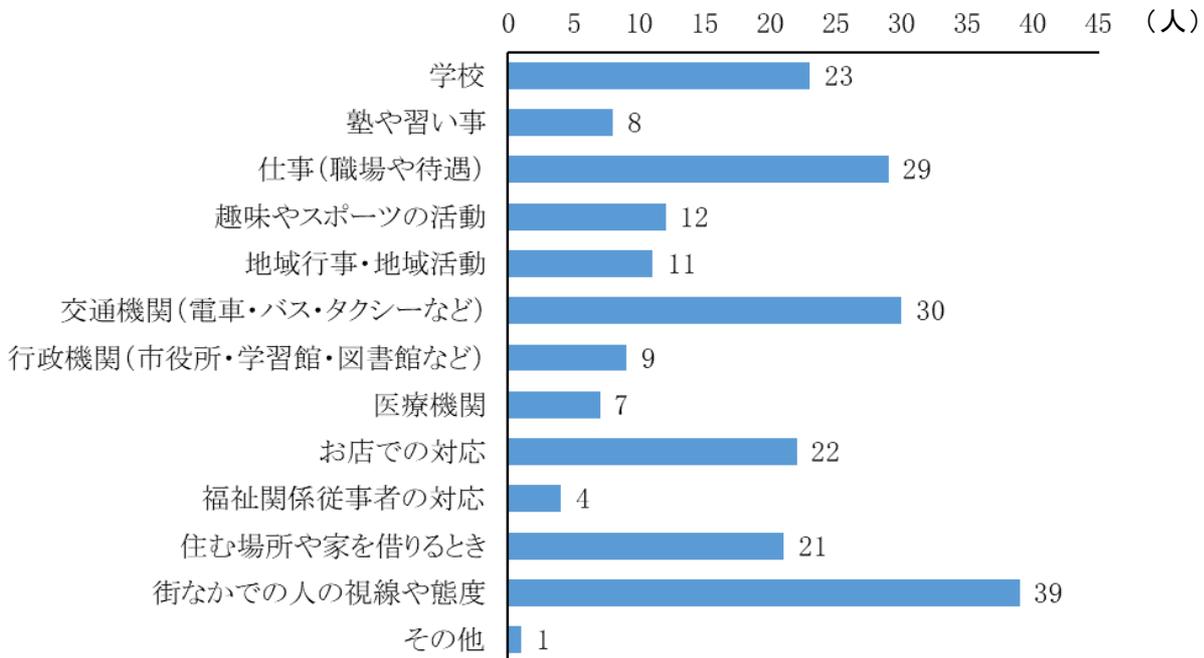
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
あると思う	25	31.6%
少しはあると思う	34	43.0%
ないと思う	10	12.7%
わからない	10	12.7%
無回答	1	—
合計	80	100%

問 8-1 問8で「1. あると思う」「2. 少しはあると思う」と答えた方にお聞きします。
それはどんな場所や場面ですか。(複数回答可)

【回答数 58人】



選択項目	人数	構成比
学校	23	39.7%
塾や習い事	8	13.8%
仕事(職場や待遇)	29	50.0%
趣味やスポーツの活動	12	20.7%
地域行事・地域活動	11	19.0%
交通機関(電車・バス・タクシーなど)	30	51.7%
行政機関(市役所・学習館・図書館など)	9	15.5%
医療機関	7	12.1%
お店での対応	22	37.9%
福祉関係従事者の対応	4	6.9%
住む場所や家を借りるとき	21	36.2%
街なかでの人の視線や態度	39	67.2%
その他	1	1.7%
無回答	1	—

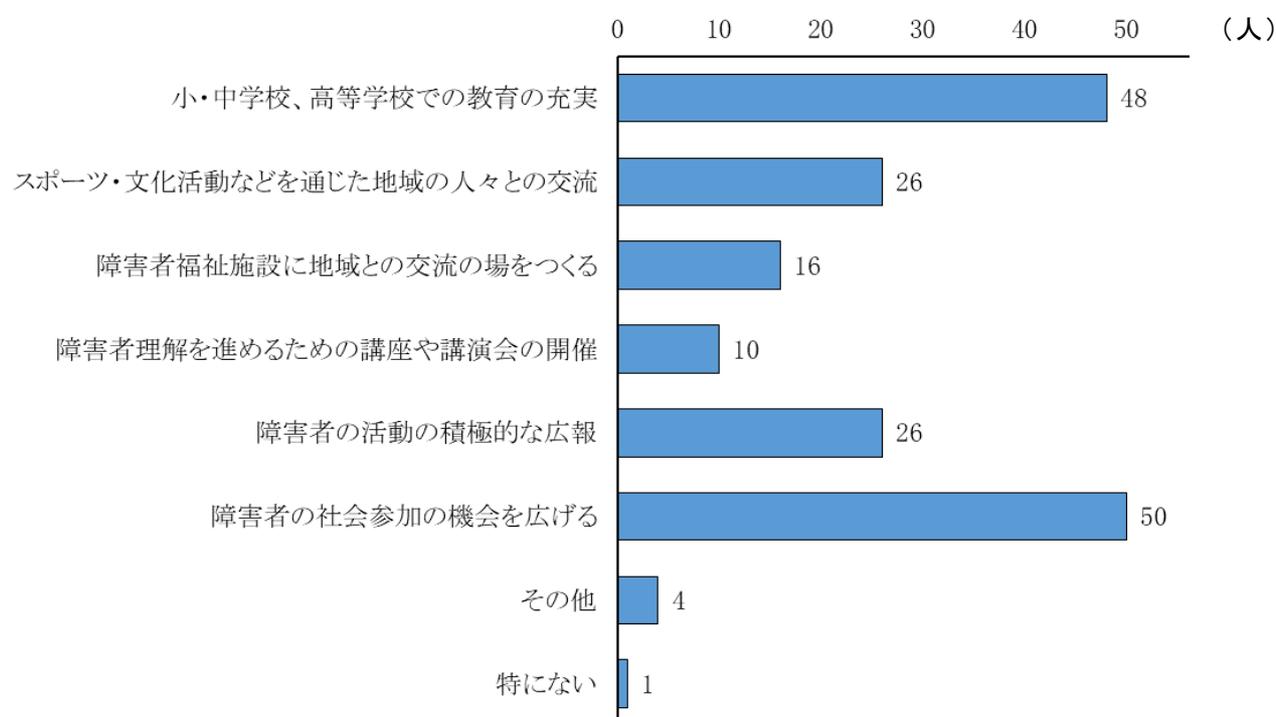
* 割合の算出方法：(各項目の)人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 助成金。(女性、50代、会社員)

問 9 あなたは、障害に対する理解を深めるために、社会全体が力をいれるべきことは何だと思いますか。(複数回答可)

【回答数 78 人】



選択項目	人数	構成比
小・中学校、高等学校での教育の充実	48	61.5%
スポーツ・文化活動などを通じた地域の人々との交流	26	33.3%
障害者福祉施設に地域との交流の場をつくる	16	20.5%
障害者理解を進めるための講座や講演会の開催	10	12.8%
障害者の活動の積極的な広報	26	33.3%
障害者の社会参加の機会を広げる	50	64.1%
その他	4	5.1%
特にない	1	1.3%
無回答	2	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

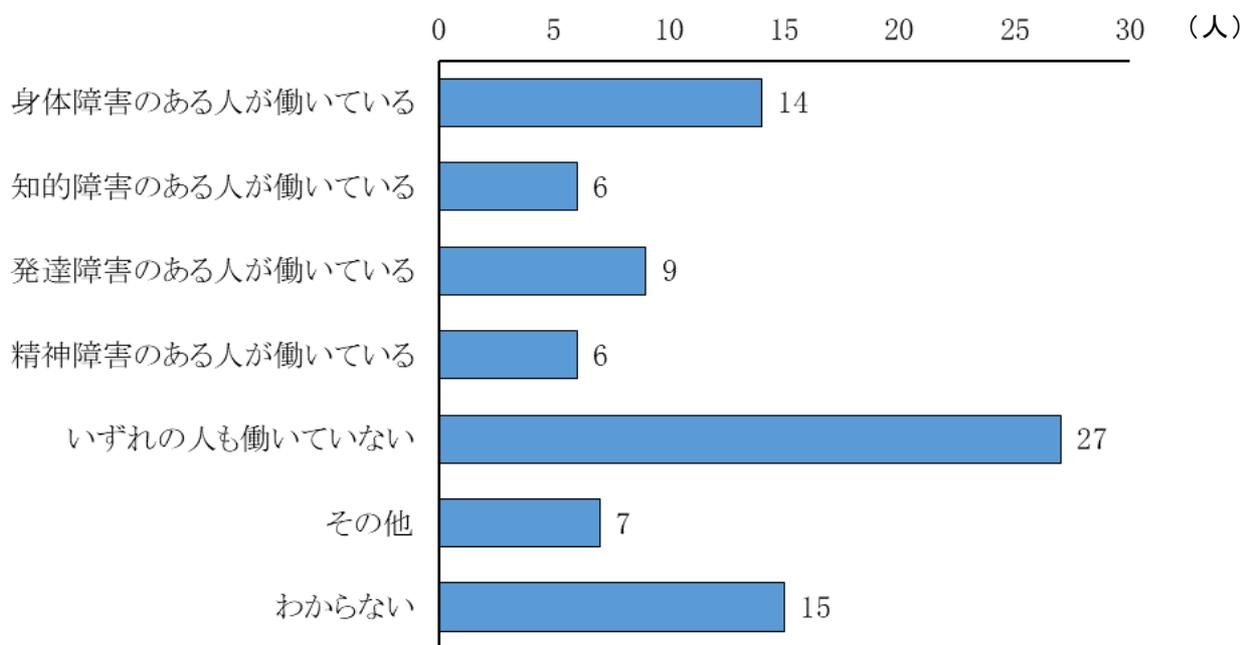
【その他回答の主な内容】

- わからない。 (女性、50代、主婦・主夫)
- YouTube/SNS/TikTok (男性、30代、会社員)
- 自立支援。 (女性、20代、会社員)
- 小さい頃から一緒に生活をするシステムを作ること。 (女性、50代、公務員・教員)

Ⅲ 障害のある人が働くことについて

問 10 あなたの現在の職場(仕事場)では、障害のある人が働いていますか。(複数回答可)

【回答数 69 人】



選択項目	人数	構成比
身体障害のある人が働いている	14	20.3%
知的障害のある人が働いている	6	8.7%
発達障害のある人が働いている	9	13.0%
精神障害のある人が働いている	6	8.7%
いずれの人も働いていない	27	39.1%
その他	7	10.1%
わからない	15	21.7%
無回答	11	—

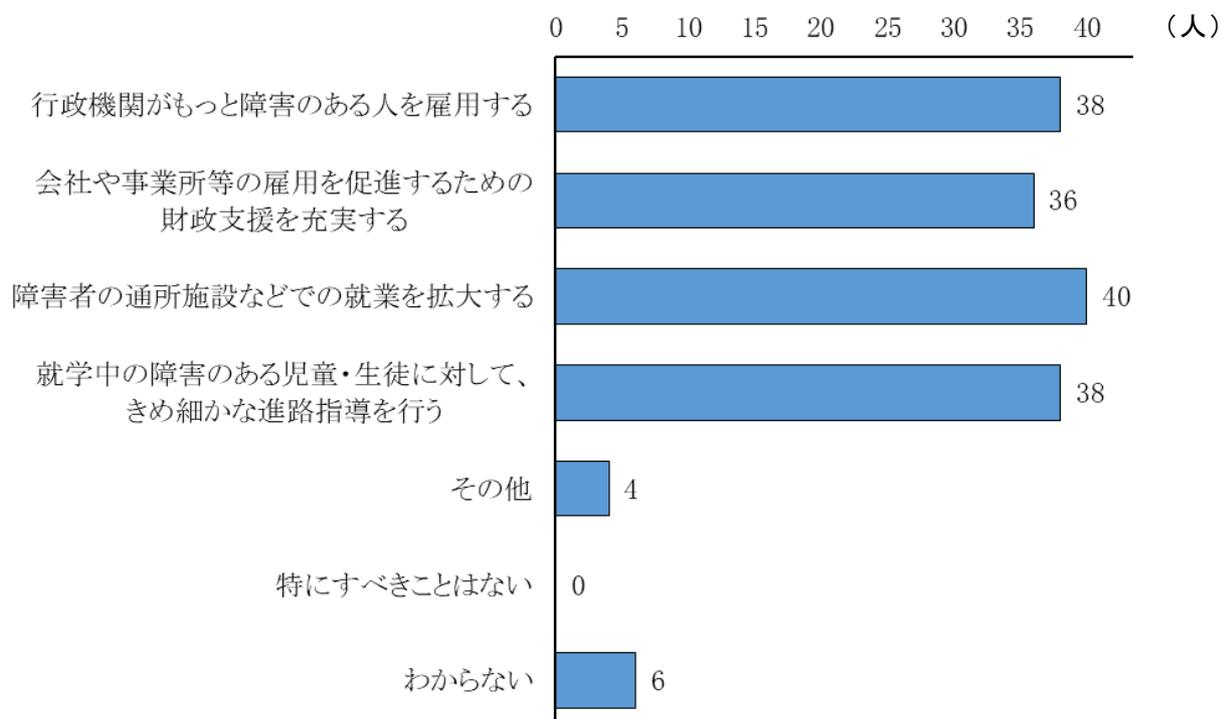
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 自分自身が無職。 (女性、40代、主婦・主夫)
- 具体的な障害は分からないが働いている。 (男性、30代、会社員)

問 11 あなたは、障害のある人がもっと働けるようにするためには、何をすればよいと思いますか。(複数回答可)

【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
行政機関がもっと障害のある人を雇用する	38	48.1%
会社や事業所等の雇用を促進するための財政支援を充実する	36	45.6%
障害者の通所施設などでの就業を拡大する	40	50.6%
就学中の障害のある児童・生徒に対して、きめ細かな進路指導を行う	38	48.1%
その他	4	5.1%
特にすべきことはない	0	0.0%
わからない	6	7.6%
無回答	1	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

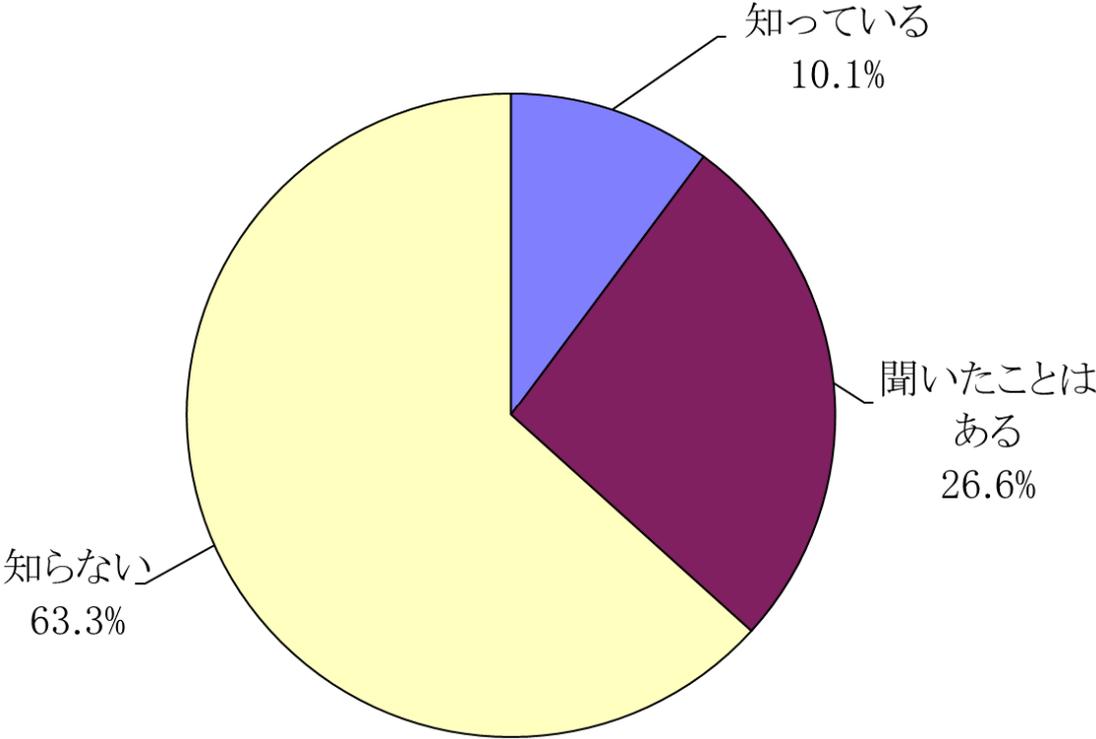
【その他回答の主な内容】

- 地域の支援、拡充。 (女性、40代、会社員)
- 障害の有無に関わらず活躍できる職場環境の整備。 (女性、20代、会社員)
- 障害のある老人が楽しく参加出来るイベントがあるといい。デイケアとかではなく、ワンデイなど。 (女性、会社員)
- 公的施設に頼るだけでなく、障害者雇用を進めようとしている企業への支援などを行う。 (女性、20代、会社員)

IV 福祉のまちづくり、障害福祉施策について

問 12 平成28年4月から障害者差別解消法が施行されています。あなたは、この法律のことを知っていますか。

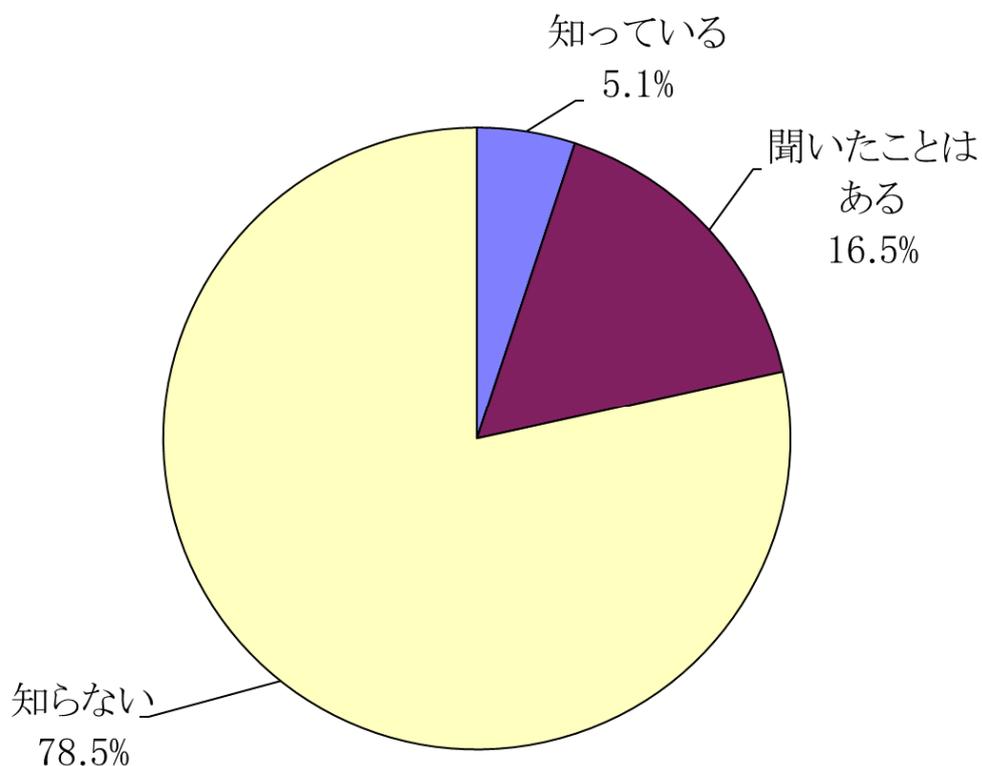
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	8	10.1%
聞いたことはある	21	26.6%
知らない	50	63.3%
無回答	1	—
合計	80	100%

問 13 平成30年4月から障害や障害のある人への理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちをつくるために、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

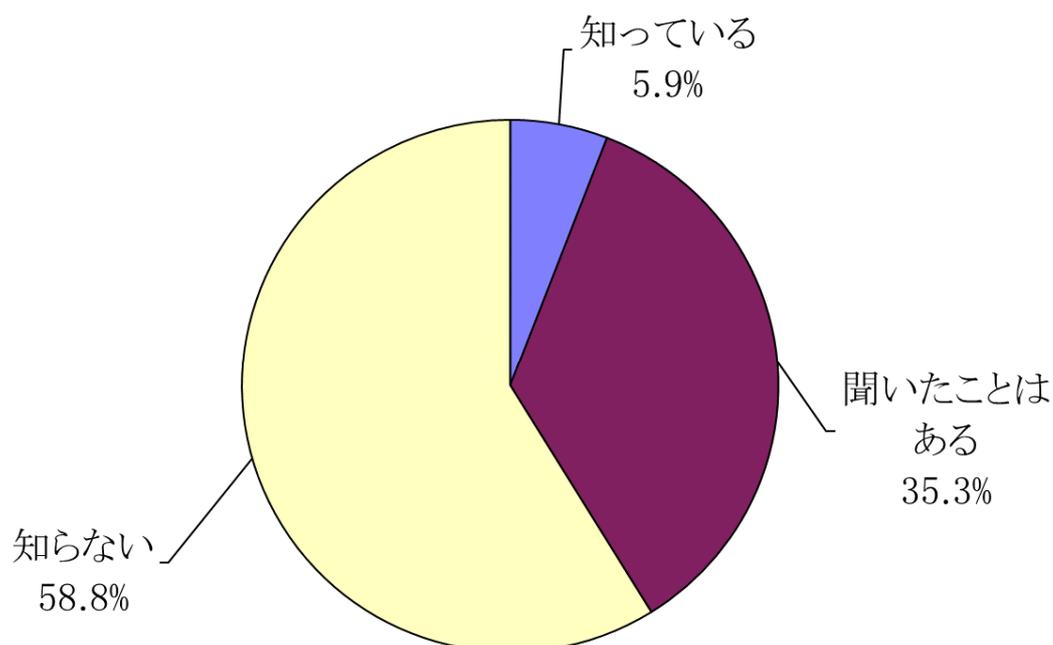
【回答数 79人】



選択項目	人数	構成比
知っている	4	5.1%
聞いたことはある	13	16.5%
知らない	62	78.5%
無回答	1	—
合計	80	100%

問 13-1 問 13 で「1. 知っている」「2. 聞いたことはある」と答えた方にお聞きします。令和4年12月に事業者による合理的配慮を義務付ける等の条例改正がありました(令和5年4月1日施行)。この条例改正のことを知っていますか。

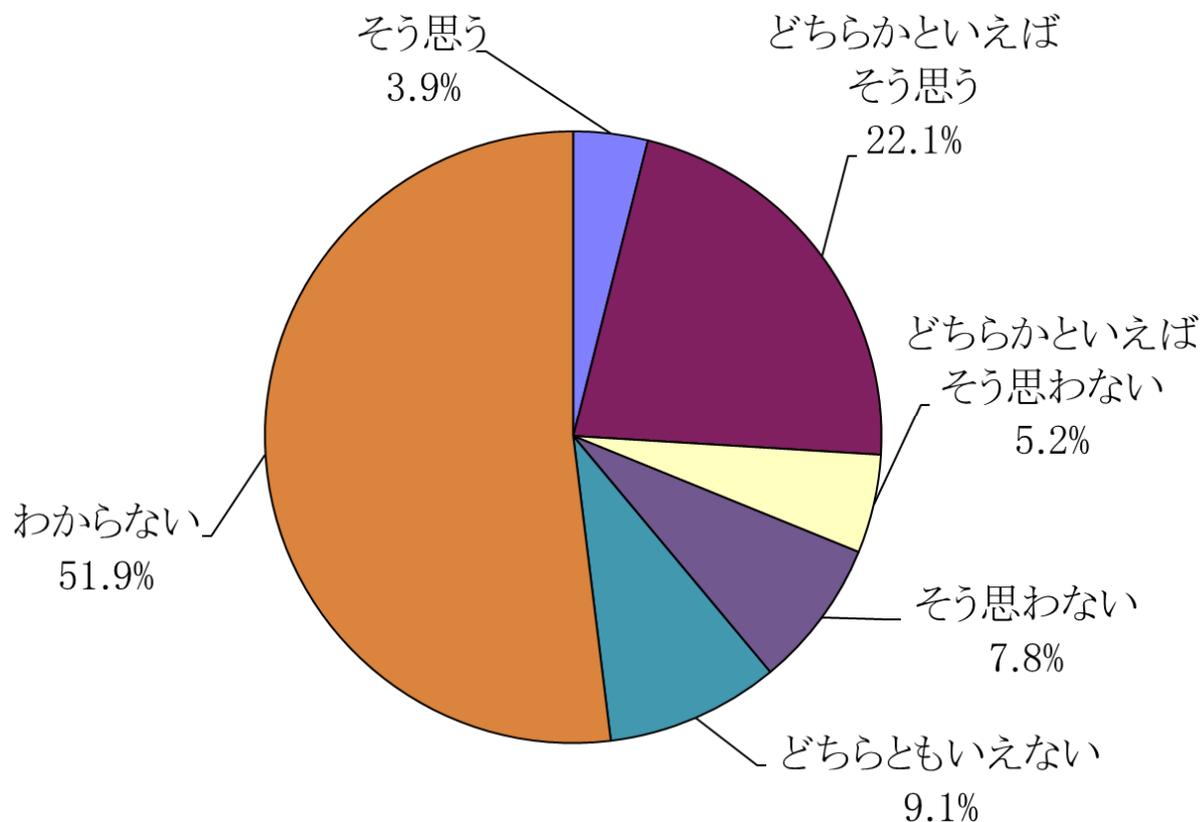
【回答数 17人】



選択項目	人数	構成比
知っている	1	5.9%
聞いたことはある	6	35.3%
知らない	10	58.8%
無回答	0	—
合計	17	100%

問 14 立川市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

【回答数 77人】



選択項目	人数	構成比
そう思う	3	3.9%
どちらかといえばそう思う	17	22.1%
どちらかといえばそう思わない	4	5.2%
そう思わない	6	7.8%
どちらともいえない	7	9.1%
わからない	40	51.9%
無回答	3	—
合計	80	100%

問 14-1 問 14 で回答された理由をお聞きします。どのようなところからそうだと思いますか。

【自由記述の主な内容】

【そう思う、どちらかといえばそう思う】

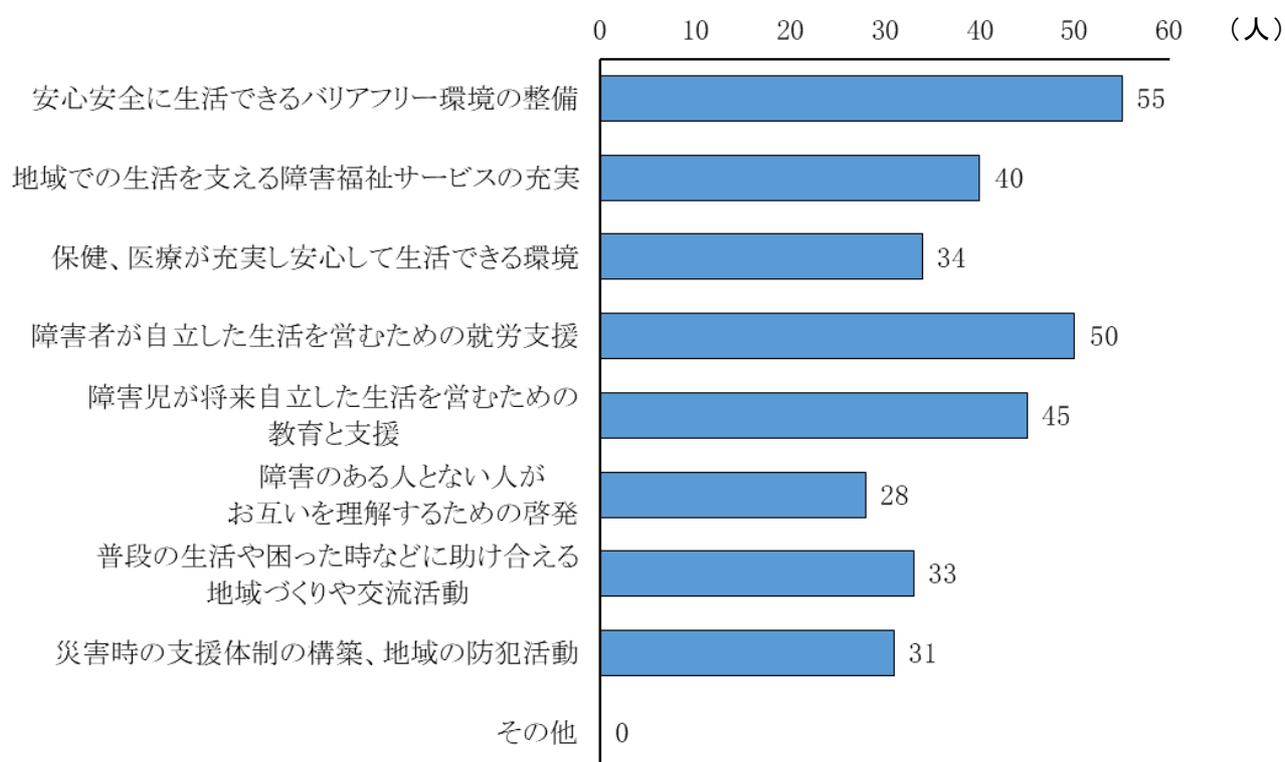
- 自宅の周囲に視覚障害者ブロック線状が道路に設置されている。
(女性、70代、主婦・主夫)
- 道路や道も広い場所が多く、身体が不自由な方でも外出しやすい環境が整っているのでは、
と思います。
(女性、20代、主婦・主夫)
- バスには、車イスの人も乗れるようになっている。
(女性、70代、主婦・主夫)
- 公共施設、新しく出来たショッピングモールは、バリアフリーだと感じました。
(女性、40代、主婦・主夫)
- 点字ブロックが整備されている。段差が少なく駅前エレベーターが立川駅北口南口に整備
されている。
(男性、30代、会社員)
- 親切にされた事がある。
(男性、70代、無職)
- 今回のように市がアンケートをしているから。
(男性、40代、公務員・教員)
- 当マンションはバリアフリーのせいか、住民の方にも障害者がいらっしゃいます。
(女性、70代、主婦・主夫)
- 障害を意識した街づくりがされていると思う（スロープ等）。
(男性、50代、会社員)
- 大学時代、障害について卒論を書きました。自立生活運動など活発にあったので比較的、障
害者同士が連携したり、支援し合う体制があると思っています。
(女性、40代、会社員)
- 職場は立川から電車で40分程の所ですが、そこよりもバリアフリーとなっている場所、施設、
駅構内が多いと感じている。車いす、ヘルプマークを所持している人も多数見かけるため。
住みやすい、出かけやすいと思う街にならなければ車いすの方が、多く街で見かける機会も
増えないと考えました。
(女性、40代、会社員)
- 車イスの人など街中に出ている事が多い。それを助けている人も街中で見かけるから。
(女性、会社員)
- 駅は北口も南口もエレベーターがある。
(女性、30代、会社員)

【そう思わない、どちらかといえばそう思わない】

- 市中のどこにエスカレーター（昇・降）、エレベーターがあるのか見られる所が無い。駅前や市のホームページで見ることが出来れば良い。 (男性、70代、無職)
- バリアフリー化が進んでない。 (男性、50代、会社員)
- 道路が狭いのに車や人の往来が激しい。駅前（北口）の立体交差など利用しづらいのでは？白杖のための黄色い線について、認識してない人が多い。 (女性、80代、無職)
- 道路整備を早急に。点字ブロックが道幅の狭い所に、又、植込み道にはみだしている。車イスが通りやすく道幅を拡張してほしい。信号機渡りきれる様、もっと時間を長くして欲しい。 (女性、70代、主婦・主夫)
- 障害のある人が出掛けたり、道を歩いていたたり移動している姿をあまり見かけない。障害のある人は、その方たちが集まる場やサービスはあってもまだまだ街中での生活は、難しい面が多い気がする。移動にも人一倍時間がかかってしまったり、人により施設や支援学校、作業所での生活以外、健常者と接する機会も少ない。また私たちも街中で見かける機会も少ない。コロナもあって以前より気を使うことが増えているので、その辺での暮らしやすさが以前より制限されている気がする。 (女性、50代、パート・アルバイト)
- 道路（歩道）が狭すぎる。普通に歩くのにも怖さを感じる。 (男性、50代、公務員・教員)
- 道路の段差が多い。立川に限らず日本中全てバリアフリーでない。歩道が狭い。整備されていない。同上かつ弱者に対しても同様。 (男性、50代、会社員)
- 保育園から大人になってからの生活まで壁がある。 (女性、50代、公務員・教員)
- 道に物がある事がある。周りの音が大きく、車の音に気が付きにくい事がある。 (女性、20代、学生)

問 15 あなたは、障害のある人が住み慣れた地域の中で生活するためには、どのようなことが重要だと思いますか。(複数回答可)

【回答数 80人】



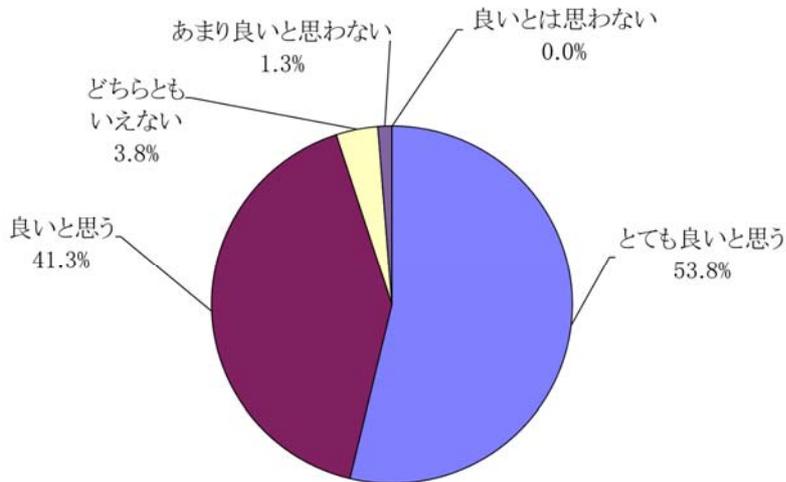
選択項目	人数	構成比
安心安全に生活できるバリアフリー環境の整備	55	68.8%
地域での生活を支える障害福祉サービスの充実	40	50.0%
保健、医療が充実し安心して生活できる環境	34	42.5%
障害者が自立した生活を営むための就労支援	50	62.5%
障害児が将来自立した生活を営むための教育と支援	45	56.3%
障害のある人とない人がお互いを理解するための啓発	28	35.0%
普段の生活や困った時などに助け合える地域づくりや交流活動	33	41.3%
災害時の支援体制の構築、地域の防犯活動	31	38.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数／回答数

問 16 次の①～④の項目についてどのように思いますか。

① 道路や公園など公共施設のバリアフリー化を進めること

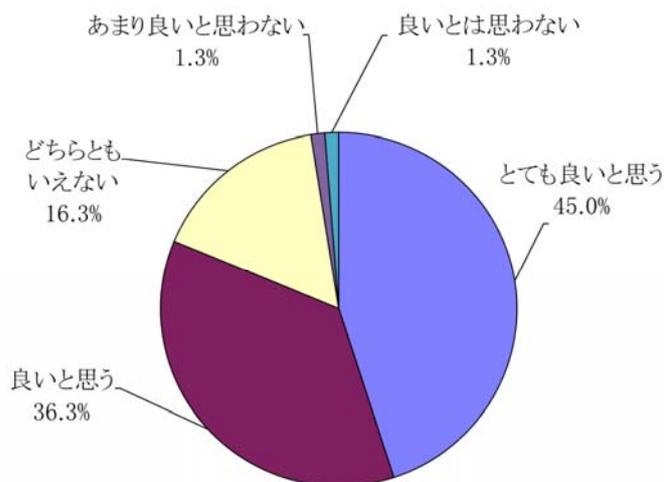
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	43	53.8%
良いと思う	33	41.3%
どちらともいえない	3	3.8%
あまり良いと思わない	1	1.3%
良いとは思わない	0	0.0%
無回答	0	—
合計	80	100%

② 障害のある人もない人も一緒に働ける職場をつくること

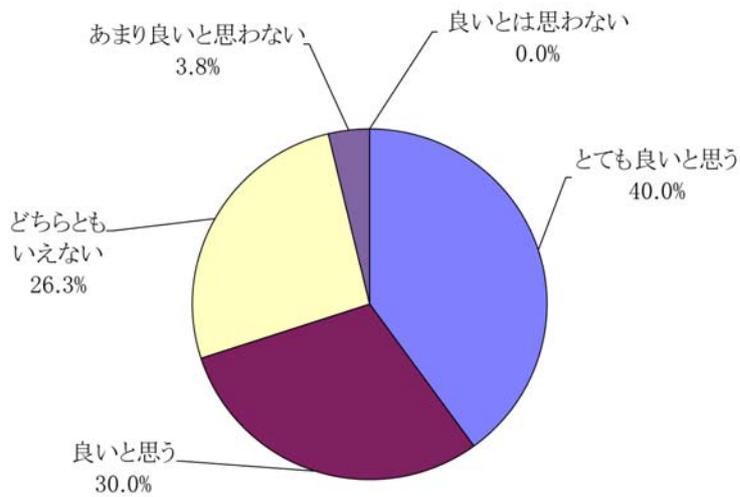
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	36	45.0%
良いと思う	29	36.3%
どちらともいえない	13	16.3%
あまり良いと思わない	1	1.3%
良いとは思わない	1	1.3%
無回答	0	—
合計	80	100%

③ 障害のある人もない人も一緒に学べる学校をつくること

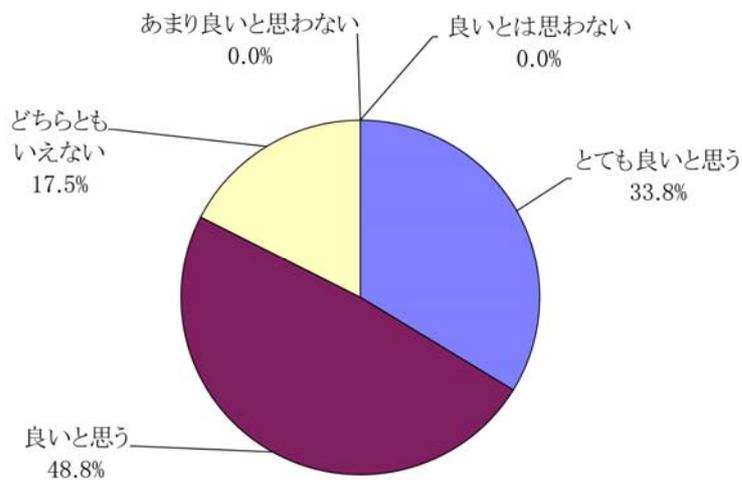
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	32	40.0%
良いと思う	24	30.0%
どちらともいえない	21	26.3%
あまり良いと思わない	3	3.8%
良いとは思わない	0	0.0%
無回答	0	—
合計	80	100%

④ 身近な場所に障害のある人のための施設ができること

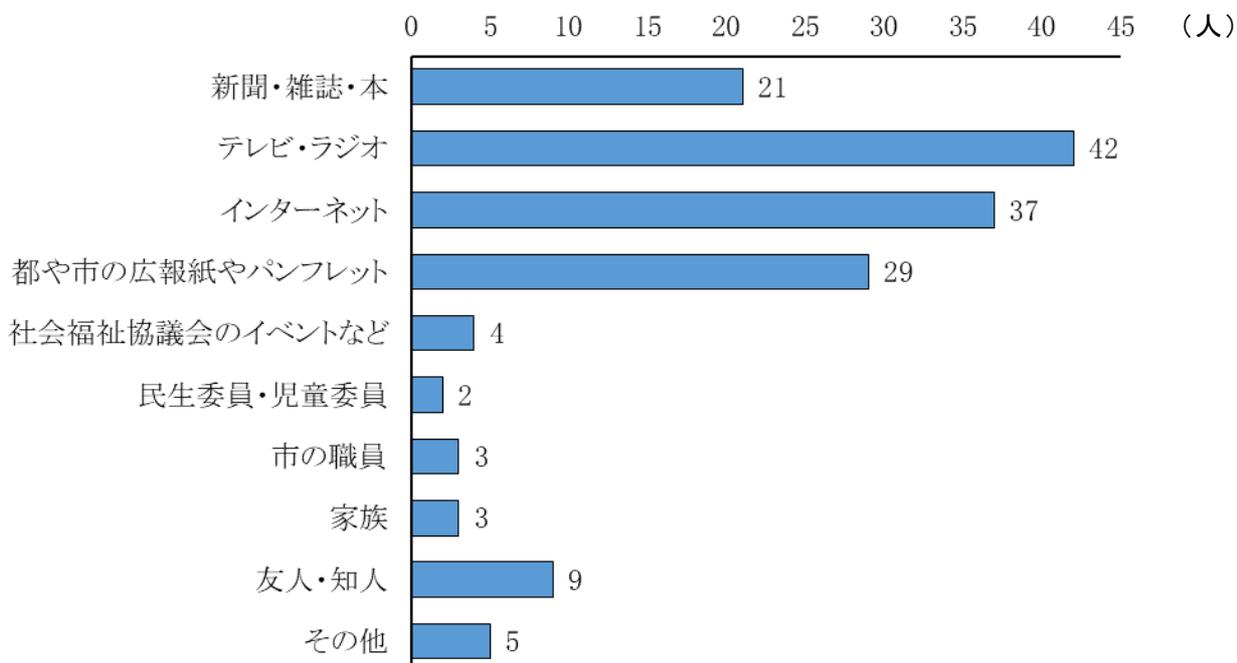
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	27	33.8%
良いと思う	39	48.8%
どちらともいえない	14	17.5%
あまり良いと思わない	0	0.0%
良いとは思わない	0	0.0%
無回答	0	—
合計	80	100%

問 17 あなたは、障害のある人や障害福祉に関する制度や動きについての情報を、主にどのような手段を通じて得ることが多いですか。(〇は3つまで)

【回答数 80人】



選択項目	人数	構成比
新聞・雑誌・本	21	26.3%
テレビ・ラジオ	42	52.5%
インターネット	37	46.3%
都や市の広報紙やパンフレット	29	36.3%
社会福祉協議会のイベントなど	4	5.0%
民生委員・児童委員	2	2.5%
市の職員	3	3.8%
家族	3	3.8%
友人・知人	9	11.3%
その他	5	6.3%
無回答	0	—

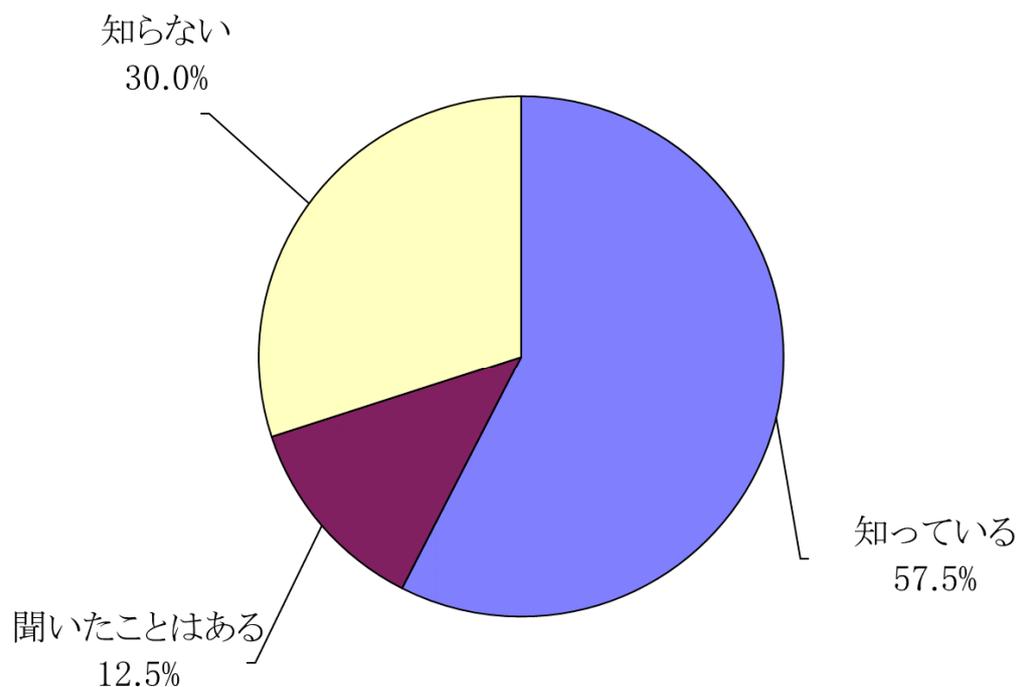
* 割合の算出方法：(各項目の)人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- アルバイト。 (女性、20代、学生)
- 職場。 (女性、20代、会社員)

問 18 立川市で、「ヘルプマーク」(義足や人工関節、内部障害、難病、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマーク)を配布していることを知っていますか。

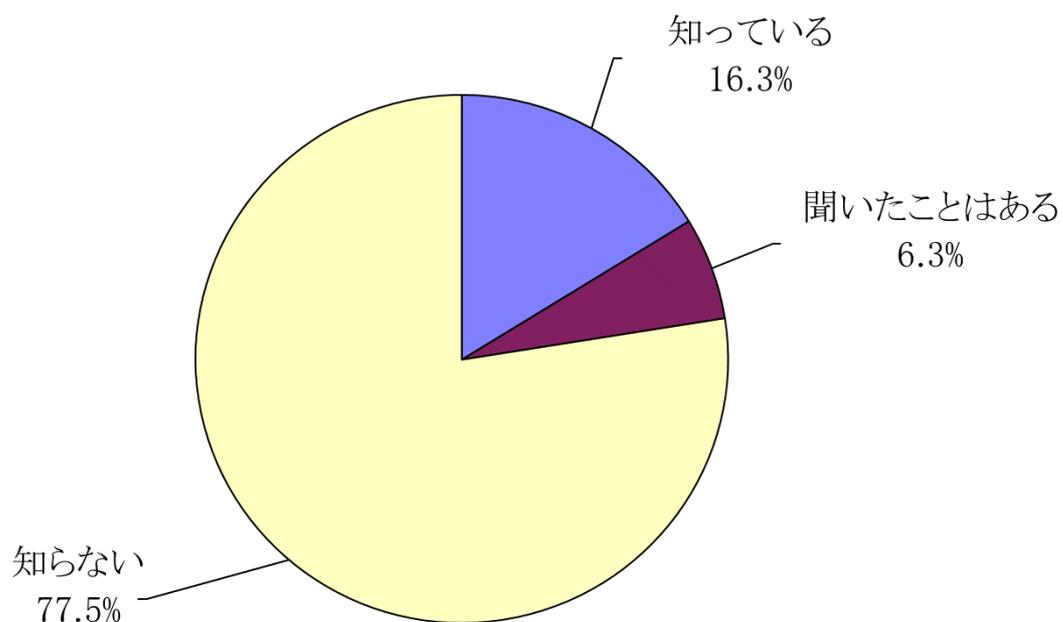
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	46	57.5%
聞いたことはある	10	12.5%
知らない	24	30.0%
無回答	0	—
合計	80	100%

問 19 立川市で、「ヘルプカード」(障害や疾病のある方が普段から身につけておき、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲の人に説明し支援をお願いするカード)を配布していることを知っていますか。

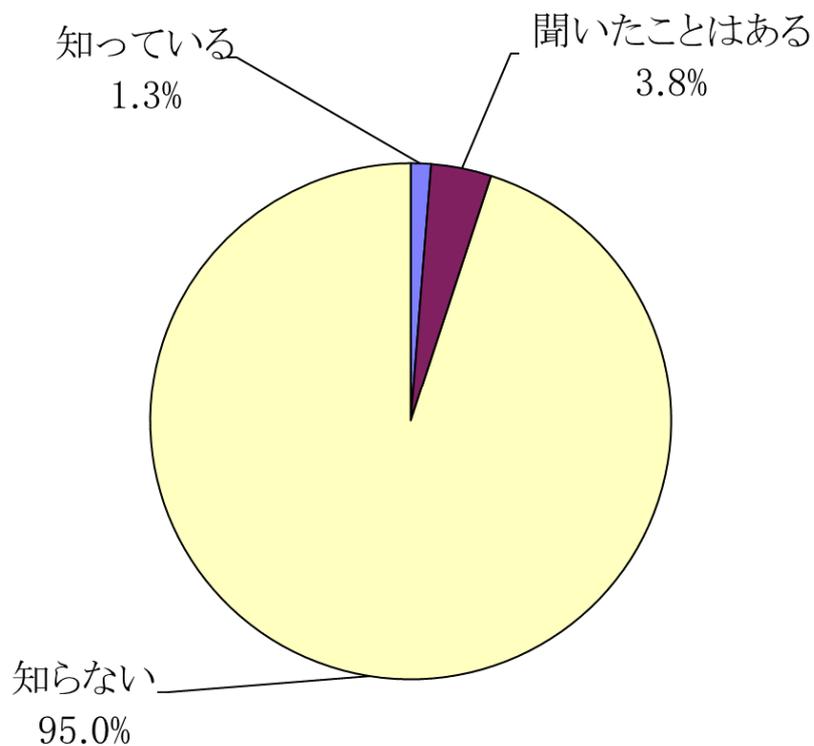
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	13	16.3%
聞いたことはある	5	6.3%
知らない	62	77.5%
無回答	0	—
合計	80	100%

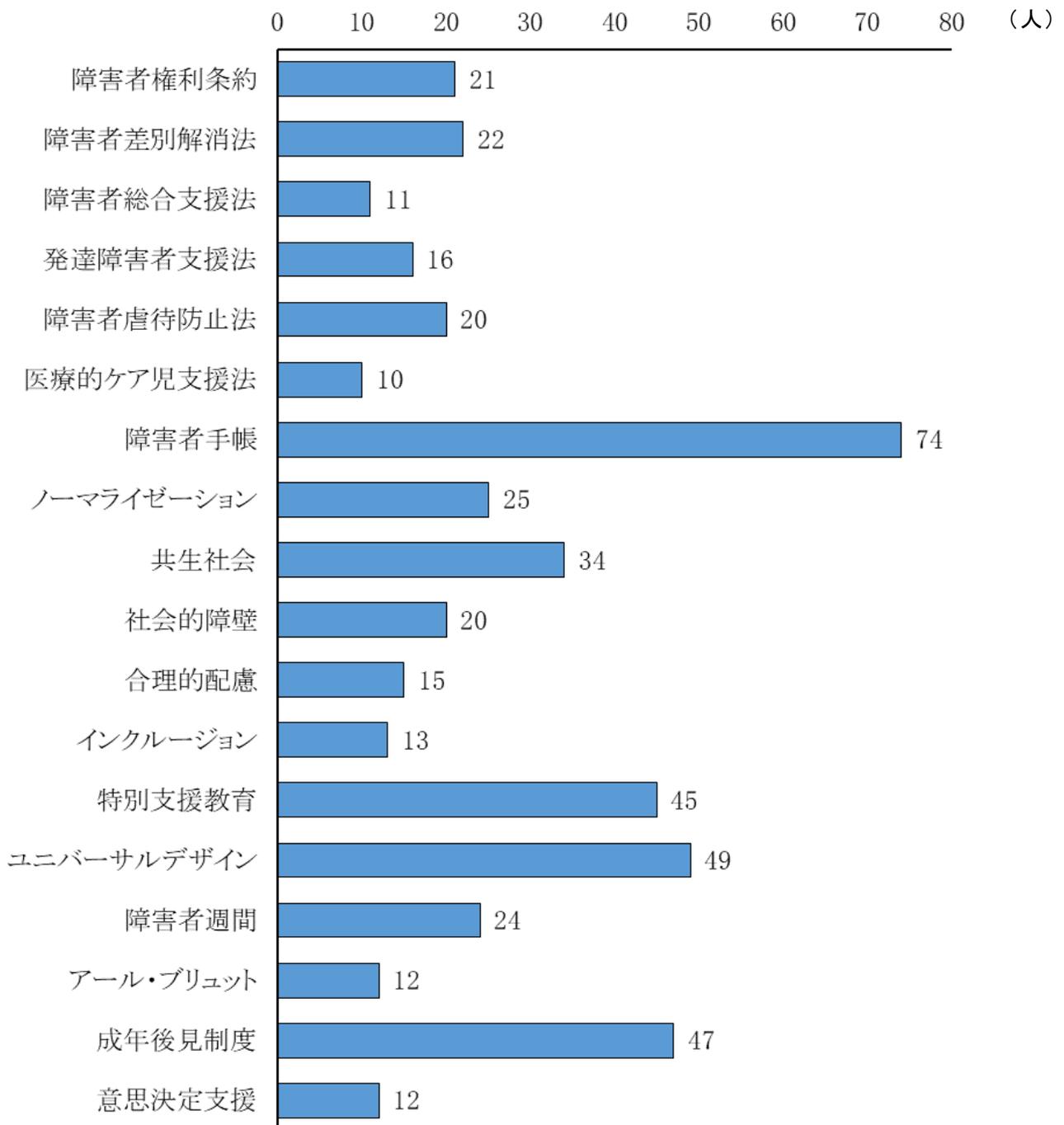
問 20 立川市で、「オ・ト・モ・ダ・チ・カード」(ヘルプカードをつけている方が困っている時に、支援に協力をしていただける方が身につけるストラップ)を配布していることを知っていますか。

【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	1	1.3%
聞いたことはある	3	3.8%
知らない	76	95.0%
無回答	0	—
合計	80	100%

問 21 次のうち、あなたが聞いたことがある言葉についてお答えください。(複数回答可)
【回答数 79人】



選択項目	人数	構成比
障害者権利条約	21	26.6%
障害者差別解消法	22	27.8%
障害者総合支援法	11	13.9%
発達障害者支援法	16	20.3%
障害者虐待防止法	20	25.3%
医療的ケア児支援法	10	12.7%
障害者手帳	74	93.7%
ノーマライゼーション	25	31.6%
共生社会	34	43.0%
社会的障壁	20	25.3%
合理的配慮	15	19.0%
インクルージョン	13	16.5%
特別支援教育	45	57.0%
ユニバーサルデザイン	49	62.0%
障害者週間	24	30.4%
アール・ブリュット	12	15.2%
成年後見制度	47	59.5%
意思決定支援	12	15.2%
無回答	1	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

V 障害福祉施策への意見・要望**【自由記述の主な回答】**

- 今はわかりませんが、自身が小学生の時に、学校内に「青空学級」という障害の方のクラスがありました。高学年生が、青空学級の生徒を支援していたこともあり、小さいころから身近に支援が必要な方がいたことは、良い刺激にもなったし、勉強にもなったと思います。どの年代でも障害の方と接する機会が多くあればと思います。 (女性、40代、会社員)
- 書類の郵送代がかかっているアンケートにどのくらいの解答が得られるのかとってしまう。ネット登録(プレゼント ゴミ袋)、アンケート(ゴミ袋 プレゼント)などで市政に市民の声が経費をかけずに届くようにして頂けたらと思いました。 (女性、50代、会社員)
- 立川市に住んで8年になりますが、広報などに目を通すこともなくどのような政策をされているか知りませんでした。私自身は、子供の頃からクラスに障害のある子がいて皆でお世話をしていたので、困っていたら助けるという事は、教えてもらうというより自然に身についたように思います。特別学級でクラスを分ける事については、そのような機会が減るのではないかと思います。バリアフリーを作るより、障害者を身近に感じる機会を増やす方がいいのではないかなと思いました。ヘルプカードは、くるりんが書いてあるものは知らなかったもので、今回知れて良かったです。 (女性、30代、パート・アルバイト)
- 関わりがある人だけが障害福祉について認知しているのが大部分だと思う。広報、SNSの発信と人が多く集まる駅などにポスター等で周知する方法が良いかと思います。(私はあまり広報、SNSを見ません) (男性、40代、公務員・教員)
- 私が立川に移り住んで20年にもなりますが、夜遅く数台のバイクが騒音を立てて走っています。近所には高齢者の施設等が多くあり大変迷惑していると思われれます。警察等の指導で取締りをお願いしたいと思います。 (男性、80代、無職)
- 障害者だけでなく、あらゆる年代の人たちが住みやすいまちづくり、サービス環境を整えることでより障害者の方たちの住みやすい環境がつかれると感じる。誰もが利用しやすい施設、誰もが意見を言いやすい場など、それにより交流が生まれ、障害者の福祉へつながるのではないかと感じる。 (女性、50代、パート・アルバイト)
- 障害のある方を援助することは、とても大切な事だと思います。と同時に、支援を受ける側の方の意識も考慮していく施策も必要性を感じます。子供が車イスの方の手伝いを申し出たところ「当たり前だ、早くしろ」といった旨の返答を受け非常に困惑して、帰宅したことがありました。このような体験は、大人であっても心が折れることです。障害のある方への支援の必要性を教育するのであれば、その逆も平等な教育ではないでしょうか？生活、仕事、様々な対策を検討する事は必要であります。心の持ち方の支援も支える側、受ける側ともに必要だと感じます。 (女性、50代、パート・アルバイト)
- とにかく歩道が狭すぎます。車イスはとても通れません。少しずつでも改良をお願いしたいです。バリアフリーが整っているのは駅前だけです。 (男性、50代、公務員・教員)
- 地域で事業を展開されている事業所間のネットワーク強化。当事者及び家族支援の為の包括的サポート体制強化。新たな事業参入の受け入れ、支援強化。制度横断的なサービス構築、地域住民を巻き込んだ制度設計等、行政としてきめの細かい施策を期待しています。 (男性、50代、その他)

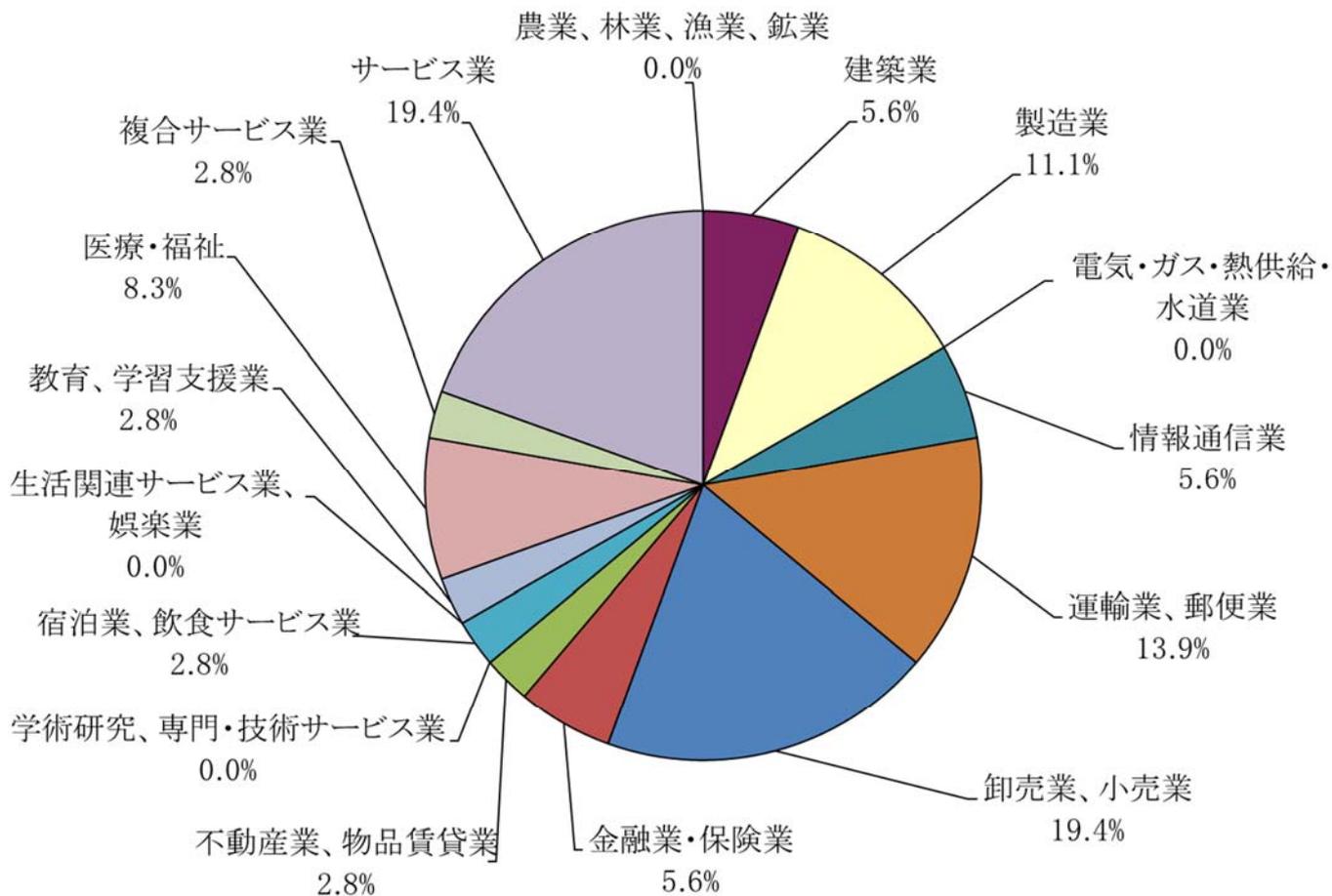
- 障害のある人を周りの人々が理解して手助けするような社会にして欲しいです。
(女性、50代、パート・アルバイト)
- 先日、身体障害者の弟が地域の自治会への加入を断られました。「役員が出来ないなら入らないで」と言われたとのこと。自らが地域に出て行こう、繋がりとうとする中、断られとても残念な気持ちになりました。防災という誰にでもあるチャンスからいろんな人のあり方を受け入れていくモデルを、役所の方から見せていくのが必要だと思います。「受け入れなさい。差別しない」じゃなく、具体的な例と方法を健常者や、まだよくわからない、という人にも知って貰ってほしいです。
(女性、40代、会社員)
- 私は障がいのある方への支援で「自立、雇用の創出」が重要だと思っています。しかし、現実には働く環境を用意出来ない企業が多くあります。そんな中、以前ある企業の事業を知り、これは面白いなと思いました。障がいを持った方向けの働く環境を用意できない企業に対して、障がい者が働きやすい環境で、企業の代理のような形で、障がいのある方を雇うというシステムです。(要は、障がい者雇用のリース) 人を商品のように扱うという事に対する否定的な意見もあるようですが、現実問題、そこまで悪いとは思いません。このように障がい者支援のムーブメントによってくる企業がどんどん出てきて、新しいビジネスが生まれることでも「自立や雇用創出」につながるのではないかと感じました。長々と失礼しました。立川市がより多くの人にとって住み良い街になるといいですね。
(女性、20代、会社員)
- 自分が意識して情報を集めていないこともあると思うが、立川市の障害福祉施策については、何も分からないし聞いたことがない。もっと広報を読むようにしないといけないと反省した。それと共に、立川市が堂々と障害福祉にすごく力を入れていると胸を張って言える事が出来るほど、広報やネットを使った仕方でも述べる事が出来るよう、なお一層の努力を行って欲しいと感じた。
(女性、50代、主婦・主夫)

③市内事業所

I 調査対象事業所について

問1 貴事業所の主たる業種は、次のどれにあたりますか。

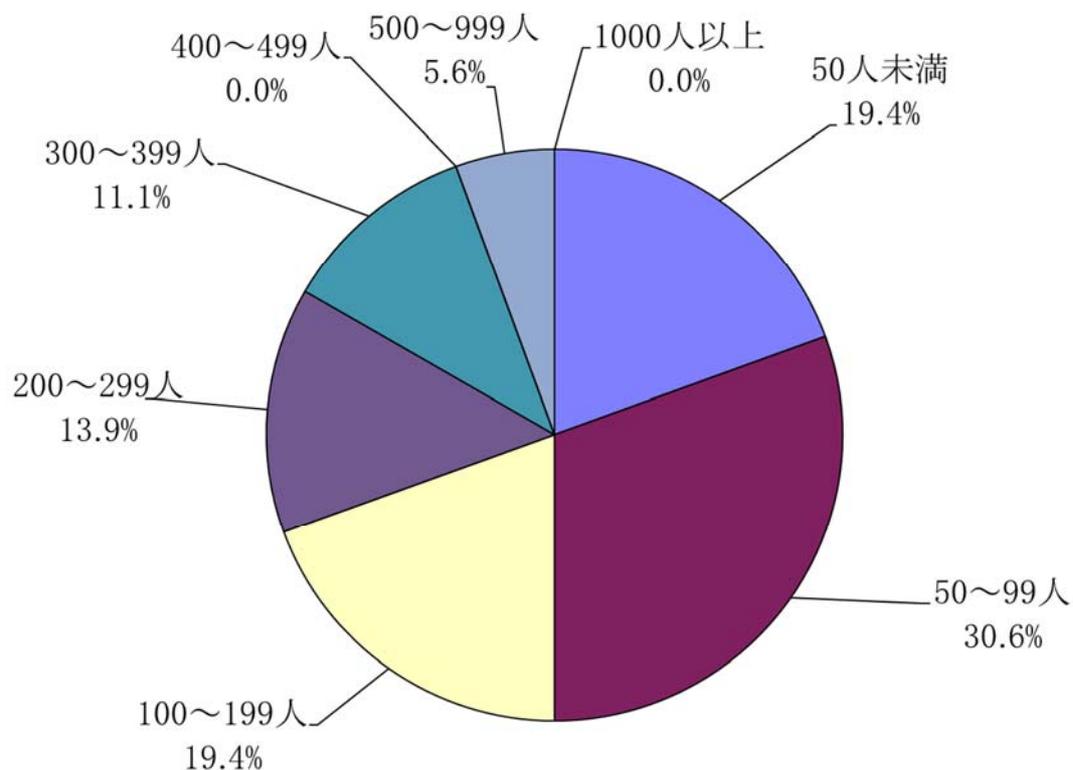
【回答数 36人】



選択項目	人数	構成比
農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
建築業	2	5.6%
製造業	4	11.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
情報通信業	2	5.6%
運輸業、郵便業	5	13.9%
卸売業、小売業	7	19.4%
金融業、保険業	2	5.6%
不動産業、物品賃貸業	1	2.8%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	1	2.8%
生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
教育、学習支援業	1	2.8%
医療・福祉	3	8.3%
複合サービス業	1	2.8%
サービス業	7	19.4%
無回答	0	—
合計	36	100%

問2 貴事業所の従業員数(パート・アルバイトを含む。)は、次のどれにあたりますか。

【回答数 36人】

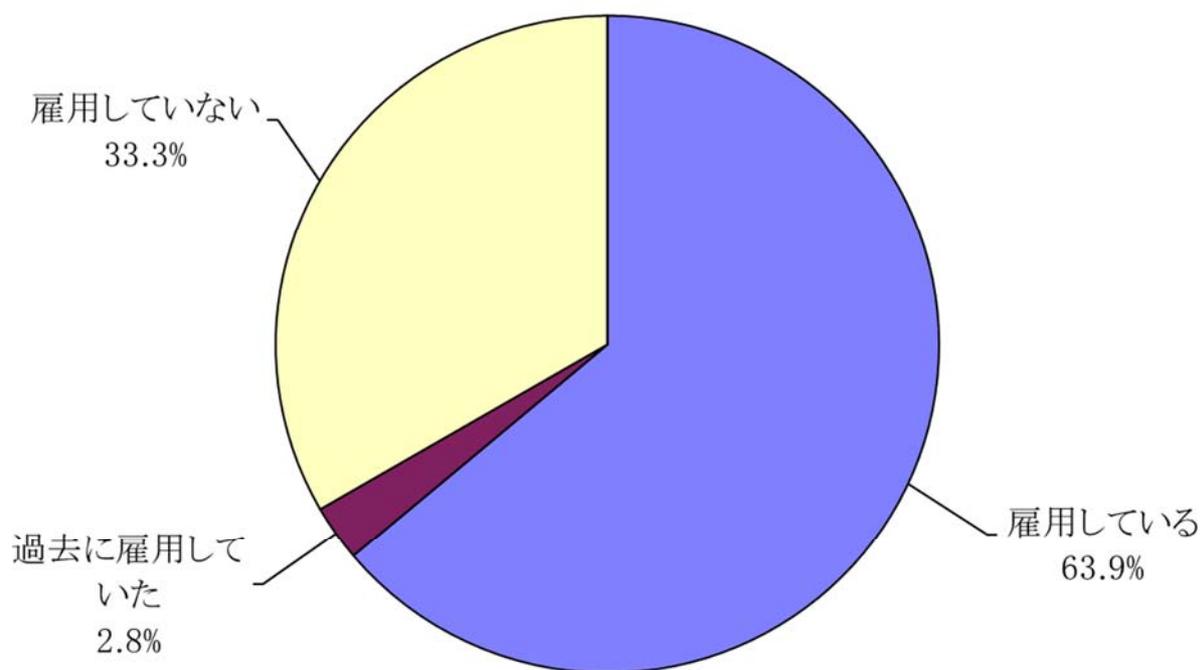


選択項目	人数	構成比
50人未満	7	19.4%
50~99人	11	30.6%
100~199人	7	19.4%
200~299人	5	13.9%
300~399人	4	11.1%
400~499人	0	0.0%
500~999人	2	5.6%
1000人以上	0	0.0%
無回答	0	—
合計	36	100%

Ⅱ 障害のある人の雇用について

問3 貴事業所では、現在、障害のある人を雇用していますか。

【回答数 36人】

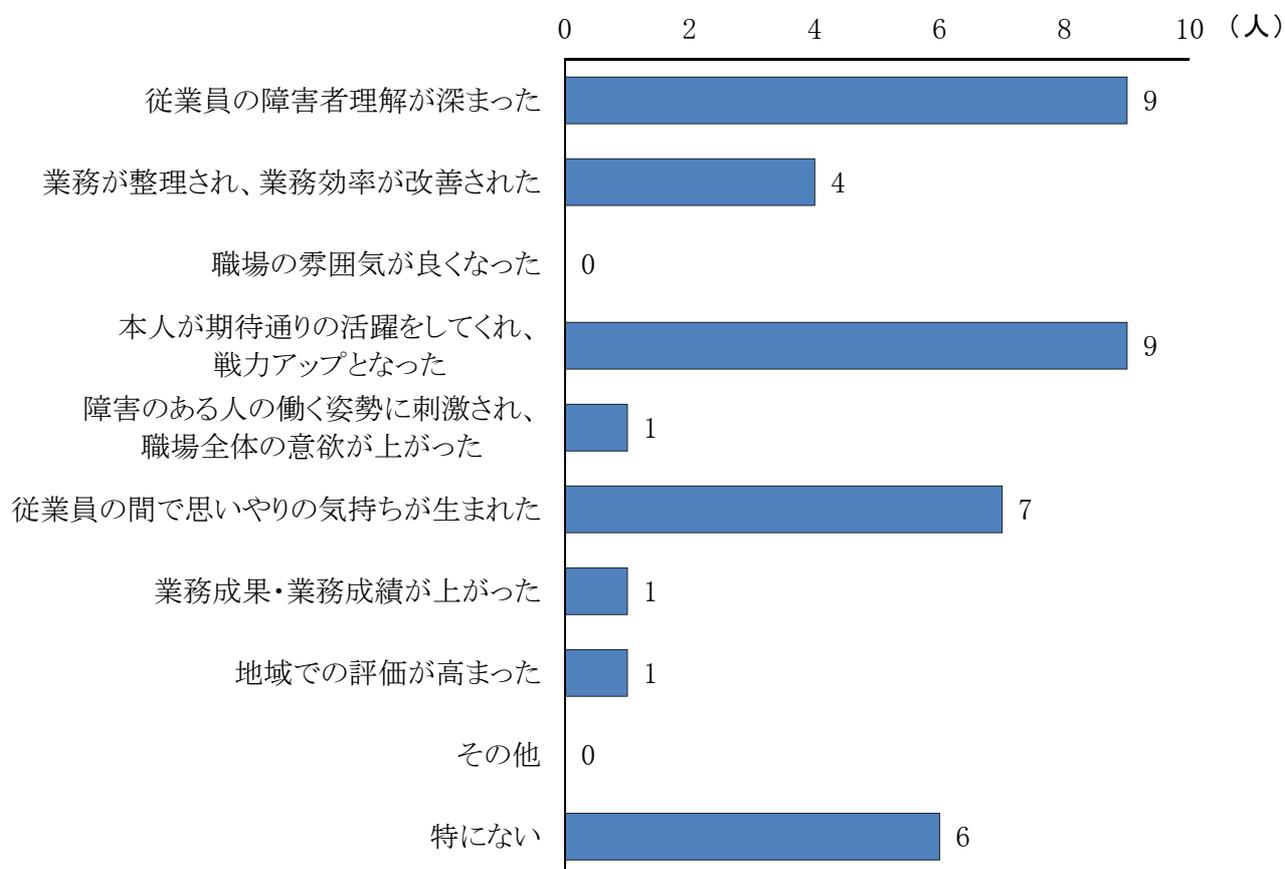


選択項目	人数	構成比
雇用している	23	63.9%
過去に雇用していた	1	2.8%
雇用していない	12	33.3%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 3-1 問3で「1. 雇用している」「2. 過去に雇用していた」と答えた事業所にお聞きします。

雇用して良かったこと、変わったことはありますか。(複数回答可)

【回答数 24 人】



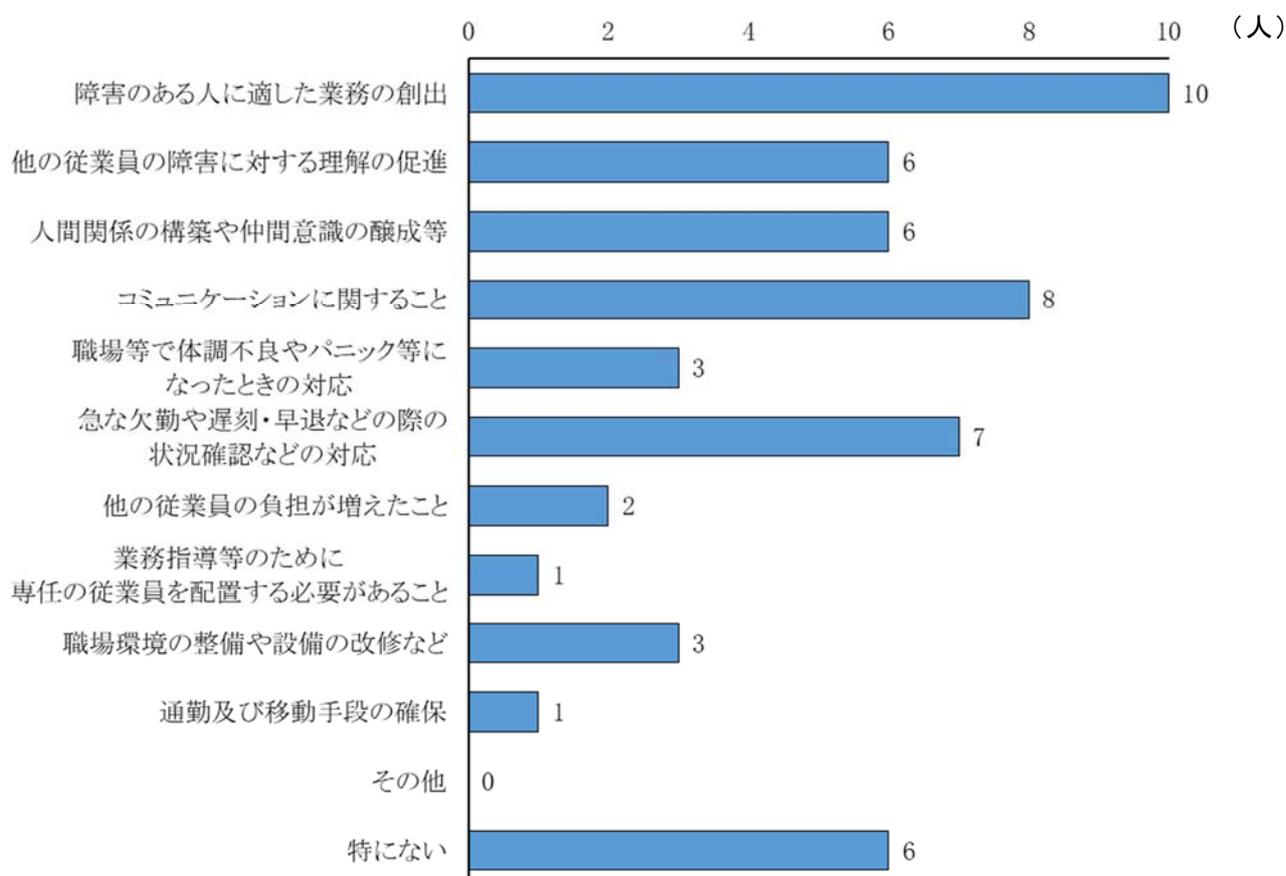
選択項目	人数	構成比
従業員の障害者理解が深まった	9	37.5%
業務が整理され、業務効率が改善された	4	16.7%
職場の雰囲気が良くなった	0	0.0%
本人が期待通りの活躍をしてくれ、戦力アップとなった	9	37.5%
障害のある人の働く姿勢に刺激され、職場全体の意欲が上がった	1	4.2%
従業員の間で思いやりの気持ちが生まれた	7	29.2%
業務成果・業務成績が上がった	1	4.2%
地域での評価が高まった	1	4.2%
その他	0	0.0%
特にない	6	25.0%
無回答	0	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 3-2 問3で「1. 雇用している」「2. 過去に雇用していた」と答えた事業所にお聞きします。

雇用して困ったこと、負担に感じたことはありますか。(複数回答可)

【回答数 23 人】



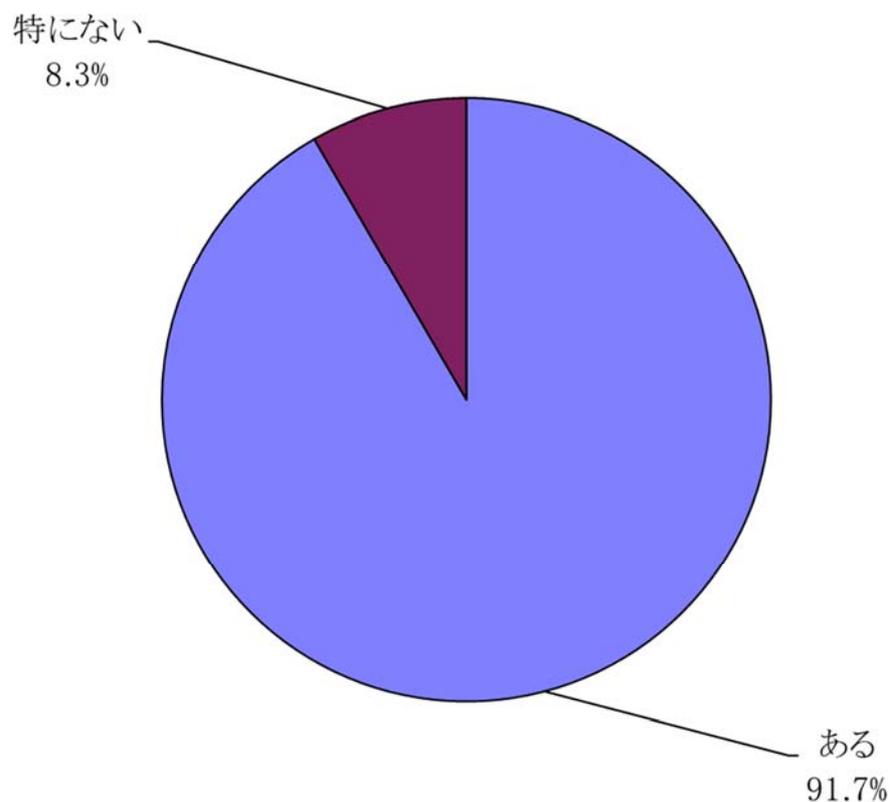
選択項目	人数	構成比
障害のある人に適した業務の創出	10	43.5%
他の従業員の障害に対する理解の促進	6	26.1%
人間関係の構築や仲間意識の醸成等	6	26.1%
コミュニケーションに関すること	8	34.8%
職場等で体調不良やパニック等になったときの対応	3	13.0%
急な欠勤や遅刻・早退などの際の状況確認などの対応	7	30.4%
他の従業員の負担が増えたこと	2	8.7%
業務指導等のために専任の従業員を配置する必要があること	1	4.3%
職場環境の整備や設備の改修など	3	13.0%
通勤及び移動手段の確保	1	4.3%
その他	0	0.0%
特にない	6	26.1%
無回答	1	—

* 割合の算出方法：(各項目の) 人数 / 回答数

問 3-3 問3で「1. 雇用している」「2. 過去に雇用していた」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人を雇用するうえで、配慮が必要となったことはありますか。

【回答数 24 人】

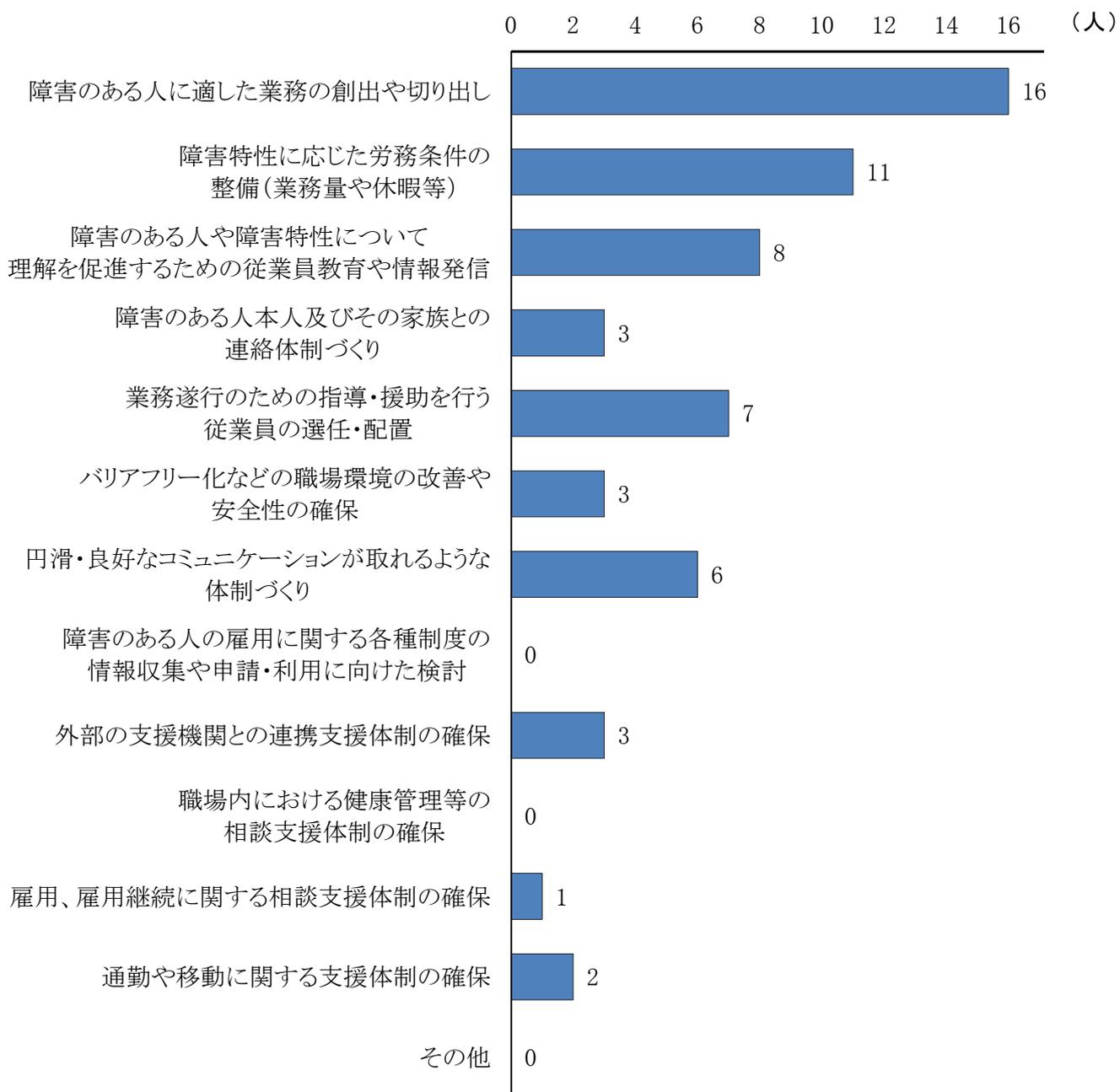


選択項目	人数	構成比
ある	22	91.7%
特にない	2	8.3%
無回答	0	—
合計	24	100%

問 3-4 問3-3で「1. ある」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人を雇用するうえで、どのような配慮をしましたか。(複数回答可)

【回答数 22 人】

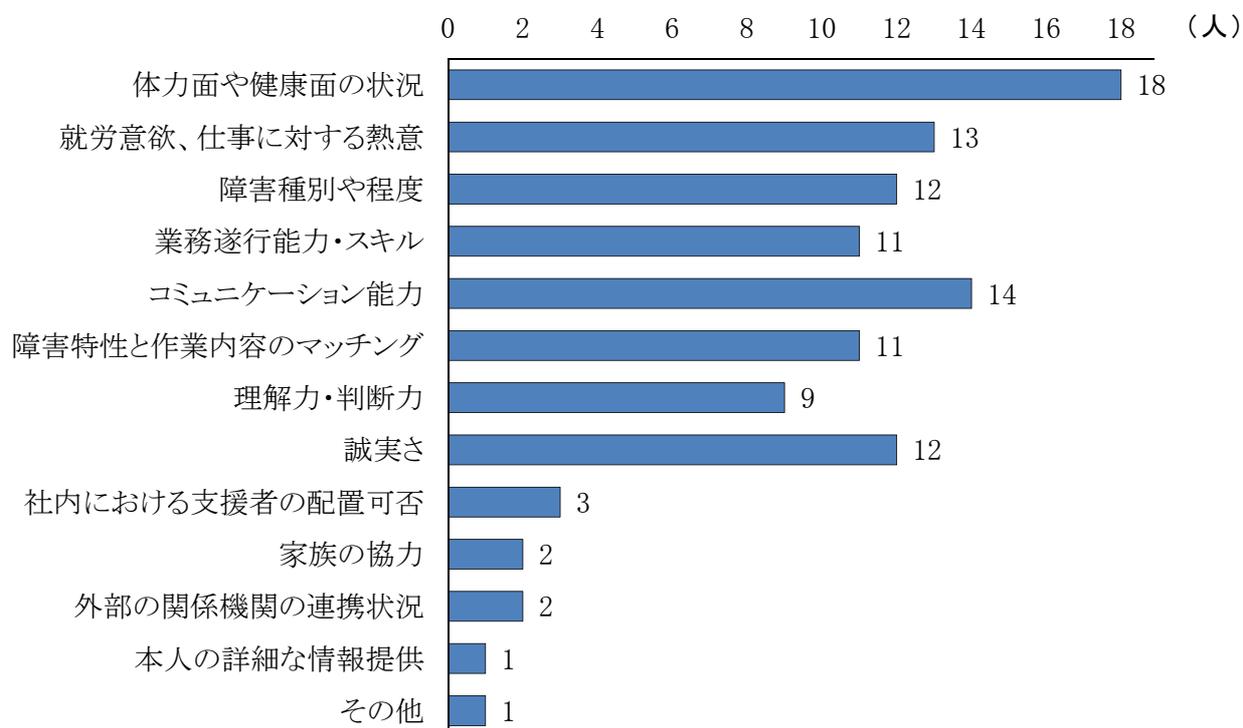


選択項目	人数	構成比
障害のある人に適した業務の創出や切り出し	16	72.7%
障害特性に応じた労務条件の整備(業務量や休暇等)	11	50.0%
障害のある人や障害特性について理解を促進するための従業員教育や情報発信	8	36.4%
障害のある人本人及びその家族との連絡体制づくり	3	13.6%
業務遂行のための指導・援助を行う従業員の選任・配置	7	31.8%
バリアフリー化などの職場環境の改善や安全性の確保	3	13.6%
円滑・良好なコミュニケーションが取れるような体制づくり	6	27.3%
障害のある人の雇用に関する各種制度の情報収集や申請・利用に向けた検討	0	0.0%
外部の支援機関との連携支援体制の確保	3	13.6%
職場内における健康管理等の相談支援体制の確保	0	0.0%
雇用、雇用継続に関する相談支援体制の確保	1	4.5%
通勤や移動に関する支援体制の確保	2	9.1%
その他	0	0.0%
無回答	0	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 4 障害のある人を採用するにあたって、どのようなことを重視しますか。(複数回答可)

【回答数 24 人】



選択項目	人数	構成比
体力面や健康面の状況	18	75.0%
就労意欲、仕事に対する熱意	13	54.2%
障害種別や程度	12	50.0%
業務遂行能力・スキル	11	45.8%
コミュニケーション能力	14	58.3%
障害特性と作業内容のマッチング	11	45.8%
理解力・判断力	9	37.5%
誠実さ	12	50.0%
社内における支援者の配置可否	3	12.5%
家族の協力	2	8.3%
外部の関係機関の連携状況	2	8.3%
本人の詳細な情報提供	1	4.2%
その他	1	4.2%
無回答	12	—

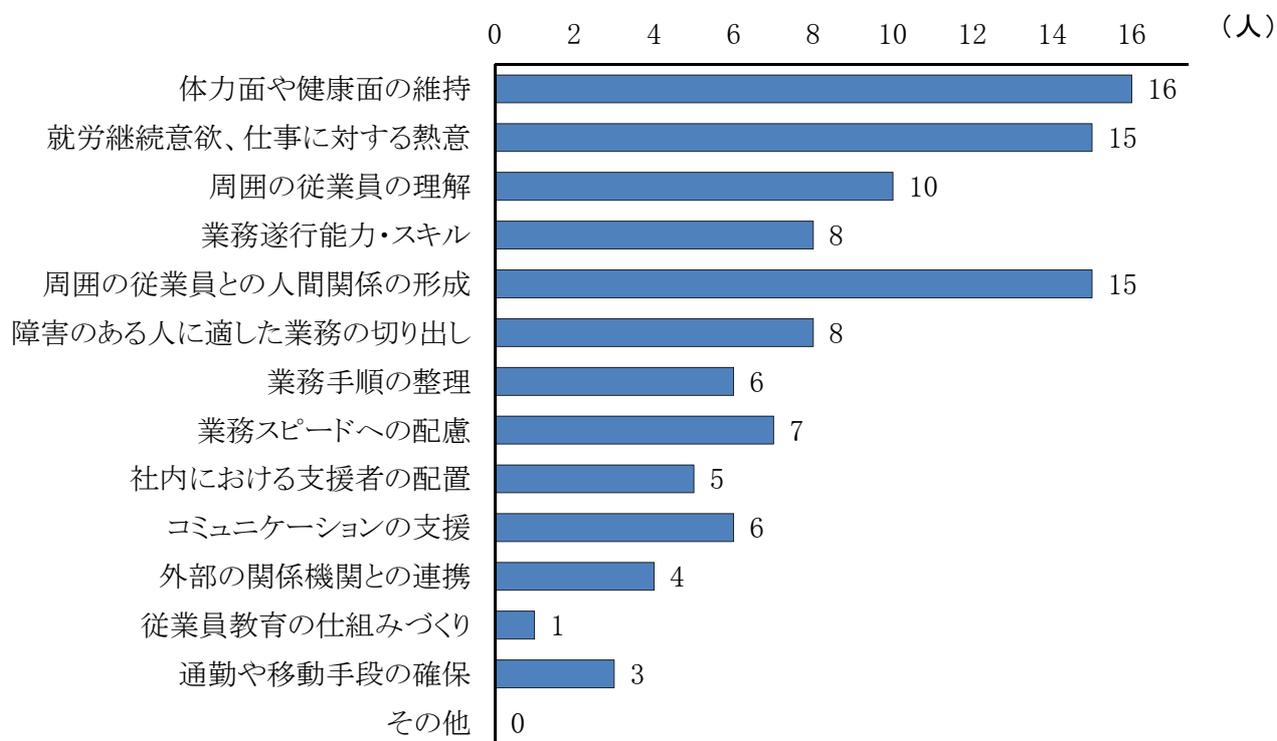
* 割合の算出方法：(各項目の) 人数 / 回答数

【その他回答の主な内容】

- 二種免許、運転技術。(雇用している、運輸業・郵便業、100～199 人)

問 5 障害のある人が長く勤務し続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答可)

【回答数 23人】

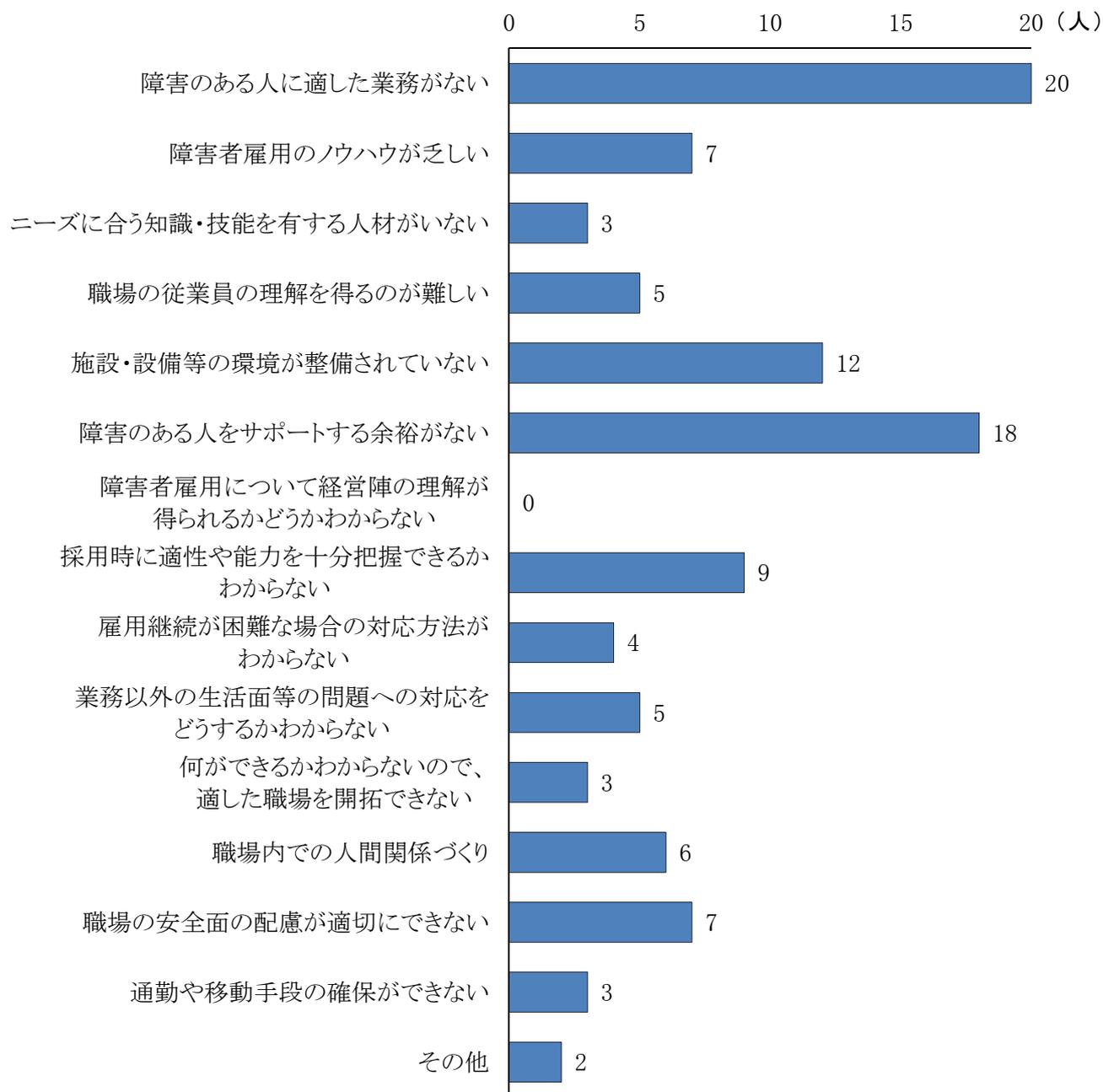


選択項目	人数	構成比
体力面や健康面の維持	16	69.6%
就労継続意欲、仕事に対する熱意	15	65.2%
周囲の従業員の理解	10	43.5%
業務遂行能力・スキル	8	34.8%
周囲の従業員との人間関係の形成	15	65.2%
障害のある人に適した業務の切り出し	8	34.8%
業務手順の整理	6	26.1%
業務スピードへの配慮	7	30.4%
社内における支援者の配置	5	21.7%
コミュニケーションの支援	6	26.1%
外部の関係機関との連携	4	17.4%
従業員教育の仕組みづくり	1	4.3%
通勤や移動手段の確保	3	13.0%
その他	0	0.0%
無回答	13	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 6 障害のある人を雇用するにあたり、どのような課題がありますか。(複数回答可)

【回答数 35人】



選択項目	人数	構成比
障害のある人に適した業務がない	20	57.1%
障害者雇用のノウハウが乏しい	7	20.0%
ニーズに合う知識・技能を有する人材がない	3	8.6%
職場の従業員の理解を得るのが難しい	5	14.3%
施設・設備等の環境が整備されていない	12	34.3%
障害のある人をサポートする余裕がない	18	51.4%
障害者雇用について経営陣の理解が得られるかどうか分からない	0	0.0%
採用時に適性や能力を十分把握できるかわからない	9	25.7%
雇用継続が困難な場合の対応方法がわからない	4	11.4%
業務以外の生活面等の問題への対応をどうするか分からない	5	14.3%
何ができるかわからないので、適した職場を開拓できない	3	8.6%
職場内での人間関係づくり	6	17.1%
職場の安全面の配慮が適切にできない	7	20.0%
通勤や移動手段の確保ができない	3	8.6%
その他	2	5.7%
無回答	1	—

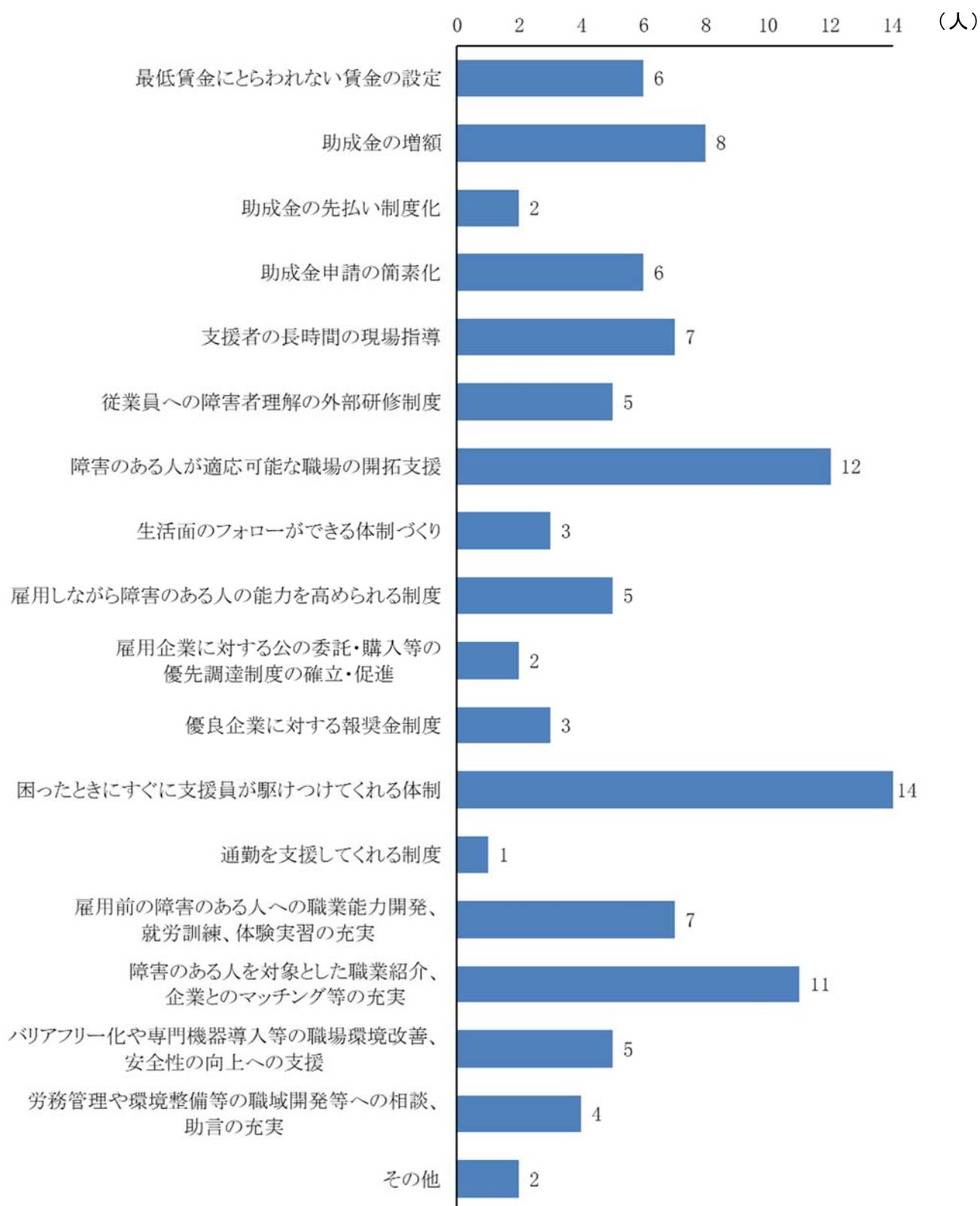
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 在宅勤務が多く、サポートが難しい。(雇用していない、製造業、50～99人)

問 7 今後、どのような点が整備されていけば、雇用の機会を増やしていけると思いますか。
(複数回答可)

【回答数 32人】



選択項目	人数	構成比
最低賃金にとらわれない賃金の設定	6	18.8%
助成金の増額	8	25.0%
助成金の先払い制度化	2	6.3%
助成金申請の簡素化	6	18.8%
支援者の長時間の現場指導	7	21.9%
従業員への障害者理解の外部研修制度	5	15.6%
障害のある人が適応可能な職場の開拓支援	12	37.5%
生活面のフォローができる体制づくり	3	9.4%
雇用しながら障害のある人の能力を高められる制度	5	15.6%
雇用企業に対する公の委託・購入等の優先調達制度の確立・促進	2	6.3%
優良企業に対する報奨金制度	3	9.4%
困ったときにすぐに支援員が駆けつけてくれる体制	14	43.8%
通勤を支援してくれる制度	1	3.1%
雇用前の障害のある人への職業能力開発、就労訓練、体験実習の充実	7	21.9%
障害のある人を対象とした職業紹介、企業とのマッチング等の充実	11	34.3%
バリアフリー化や専門機器導入等の職場環境改善、安全性の向上への支援	5	15.6%
労務管理や環境整備等の職域開発等への相談、助言の充実	4	12.5%
その他	2	6.3%
無回答	4	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 研修等の受入も雇用とみなして欲しい。雇用率の換算。
(雇用している、情報通信業、200～299人)

問 8 その他障害者雇用に関して、ご意見、ご要望などありましたらご自由にお書きください。

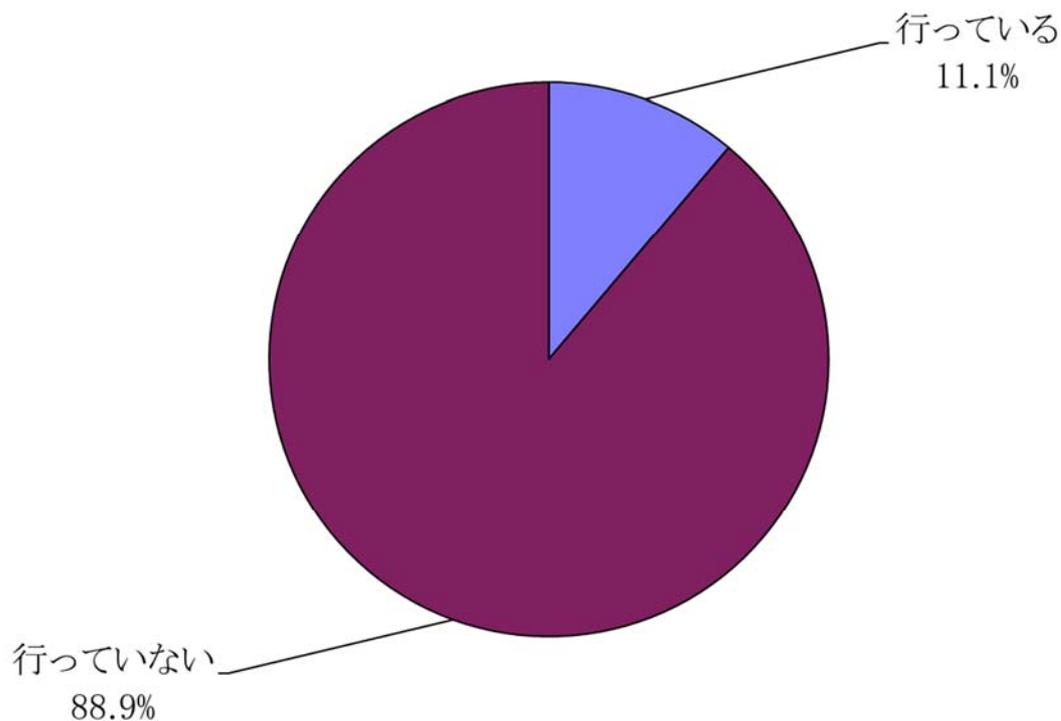
【自由記入の主な内容】

- 知的障がいのある方を雇用中です。当初は付きっきりで指導し、社会マナーやコミュニケーションの取り方など苦労したと聞いています。事前に社会人教育をし、現場に入れないと通常業務の負担がかかるようです。余裕のある会社でないと丸投げされ、受け入れは難です。
(雇用している、製造業、50人未満)
- 長時間就業が出来る雇用体制の確立。
(雇用している、サービス業、200～299人)
- 障害者雇用をした会社のニュースを見ます。本人、会社にとっても良いマッチングだと思えます。実際に雇用した際、どこまで業務に対応いただけるのか、繁忙期の対応はどうかと不安があります。また雇用後に業務とマッチングしないと判明した場合、雇用を継続しなければならないのか不安です。また、現状の会社状況、雇用状況が悪く、新たな取り組みが難しい。
(雇用していない、情報通信業、50～99人)

Ⅲ 職場体験や実習の受け入れについて

問 9 障害のある人を対象に実習や職場体験を行っていますか。

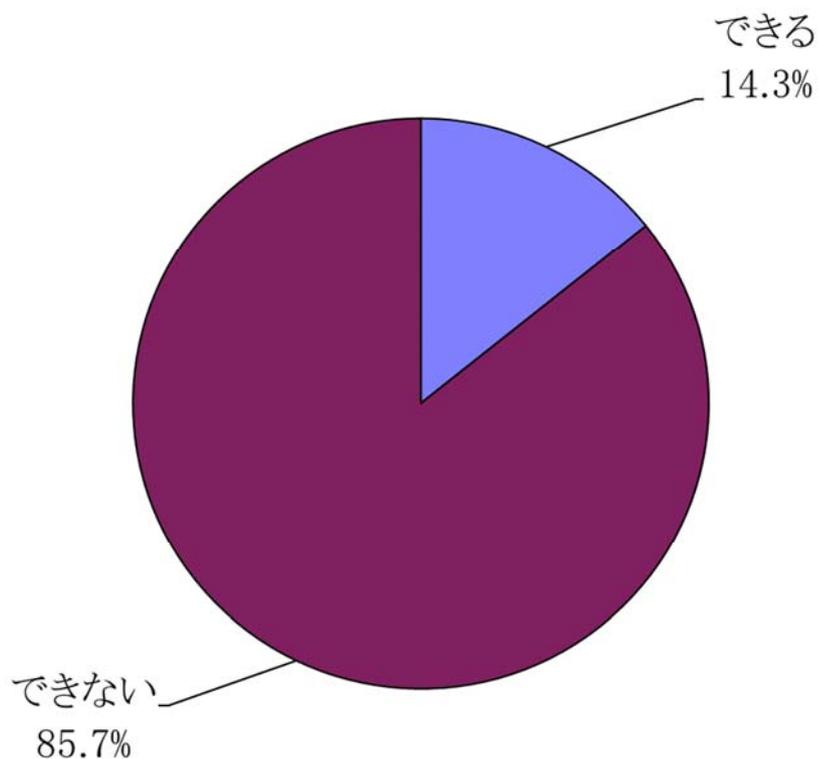
【回答数 36 人】



選択項目	人数	構成比
行っている	4	11.1%
行っていない	32	88.9%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 10 短期間、実習や職場体験を受け入れることはできますか。

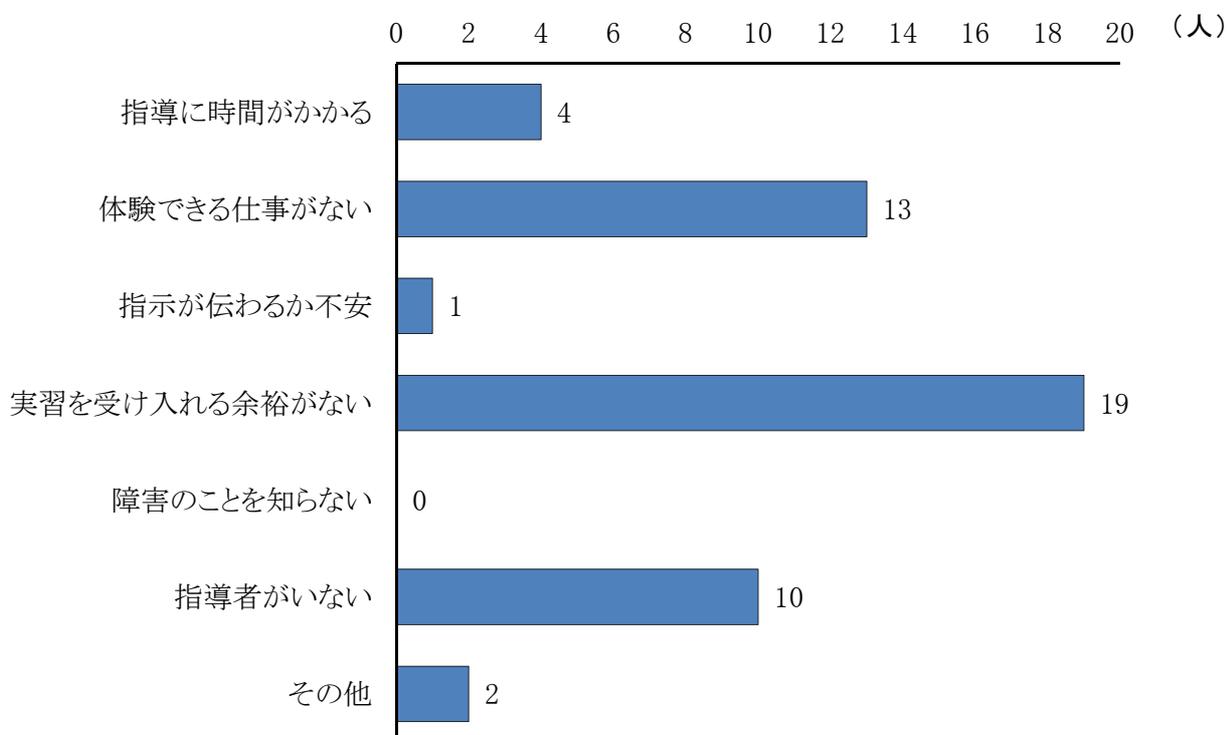
【回答数 35 人】



選択項目	人数	構成比
できる	5	14.3%
できない	30	85.7%
無回答	1	—
合計	36	100%

問 10-1 問 10 で「2. できない」と答えた事業所にお聞きします。
受け入れることができない理由は何ですか。(複数回答可)

【回答数 29 人】



選択項目	人数	構成比
指導に時間がかかる	4	13.8%
体験できる仕事がない	13	44.8%
指示が伝わるか不安	1	3.4%
実習を受け入れる余裕がない	19	65.5%
障害のことを知らない	0	0.0%
指導者がいない	10	34.5%
その他	2	6.9%
無回答	1	—

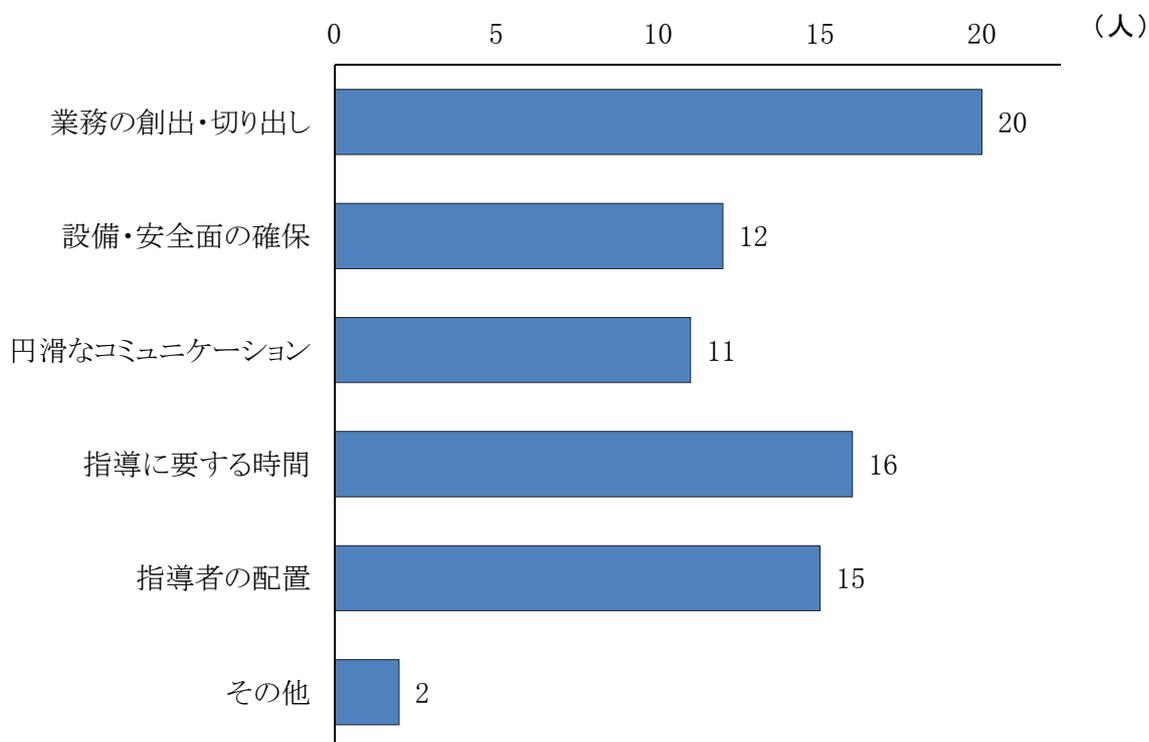
* 割合の算出方法：(各項目の) 人数 / 回答数

【その他回答の主な内容】

- 雇用数は満たしているため。 (雇用している、製造業、50人未満)
- 他事業所で実施しているため。 (雇用していない、建設業、100～199人)

問 11 実習や職場体験を受け入れることについて、不安に感じていることは何ですか。(複数回答可)

【回答数 33 人】



選択項目	人数	構成比
業務の創出・切り出し	20	60.6%
設備・安全面の確保	12	36.4%
円滑なコミュニケーション	11	33.3%
指導に要する時間	16	48.5%
指導者の配置	15	45.5%
その他	2	6.1%
無回答	3	—

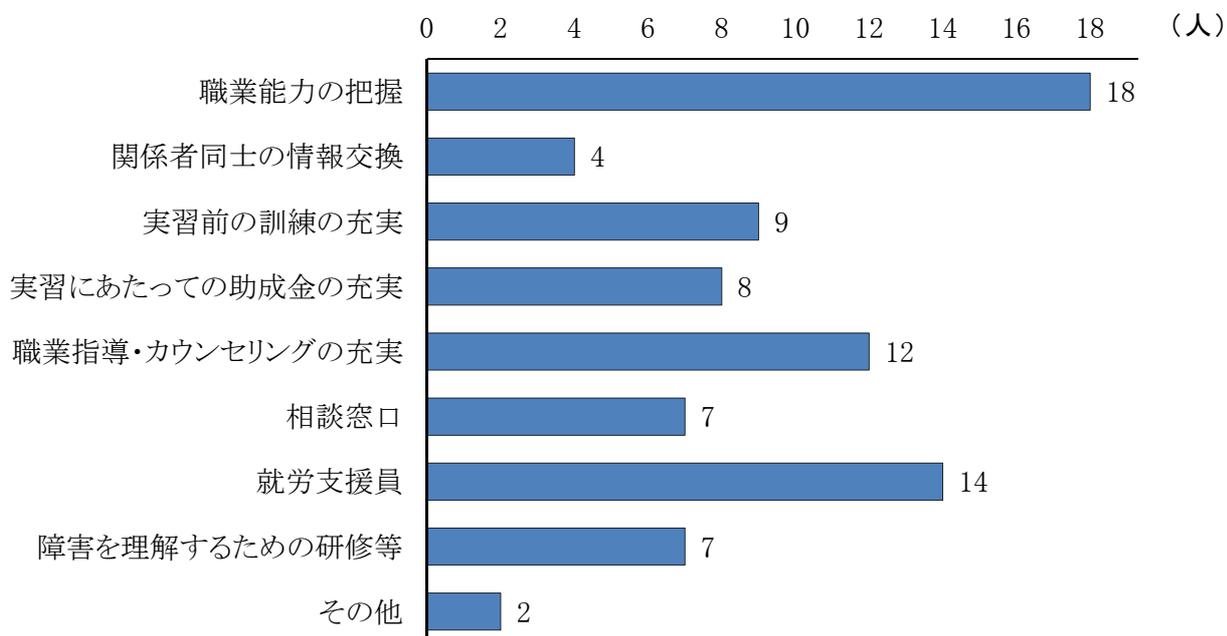
*割合の算出方法:(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 役員しかいないので人がいない。(雇用していない、不動産業・物品賃貸業、50人未満)
- 受け入れられる方がいないので何もなし。(雇用している、運輸業・郵便業、100～199人)

問 12 実習や職場体験を受け入れるためにどのような支援があれば、受け入れできますか。
(複数回答可)

【回答数 30人】



選択項目	人数	構成比
職業能力の把握	18	60.0%
関係者同士の情報交換	4	13.3%
実習前の訓練の充実	9	30.0%
実習にあたっての助成金の充実	8	26.7%
職業指導・カウンセリングの充実	12	40.0%
相談窓口	7	23.3%
就労支援員	14	46.7%
障害を理解するための研修等	7	23.3%
その他	2	6.7%
無回答	6	—

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

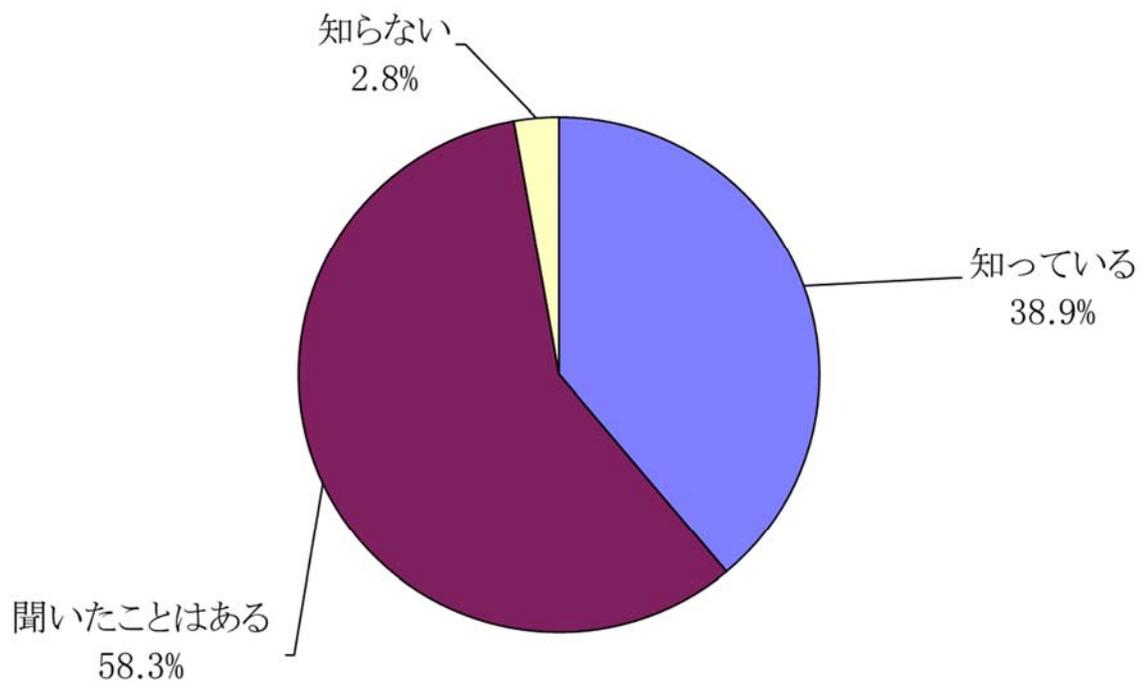
【その他回答の主な内容】

- 請負なので体験不可。 (雇用している、サービス業、100～199人)
- 運行業務に支障が生じなければ。 (雇用している、運輸業・郵便業、100～199人)

IV 障害のある人への対応について

問13 平成28年4月から障害者差別解消法が施行されています。この法律のことを知っていますか。

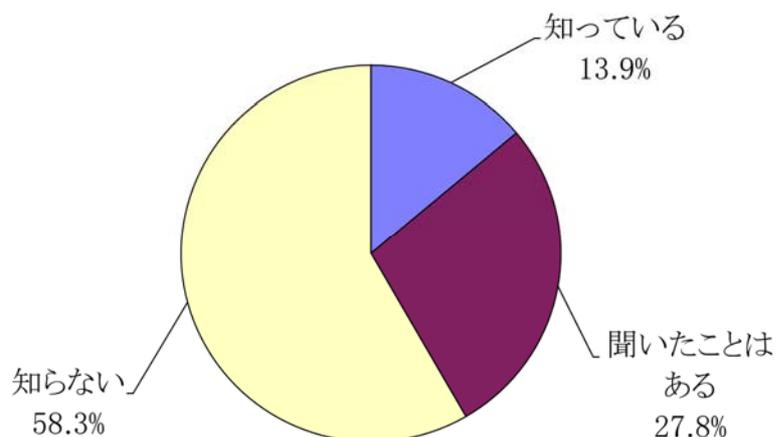
【回答数 36人】



選択項目	人数	構成比
知っている	14	38.9%
聞いたことはある	21	58.3%
知らない	1	2.8%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 14 平成30年4月から障害や障害のある人への理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちをつくるために、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

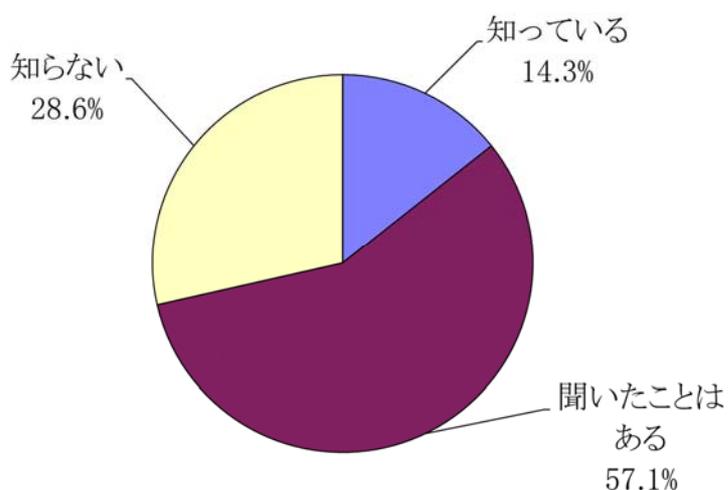
【回答数 36人】



選択項目	人数	構成比
知っている	5	13.9%
聞いたことはある	10	27.8%
知らない	21	58.3%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 14-1 問 14 で「1. 知っている」「2. 聞いたことはある」と答えた方にお聞きします。令和4年12月に事業者による合理的配慮を義務付ける等の条例改正がありました(令和5年4月1日施行)。この条例改正のことを知っていますか。

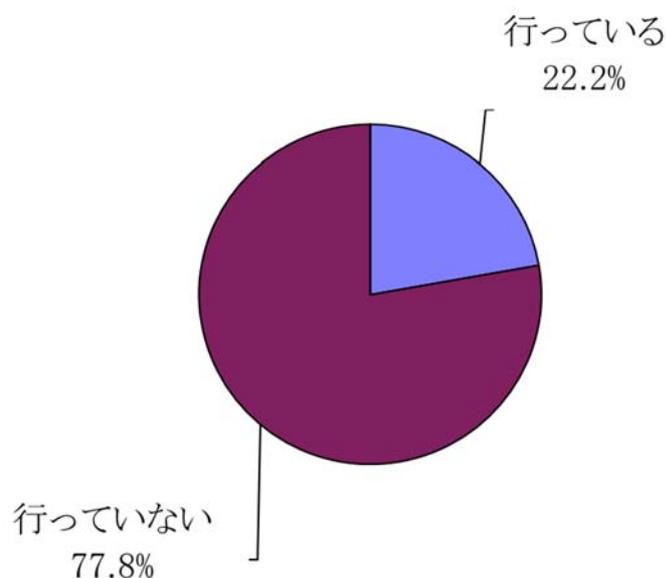
【回答数 14人】



選択項目	人数	構成比
知っている	2	14.3%
聞いたことはある	8	57.1%
知らない	4	28.6%
無回答	1	—
合計	15	100%

問 15 貴事業所では、障害のある人への理解のための教育や研修を行っていますか。

【回答数 36 人】

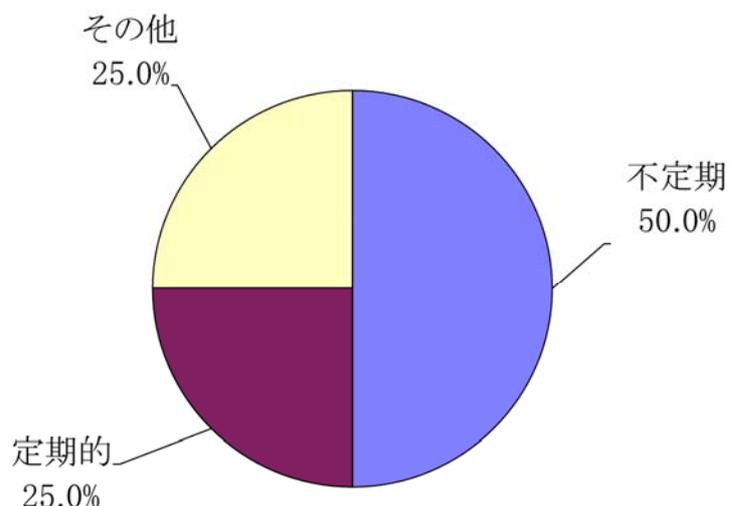


選択項目	人数	構成比
行っている	8	22.2%
行っていない	28	77.8%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 15-1 問 15 で「1. 行っている」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人への理解のための教育や研修は、どのくらいの頻度で実施していますか。

【回答数 8 人】



選択項目	人数	構成比
不定期	4	50.0%
定期的	2	25.0%
その他	2	25.0%
無回答	0	—
合計	8	100%

【定期的の具体的な回答】

- 年 2 回
(雇用している、卸売業・小売業、50 人未満)
- 年 1 回
(雇用している、建設業、50～99 人)

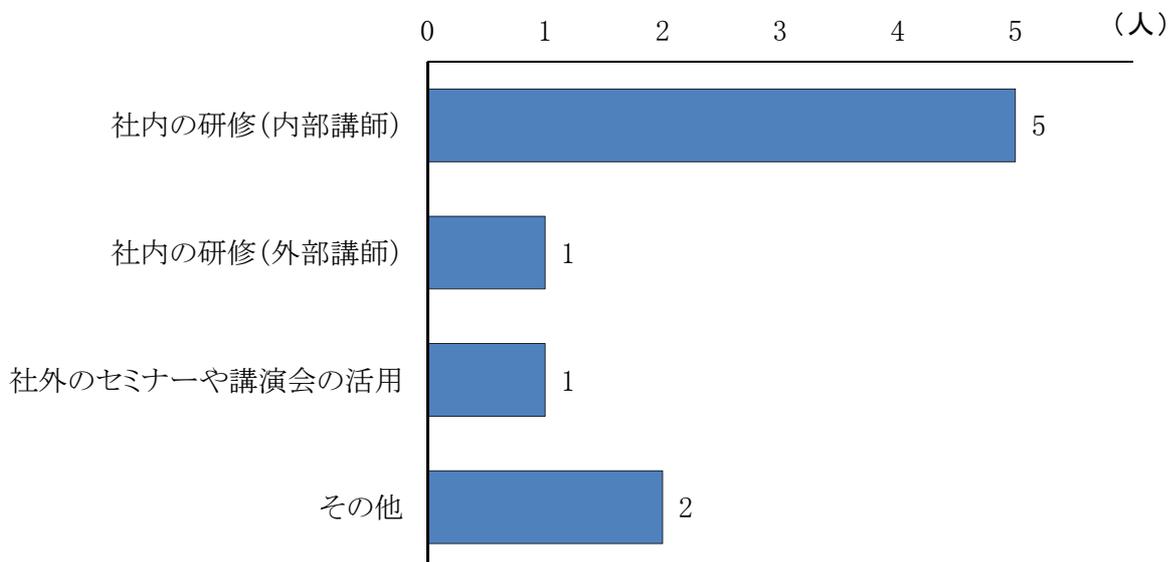
【その他回答の主な内容】

- 入社時に 1 回。 (雇用していない、宿泊業・飲食サービス業、50 人未満)
- 随時。問題発生時に OJT にて。 (雇用している、製造業、50 人未満)

問 15-2 問 15 で「1. 行っている」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人への理解のための教育や研修は、どのような方法で行っていますか。(複数回答可)

【回答数 8 人】



選択項目	人数	構成比
社内の研修(内部講師)	5	62.5%
社内の研修(外部講師)	1	12.5%
社外のセミナーや講演会の活用	1	12.5%
その他	2	25.0%
無回答	0	—

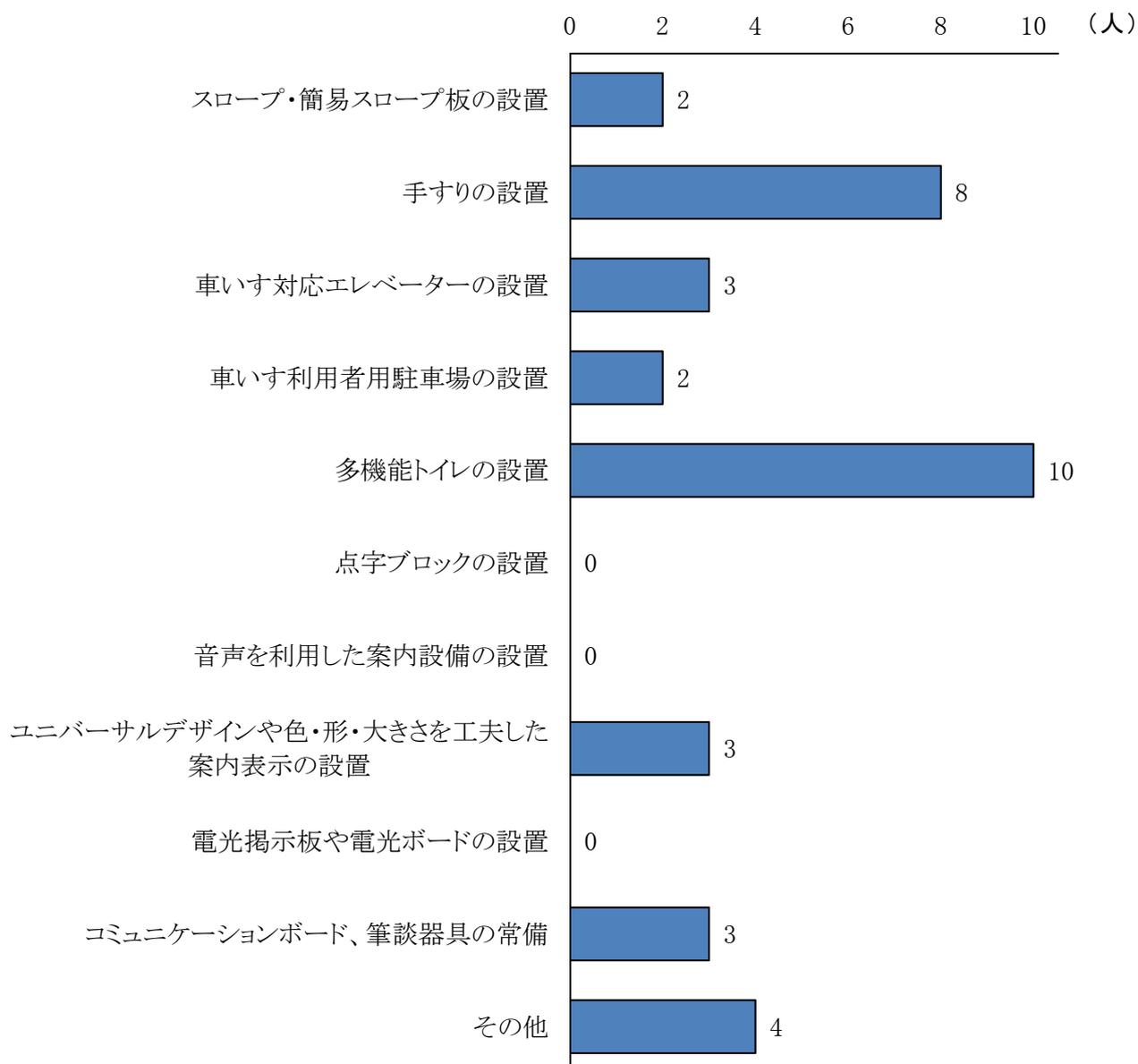
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 総務部、労務担当者、直属上司。 (雇用している、製造業、50人未満)
- 社内 SNS での発信 (雇用していない、製造業、50～99人)

問16 貴事業所では、障害のある人のための環境整備等で実施しているものはありますか。
(複数回答可)

【回答数 21人】



選択項目	人数	構成比
スロープ・簡易スロープ板の設置	2	9.5%
手すりの設置	8	38.1%
車いす対応エレベーターの設置	3	14.3%
車いす利用者用駐車場の設置	2	9.5%
多機能トイレの設置	10	47.6%
点字ブロックの設置	0	0.0%
音声を利用した案内設備の設置	0	0.0%
ユニバーサルデザインや色・形・大きさを工夫した案内表示の設置	3	14.3%
電光掲示板や電光ボードの設置	0	0.0%
コミュニケーションボード、筆談器具の常備	3	14.3%
その他	4	19.0%
無回答	15	—

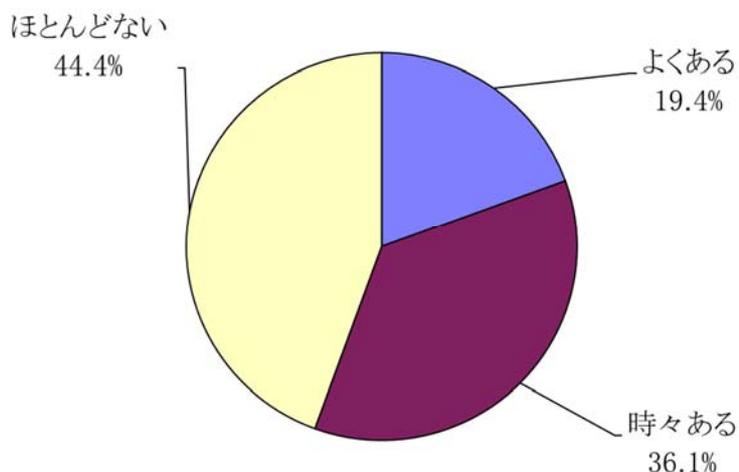
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 無し。 (雇用している、サービス業、100～199人)
- 現状は特にありません。 (雇用している、運輸業・郵便業、200～299人)
- 勤務中に体調が悪くなったら休ませる。 (雇用している、卸売業・小売業、100～199人)
- 他市事業所ではコミュニケーションボード活用。 (雇用していない、建設業、100～199人)

問 17 貴事業所の業務では、障害のある人に対応することがありますか。

【回答数 36 人】

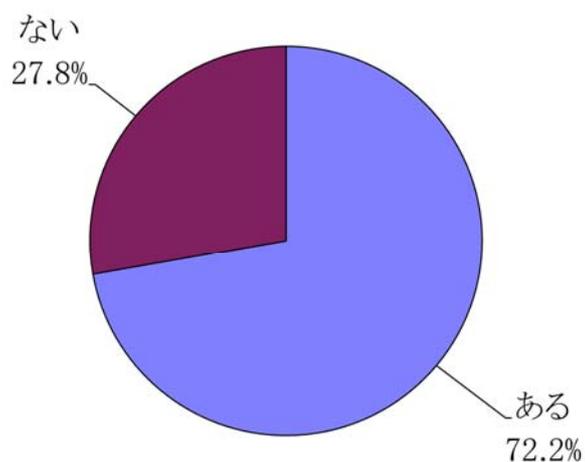


選択項目	人数	構成比
よくある	7	19.4%
時々ある	13	36.1%
ほとんどない	16	44.4%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 17-1 問17で「1. よくある」「2. 時々ある」と答えた事業所にお聞きします。

貴事業所の事業の実施において、障害のある人に対応する場合に、その人の障害に合わせた工夫や変更などの配慮をしたことがありますか。

【回答数 18 人】



選択項目	人数	構成比
ある	13	72.2%
ない	5	27.8%
無回答	2	—
合計	20	100%

問 18 貴事業所において、合理的配慮としてどのような対応が可能ですか。差し支えのない範囲で、具体的にお書きください。

【自由記入の主な回答】

- お買い物に来られたお客様のお手伝い。目の不自由な方への商品の案内。レジ会計のお手伝い、袋詰め。車いすの方へのお手伝いなど。
(雇用している、卸売業・小売業、50～99人)
- 聴覚障害の方に大きな声で分かりやすく説明など。
(雇用している、サービス業、100～199人)
- 車いす利用のお客様にスムーズに対応できるよう、全従業員への研修を実施。
(雇用している、運輸業・郵便業、200～299人)
- わかりやすい言葉に置き換えて説明する。相手(障害者)の話を最後まで聞く。
(雇用している、サービス業、200～299人)
- 音に敏感な方への対応は難しい。
(雇用していない、情報通信業、50～99人)
- 筆談によるコミュニケーション。音に敏感の方のために個室で契約説明を行う。
(雇用している、金融業・保険業、50人未満)
- こまめな休憩や、お休みの取りやすさなど。(雇用している、サービス業、50～99人)
- 通院やプライベート移動時の乗降介助。(雇用している、運輸業・郵便業、100～199人)
- 耳が聞こえづらい人の場合、会議では Teams を使用し文字おこしを活用しています。その画面の文字を見ながら会話をしている。(雇用していない、建設業、100～199人)
- 不明。(雇用していない、医療・福祉、50～99人)
- 全般的に可能。(雇用している、運輸業・郵便業、200～299人)
- 車いすのお客様等のご案内の際、入り口近くの導線の良い席に案内する。
(雇用していない、サービス業、50～99人)
- 助けを求められた場合に対応しないことはありません。
(雇用している、情報通信業、200～299人)

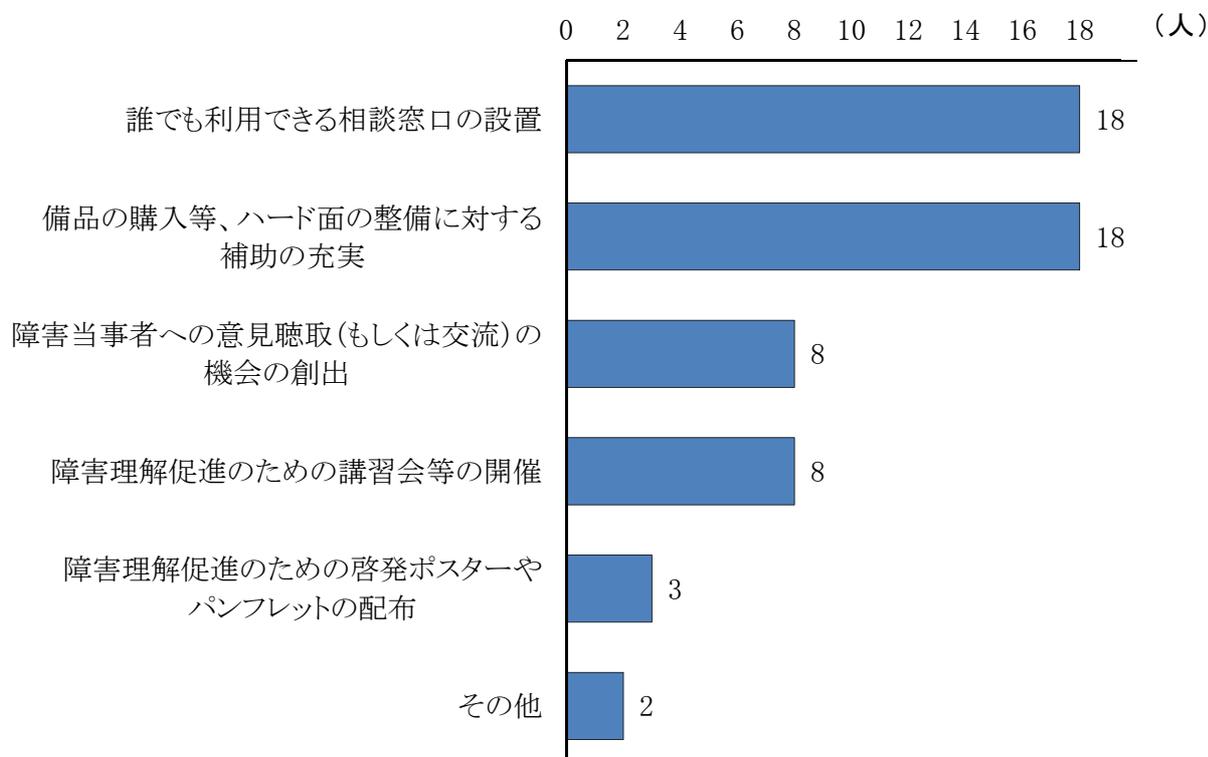
問 19 貴事業所において、合理的配慮として対応が難しいのはどのようなことですか。またその理由は何ですか。差し支えない範囲でお書きください。

【自由記入の主な回答】

- 金額を要すること。 (雇用している、サービス業、100～199人)
- 視覚障害者への対応がまだ完全に整備されていない。オーダーする際にアプリが90%以上の比率を占めているが、視覚障害者には利用困難なので改善対応が課題となっている。 (雇用している、運輸業・郵便業、200～299人)
- 特にありません。 (雇用している、サービス業、200～299人)
- 音が出る機会があるので、音と個室への対応。 (雇用していない、情報通信業、50～99人)
- 貸ビル業なので、入居者から要望があれば検討するが、予算の確保は厳しいです。 (雇用していない、不動産業・物品賃貸業、50人未満)
- 携帯電話のアプリを使用しても言葉等通じない方の対応。ヘルパー又は、通訳する方がいれば対応可。 (雇用している、運輸業・郵便業、100～199人)
- 身体に有害な薬品を使用する上に、高温となる設備もあり、健常者でも大変な労働環境です。 (雇用していない、製造業、50～99人)
- 目の見えない方との業務を行ったことが無いため、どのような配慮が必要なのかよく分かりません。 (雇用していない、建設業、100～199人)
- 不明。 (雇用していない、医療・福祉、50～99人)
- 介助犬等の店内利用。食事の際、店内のペット同伴が難しいため。 (雇用していない、サービス業、50～99人)
- 難しいことはありません。ただ、全ての障害を理解しているわけではない為、必要な配慮が適切に行えるかと言われると、できていない可能性があります。 (雇用している、情報通信業、200～299人)

問 20 障害のある人から求められた配慮を実現するために市が行う事業者向けの施策について、有効だと思われる項目はどれですか。(複数回答可)

【回答数 32 人】



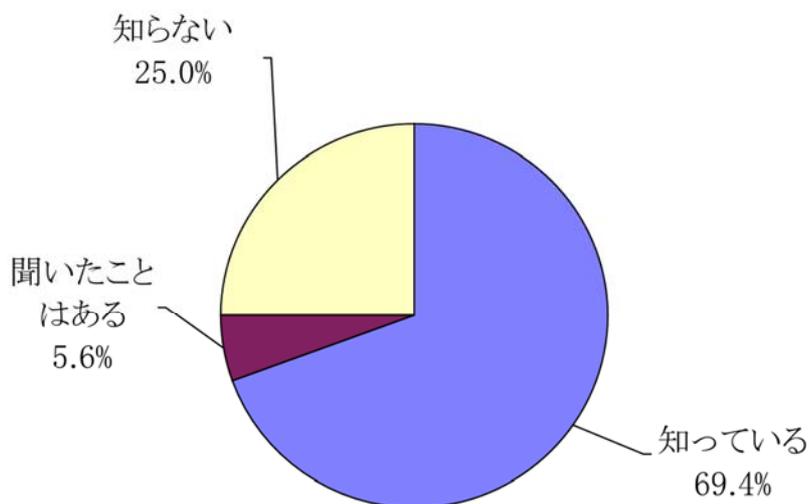
選択項目	人数	構成比
誰でも利用できる相談窓口の設置	18	56.3%
備品の購入等、ハード面の整備に対する補助の充実	18	56.3%
障害当事者への意見聴取(もしくは交流)の機会の創出	8	25.0%
障害理解促進のための講習会等の開催	8	25.0%
障害理解促進のための啓発ポスターやパンフレットの配布	3	9.4%
その他	2	6.3%
無回答	4	—

【その他回答の主な内容】

- 補助金等。(雇用している、サービス業、100～199 人)
- 手厚い補助。(雇用している、運輸業・郵便業、100～199 人)

問 21 立川市で、「ヘルプマーク」(義足や人工関節、内部障害、難病、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマーク)を配布していることを知っていますか。

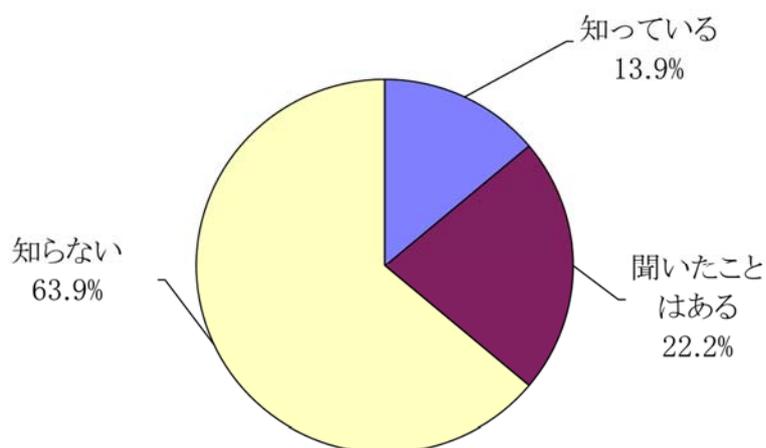
【回答数 36 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	25	69.4%
聞いたことはある	2	5.6%
知らない	9	25.0%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 22 立川市で、「ヘルプカード」(障害や疾病のある方が普段から身につけておき、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲の人に説明し支援をお願いするカード)を配布していることを知っていますか。

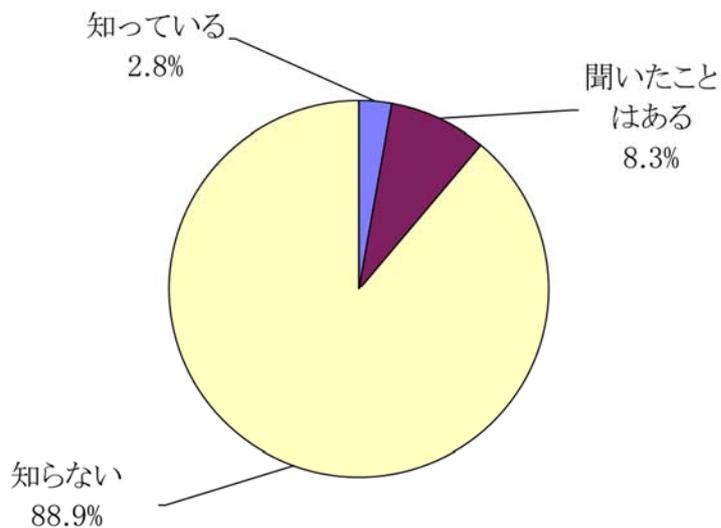
【回答数 36 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	5	13.9%
聞いたことはある	8	22.2%
知らない	23	63.9%
無回答	0	—
合計	36	100%

問 23 立川市で、「オ・ト・モ・ダ・チ・カード」(ヘルプカードをつけている方が困っている時に、支援に協力をしていただける方が身につけるストラップ)を配布していることを知っていますか。

【回答数 36 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	1	2.8%
聞いたことはある	3	8.3%
知らない	32	88.9%
無回答	0	—
合計	36	100%

V 障害者差別解消のための意見

最後に 障害のある人への差別をなくすために、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

【自由記入の内容】

- 社会に出る前に、当事者と家族の関係が良好でないと会社がいくら改善を施しても無駄。家族の協力がないと、自立を促しても難しいことが多い。弊社の社員は、家族の本人へのサポートがしっかりしていて、本人の健康管理やコミュニケーションを会社に積極的にアプローチしてくれていて、協働している感がある。ゆえに、長年ほぼ無遅刻無欠席である。本人もできることを責任もって進めていて、いい関係性と思う。
(雇用している、製造業、50人未満)
- ウェブサイトや広報などで、障害者に関する様々な情報を展開していただけると理解度も深まり、事業者側が従業員へ周知する際にも有効だと思います。
(雇用している、運輸業・郵便業、200～299人)
- 自身も含め認識、知識を深める。制度が先行しても、現場でそれを行う余力やシステムの構築ができない。現場の改善と合わせて進めなくては受入も難しいままで進まないのでは。
(雇用していない、情報通信業、50～99人)
- これこそが差別と言う障害者の方がいます。メンタル心理カウンセラー、ソーシャルワーカー窓口を市役所にも常設を。
(雇用している、運輸業・郵便業、100～199人)

立川市第7次障害者計画策定のための
アンケート調査結果報告書

令和6年3月

編集・発行／立川市福祉保健部障害福祉課

〒190-8666

東京都立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111（代表）

FAX 042-529-8676